

# これからの学校のあり方に係る アンケート調査

## 調査結果

令和8年 3月  
佐倉市教育委員会

# 目 次

第1章 実施概要 .....	1
(1) 調査の目的 .....	1
(2) 調査方法 .....	1
(3) 回答数 .....	2
(4) 調査対象ごとの設問 .....	3
(5) 必要標本数の確認 .....	5
第2章 調査結果からの考察 .....	7
(1) 学校教育について .....	7
(2) クラスの規模などについて .....	7
(3) 統合、通学について .....	8
(4) 学校と地域との関わりについて .....	8
第3章 調査結果 -単純集計- .....	9
■あなた自身のことについてお聞きします .....	9
(1) 年代 .....	9
(2) 学年/学級 .....	11
(3) 通学先/勤務校/居住地 .....	13
■今後、学校教育に求めること・期待することに関して、あなたのお考えをお 伺いします .....	22
(4) 学校で過ごす時間について .....	22
(5) 「学校で過ごす時間について」の回答理由 .....	23
(6) 不明点などを自分なりに調べたり考えたり出来ているか .....	26
(7) 友達との話し合いを通じて、自分の考えを深めたり新たな考え方に気 付いたり出来ているか .....	27
(8) 授業中の不明点を教員が分かりやすく教えてくれるか .....	28
(9) 心配事や不安に思うことの相談相手 .....	29
(10) 望ましい将来像 .....	31
(11) 学校で学び、身につけたいこと .....	36
(12) 学校教育で重視することが望ましい項目 .....	38
(13) 中学校進学時に戸惑うことや不安に思うこと .....	42
(14) 給食は好きか .....	44
(15) 「(14) 給食は好きか」の回答理由 .....	45
(16) 学校給食の満足度 .....	48
(17) 「(16) 学校給食の満足度」の回答理由 .....	49
■クラスの規模などに関して、あなたのお考えをお聞きします .....	52
(18) クラスの人数 .....	52
(19) 現在のクラスの人数の印象 .....	54
(20) (小学校) 1クラスあたりの望ましい人数 .....	56
(21) 「(20) (小学校) 1クラスあたりの望ましい人数」の回答理由 ..	58
(22) (中学校) 1クラスあたりの望ましい人数 .....	62
(23) 「(22) (中学校) 1クラスあたりの望ましい人数」の回答理由 ..	64
(24) 学年のクラス数 .....	68
(25) 現在の学年のクラス数の印象 .....	70

(26)	(小学校) 1 学年あたりの望ましいクラス数 .....	72
(27)	「(26) (小学校) 1 学年あたりの望ましいクラス数」の回答理由 .....	74
(28)	(中学校) 1 学年あたりの望ましいクラス数 .....	78
(29)	「(28) (中学校) 1 学年あたりの望ましいクラス数」の回答理由 .....	80
(30)	小規模校化によって生じ得る効果 .....	84
(31)	小規模校化によって生じ得る課題 .....	86
(32)	小中学校の統合に対する考え .....	88
(33)	学区の見直しや学校統合の検討を行う場合に考慮すべき事項 .....	92
■	通学状況についてお聞きします .....	96
(34)	学校までの通学手段 .....	96
(35)	自宅から学校までの通学時間 .....	97
(36)	通学時間に対する印象 .....	99
■	学校と地域との関わり方について、あなたのお考えをお聞きします .....	101
(37)	学校について、児童・生徒の学びの場以外に担っている、または担 うべき役割 .....	101
(38)	一定条件下での開放が望ましい施設 .....	106
(39)	学校敷地内や校舎内に併設されることが望ましい公共施設 .....	110
(40)	地域社会総がかりでの教育を実現する上で参加したい・協力したい 取組 .....	115
(41)	地域社会総がかりでの教育を実現する上で支援を受けたい・支援が 必要な取組 .....	119
■	学校運営の現状や働き方改革について、あなたのお考えをお聞きします ...	121
(42)	現在負担に感じる業務 .....	121
(43)	上記業務の負担が軽減された場合の時間の使い道 .....	123
■	自由意見 .....	125
第4章	アンケート調査案内文・調査票 .....	127

# 第1章 実施概要

## (1) 調査の目的

「佐倉市におけるこれからの学校のあり方に係る基本方針」の策定及び「佐倉市教育施設長寿命化計画」の改定にあたり、これからの時代に必要となる学校教育のあり方を検討する基礎資料とするため、児童生徒及び保護者、教員、市民を対象にアンケート調査を実施した。

## (2) 調査方法

### 1) 調査対象・抽出方法

児童生徒：アンケート調査を読んで回答する負担を考慮し、児童は小学4～6年生全員を対象とした。生徒は、全学年を対象とした。

児童生徒保護者：お子様の学年によらず幅広く意見を募るべく、全児童生徒の保護者を対象とした。小学生同士、または中学生同士の兄弟姉妹を考慮し、家庭数で配付した。

教員：令和6年5月1日時点で市内の市立小中学校に勤務する全ての教員を対象とした。

市民：学区指定状況や人口バランス等を踏まえて、市域を①佐倉・根郷・和田・弥富地区、②臼井・千代田地区、③志津地区の3地区に区分し、令和6年4月1日時点の佐倉市住民基本台帳データから、満15歳以上80歳未満の市民を無作為抽出した。

未就学児保護者：佐倉市住民基本台帳データから、未就学児（0～5歳児）を無作為抽出し、保護者に回答を依頼した。

### 2) 案内の配布

児童生徒：学級担任から案内文を配付した。

児童生徒保護者：学校から児童生徒を通じて案内文を配付した。

教員：学校を通じて案内文を配付した。

市民：郵送により案内文を配布した。

未就学児保護者：郵送により案内文を配布した。

### 3) 回答方法・回答期限

回答方法は、全対象者それぞれ専用のWeb回答フォームでの回答収集とした。

回答期限は、全対象者共通で令和6年10月28日～令和6年11月15日とした。

### (3) 回答数

調査対象	児童	生徒	児童 保護者	生徒 保護者	教員	市民	未就学児 保護者
母数	3,988	3,927	5,752	3,665	765	① 42,206 人 ② 29,934 人 ③ 56,620 人	4,927
配付数 (a)	3,988	3,927	5,752	3,665	765	①②③各 1,600、 計 4,800	800
回答数 (b)	3,524	3,200	2,045	1,156	555	1,117	345
回答率 (b)/(a)	88.4%	81.5%	35.6%	31.5%	72.5%	23.2%	43.1%

#### ※集計に関する留意事項

- ・市民を無作為抽出する際には、未就学児の保護者として抽出された市民が重複して選ばれないよう補正している。

#### ※表記に関する注釈

- ・調査結果は、比率を全て百分率（％）で表し、小数点第2位以下を四捨五入して表示している。そのため、比率の合計が100.0%となっていない場合がある。
- ・複数回答可能な設問の回答割合は、その設問の回答者数を分母として算出している。

#### (4) 調査対象ごとの設問

本報告書の報告内容は、以下のとおりである。

調査対象毎の設問番号						設問概要
児童	生徒	児童 保護者	生徒 保護者	教員	市民・ 未就学児 保護者	
回答者の属性						
		問 1	問 1	問 1	問 1	(1)年代
問 1	問 1	問 2	問 2			(2)学年/学級
問 2	問 2	問 3	問 3	問 2	問 2	(3)通学先/勤務校/居住地
学校教育について						
問 3	問 3					(4)学校で過ごす時間について
問 4	問 4					(5)「学校で過ごす時間について」の回答理由
問 5	問 5					(6)不明点などを自分なりに調べたり考えたり 出来ているか
問 6	問 6					(7)友達との話し合いを通じて、自分の考えを深 めたり新たな考え方に気付いたり出来ているか
問 7	問 7					(8)授業中の不明点を教員が分かりやすく教えて くれるか
問 8	問 8					(9)心配事や不安に思うことの相談相手
問 9	問 9	問 4	問 4	問 3	問 3	(10)望ましい将来像
問 10	問 10					(11)学校で学び、身につけたいこと
		問 5	問 5	問 4	問 4	(12)学校教育で重視することが望ましい項目
問 11	問 11					(13)中学校進学時に戸惑うことや不安に思うこと
問 12	問 12					(14)給食は好きか
問 13	問 13					(15)「給食は好きか」の回答理由
		問 6	問 6			(16)学校給食の満足度
		問 7	問 7			(17)「学校給食の満足度」の回答理由
学校・学級の規模について						
問 14	問 14	問 8	問 8	問 5		(18)クラスの人数
問 15	問 15	問 9	問 9	問 6		(19)現在のクラスの人数の印象
問 16		問 10		問 7	問 5	(20) (小学校) 1クラスあたりの望ましい人数
		問 11		問 8	問 6	(21) 「1クラスあたりの望ましい人数」の回答理由
	問 16		問 10	問 7	問 7	(22) (中学校) 1クラスあたりの望ましい人数
			問 11	問 8	問 8	(23) 「1クラスあたりの望ましい人数」の回答理由
問 17	問 17	問 12	問 12	問 9		(24)学年のクラス数
問 18	問 18	問 13	問 13	問 10		(25)現在の学年のクラス数の印象
問 19		問 14		問 11	問 9	(26) (小学校) 1学年あたりの望ましいクラス数
		問 15		問 12	問 10	(27) 「1学年あたりの望ましいクラス数」の回答理由
	問 19		問 14	問 11	問 11	(28) (中学校) 1学年あたりの望ましいクラス数
			問 15	問 12	問 12	(29) 「1学年あたりの望ましいクラス数」の回答理由

				問 13		(30)小規模校化によって生じ得る効果
				問 14		(31)小規模校化によって生じ得る課題
		問 16	問 16	問 15	問 13	(32)小中学校の統合に対する考え
		問 17	問 17	問 16	問 14	(33)学区の見直しや学校統合の検討を行う場合に考慮すべき事項
通学状況						
問 20	問 20	問 18	問 18			(34)学校までの通学手段
問 21	問 21	問 19	問 19			(35)自宅から学校までの通学時間
問 22	問 22	問 20	問 20			(36)通学時間に対する印象
地域との関わりについて						
		問 21	問 21	問 17	問 15	(37)学校について、児童・生徒の学びの場以外に担っている、または担うべき役割
		問 22	問 22	問 18	問 16	(38)一定条件下での開放が望ましい施設
		問 23	問 23	問 19	問 17	(39)学校敷地内や校舎内に併設されることが望ましい公共施設
		問 24	問 24		問 18	(40)地域社会総がかりでの教育を実現する上で参加したい・協力したい取組
				問 20		(41)地域社会総がかりでの教育を実現する上で支援を受けたい・支援が必要な取組
働き方について						
				問 21		(42)現在負担に感じる業務
				問 22		(43)上記業務の負担が軽減された場合の時間の使い道
自由意見						
問 23	問 23	問 25	問 25	問 23	問 19	学校に関する自由意見

## (5) 必要標本数の確認

標本調査では、調査対象者を無作為に抽出して調査するため、母集団の値と一致せず、何らかの差が生じる。この差を「標本誤差」と言う。標本誤差は、一般的には5%未満であることが望ましいとされている。

本調査では、下表に示すとおり未就学児保護者のみ標本誤差が最大で5.09%であり、望ましい水準をわずかに上回ったものの、それ以外の調査対象者では5%未満であることから、母集団に対しておおむね妥当な回答者数を得られたと言える。

標本誤差は、以下に示す式で算出可能である。また、標本から得られた結果が、仮に母集団全体を対象に調査した場合の結果であっても標本誤差の範囲に収まっている確率を信頼度と呼び、信頼度95%を用いることが一般的である。

$$\text{標本誤差 } E = 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P \times (1-P)}{n}}$$

1.96：信頼度95%の時の信頼度係数

$N$ ：母集団数(人)

$n$ ：ある設問の有効回答者数(人)

$P$ ：ある設問のそれぞれの選択肢の回答の比率

(回答が均等に分かれる $P = 50\%$ の時に、標本誤差は最大値を取る。)

変数	児童	生徒	児童保護者	生徒保護者	教員	市民	未就学児保護者
$N$	3,988	3,927	5,752	3,665	765	128,760	4,927
$n$	3,524	3,200	2,045	1,156	555	1,117	345
$E$	0.56%	0.75%	1.74%	2.39%	2.18%	2.92%	5.09%



## 第2章 調査結果からの考察

### (1) 学校教育について

- ・小学校・中学校ともに、9割近い子どもが学校で過ごす時間を「楽しい」「まあまあ楽しい」と感じ、その理由に友達を挙げる子どもが圧倒的に多い。逆に「楽しくない」「あまり楽しくない」子どもの理由は、勉強面、友人関係、先生への不満、やりたくないことがあるなど多岐にわたる。(p.22~25)
- ・望ましい将来像は児童生徒、保護者、教員、市民、未就学児保護者の全ての調査対象にわたって、「思いやり」や「善悪の判断と行動」に関わる内容を最も多く挙げ、次いで児童生徒は「新しいものに挑戦し、何事にも一生懸命に取り組める人」、保護者、教員、市民、未就学児保護者は「多様な考えがあることを認識し、協力して行動できる人」を挙げている。一方で習得した知識・学力が直接活かされるような「豊かな知識」「社会の役に立つこと」「国際的に活躍すること」に対する回答はさほど多くない。(p.31~35)
- ・児童生徒が学校で身につけたいこととしては、「コミュニケーション能力」「人としての正しい行動」「確かな学力」を多く挙げている。保護者、市民、未就学児保護者が学校教育で力を入れていくこととしては、「英語教育」「キャリア教育」「道徳教育」を挙げている。一方で、現場の教員は「英語教育」に対する回答はさほど多くなく、「いじめや不登校への支援体制」「学校の施設整備」を挙げている。また、「小学校と中学校の連携」も多い。全ての大人の調査対象にわたって「教員の資質や指導力の向上」の回答も多い。子どもの望むものと保護者の望むものは異なり、教員が注力すべきと感じるものとも異なる結果となっている。(p.36~41)
- ・中学校進学時に戸惑うこととしては、「授業についていけるか」「テストで良い点が取れるか」を心配する回答が多く、児童生徒にとっては、環境の変化よりも勉強が難しくなることへの懸念が大きい。小中連携においては、学習面での橋渡しが重要になると言える。(p.42~43)

### (2) クラスの規模などについて

- ・児童生徒と保護者は現在のクラスの人数を「ちょうど良い」と感じるものの、現場の教員は「もっと少ない方が良い」と感じている。(p.54~55)
- ・小学校の1クラスあたりの望ましい人数は児童とその保護者については「26~30人」が多いものの、教員については「21~25人」が多く、特に現場で教える側では国の求める基準よりも少ない人数が志向されている。一方で中学校の1クラスあたりの望ましい人数は教員も保護者も「26~30人」で一致している。生徒は「31~35人」の意見が多い。特に小学校については、今の人数は負担に感じていると言える。(p.56~57、62~63)
- ・上記の理由は「きめ細やかな指導」が他の回答よりも多く、特に教員で突出している。人数が多いメリットについては、「新たな人間関係を構築する力や社会性」が「多様な意見や考え方に触れる機会」「集団の中での切磋琢磨」「集団教育活動の活気」といった回答よりも多く、より重視されている。(p.58~61、64~67)
- ・現在の学年のクラス数は小学校・中学校ともに全ての調査対象について「ちょうど良い」と感じている。望ましい数については、小学校は「3クラス」で一致しているものの、中学校では生徒が「3クラス」、生徒の保護者が「5クラス」、教員が「4クラス」と少しずつ異なっている。(p.70~73、78~79)

- ・ 上記の理由は全ての調査対象について「クラス替え」「新たな人間関係を構築する力や社会性」を挙げていて、教員については「バランスの取れた教職員配置」を挙げる回答も多い（特に中学校）。（p.74～77、80～83）
- ・ 小規模校化のメリットは「一人一人の学習状況の把握」が最も多く回答され、デメリットは「人間関係が固定化」が最も多く回答されている。（p.84～87）

### （3）統合、通学について

- ・ 小中学校の統合に対する考えは「学区の見直しなどにより、学校間の児童生徒数の調整ができない場合は、統合もやむなし」の回答が最多となっている。「小中一貫校化などの新たな学校形態」を志向する回答も2番目に多い。（p.88～91）
- ・ 学区の見直しや学校統合の検討を行う場合に考慮すべき事項としては、全ての調査対象において「通学距離や時間、方法、通学路の安全性」の回答が最も多く、教員からは「適正な教員配置」の回答も多い。（p.92～95）
- ・ 通学時間は「30分未満」が9割以上であるが、30分を超える児童生徒も存在する。（p.97～98）
- ・ 通学時間に対する印象は「長い」「どちらかと言えば長い」が約4割で、現状に負担を感じている児童生徒が一定数いる。（p.99～100）

### （4）学校と地域との関わりについて

- ・ 児童・生徒の学びの場以外に担っている、または担うべき役割については、「児童・生徒の放課後の居場所・活動場所としての役割」「地域の防災の拠点としての役割」「地域コミュニティや地域のつながりに関わる活動・交流の拠点としての役割」が多い。（p.101～105）
- ・ 一定条件下での開放が望ましい施設については、「図書室」「音楽室」が多いが、それ以上に「現状のままでよい」の意見が多数を占め、開放についてはさほど積極的には望まれていない。（p.106～109）
- ・ 学校敷地内や校舎内に併設されることが望ましい公共施設については、「民営の幼稚園、保育園含む子育て支援施設」が最も多く、次いで「公民館やコミュニティセンター等の市民文化系施設」である。前述の児童・生徒の学びの場以外に担っている、または担うべき役割の回答傾向に対応している。一方で、児童生徒の保護者や教員において「他の施設の整備は望ましくない」の意見も多いことに留意する必要がある。（p.110～114）
- ・ 地域の支援については、教員側では「特に支援を必要とするものはない」という意見はほとんどなく、授業の支援、環境整備など様々な参画を望んでいる。一方、地域の側では参加したい・協力したい内容は様々ありつつも、「特に参加したい取組はない」という回答も多い。取り組みやすい形態にしながら、学校側（教育委員会）から地域に発信していくことがまず重要である。（p.115～120）
- ・ 学校の先生が負担に感じる業務は、「学校徴収金の集金や管理、支払等の業務」「地域や保護者対応」「調査・統計等への回答」など、直接子どもたちに関わらない内容のことが多い。負担が軽減された場合の時間の使い方として「児童生徒と向き合う時間」「授業準備」が多く挙げられていることから、教員が担っている業務を一度棚卸して、必ずしも現場の教員が対応する必要がないものは出来る限り軽減し、子どもたちに向き合う時間を増やすことで子どもと教員両者にとってのウェルビーイングにつながる。（p.121～124）

### 第3章 調査結果 -単純集計-

#### ■あなた自身のことについてお聞きします

##### (1) 年代

[1つ回答]

選択肢	回答者の属性（割合）							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
10歳代			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.5%	0.0%
20歳代			0.8%	0.1%	16.5%	12.7%	7.3%	6.7%
30歳代			29.0%	8.9%	31.4%	27.6%	12.1%	60.9%
40歳代			60.7%	67.9%	18.9%	17.2%	20.7%	31.0%
50歳代			9.3%	22.5%	24.6%	29.0%	17.1%	1.2%
60歳代			0.1%	0.5%	8.7%	13.6%	20.1%	0.3%
70歳代			0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	19.1%	0.0%
無回答			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%

●児童・生徒の保護者

【児童の保護者】

回答者は「20歳代」が約1%、「30歳代」が約29%で「40歳代」が約61%である。50歳代以上は約9%となった。

【生徒の保護者】

回答者は「20歳代」が1件（0.1%）で、「30歳代」が約9%で「40歳代」が約68%である。50歳代以上は約23%となった。

●教員

【小学校教員】

回答者は「20歳代」が約16%、「30歳代」が約31%で「40歳代」が約19%である。50歳代以上は約33%となった。

【中学校教員】

回答者は「20歳代」が約13%、「30歳代」が約28%で「40歳代」が約17%である。50歳代以上は約43%となった。

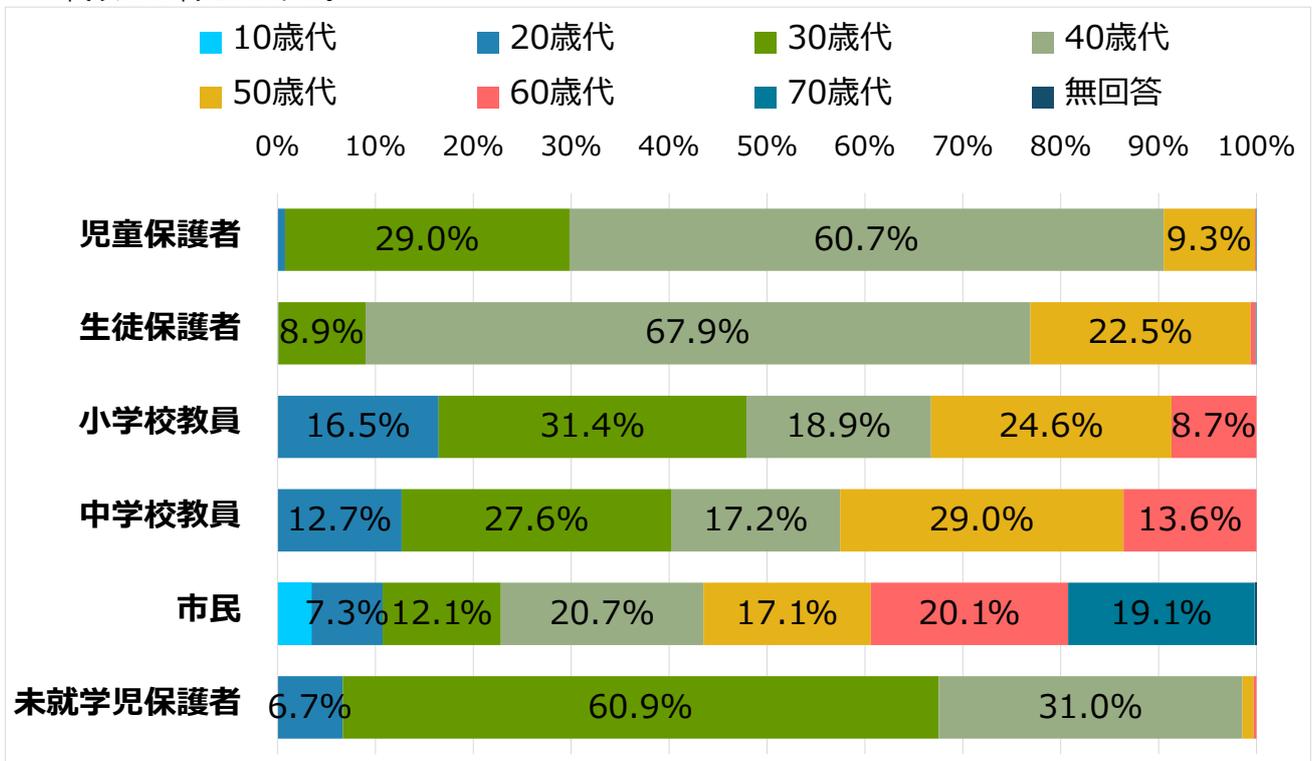
●市民・未就学児の保護者

【市民】

回答者は「10歳代」と「20歳代」で約11%、「30歳代」が約12%、「40歳代」が約21%、「50歳代」が約17%となり、60歳代以上は約39%である。

【未就学児の保護者】

10代の回答者はなく、「20歳代」で約7%、「30歳代」が約61%、「40歳代」が約31%となり、50歳代以上は約1%である。



(児童の保護者：n=2,045、生徒の保護者：n=1,156、小学校教員：n=334、中学校教員：n=221、市民：n=1,115、未就学児の保護者：n=345)

(2) 学年/学級  
[1つ回答]

選択肢	回答者の属性（割合）							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
小学校1年生	0.0%		14.2%					
小学校2年生	0.0%		13.5%					
小学校3年生	0.0%		16.0%					
小学校4年生	32.5%		17.8%					
小学校5年生	34.6%		19.3%					
小学校6年生	32.9%		19.2%					
中学校1年生		32.9%		31.5%				
中学校2年生		33.0%		35.8%				
中学校3年生		34.1%		32.7%				

●児童・生徒

【児童】

回答児童は「小学4年生」が約33%、「小学5年生」が約35%で「小学6年生」が約33%である。

【生徒】

回答生徒は「中学1年生」が約33%、「中学2年生」が約33%で「中学3年生」が約34%である。

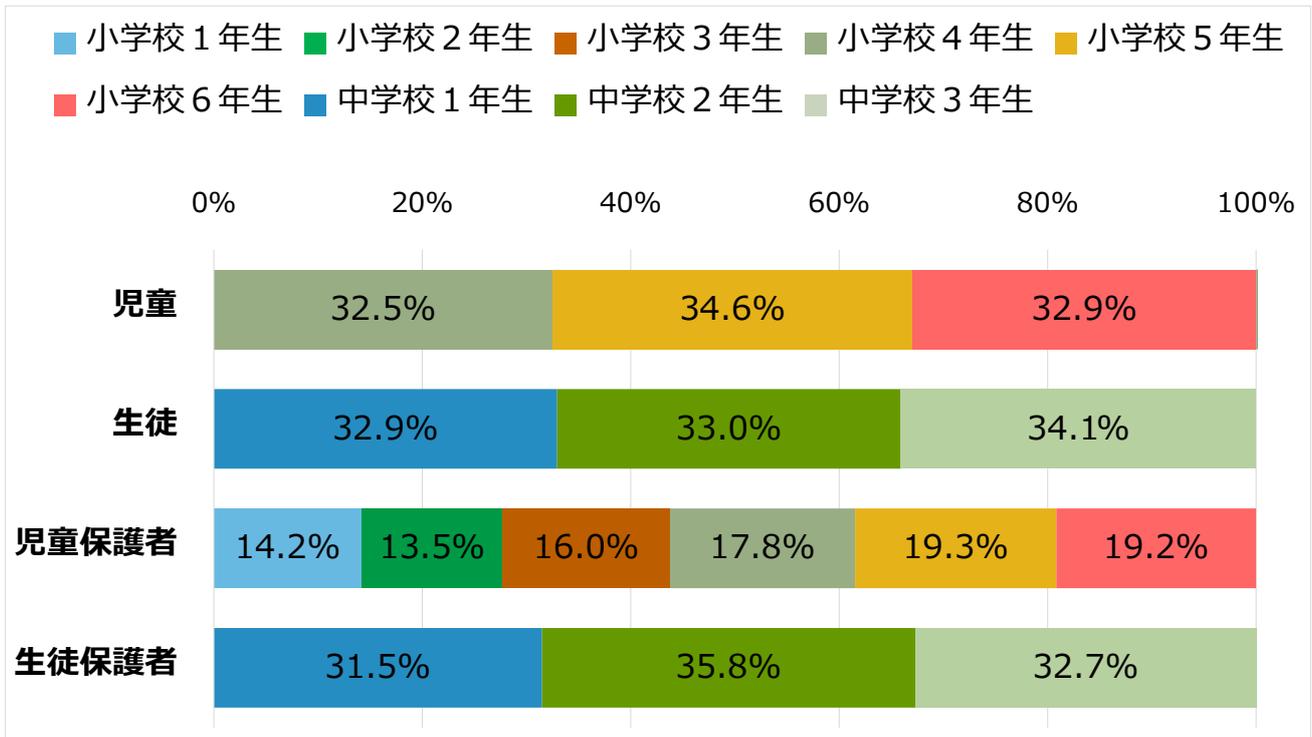
●児童・生徒の保護者

【児童の保護者】

回答者の子どもの学年では回答率の高い順に「5年生」(19.3%)、「6年生」(19.2%)、「4年生」(17.8%)、「3年生」(16.0%)となり、約72%を占める。

【生徒の保護者】

回答者の子どもの学年では回答率の高い順に「2年生」(35.8%)、「3年生」(32.7%)、「1年生」(31.5%)である。



(児童：n=3,524、生徒：n=3,200、児童の保護者：n=2,045、生徒の保護者：n=1,156)

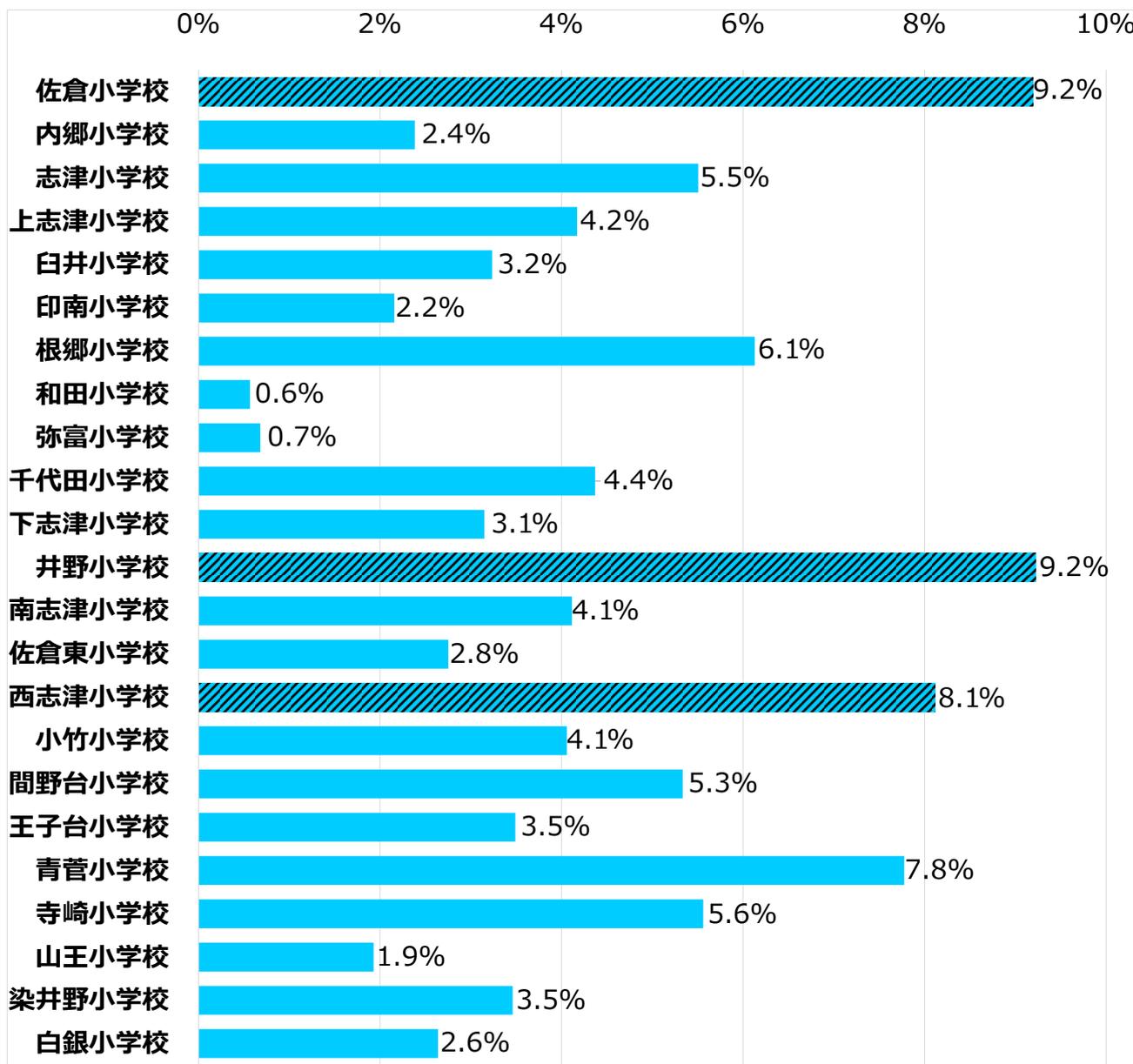
(3) 通学先/勤務校/居住地  
[1つ回答]

選択肢	回答者の属性（割合）							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
佐倉小学校	9.2%		8.9%		8.4%		7.5%	7.2%
内郷小学校	2.4%		2.8%		3.6%		2.4%	2.9%
志津小学校	5.5%		4.8%		5.7%		5.0%	7.2%
上志津小学校	4.2%		4.7%		5.1%		4.0%	4.1%
臼井小学校	3.2%		3.1%		6.0%		7.2%	4.3%
印南小学校	2.2%		1.6%		3.0%		3.5%	1.4%
根郷小学校	6.1%		6.3%		4.5%		6.4%	3.5%
和田小学校	0.6%		0.9%		3.0%		1.1%	0.0%
弥富小学校	0.7%		0.8%		1.5%		0.4%	0.6%
千代田小学校	4.4%		4.1%		3.9%		3.3%	2.6%
下志津小学校	3.1%		2.9%		5.7%		1.7%	2.9%
井野小学校	9.2%		8.8%		5.4%		5.6%	9.6%
南志津小学校	4.1%		3.6%		5.4%		2.7%	2.9%
佐倉東小学校	2.8%		2.7%		2.4%		3.1%	2.9%
西志津小学校	8.1%		9.8%		5.1%		6.8%	10.7%
小竹小学校	4.1%		4.4%		2.4%		3.6%	6.4%
間野台小学校	5.3%		7.4%		4.2%		6.2%	6.7%
王子台小学校	3.5%		3.8%		3.0%		6.3%	5.2%
青菅小学校	7.8%		5.8%		5.7%		2.6%	4.3%
寺崎小学校	5.6%		5.5%		6.0%		6.2%	5.8%
山王小学校	1.9%		1.6%		2.1%		2.6%	2.9%
染井野小学校	3.5%		2.8%		4.8%		5.1%	1.4%
白銀小学校	2.6%		2.9%		3.3%		3.1%	0.6%
その他	0.0%		0.0%		0.0%		3.4%	3.8%
無回答	0.0%		0.0%		0.0%		0.1%	0.0%
佐倉中学校		13.3%		13.0%		11.8%		
志津中学校		19.1%		15.9%		15.4%		
上志津中学校		7.8%		8.6%		8.6%		
南部中学校		3.5%		5.6%		6.8%		
臼井中学校		8.8%		7.8%		5.4%		
井野中学校		13.9%		13.0%		10.4%		
佐倉東中学校		7.0%		7.4%		10.0%		
臼井西中学校		7.1%		4.3%		9.0%		
西志津中学校		4.3%		12.8%		9.0%		
臼井南中学校		9.3%		6.3%		8.6%		
根郷中学校		6.1%		5.3%		5.0%		

●児童・生徒

【児童】

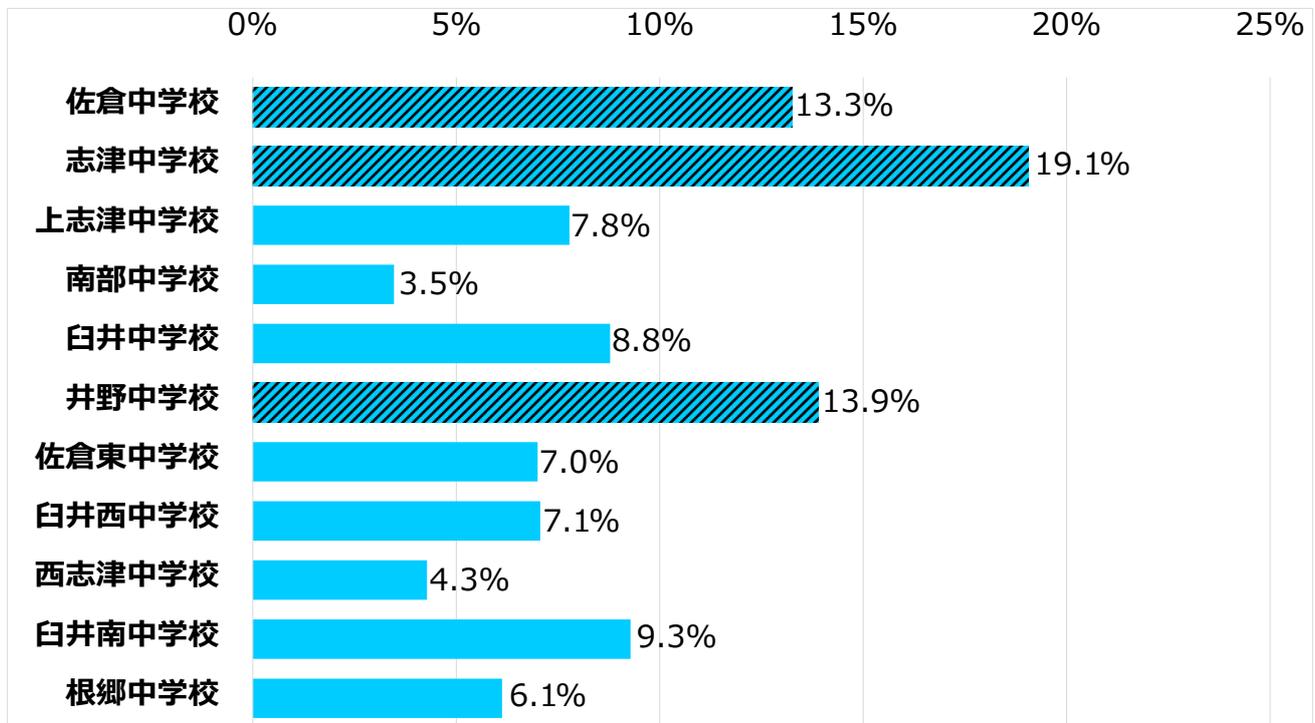
通っている学校は、回答率の高い順に「佐倉小学校」(9.2%)、「井野小学校」(9.2%)、「西志津小学校」(8.1%)、「青菅小学校」(7.8%)、「根郷小学校」(6.1%)となり、「寺崎小学校」、「志津小学校」が続く。



(児童：n=3,524)

【生徒】

通っている学校は、回答率の高い順に「志津中学校」(19.1%)、「井野中学校」(13.9%)、「佐倉中学校」(13.3%)、「臼井南中学校」(9.3%)、「臼井中学校」(8.8%)となり、「上志津中学校」、「臼井西中学校」が続く。

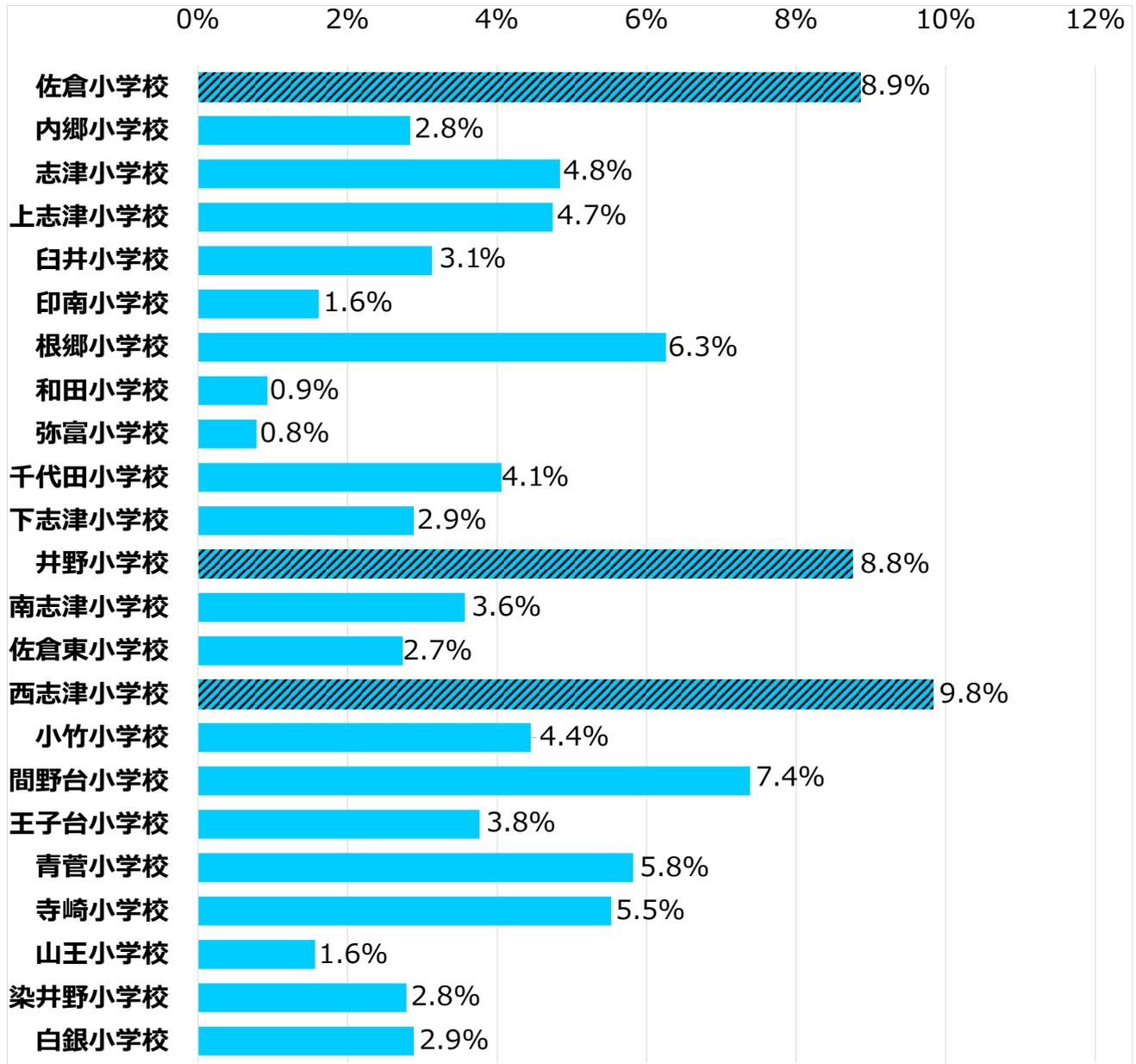


(生徒：n=3,200)

●児童・生徒の保護者

【児童の保護者】

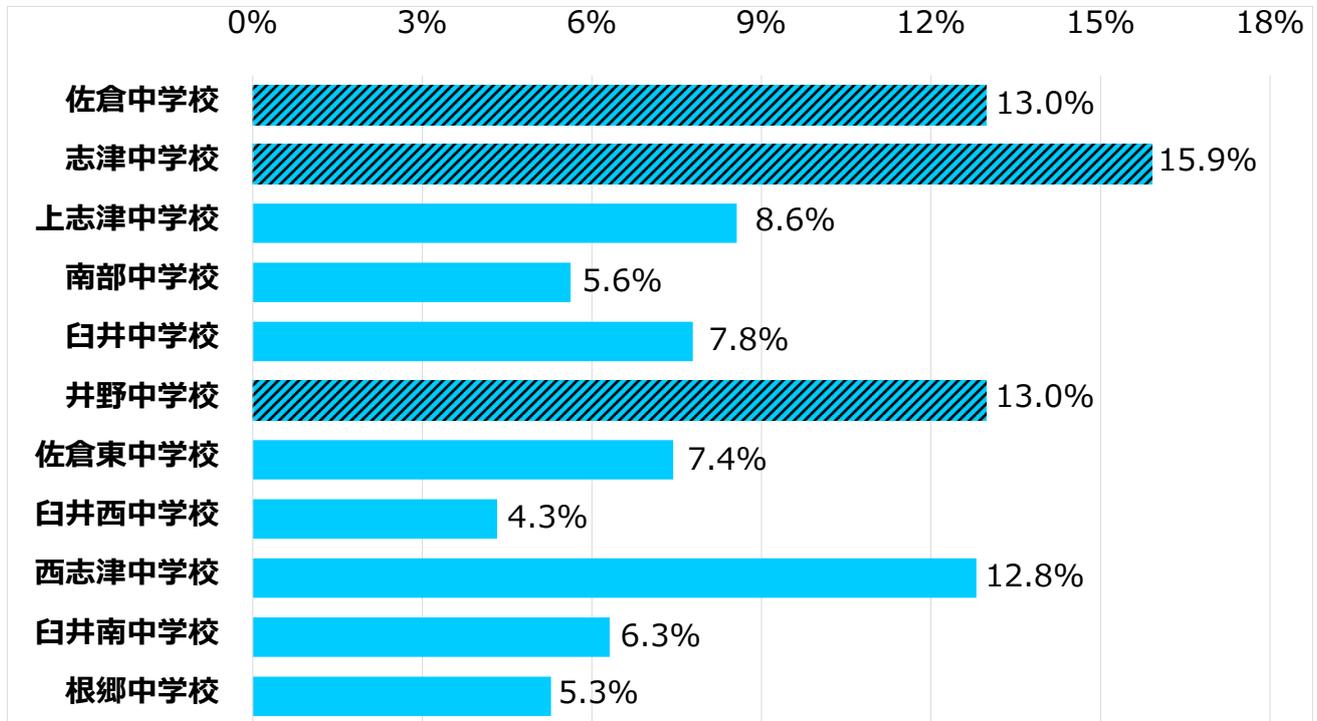
回答者の子どもの通っている学校は、回答率の高い順に「西志津小学校」(9.8%)、「佐倉小学校」(8.9%)、「井野小学校」(8.8%)、「間野台小学校」(7.4%)、「根郷小学校」(6.3%)となり、「青菅小学校」、「寺崎小学校」が続く。



(児童の保護者:n=2,045)

【生徒の保護者】

回答者の子どもの通っている学校は、回答率の高い順に「志津中学校」(15.9%)、「佐倉中学校」(13.0%)、「井野中学校」(13.0%)、「西志津中学校」(12.8%)、「上志津中学校」(8.6%)となり、「臼井中学校」、「佐倉東中学校」が続く。

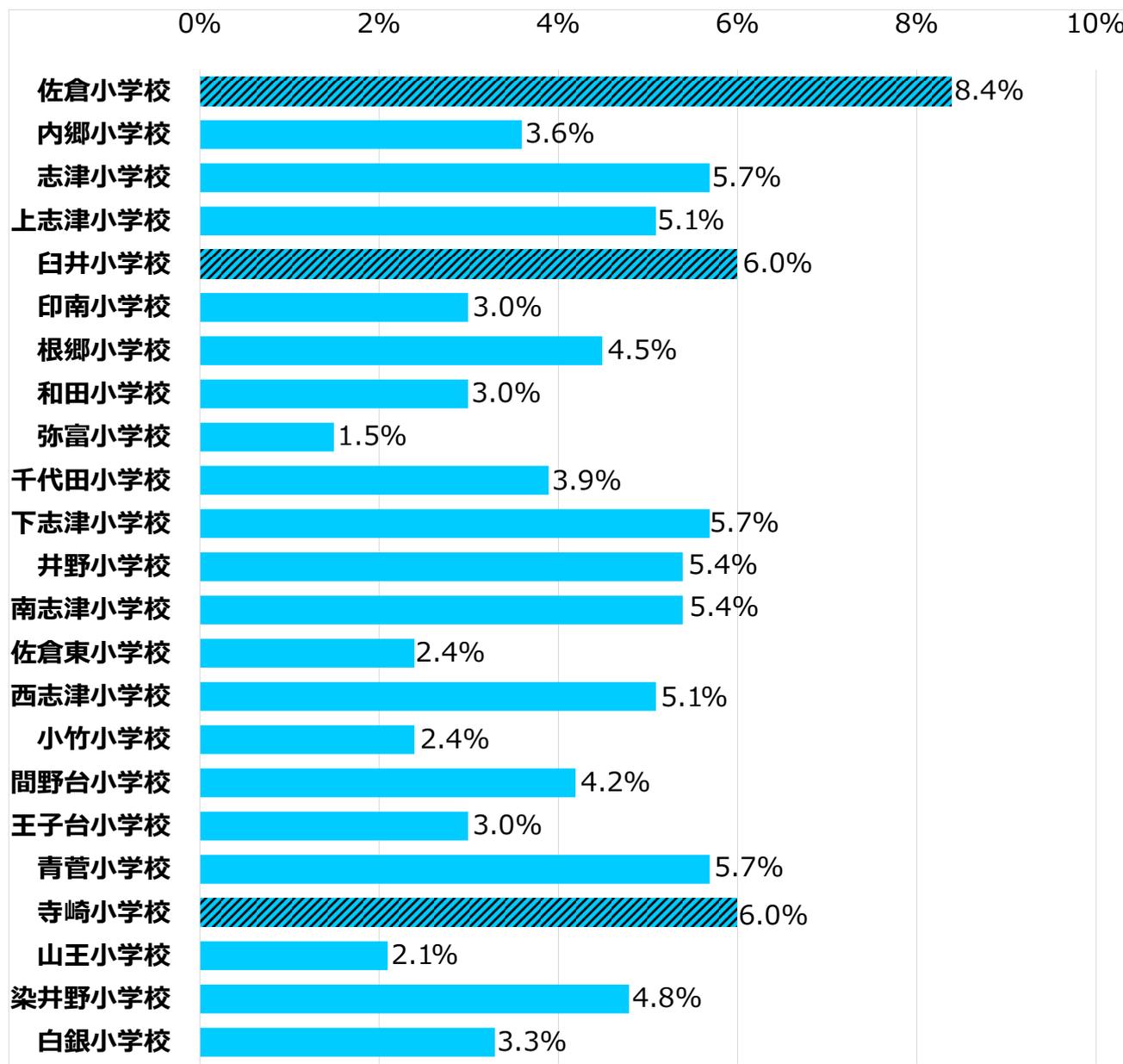


(生徒の保護者:n=1,156)

●教員

【小学生教員】

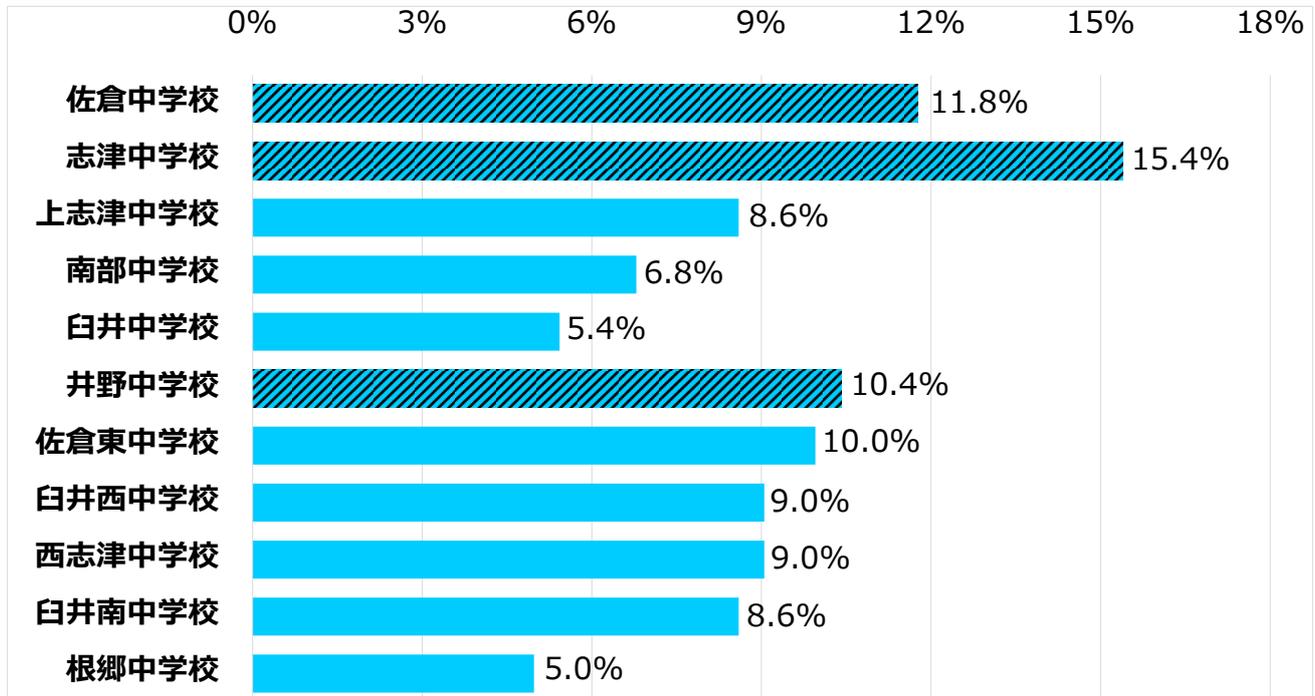
勤務校は、回答率の高い順に「佐倉小学校」(8.4%)、「臼井小学校」(6.0%)、「寺崎小学校」(6.0%)、「志津小学校」(5.7%)、「下志津小学校」(5.7%)、「青菅小学校」(5.7%)となり「南志津小学校」が続く。



(小学生教員:n=334)

【中学生教員】

勤務校は、回答率の高い順に「志津中学校」(15.4%)、「佐倉中学校」(11.8%)、「井野中学校」(10.4%)、「佐倉東中学校」(10.0%)、「臼井西中学校」(9.0%)、「西志津中学校」(9.0%)となり、「臼井南中学校」が続く。

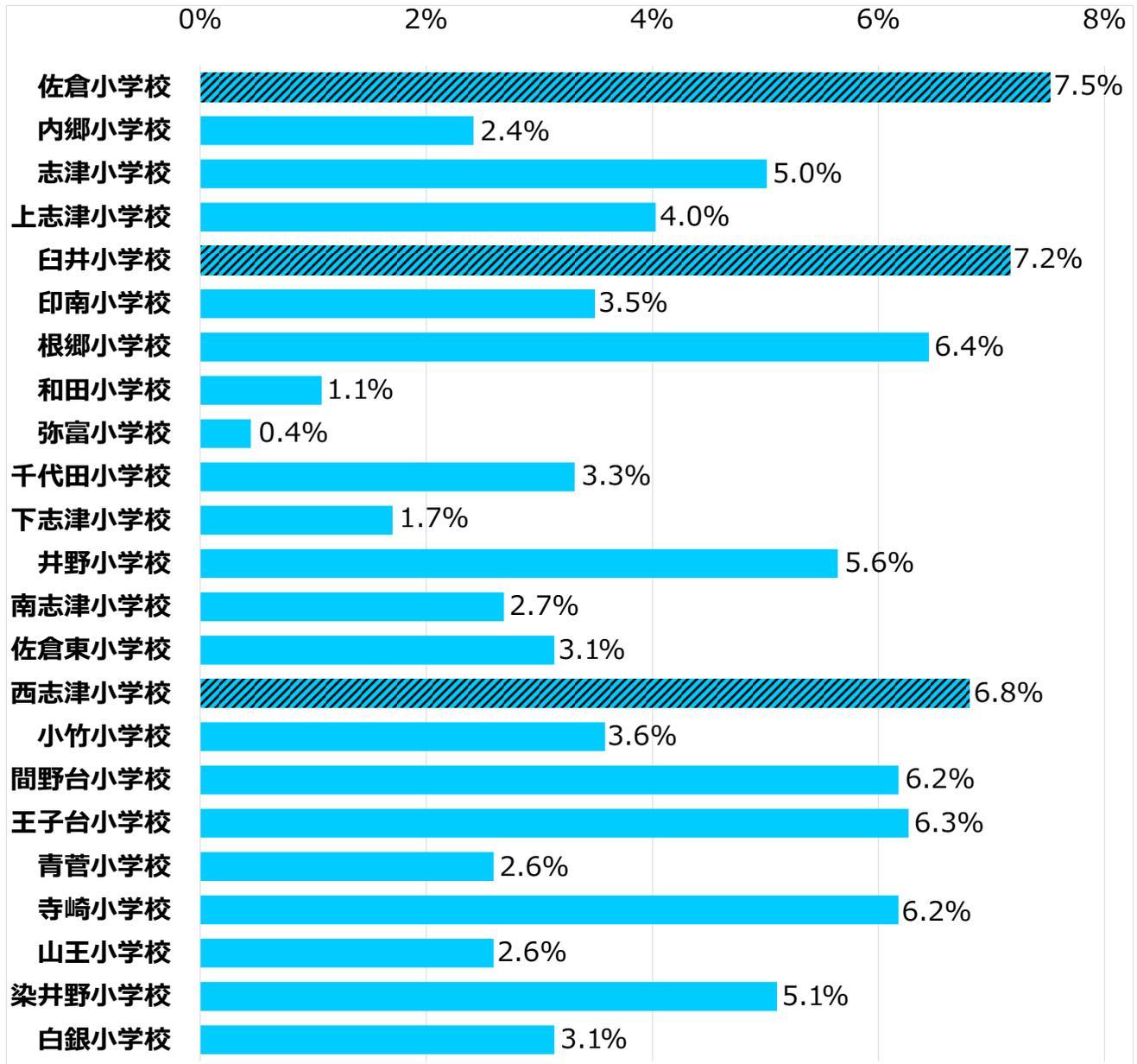


(中学生教員:n=221)

●市民・未就学児の保護者

【市民】

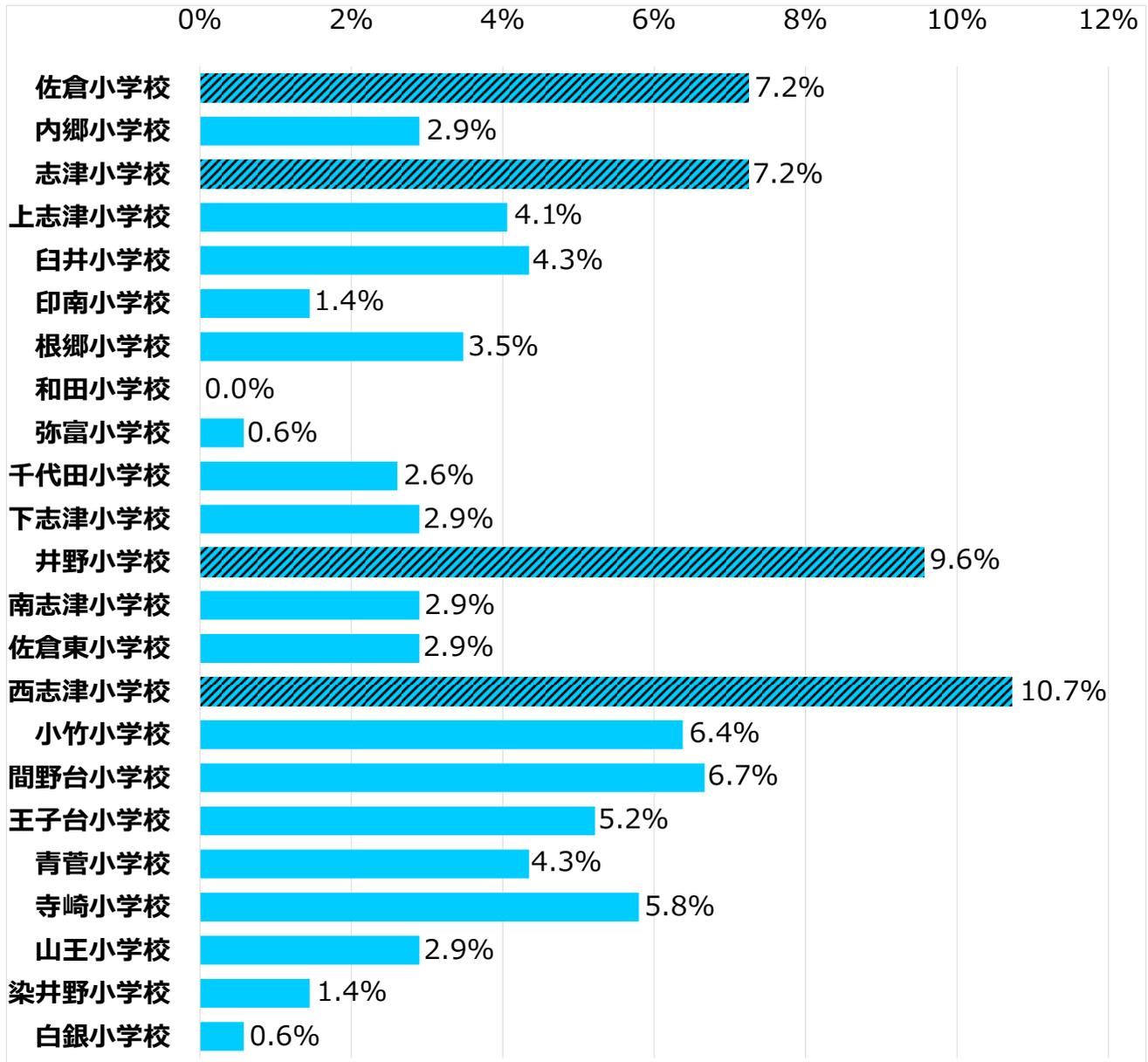
回答者の居住地の学校区は、回答率の高い順に「佐倉小学校」(7.5%)、「白井小学校」(7.2%)、「西志津小学校」(6.8%)、「根郷小学校」(6.4%)、「王子台小学校」(6.3%)となり、「間野台小学校」、「寺崎小学校」が続く。



(市民:n=1,116)

【未就学児の保護者】

回答者の居住地の学校区は、回答率の高い順に「西志津小学校」(10.7%)、「井野小学校」(9.6%)、「佐倉小学校」(7.2%)、「志津小学校」(7.2%)、「間野台小学校」(6.7%)となり、「小竹小学校」、「寺崎小学校」が続く。



(未就学児の保護者:n=345)

■今後、学校教育に求めること・期待することに関して、あなたのお考えをお伺いします

(4) 学校で過ごす時間について

[1つ回答]

選択肢	回答者の属性（割合）							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
楽しい	56.2%	52.2%						
まあまあ楽しい	35.4%	39.6%						
あまり楽しくない	6.2%	6.4%						
楽しくない	2.0%	1.7%						
無回答	0.1%	0.0%						

●児童・生徒

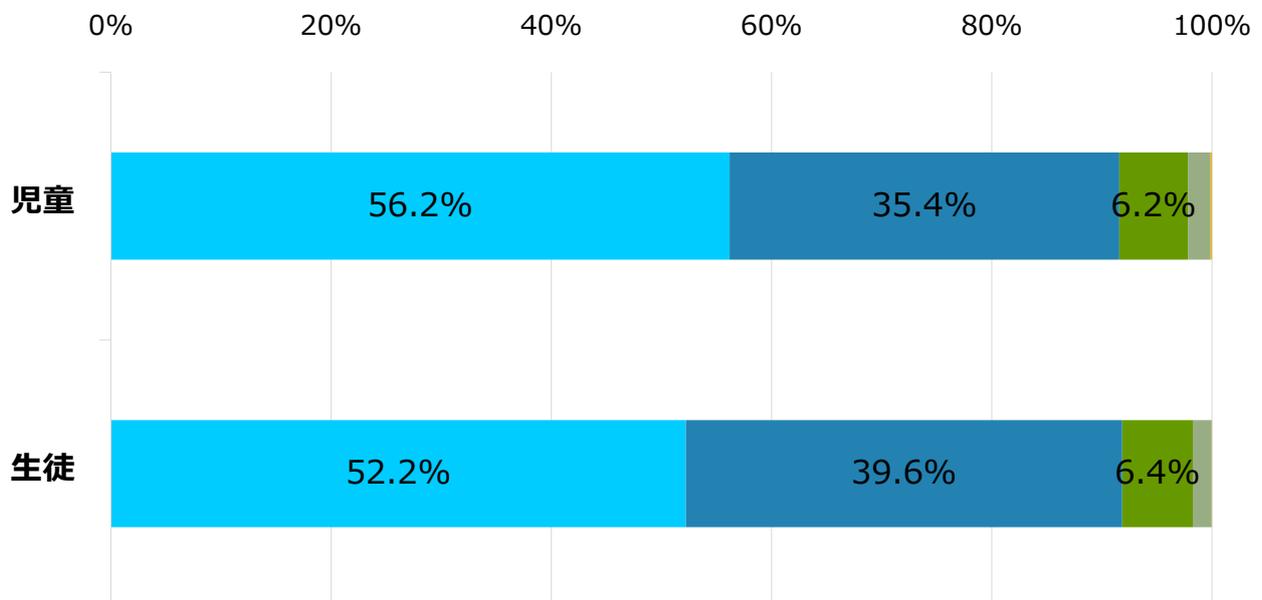
【児童】

学校で過ごす時間の感じ方では、「楽しい」と「まあまあ楽しい」の合計で約92%となる。一方で「あまり楽しくない」と「楽しくない」の合計は約8%となっている。

【生徒】

学校で過ごす時間の感じ方では、「楽しい」と「まあまあ楽しい」の合計で約92%となる。一方で「あまり楽しくない」と「楽しくない」の合計は約8%となっている。

■ 楽しい ■ まあまあ楽しい ■ あまり楽しくない ■ 楽しくない ■ 無回答



(児童：n=3,519、生徒：n=3,199)

(5) 「学校で過ごす時間について」の回答理由

[3つまで回答]

【楽しい、まあまあ楽しい】

選択肢	回答者の属性（割合）							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
楽しい授業がある	36.1%	31.7%						
休み時間がある	42.8%	44.5%						
読書の時間がある	8.6%	5.1%						
楽しい友達がいる	76.7%	84.4%						
楽しい先生がいる	24.4%	19.6%						
楽しい学校行事がある	20.3%	24.0%						
給食の時間がある	25.2%	19.6%						
委員会や係の活動がある	5.6%	2.0%						
クラブ活動/部活動がある	18.5%	30.8%						
その他	1.9%	0.9%						

調査対象	その他回答の件数(件)・主な意見	
児童	62	友達と会える、友達と遊べる、勉強できる
生徒	27	友達と会える、勉強できる、楽しいから

【あまり楽しくない、楽しくない】

選択肢	回答者の属性（割合）							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
授業が面白くない	26.7%	29.2%						
授業についていけない	14.4%	22.3%						
勉強がしたくない	33.9%	33.1%						
友達とうまくいかないことが多くある	38.7%	38.1%						
先生に不満がある	22.3%	25.8%						
学校生活でやりたくないことが多くある	22.3%	30.8%						
給食の時間がある	3.4%	5.4%						
委員会や係の活動がある	5.8%	3.1%						
クラブ活動/部活動がある	4.8%	10.0%						
その他	14.0%	15.4%						

調査対象	その他回答の件数(件)・主な意見	
児童	41	悪口を言われる、いじめられる、友達関係
生徒	40	仲のいい人がいない、クラスが嫌、人間関係

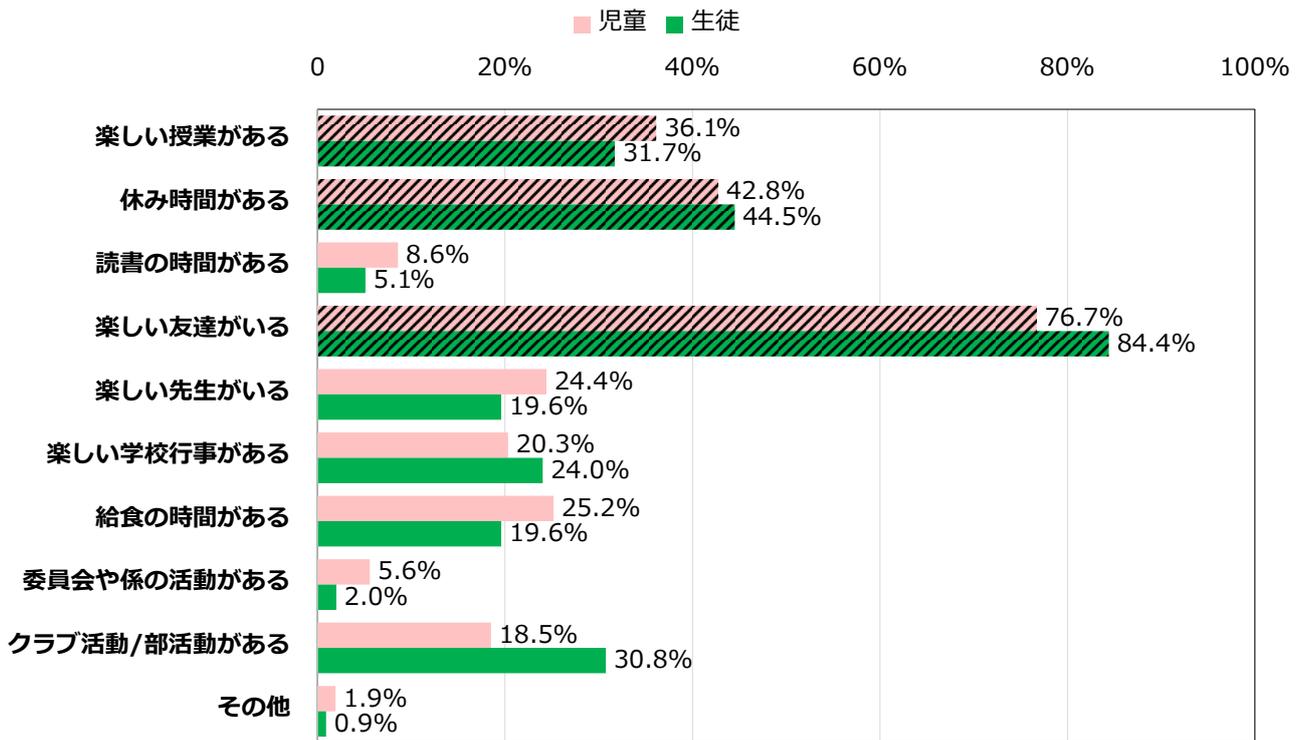
●児童・生徒

【児童（楽しい、まあまあ楽しい）】

問3で「楽しい」「まあまあ楽しい」と答えた理由は、「楽しい友達がいる」（76.7%）、「休み時間がある」（42.8%）、「楽しい授業がある」（36.1%）が上位3つとなった。

【生徒（楽しい、まあまあ楽しい）】

問3で「楽しい」「まあまあ楽しい」と答えた理由は、「楽しい友達がいる」（84.4%）、「休み時間がある」（44.5%）、「楽しい授業がある」（31.7%）が上位3つとなった。



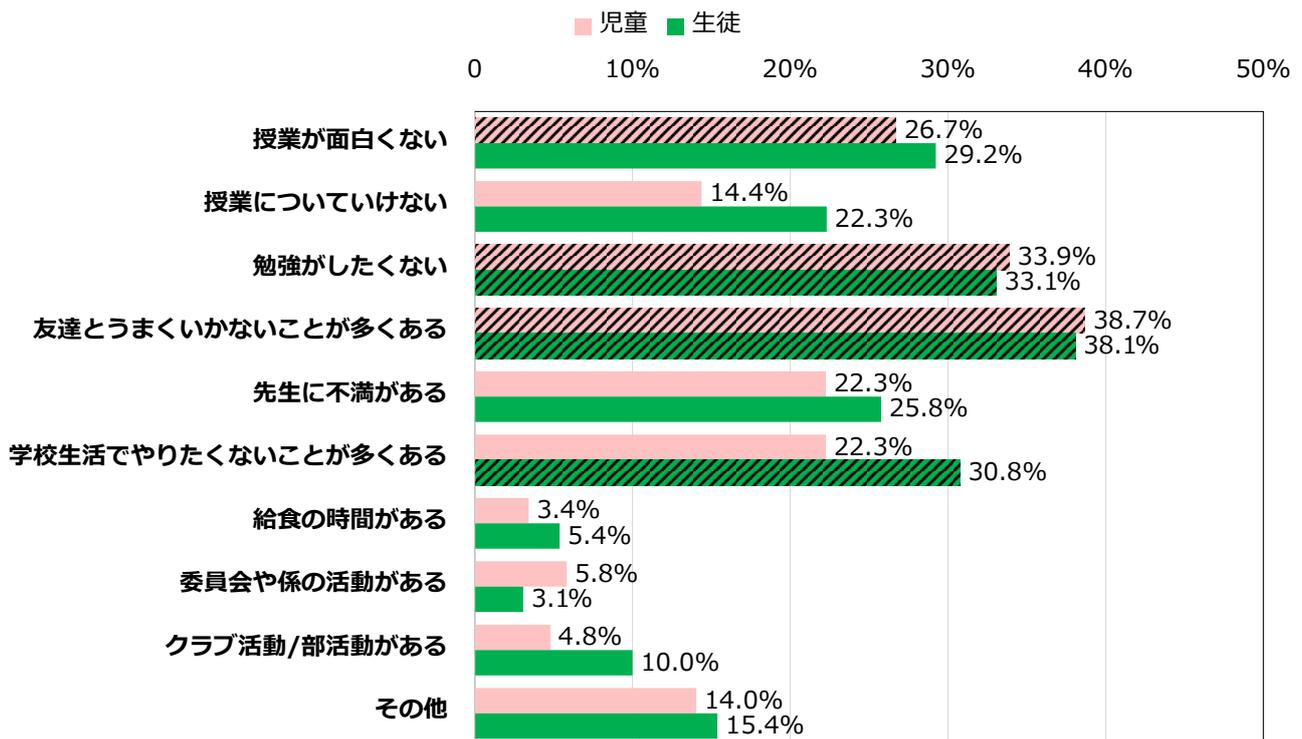
(児童：n=3,227、生徒：n=2,939)

【児童（あまり楽しくない、楽しくない）】

問3で「あまり楽しくない」「楽しくない」と答えた理由は、「友達とうまくいかないことが多くある」（38.7%）、「勉強がしたくない」（33.9%）、「授業が面白くない」（26.7%）が上位3つとなった。

【生徒（あまり楽しくない、楽しくない）】

問3で「あまり楽しくない」「楽しくない」と答えた理由は、「友達とうまくいかないことが多くある」（38.1%）、「勉強がしたくない」（33.1%）、「学校生活でやりたくないことが多くある」（30.8%）が上位3つとなった。



(児童：n=292、生徒：n=260)

(6) 不明点などを自分なりに調べたり考えたり出来ているか  
 [1つ回答]

選択肢	回答者の属性(割合)							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
できている	30.5%	39.0%						
どちらかと言えばできている	52.5%	48.4%						
どちらかと言えばできていない	14.2%	10.9%						
できていない	2.4%	1.6%						
無回答	0.4%	0.1%						

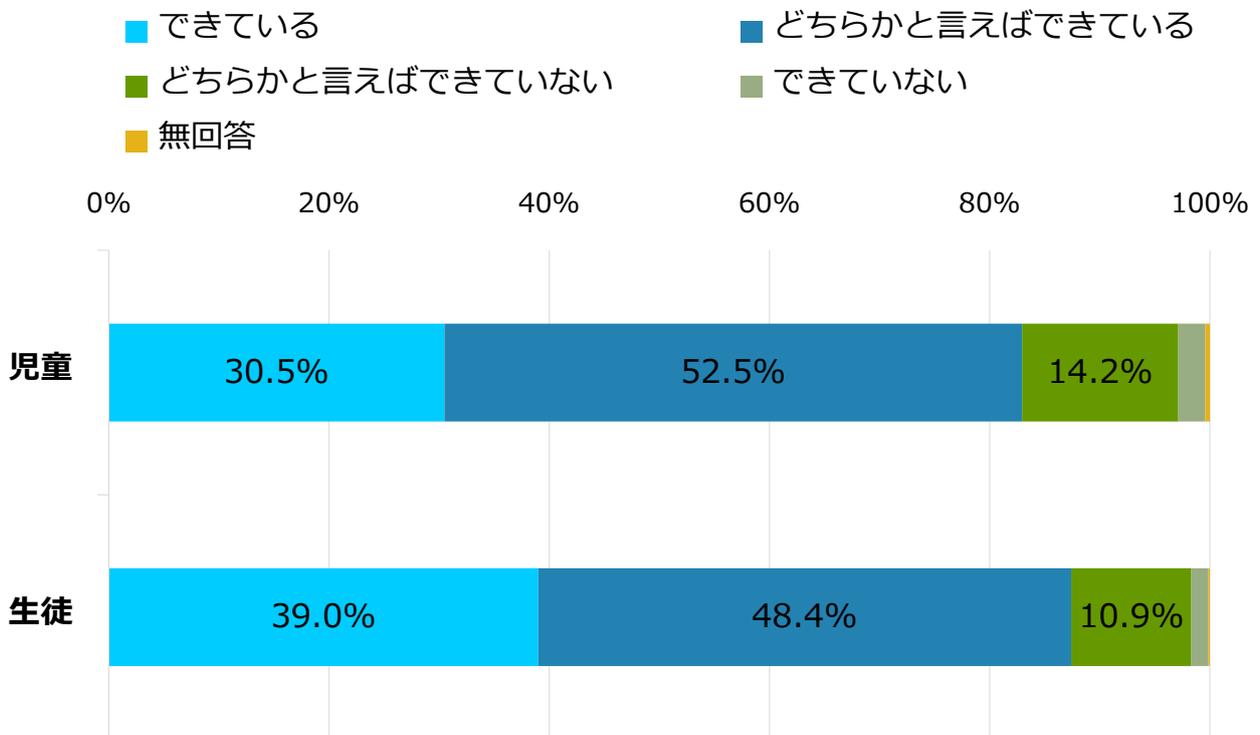
●児童・生徒

【児童】

分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で調べたり、自分なりに考えたりするなどの活動については、「できている」と「どちらかと言えばできている」の合計で約83%となる。一方で「どちらかと言えばできていない」と「できていない」の合計は約17%となっている。

【生徒】

分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で調べたり、自分なりに考えたりするなどの活動については、「できている」と「どちらかと言えばできている」の合計で約88%となる。一方で「どちらかと言えばできていない」と「できていない」の合計は約13%となっている。



(児童：n=3,509、生徒：n=3,196)

(7) 友達との話し合いを通じて、自分の考えを深めたり新たな考え方に気付いたり出来ているか

[1つ回答]

選択肢	回答者の属性（割合）							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
できている	41.2%	51.2%						
どちらかと言えばできている	45.8%	40.8%						
どちらかと言えばできていない	10.2%	6.4%						
できていない	2.3%	1.4%						
無回答	0.5%	0.2%						

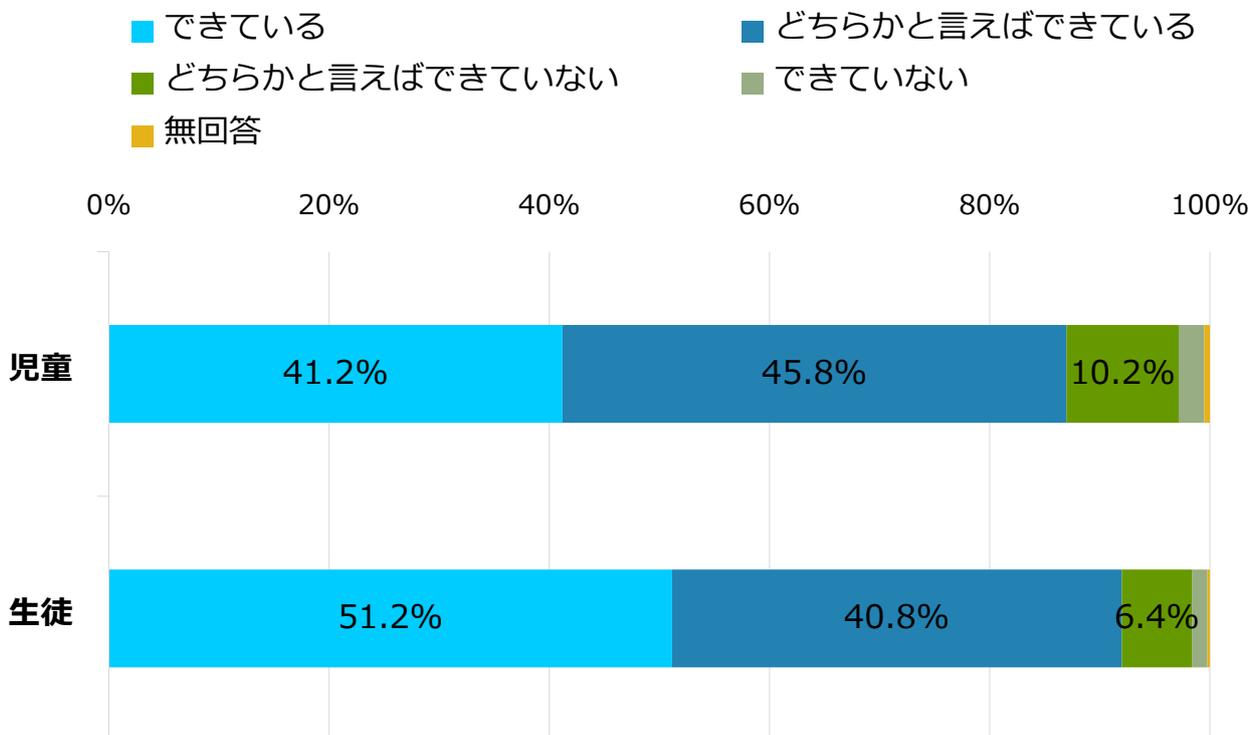
●児童・生徒

【児童】

クラスの友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることについては、「できている」と「どちらかと言えばできている」の合計で約 87%となる。一方で「どちらかと言えばできていない」と「できていない」の合計は約 13%となっている。

【生徒】

クラスの友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることについては、「できている」と「どちらかと言えばできている」の合計で約 92%となる。一方で「どちらかと言えばできていない」と「できていない」の合計は約 8%となっている。



(児童：n=3,506、生徒：n=3,193)

## (8) 授業中の不明点を教員が分かりやすく教えてくれるか

[1つ回答]

選択肢	回答者の属性 (割合)							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
教えてくれる	60.9%	45.8%						
ときどき教えてくれる	28.6%	40.5%						
あまり教えてくれない	4.9%	8.4%						
教えてくれない	1.0%	2.2%						
その他	3.8%	2.5%						
無回答	0.8%	0.7%						

調査対象	その他回答の件数(件)・主な意見	
児童	133	わからないことがない、わからない、友達が教えてくれる
生徒	80	わからないことがない、わからない、聞けば教えてくれる

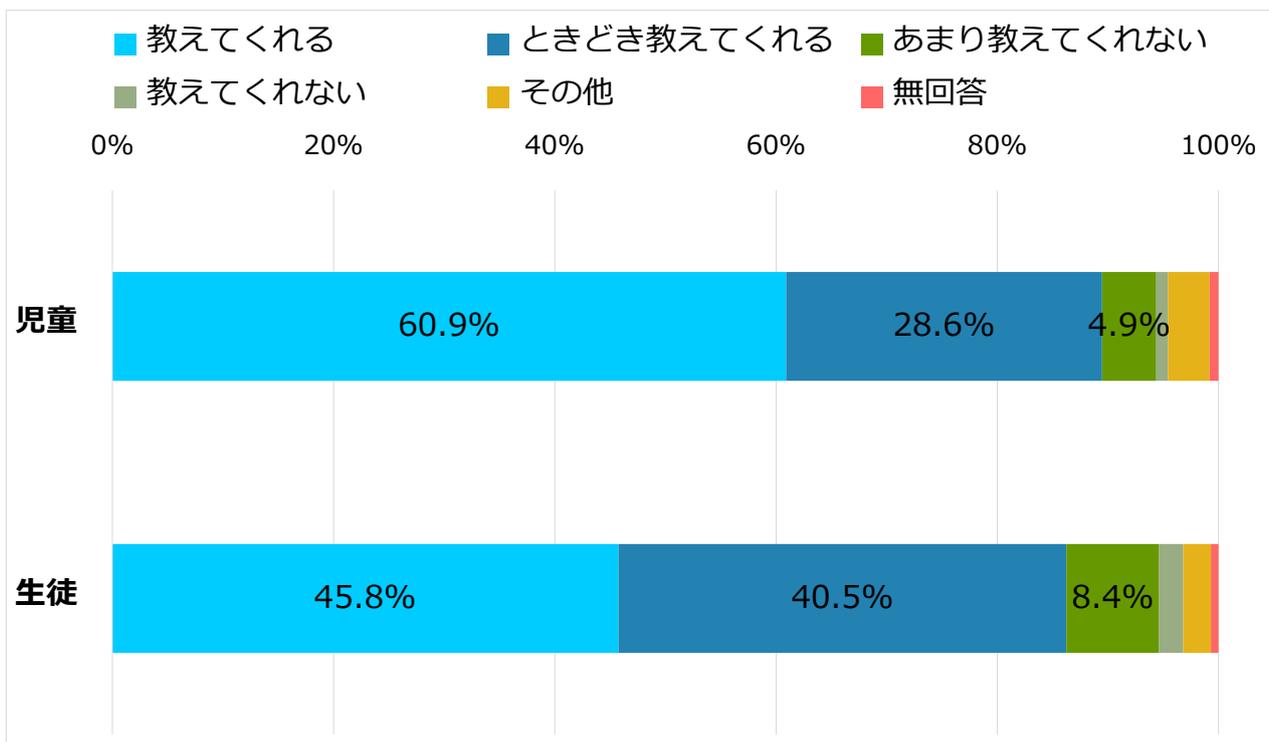
### ●児童・生徒

#### 【児童】

授業中、わからないことや困ったことがあったとき、先生が気付いて分かるように教えてくれるかどうかでは、「教えてくれる」と「ときどき教えてくれる」の合計で約90%となる。一方で「あまり教えてくれない」と「教えてくれない」の合計は約6%となっている。

#### 【生徒】

授業中、わからないことや困ったことがあったとき、先生が気付いて分かるように教えてくれるかどうかでは、「教えてくれる」と「ときどき教えてくれる」の合計で約86%となる。一方で「あまり教えてくれない」と「教えてくれない」の合計は約11%となっている。



(児童：n=3,496、生徒：n=3,178)

## (9) 心配事や不安に思うことの相談相手

[3つまで回答]

選択肢	回答者の属性（割合）							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
家族	72.1%	66.3%						
友達	60.9%	72.4%						
担任の先生	38.8%	36.5%						
別のクラスの先生	2.3%	4.3%						
兄弟姉妹の担任の先生	1.0%	0.4%						
クラブや部活動の先生	1.1%	6.3%						
保健室の先生	9.4%	5.2%						
相談室の先生	15.1%	5.7%						
教頭先生	2.4%	1.0%						
校長先生	2.7%	1.3%						
その他	3.5%	3.2%						

調査対象	その他回答の件数(件)・主な意見	
児童	124	いない、誰にも言わない、自分
生徒	99	誰にも相談しない、いない、先生

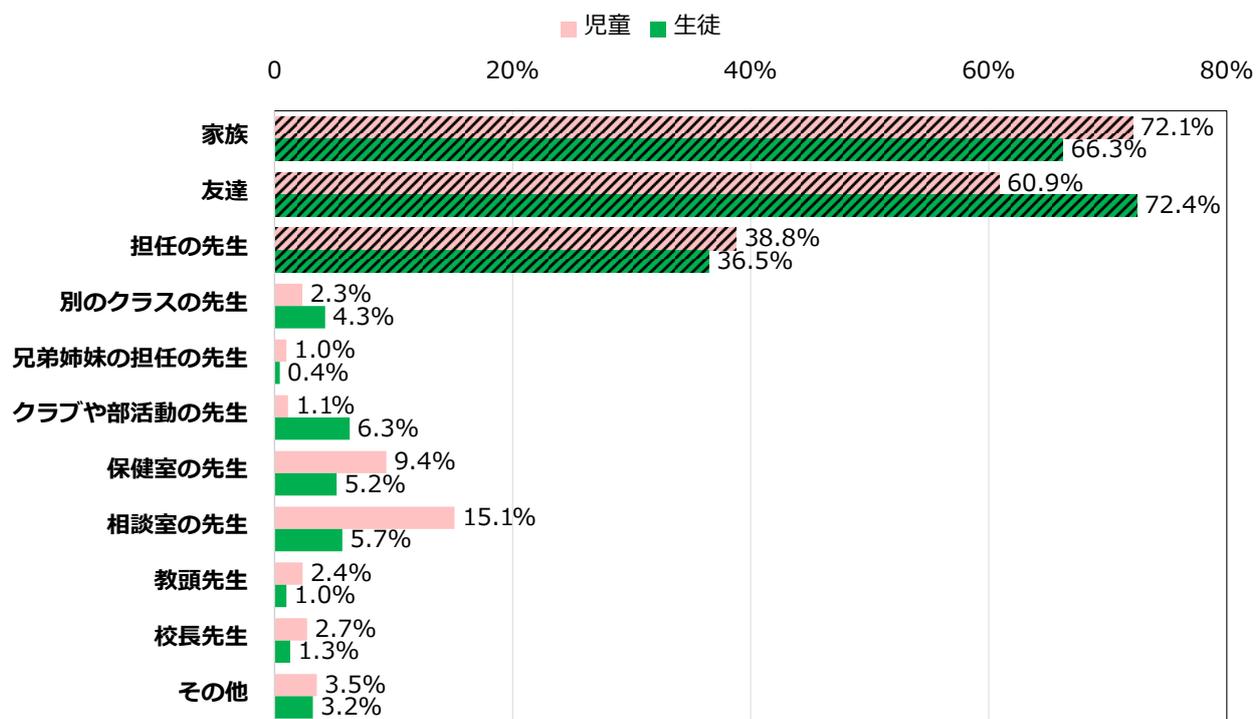
## ●児童・生徒

### 【児童】

学校生活のことで心配事や不安に思うことがあったときに相談したいと思う相手は、「家族」(72.1%)、「友達」(60.9%)、「担任の先生」(38.8%)が上位3つとなった。

### 【生徒】

学校生活のことで心配事や不安に思うことがあったときに相談したいと思う相手は、「友達」(72.4%)、「家族」(66.3%)、「担任の先生」(36.5%)が上位3つとなった。



(児童：n=3,524、生徒：n=3,200)

## (10) 望ましい将来像

### [3つまで回答]

選択肢	回答者の属性（割合）							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
佐倉のよさがわかり、佐倉のまちを大切にできる人	24.8%	6.3%	3.6%	2.8%	10.8%	9.0%	10.1%	4.3%
積極的に学び行動する人	12.3%	19.9%	33.5%	35.1%	25.7%	21.7%	25.7%	31.0%
他人に対する思いやりのある人	61.2%	68.1%	72.6%	70.8%	77.8%	75.6%	67.3%	72.2%
良いことと悪いことの区別をきちんと判断し、行動できる人	50.1%	54.5%	66.6%	64.6%	67.4%	67.9%	67.3%	62.9%
豊かな知識を持つ人	17.4%	16.2%	9.3%	12.0%	3.0%	5.9%	10.0%	7.5%
社会の役に立つことを進んでできる人	23.2%	18.5%	8.5%	9.9%	19.2%	21.7%	13.3%	5.5%
新しいものに挑戦し、何事にも一生懸命に取り組める人	30.2%	28.6%	34.3%	32.1%	29.0%	29.0%	29.4%	33.6%
国際的に活躍できる人	7.3%	8.8%	7.0%	5.8%	2.4%	4.1%	8.3%	10.4%
自己を表現し、個性を発揮できる人	15.3%	26.7%	19.8%	18.3%	12.6%	14.0%	15.0%	21.4%
多様な考えがあることを認識し、協力して行動できる人	18.7%	27.9%	37.5%	39.0%	47.3%	46.2%	43.8%	43.5%
その他	3.2%	2.1%	0.5%	1.2%	0.6%	0.0%	2.0%	2.3%

調査対象	その他回答の件数(件)・主な意見	
児童	113	優しい人、頼りがいのある人、1～10の選択肢全て
生徒	67	信念を持った人、自他を尊重できる人、お金を稼げる人
児童保護者	11	最後まで諦めない人、自分に自信を持てる人
生徒保護者	12	自立している人、自他を尊重できる人
教員（小学校）	2	自分の力でお金を稼ぎ安定した生活ができる人、さまざまな困難にも前向きに乗り越えようとする人
教員（中学校）	0	—
市民	22	自分で考えることができる人、自立している人、世の中の変化に対応できる人
未就学児保護者	8	多様な考えがある人、自分軸を持って生きられる人、傷つきにくい大人

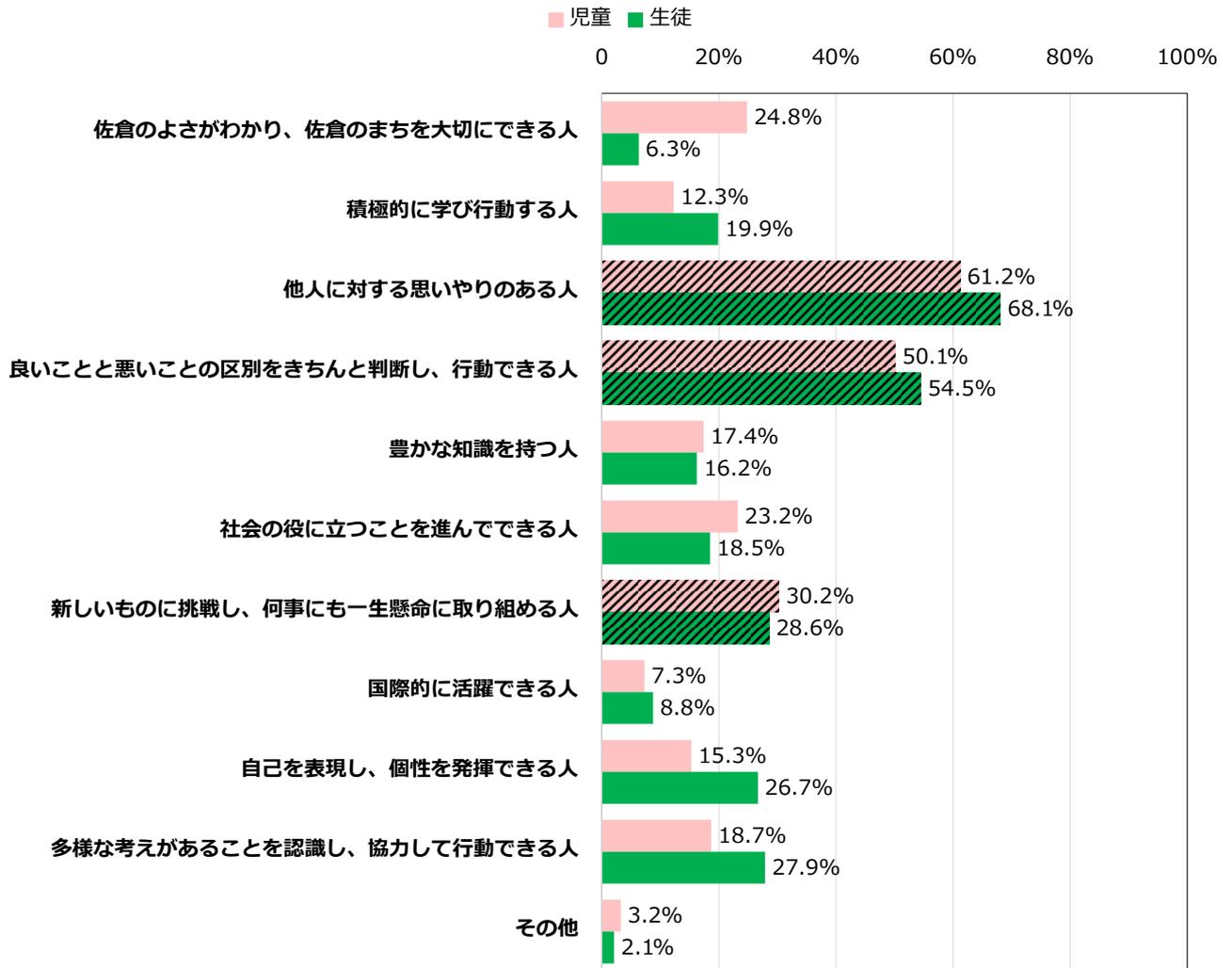
●児童・生徒

【児童】

将来どんな大人になることが大切だと思うかについては、「他人に対する思いやりのある人」(61.2%)、「良いことと悪いことの区別をきちんと判断し、行動できる人」(50.1%)、「新しいものに挑戦し、何事にも一生懸命に取り組める人」(30.2%)が上位3つとなった。

【生徒】

将来どんな大人になることが大切だと思うかについては、「他人に対する思いやりのある人」(68.1%)、「良いことと悪いことの区別をきちんと判断し、行動できる人」(54.5%)、「新しいものに挑戦し、何事にも一生懸命に取り組める人」(28.6%)が上位3つとなった。



(児童：n=3,524、生徒：n=3,200)

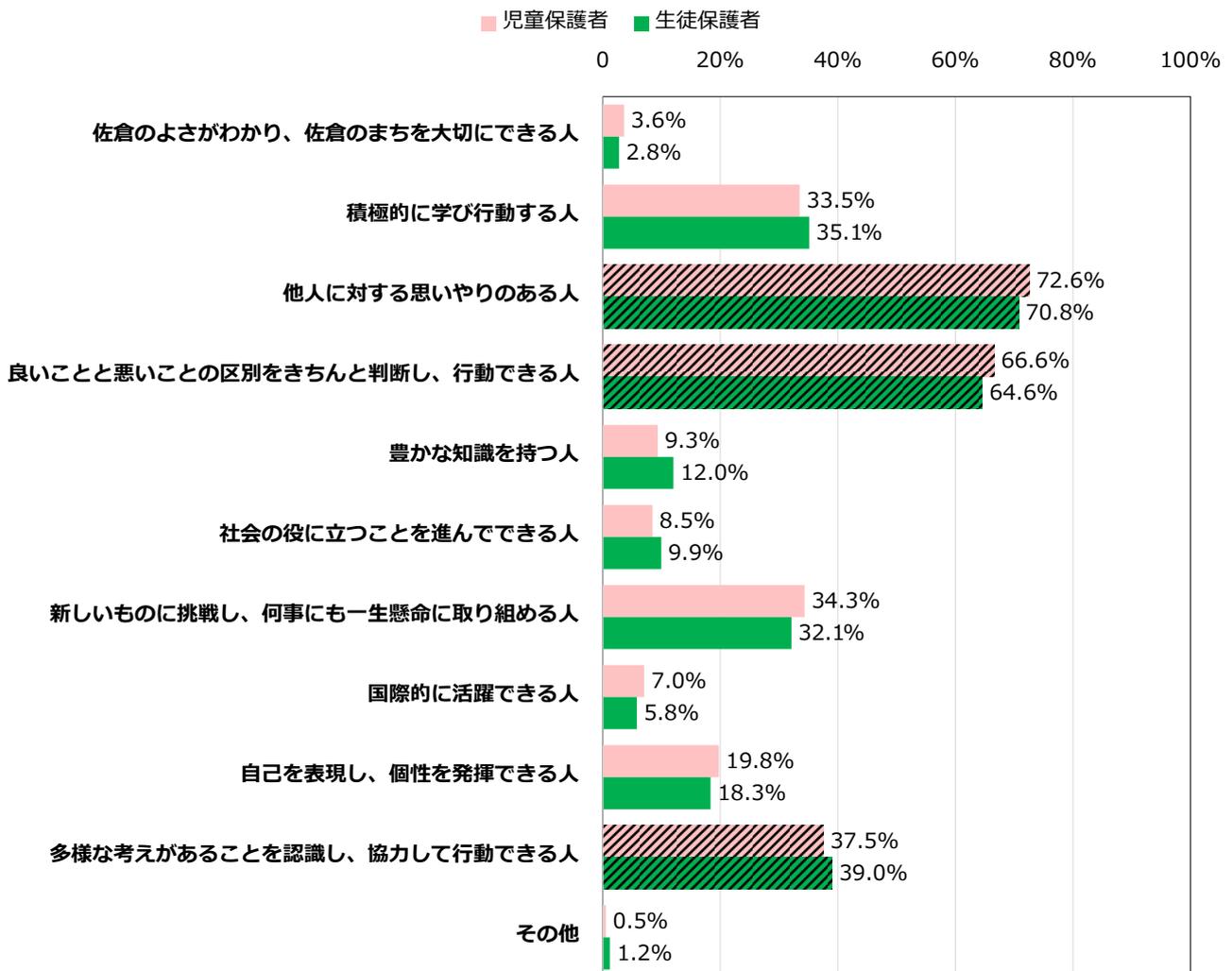
●児童・生徒の保護者

【児童の保護者】

子どもにどのような大人に育ってもらいたいかについては、「他人に対する思いやりのある人」(72.6%)、「良いことと悪いことの区別をきちんと判断し、行動できる人」(66.6%)、「多様な考えがあることを認識し、協力して行動できる人」(37.5%)が上位3つとなった。

【生徒の保護者】

子どもにどのような大人に育ってもらいたいかについては、「他人に対する思いやりのある人」(70.8%)、「良いことと悪いことの区別をきちんと判断し、行動できる人」(64.6%)、「多様な考えがあることを認識し、協力して行動できる人」(39.0%)が上位3つとなった。



(児童の保護者：n=2,045、生徒の保護者：n=1,156)

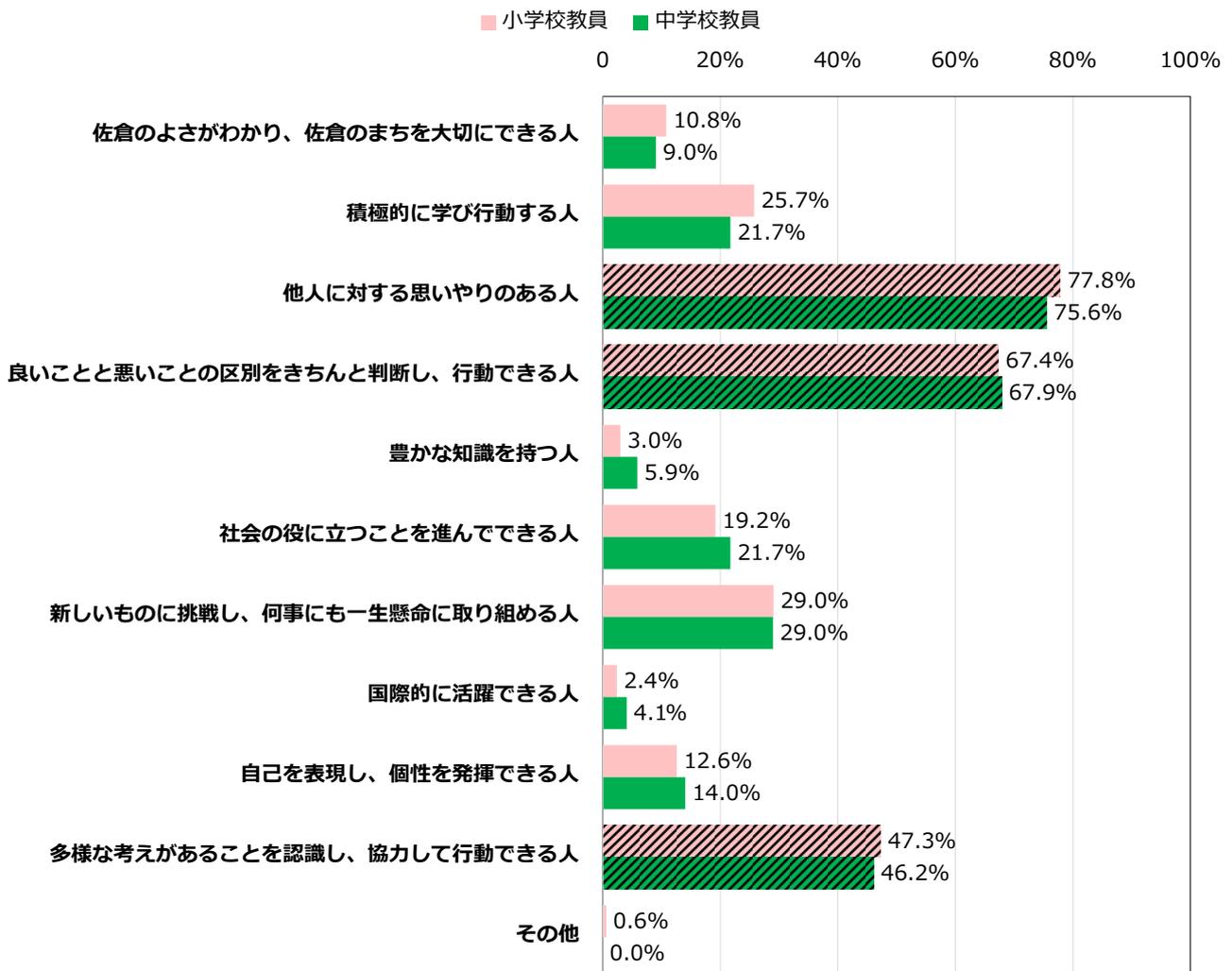
●教員

【小学校教員】

子どもたちに、どのような大人に育ってほしいかについては、「他人に対する思いやりのある人」(77.8%)、「良いことと悪いことの区別をきちんと判断し、行動できる人」(67.4%)、「多様な考えがあることを認識し、協力して行動できる人」(47.3%)が上位3つとなった。

【中学校教員】

子どもたちに、どのような大人に育ってほしいかについては、「他人に対する思いやりのある人」(75.6%)、「良いことと悪いことの区別をきちんと判断し、行動できる人」(67.9%)、「多様な考えがあることを認識し、協力して行動できる人」(46.2%)が上位3つとなった。

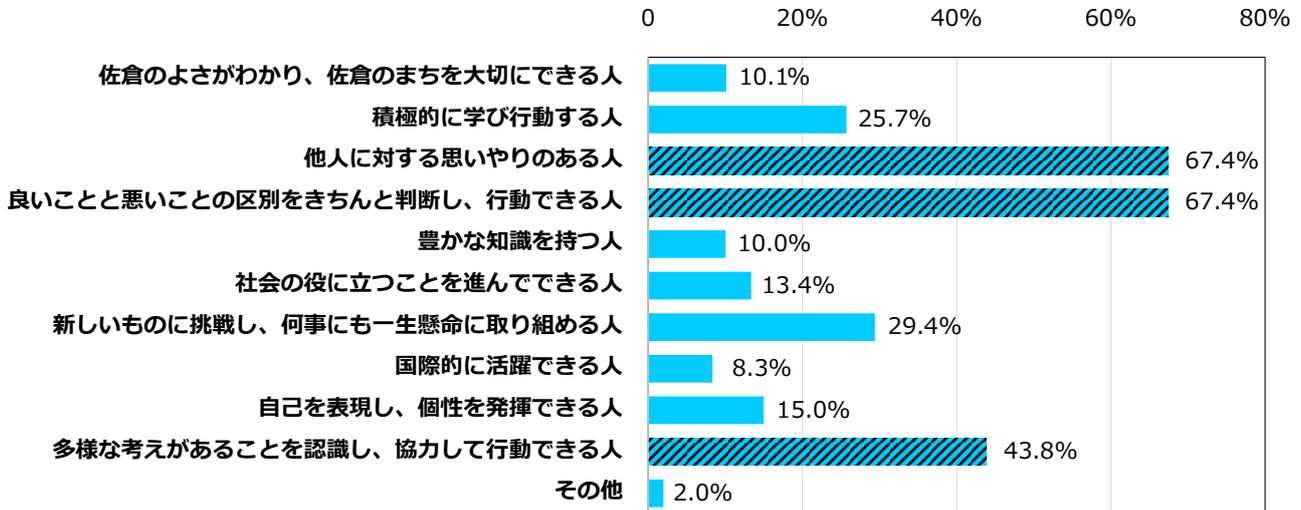


(小学校教員：n=334、中学校教員：n=221)

●市民・未就学児の保護者

【市民】

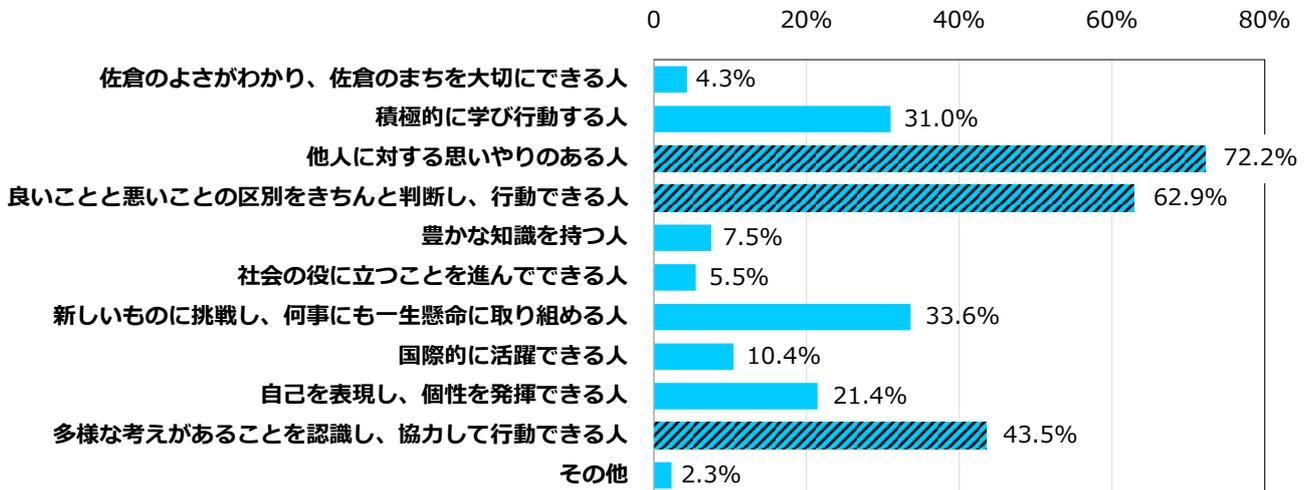
子どもたちにどのような大人に育ってもらいたいかについては、「他人に対する思いやりのある人」(67.4%)、「良いことと悪いことの区別をきちんと判断し、行動できる人」(67.4%)、「多様な考えがあることを認識し、協力して行動できる人」(43.8%)が上位3つとなった。



(市民：n=1,116)

【未就学児の保護者】

子どもたちにどのような大人に育ってもらいたいかについては、「他人に対する思いやりのある人」(72.2%)、「良いことと悪いことの区別をきちんと判断し、行動できる人」(62.9%)、「多様な考えがあることを認識し、協力して行動できる人」(43.5%)が上位3つとなった。



(未就学児の保護者：n=345)

(11) 学校で学び、身につけたいこと  
 [3つまで回答]

選択肢	回答者の属性（割合）							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
確かな学力を身につけること	44.7%	49.9%						
夢や希望をもって歩む力を身につけること	39.2%	32.1%						
コミュニケーション能力を身につけること	42.8%	53.1%						
社会の中で役に立つ力を身につけること	23.8%	28.8%						
伝統・文化を受け継いでいくこと	6.6%	2.8%						
健康な生活を送り、体力の向上に努めること	27.7%	19.8%						
人として正しい行動ができるようになること	44.6%	51.0%						
世の中のさまざまなことを知り、物事の見方・考え方を身につけること	12.1%	18.2%						
I C Tの活用能力を身につけること	4.5%	4.1%						
英語を身につけ、国際的にも活躍できる力を身につけること	16.2%	13.3%						
その他	1.3%	0.8%						

調査対象	その他回答の件数(件)・主な意見	
児童	40	勉強、人にやさしくすること、運動
生徒	25	1～10の選択肢全て、人との関わりかた、精神面

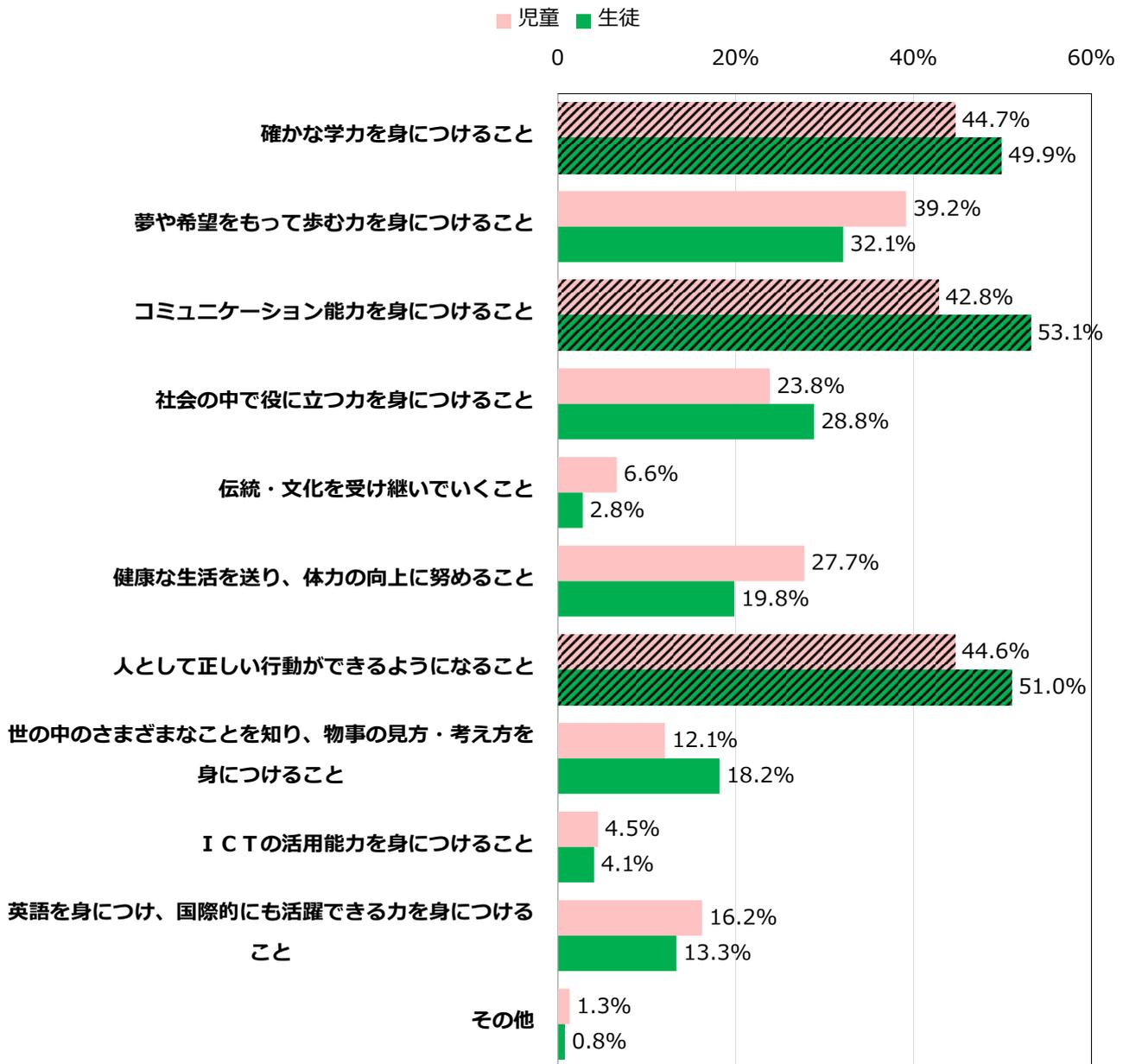
●児童・生徒

【児童】

学校でどんなことを学び、身につけたいかについては、「確かな学力を身につけること」(44.7%)、「人として正しい行動ができるようになること」(44.6%)、「コミュニケーション能力を身につけること」(42.8%)が上位3つとなった。

【生徒】

学校でどんなことを学び、身につけたいかについては、「コミュニケーション能力を身につけること」(53.1%)、「人として正しい行動ができるようになること」(51.0%)、「確かな学力を身につけること」(49.9%)が上位3つとなった。



(児童：n=3,524、生徒：n=3,200)

(12) 学校教育で重視することが望ましい項目  
[3つまで回答]

選択肢	回答者の属性(割合)							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
タブレット端末を活用した授業			19.8%	22.3%	27.2%	26.7%	13.2%	19.7%
英語教育			48.4%	47.4%	10.5%	8.1%	37.8%	49.6%
勤労観や職業観を育むための教育(キャリア教育)			30.9%	37.7%	19.5%	25.8%	30.3%	27.2%
幼稚園・保育園と小学校の連携			3.0%	1.2%	8.4%	2.3%	4.2%	8.7%
小学校と中学校の連携(義務教育9年間を見渡した教育)			22.0%	11.9%	28.4%	33.0%	21.2%	17.1%
学校図書館(図書館)の充実(蔵書や司書の配置)			8.3%	5.3%	7.5%	5.0%	6.8%	7.0%
道徳教育			26.2%	22.9%	15.0%	13.6%	34.6%	25.5%
健康増進と体力の向上を図ること			26.1%	24.7%	21.9%	23.5%	26.8%	29.3%
障害がある子どもたちへの支援体制の充実			8.7%	5.5%	20.7%	13.6%	13.1%	6.4%
いじめや不登校への支援体制の充実			21.9%	20.2%	38.3%	43.9%	33.8%	25.5%
教員の資質や指導力の向上			29.4%	32.8%	33.8%	25.8%	35.4%	32.5%
学校の施設整備			19.9%	20.7%	46.1%	49.8%	12.6%	22.3%
放課後活動の充実(学習・部活動など)			16.9%	22.1%	2.4%	9.5%	11.2%	12.5%
その他			2.8%	3.0%	6.6%	5.4%	4.7%	4.6%

調査対象	その他回答の件数(件)・主な意見	
児童保護者	58	金融リテラシー、体験学習、教員の増員(負担軽減)
生徒保護者	34	金融リテラシー、地域との連携
教員(小学校)	22	教員の増員(負担軽減)、心の教育、外国籍児童への対応
教員(中学校)	12	教員の増員(負担軽減)、多文化共生社会実現に向けた学習活動の充実
市民	52	基礎学力の向上、教員の待遇改善、金融リテラシー
未就学児保護者	16	教員の待遇改善、金融リテラシー

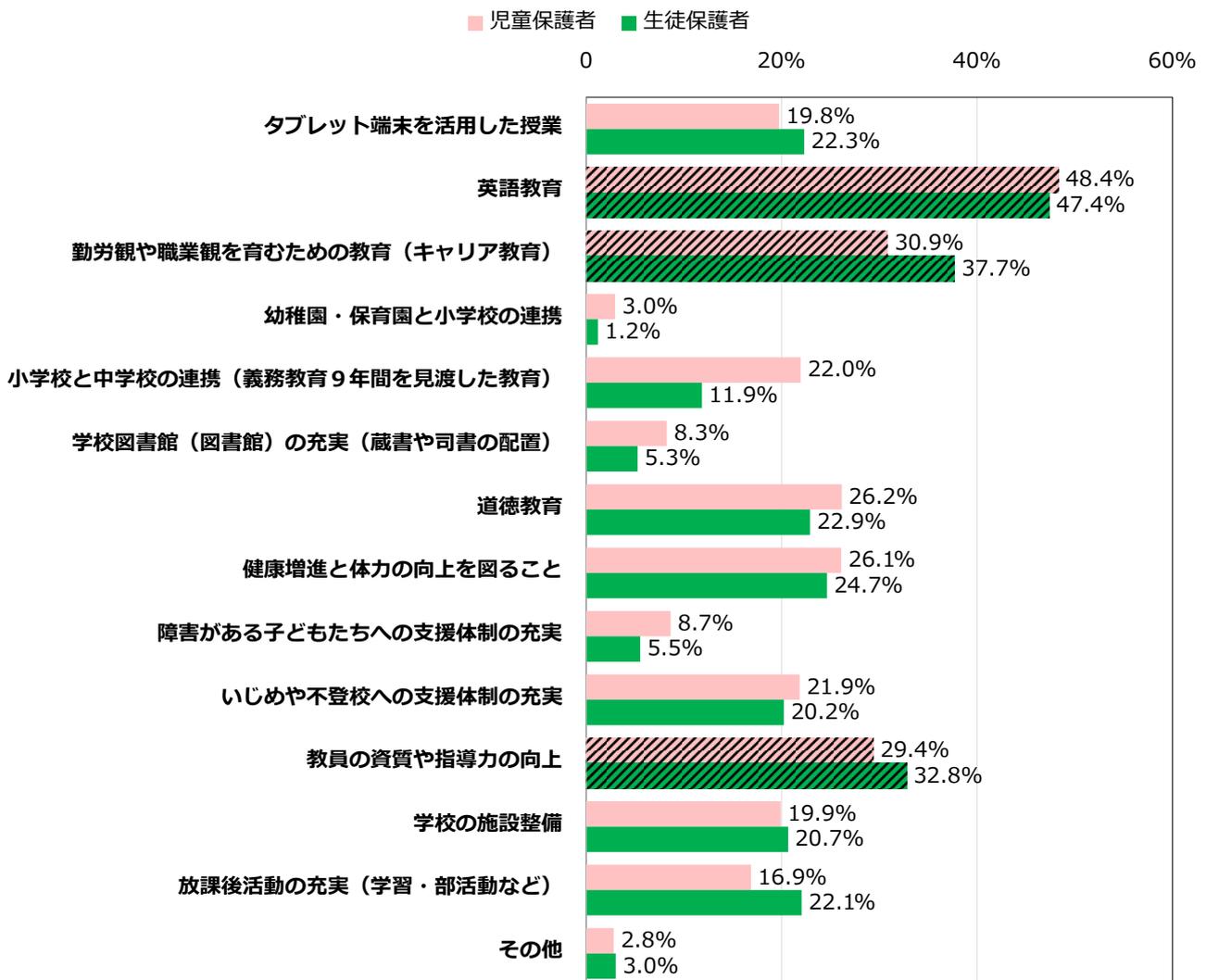
●児童・生徒の保護者

【児童の保護者】

佐倉市の学校教育で力を入れていくことが望ましい項目については、「英語教育」(48.4%)、「勤労観や職業観を育むための教育(キャリア教育)」(30.9%)、「教員の資質や指導力の向上」(29.4%)が上位3つとなった。

【生徒の保護者】

佐倉市の学校教育で力を入れていくことが望ましい項目については、「英語教育」(47.4%)、「勤労観や職業観を育むための教育(キャリア教育)」(37.7%)、「教員の資質や指導力の向上」(32.8%)が上位3つとなった。



(児童の保護者：n=2,045、生徒の保護者：n=1,156)

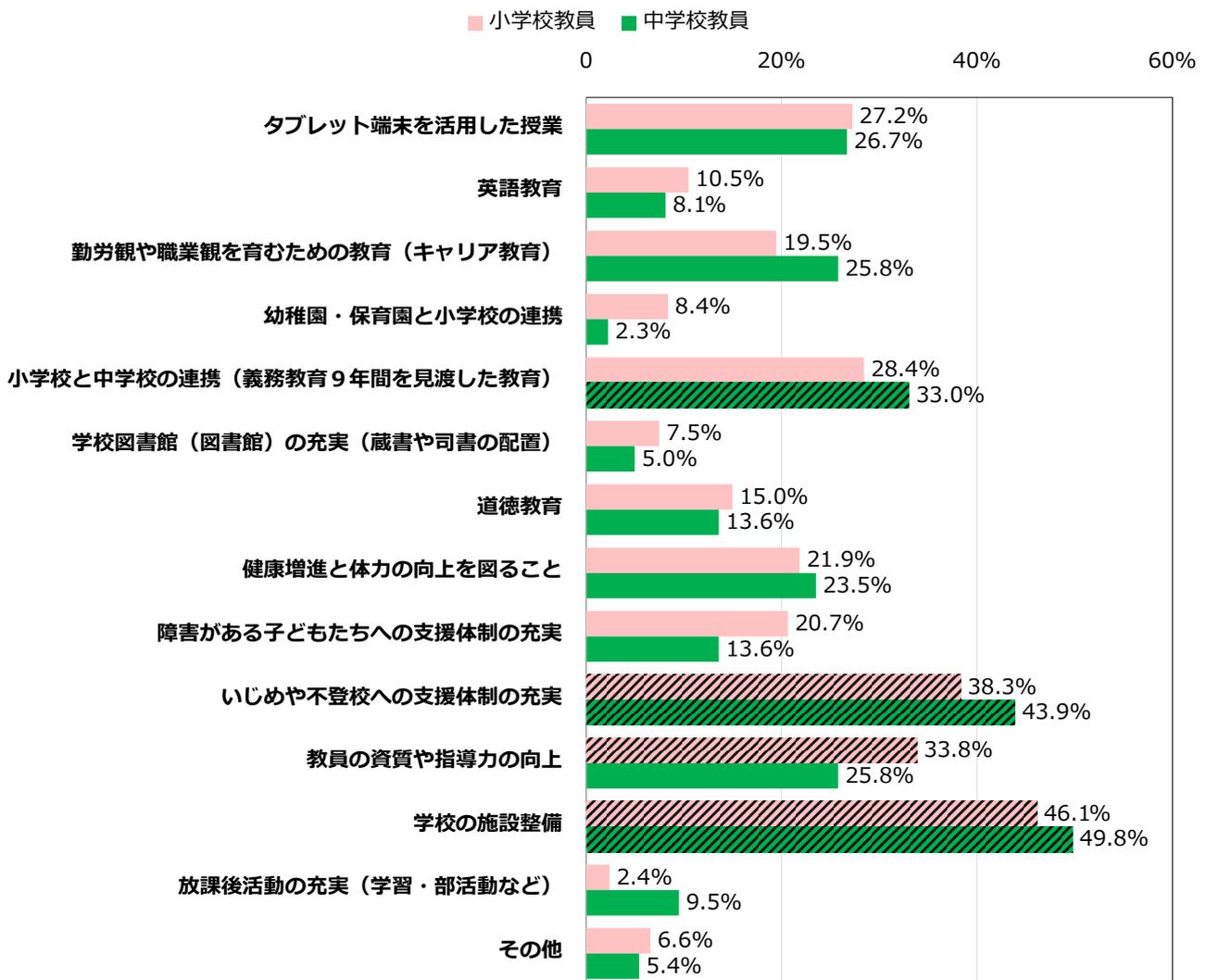
●教員

【小学校教員】

佐倉市の学校教育で力を入れていくことが望ましい項目については、「学校の施設整備」(46.1%)、「いじめや不登校への支援体制の充実」(38.3%)、「教員の資質や指導力の向上」(33.8%)が上位3つとなった。

【中学校教員】

佐倉市の学校教育で力を入れていくことが望ましい項目については、「学校の施設整備」(49.8%)、「いじめや不登校への支援体制の充実」(43.9%)、「小学校と中学校の連携（義務教育9年間を見渡した教育）」(33.0%)が上位3つとなった。

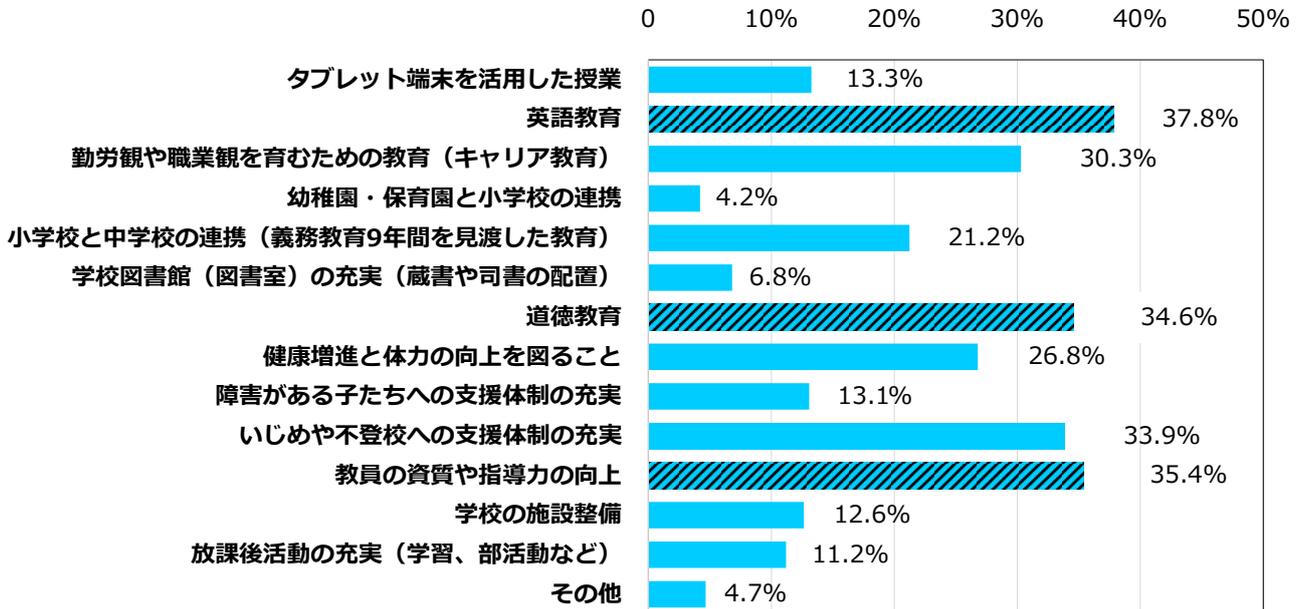


(小学校教員：n=334、中学校教員：n=221)

●市民・未就学児の保護者

【市民】

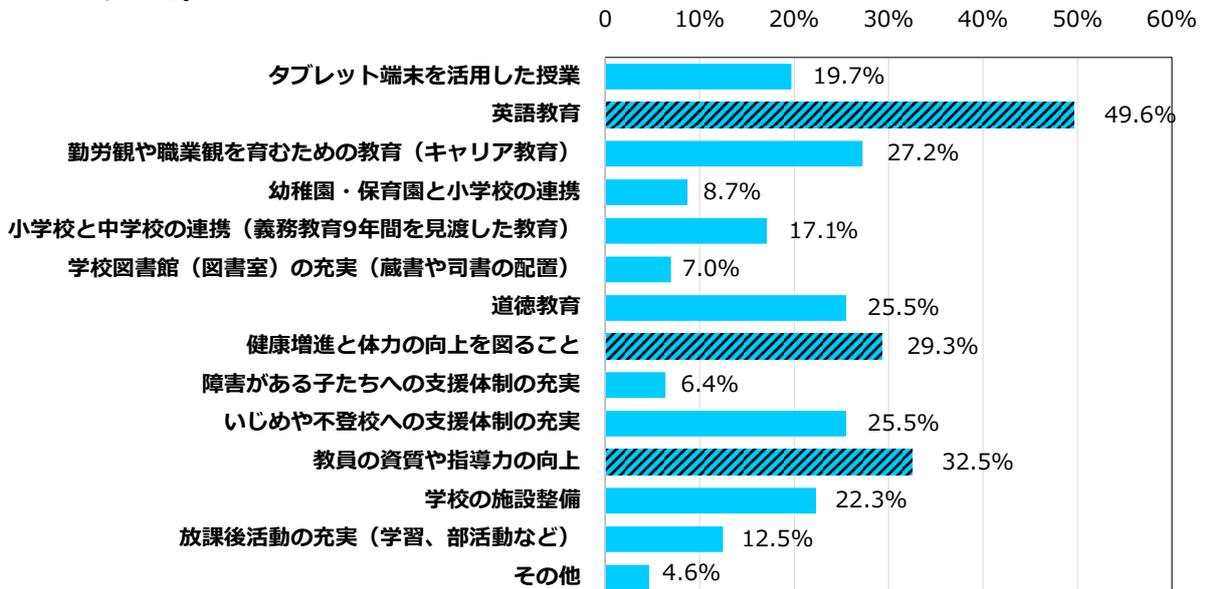
佐倉市の学校教育で力を入れていくことが望ましい項目については、「英語教育」(37.8%)、「教員の資質や指導力の向上」(35.4%)、「道徳教育」(34.6%)が上位3つとなった。



(市民：n=1,116)

【未就学児の保護者】

佐倉市の学校教育で力を入れていくことが望ましい項目については、「英語教育」(49.6%)、「教員の資質や指導力の向上」(32.5%)、「健康増進と体力の向上を図ること」(29.3%)が上位3つとなった。



(未就学児の保護者：n=345)

(13) 中学校進学時に戸惑うことや不安に思うこと  
[3つまで回答]

選択肢	回答者の属性（割合）							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
授業についていけるかどうか	54.5%	44.2%						
定期テストで良い点を取れるかどうか	53.7%	59.8%						
他の小学校出身の子たちと友達になれるかどうか	28.2%	44.6%						
小学校の友達と離れ離れになってしまう	26.6%	13.6%						
小学校よりクラスの人数やクラス数が多くなり、馴染めるかどうか	13.5%	17.5%						
中学校の先生に親しみを持てるかどうか	11.9%	9.5%						
先輩との関係	20.2%	21.4%						
部活動についていけるかどうか	14.6%	18.5%						
通学時間が長くなるなど、しっかり登下校ができるかどうか	7.7%	4.5%						
(児童) 今は特にない (生徒) 戸惑うことや不安に思うことはなかった	12.0%	7.8%						
その他	2.4%	1.4%						

調査対象	その他回答の件数(件)・主な意見	
児童	84	友達との関係、受験で受かるかどうか、先生と仲良くできるか
生徒	35	いじめられないか、友達ができるか、学校のルールを覚えられるか

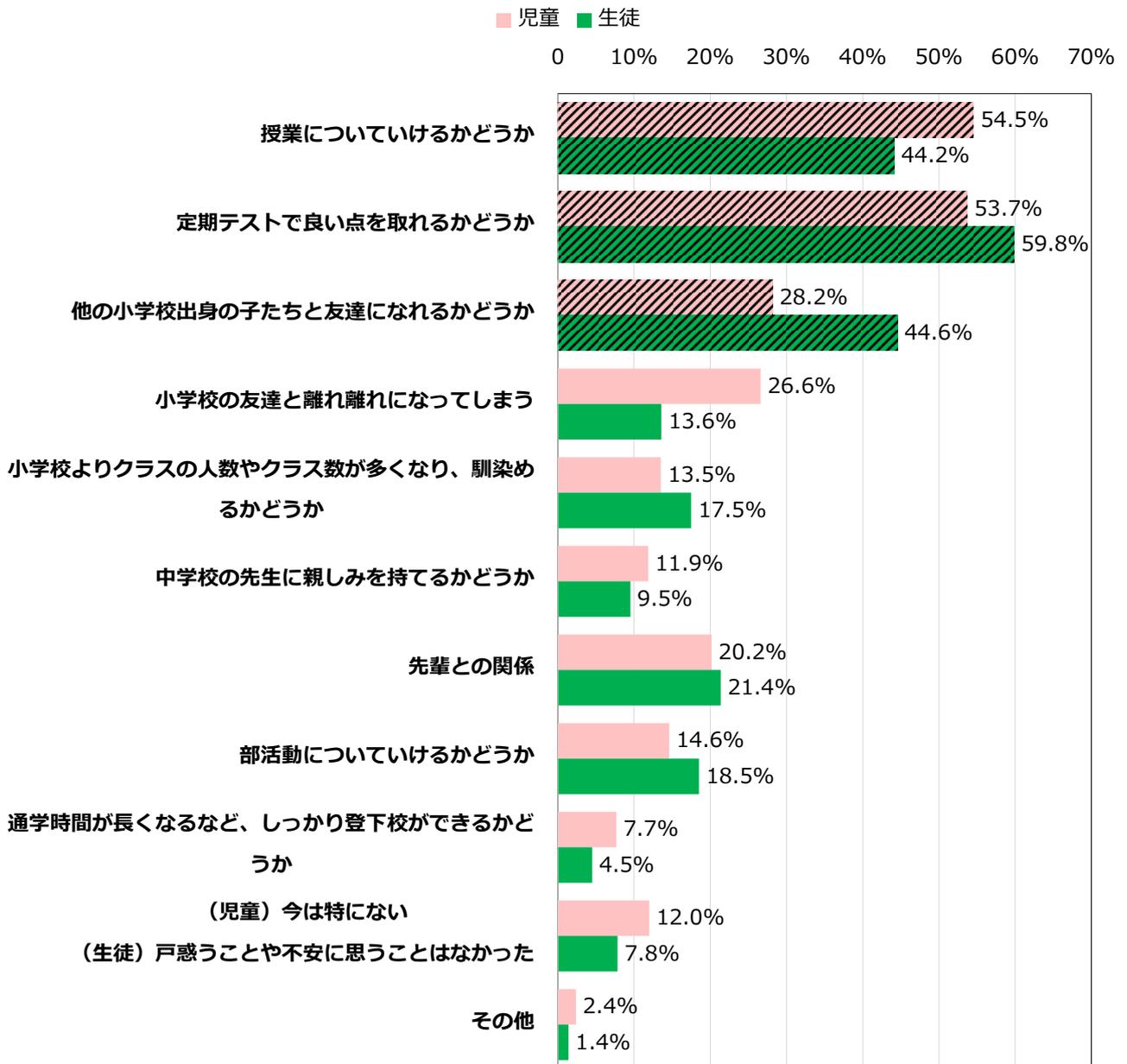
●児童・生徒

【児童】

今後、中学校へ進学するにあたって、戸惑うことや不安に思うことについては、「授業についていけるかどうか」(54.5%)、「定期テストで良い点を取れるかどうか」(53.7%)、「他の小学校出身の子たちと友達になれるかどうか」(28.2%)が上位3つとなった。

【生徒】

中学校へ入学した際、戸惑ったことや不安に思ったことについては、「定期テストで良い点を取れるかどうか」(59.8%)、「他の小学校出身の子たちと友達になれるかどうか」(44.6%)、「授業についていけるかどうか」(44.2%)が上位3つとなった。



(児童：n=3,524、生徒：n=3,200)

(14) 給食は好きか  
[1つ回答]

選択肢	回答者の属性 (割合)							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
好き	73.5%	61.7%						
どちらかと言えば好き	18.4%	27.1%						
どちらかと言えば好きではない	5.0%	7.7%						
好きではない	1.9%	2.6%						
不明	1.1%	0.8%						

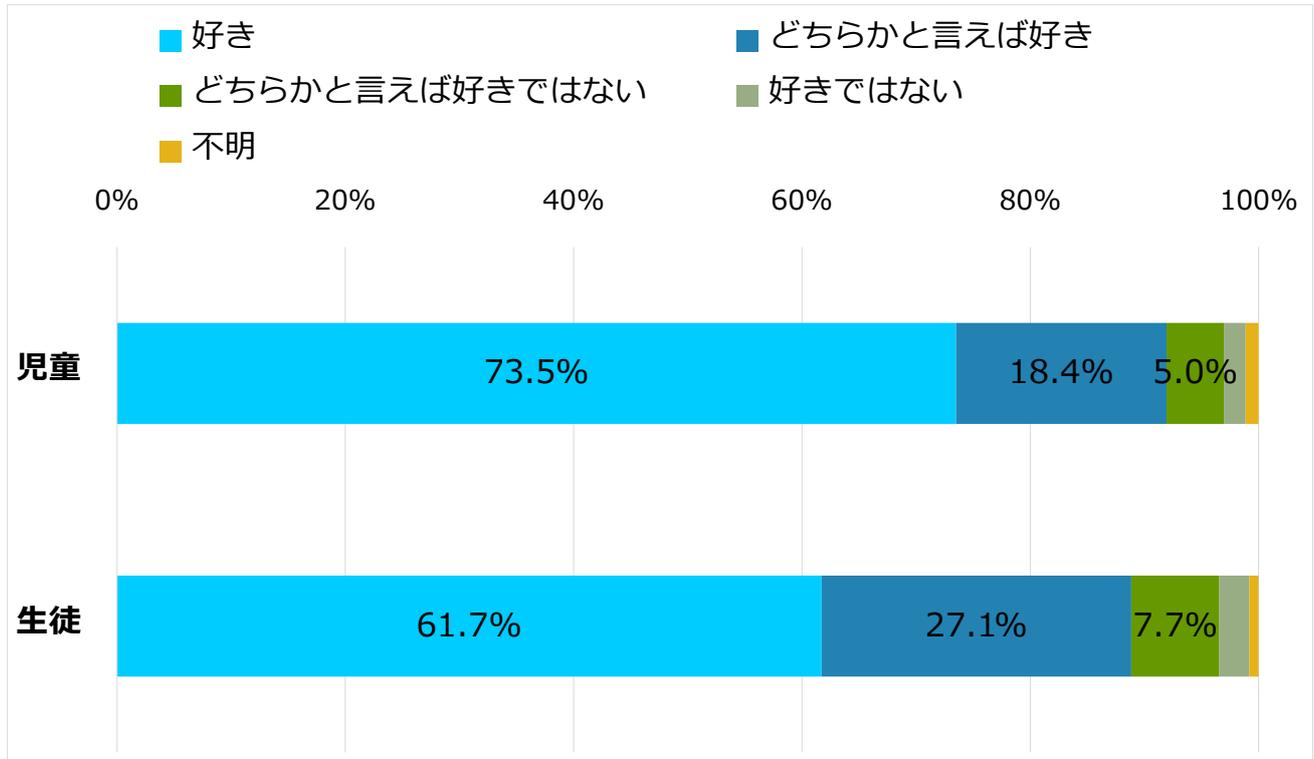
●児童・生徒

【児童】

給食が好きかどうかについては、「好き」と「どちらかと言えば好き」の合計で約92%となる。好きではないの回答は「どちらかと言えば好きではない」と「好きではない」の合計で約7%となっている。

【生徒】

給食が好きかどうかについては、「好き」と「どちらかと言えば好き」の合計で約89%となる。好きではないの回答は「どちらかと言えば好きではない」と「好きではない」の合計で約10%となっている。



(児童：n=3,484、生徒：n=3,174)

(15) 「(14) 給食は好きか」の回答理由

[あてはまるものすべて回答]

【満足、どちらかと言えば満足】

選択肢	回答者の属性（割合）							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
味がおいしい	80.5%	67.4%						
毎日様々なものを食べられる	59.0%	53.6%						
栄養のバランスが良い	56.1%	45.3%						
給食でしか食べられないものが出る	53.2%	45.2%						
友達と楽しく食べられる	62.9%	54.5%						
量がちょうど良い	25.3%	16.4%						
その他	4.4%	2.1%						

調査対象	その他回答の件数(件)・主な意見	
児童	144	おかわりができる、おいしい（特にデザート）、 苦手な物でも食べられるようになる
生徒	56	おかわりができる、おいしい（特にデザート）、温かい

【どちらかと言えば不満、不満】

選択肢	回答者の属性（割合）							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
おいしくない	17.6%	40.2%						
量が多い	32.4%	36.6%						
量が少ない	2.9%	3.6%						
味が濃い	4.9%	9.1%						
味が薄い	7.0%	12.4%						
苦手なものが出る	66.8%	54.1%						
家で食べたことがないものが出る	38.1%	16.0%						
お皿などを運ぶのが大変	10.7%	15.7%						
その他	16.0%	13.0%						

調査対象	その他回答の件数(件)・主な意見	
児童	39	食べるのが好きではない、1人で食べたい、 弁当を持参しており食べていない
生徒	43	人と食べるのが好きではない、時間が足りない、味付けが合わない

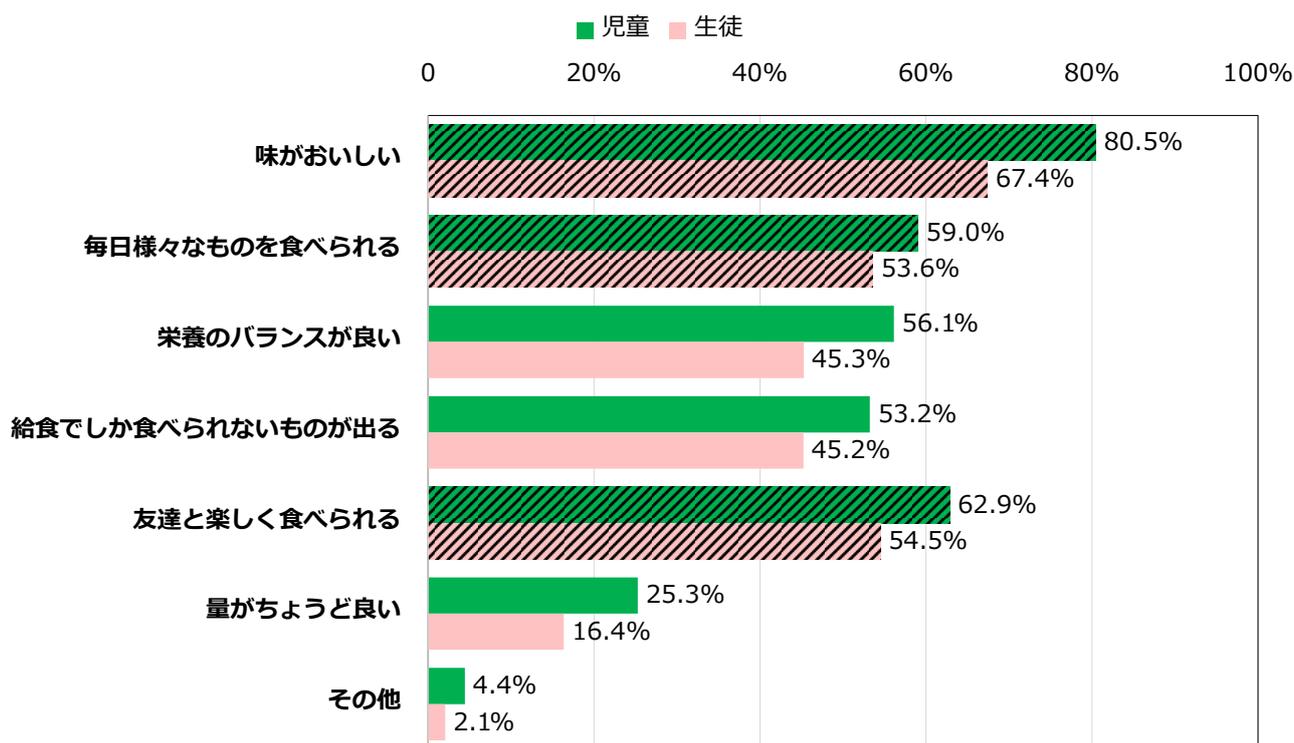
●児童・生徒

【児童（好き、どちらかと言えば好き）】

「問 12」で「好き」「どちらかと言えば好き」と回答した理由は、「味がおいしい」（80.5%）、「友達と楽しく食べられる」（62.9%）、「毎日様々なものを食べられる」（59.0%）が上位 3 つとなった。

【生徒（好き、どちらかと言えば好き）】

「問 12」で「好き」「どちらかと言えば好き」と回答した理由は、「味がおいしい」（67.4%）、「友達と楽しく食べられる」（54.5%）、「毎日様々なものを食べられる」（53.6%）が上位 3 つとなった。



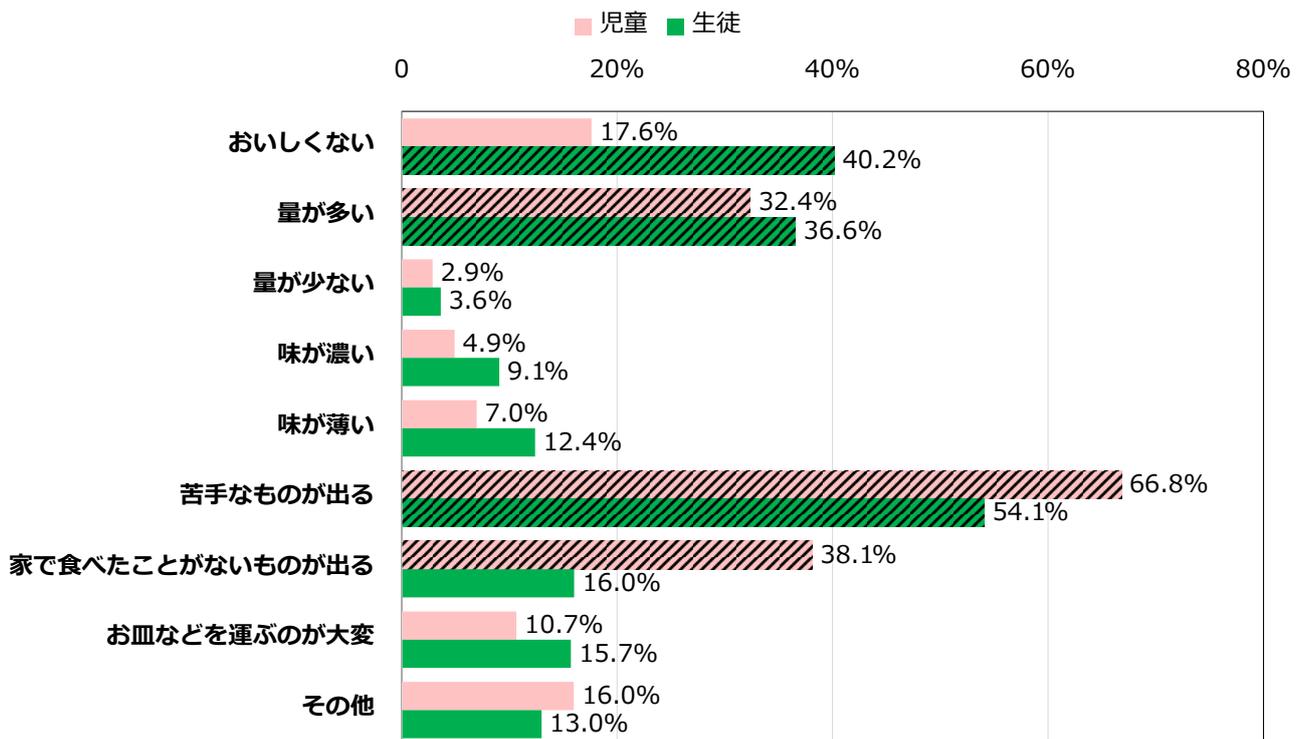
(児童：n=3,240、生徒：n=2,843)

【児童（どちらかと言えば好きではない、好きではない）】

「問 12」で「どちらかと言えば好きではない」「好きではない」と回答した理由は、「苦手なものが出る」(66.8%)、「家で食べたことがないものが出る」(38.1%)、「量が多い」(32.4%)が上位3つとなった。

【生徒（どちらかと言えば好きではない、好きではない）】

「問 12」で「どちらかと言えば好きではない」「好きではない」と回答した理由は、「苦手なものが出る」(54.1%)、「おいしくない」(40.2%)、「量が多い」(36.6%)が上位3つとなった。



(児童：n=244、生徒：n=331)

(16) 学校給食の満足度  
[1つ回答]

選択肢	回答者の属性 (割合)							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
満足			57.6%	42.6%				
どちらかと言えば満足			32.9%	38.4%				
どちらかと言えば不満			4.3%	8.0%				
不満			1.4%	3.1%				
わからない			3.8%	7.8%				

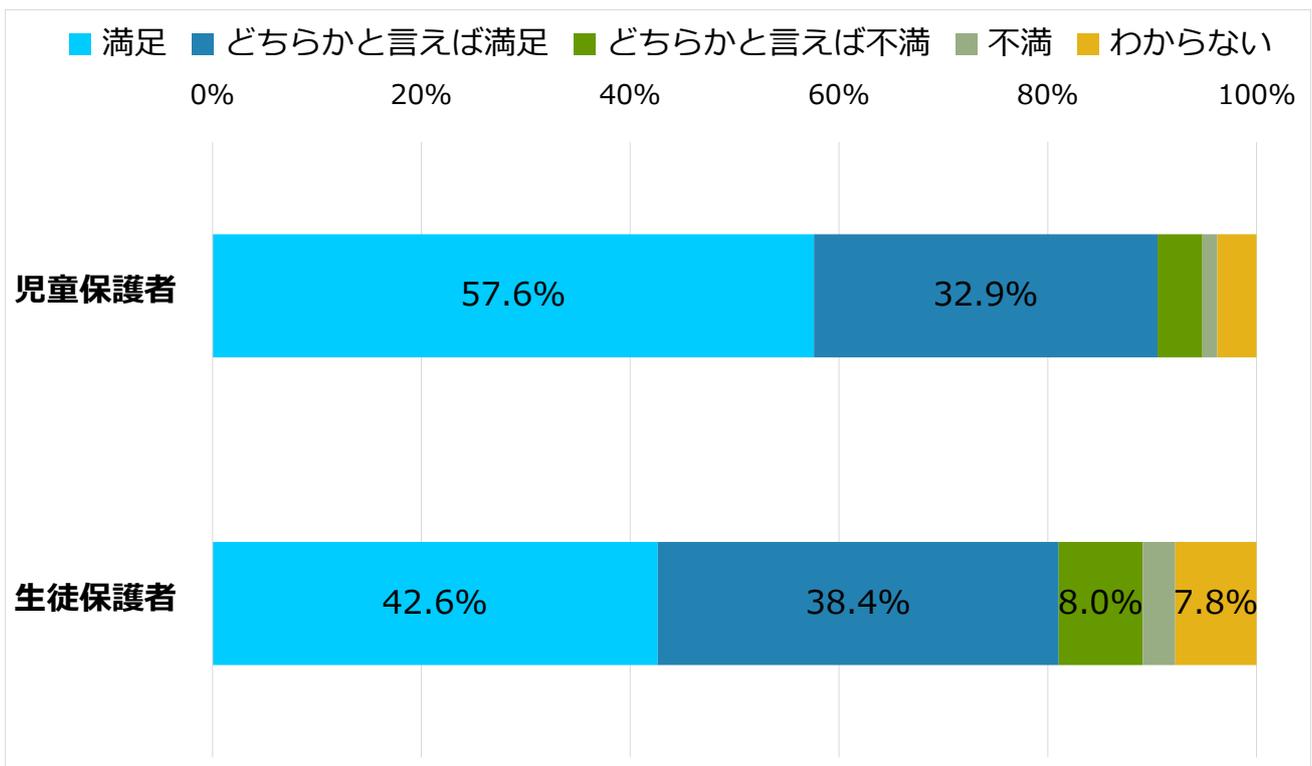
●児童・生徒の保護者

【児童の保護者】

学校給食の満足度については、「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計で約91%となる。一方で「どちらかと言えば不満」と「不満」の合計は約6%となっている。

【生徒の保護者】

学校給食の満足度については、「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計で約81%となる。一方で「どちらかと言えば不満」と「不満」の合計は約11%となっている。



(児童の保護者：n=2,045、生徒の保護者：n=1,156)

(17) 「(16) 学校給食の満足度」の回答理由  
[3つまで回答]

選択肢	回答者の属性（割合）							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
献立の栄養バランス			69.2%	75.8%				
献立の豊富さ			43.5%	46.1%				
おいしさ			66.6%	49.0%				
適温での配食			19.6%	24.9%				
地産地消の促進			34.3%	37.1%				
食育の指導			15.0%	8.1%				
適切な衛生管理			3.9%	7.9%				
アレルギー対策			2.8%	3.1%				
給食費の安さ			4.9%	6.9%				
その他			2.4%	2.0%				

調査対象	その他回答の件数(件)・主な意見	
児童保護者	45	自校式給食、子どもが喜んでいる、楽しみなメニューがある
生徒保護者	19	自校式給食、子どもがおいしいと言っている、オーガニック

選択肢	回答者の属性（割合）							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
献立の栄養バランス			11.1%	3.1%				
献立の豊富さ			30.8%	14.7%				
おいしさ			30.8%	71.3%				
適温での配食			2.6%	9.3%				
地産地消の促進			2.6%	0.8%				
食育の指導			8.5%	4.7%				
適切な衛生管理			0.0%	1.6%				
アレルギー対策			0.9%	3.1%				
給食費が高い			14.5%	17.8%				
その他			53.0%	22.5%				

調査対象	その他回答の件数(件)・主な意見	
児童保護者	62	量や品数が少ない、給食のない日が多い
生徒保護者	29	量や品数が少ない、給食の時間が短い、衛生面が不安

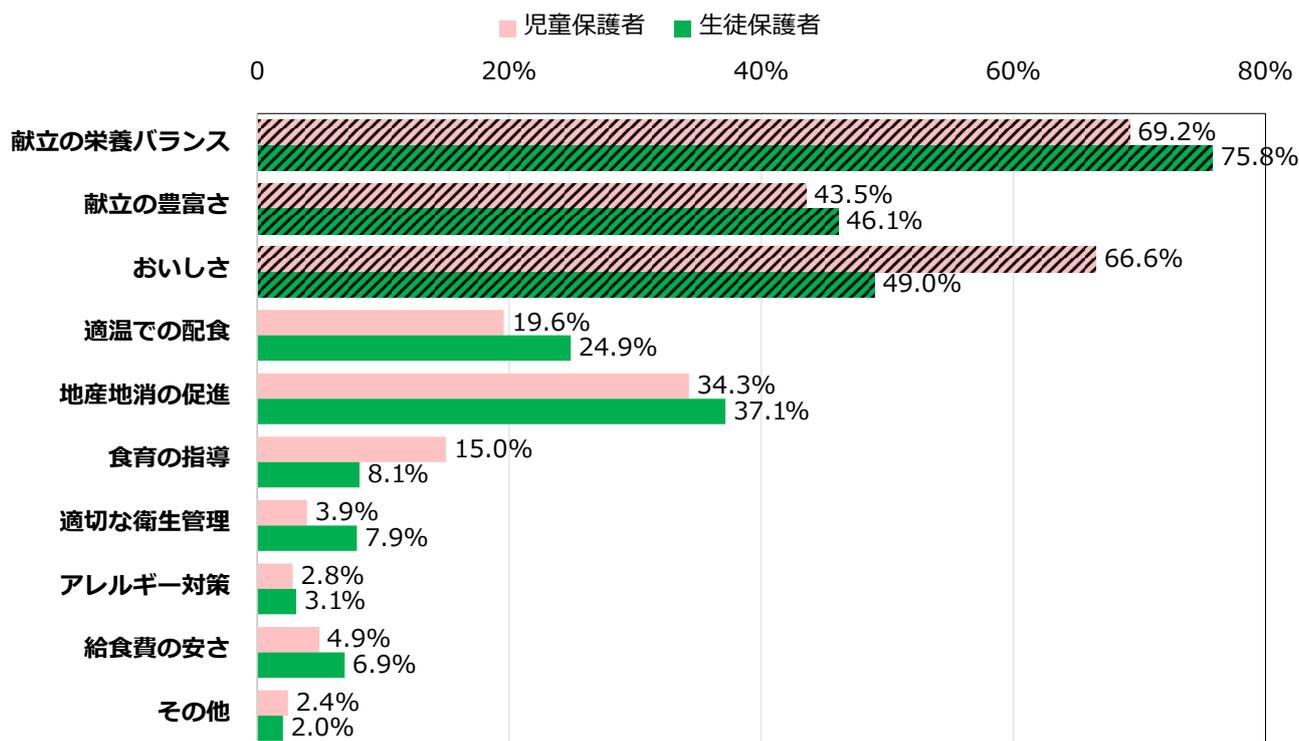
●児童・生徒の保護者

【児童の保護者（満足、どちらかと言えば満足）】

「問6」で「満足」「どちらかと言えば満足」と回答した理由は、「献立の栄養バランス」（69.2%）、「おいしさ」（66.6%）、「献立の豊富さ」（43.5%）が上位3つとなった。

【生徒の保護者（満足、どちらかと言えば満足）】

「問6」で「満足」「どちらかと言えば満足」と回答した理由は、「献立の栄養バランス」（75.8%）、「おいしさ」（49.0%）、「献立の豊富さ」（46.1%）が上位3つとなった。



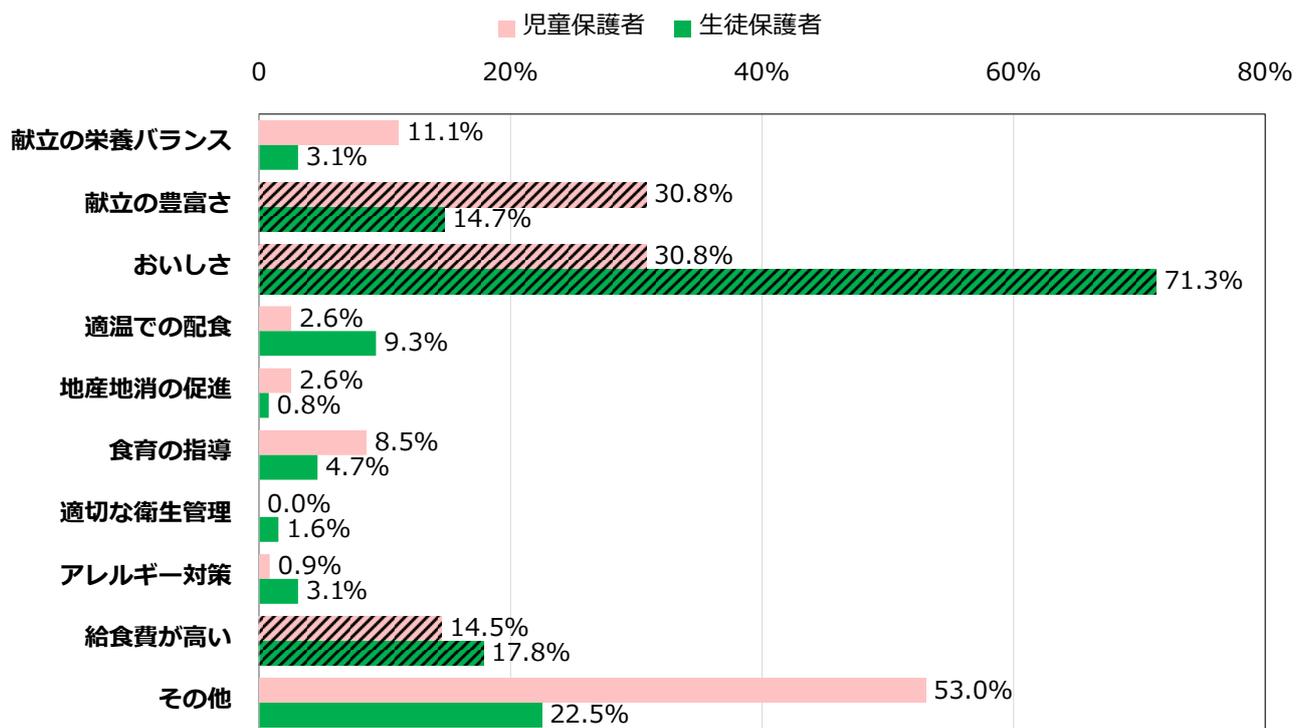
(児童の保護者：n=1,851、生徒の保護者：n=937)

【児童の保護者（どちらかと言えば不満、不満）】

「問6」で「どちらかと言えば不満」「不満」と回答した理由は、「献立の豊富さ」（30.8%）、「おいしさ」（30.8%）、「給食費が高い」（14.5%）が上位3つとなり、「献立の栄養バランス」（11.1%）が続いた。

【生徒の保護者（どちらかと言えば不満、不満）】

「問6」で「どちらかと言えば不満」「不満」と回答した理由は、「おいしさ」（71.3%）、「給食費が高い」（17.8%）、「献立の豊富さ」（14.7%）が上位3つとなった。



(児童の保護者：n=117、生徒の保護者：n=129)

■クラスの規模などに関して、あなたのお考えをお聞きます

(18) クラスの人数

[1つ回答]

選択肢	回答者の属性（割合）							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
10人以下	1.7%	0.3%	1.9%	0.4%	16.2%	5.4%		
11～15人	0.5%	0.2%	0.3%	0.0%	0.6%	0.0%		
16～20人	5.1%	0.2%	4.4%	0.3%	4.2%	0.0%		
21～25人	13.7%	0.7%	15.6%	4.3%	18.6%	0.9%		
26～30人	40.2%	27.1%	39.3%	30.1%	30.2%	28.5%		
31～35人	29.5%	48.1%	31.9%	49.5%	25.7%	46.6%		
36人以上	9.1%	23.4%	6.7%	15.3%	4.5%	18.6%		
不明	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

●児童・生徒

【児童】

クラスの人数は「26～30人」(40.2%)、「31～35人」(29.5%)、「21～25人」(13.7%)が上位3つとなり、合計で約84%である。

【生徒】

クラスの人数は「31～35人」(48.1%)、「26～30人」(27.1%)、「36人以上」(23.4%)が上位3つとなり、合計で約99%である。

●児童・生徒の保護者

【児童の保護者】

回答者の子どものクラスの人数は「26～30人」(39.3%)、「31～35人」(31.9%)、「21～25人」(15.6%)が上位3つとなり、合計で約87%である。

【生徒の保護者】

回答者の子どものクラスの人数は「31～35人」(49.5%)、「26～30人」(30.1%)、「36人以上」(15.3%)が上位3つとなり、合計で約95%である。

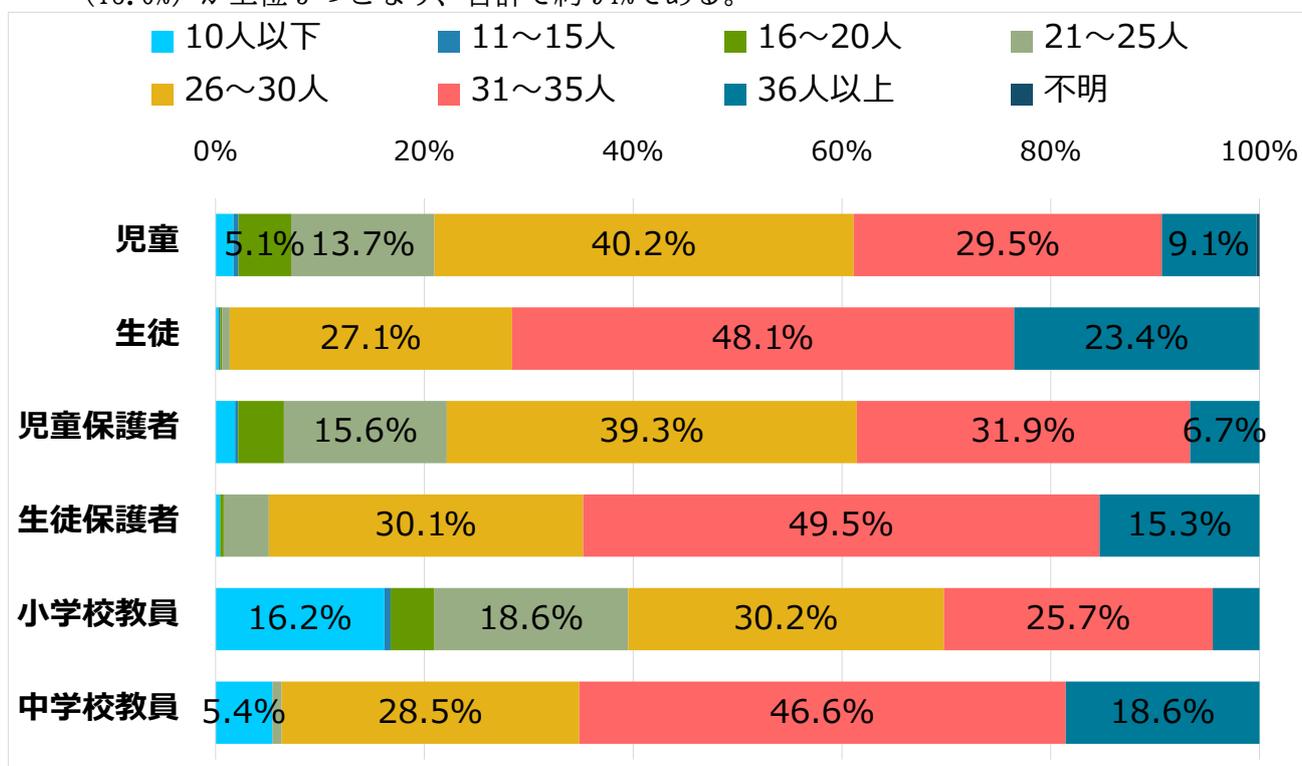
●教員

【小学校教員】

受け持っているクラスの人数は「26～30人」(30.2%)、「31～35人」(25.7%)、「21～25人」(18.6%)が上位3つとなり、合計で約75%である。

【中学校教員】

受け持っているクラスの人数は「31～35人」(46.6%)、「26～30人」(28.5%)、「36人以上」(18.6%)が上位3つとなり、合計で約94%である。



(児童：n=3,514、生徒：n=3,198、児童の保護者：n=2,045、生徒の保護者：n=1,156、小学校教員：n=334、中学校教員：n=221)

(19) 現在のクラスの人数の印象  
[1つ回答]

選択肢	回答者の属性（割合）							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
もっと多い方が良い	13.6%	7.9%	4.7%	2.3%	3.6%	0.9%		
ちょうど良い	74.4%	78.5%	63.4%	65.3%	39.8%	42.1%		
もっと少ない方が良い	11.2%	13.2%	31.8%	32.4%	56.6%	57.0%		
不明	0.8%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

●児童・生徒

【児童】

クラスの人数については、「ちょうど良い」(74.4%)、「もっと多い方が良い」(13.6%)、「もっと少ない方が良い」(11.2%)となった。

【生徒】

クラスの人数については、「ちょうど良い」(78.5%)、「もっと少ない方が良い」(13.2%)、「もっと多い方が良い」(7.9%)となった。

●児童・生徒の保護者

【児童の保護者】

回答者の子どものクラスの人数については、「ちょうど良い」(63.4%)、「もっと少ない方が良い」(31.8%)、「もっと多い方が良い」(4.7%)となった。

【生徒の保護者】

回答者の子どものクラスの人数については、「ちょうど良い」(65.3%)、「もっと少ない方が良い」(32.4%)、「もっと多い方が良い」(2.3%)となった。

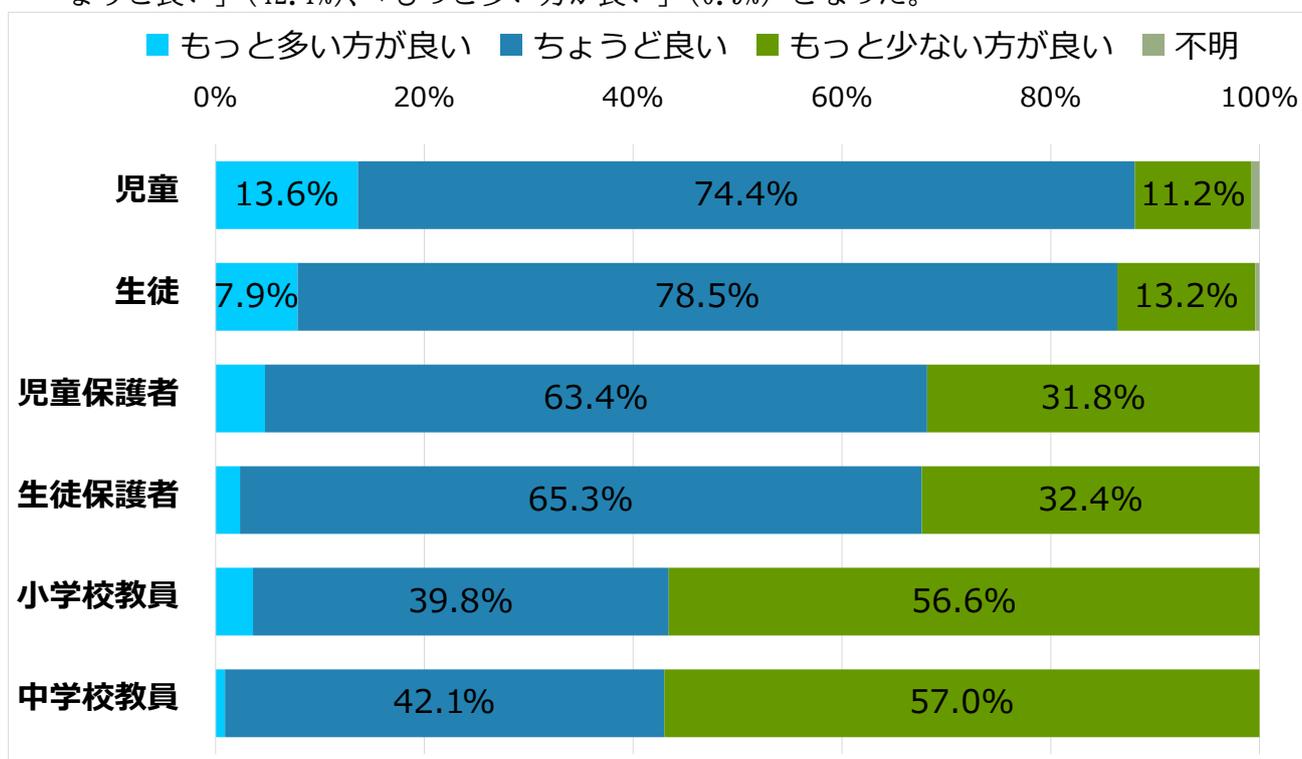
●教員

【小学校教員】

受け持っている子どものクラスの人数については、「もっと少ない方が良い」(56.6%)、「ちょうど良い」(39.8%)、「もっと多い方が良い」(3.6%)となった。

【中学校教員】

受け持っている子どものクラスの人数については、「もっと少ない方が良い」(57.0%)、「ちょうど良い」(42.1%)、「もっと多い方が良い」(0.9%)となった。



(児童：n=3,497、生徒：n=3,187、児童の保護者：n=2,045、生徒の保護者：n=1,156、小学校教員：n=334、中学校教員：n=221)

(20) (小学校) 1クラスあたりの望ましい人数  
[1つ回答]

選択肢	回答者の属性(割合)							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
10人以下	2.2%		0.3%		4.8%		0.9%	0.3%
11~15人	2.9%		2.0%		3.6%		4.0%	2.9%
16~20人	6.4%		11.1%		16.8%		20.2%	16.5%
21~25人	18.3%		36.3%		58.1%		30.6%	41.2%
26~30人	34.6%		41.8%		16.8%		32.5%	33.3%
31~35人	25.6%		8.0%		0.0%		10.3%	5.8%
36人以上	9.6%		0.5%		0.0%		1.3%	0.0%
不明	0.5%		0.0%		0.0%		0.1%	0.0%

●児童・生徒

【児童】

望ましいと思うクラスの人数は、「26～30人」(34.6%)、「31～35人」(25.6%)、「21～25人」(18.3%)が上位3つとなり、合計で約79%である。

●児童・生徒の保護者

【児童の保護者】

望ましいと思うクラスの人数は、「26～30人」(41.8%)、「21～25人」(36.3%)、「16～20人」(11.1%)が上位3つとなり、合計で約89%である。

●教員

【小学校教員】

望ましいと思うクラスの人数は、「21～25人」(58.1%)、「16～20人」(16.8%)、「26～30人」(16.8%)が上位3つとなり、合計で約92%である。

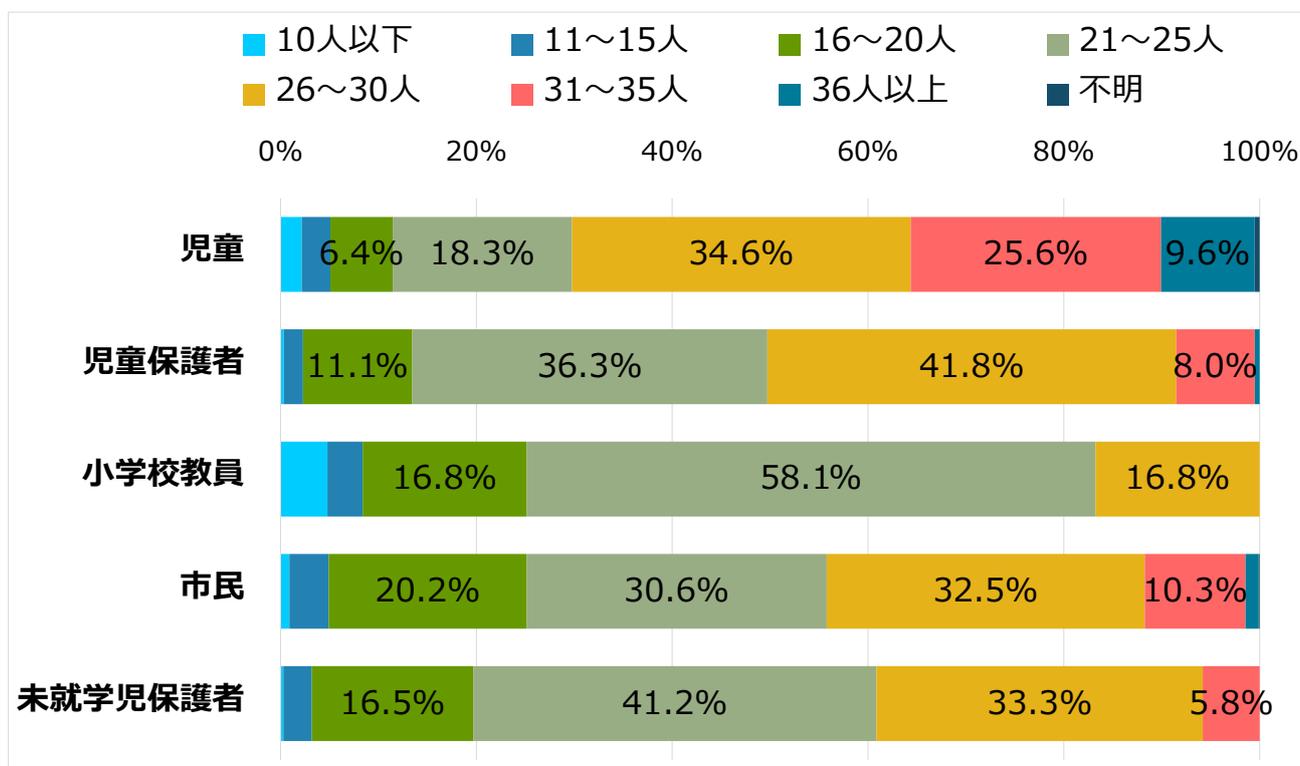
●市民・未就学児の保護者

【市民】

望ましいと思うクラスの人数は、「26～30人」(32.5%)、「21～25人」(30.6%)、「16～20人」(20.3%)が上位3つとなり、合計で約83%である。

【未就学児の保護者】

望ましいと思うクラスの人数は、「21～25人」(41.2%)、「26～30人」(33.3%)、「16～20人」(16.5%)が上位3つとなり、合計で約91%である。



(児童：n=3,506、児童の保護者：n=2,045、小学校教員：n=334、市民：n=1,116、未就学児の保護者：n=345)

(21) 「(20) (小学校) 1クラスあたりの望ましい人数」の回答理由  
 [3つまで回答]

選択肢	回答者の属性(割合)							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
一人一人の学習状況を把握し、きめ細かな指導を行うことが期待できる			66.8%		91.9%		58.6%	62.0%
意見や感想を発表する機会が多い			29.3%		36.5%		25.9%	22.6%
教員が家庭と連携しやすい			20.7%		23.1%		14.4%	20.9%
教材や道具が行き渡りやすい			2.5%		22.8%		5.2%	2.9%
教員と児童生徒の距離が近い			38.7%		13.5%		34.1%	31.3%
新たな人間関係を構築する力や社会性を身に付けさせることができる			25.3%		15.0%		34.8%	37.1%
様々な役割を体験できる機会が得られる			21.4%		36.2%		24.8%	22.3%
多様な意見や考え方に触れる機会が多くなる			24.3%		12.6%		32.7%	33.9%
集団の中で切磋琢磨する環境を作ることができる			20.8%		11.7%		27.6%	25.8%
運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に活気が生じやすい			12.6%		5.4%		12.1%	8.4%
P T A活動等で保護者の負担を分散しやすい			1.6%		0.3%		1.2%	1.4%
その他			2.0%		4.5%		3.0%	5.2%

調査対象	その他回答の件数(件)・主な意見	
児童保護者	40	先生の負担が減る、1人1人に目を向けられる、教室が狭くて窮屈
教員(小学校)	15	支援学級のため、事務処理などの負担減、細かい対応ができる
市民	34	教員の負担減、自分が子どもだった頃はこれくらいの人数だった、仲良くなりやすい
未就学児保護者	18	教員の負担減、目が届きやすい、教室が窮屈に感じない

●児童・生徒の保護者

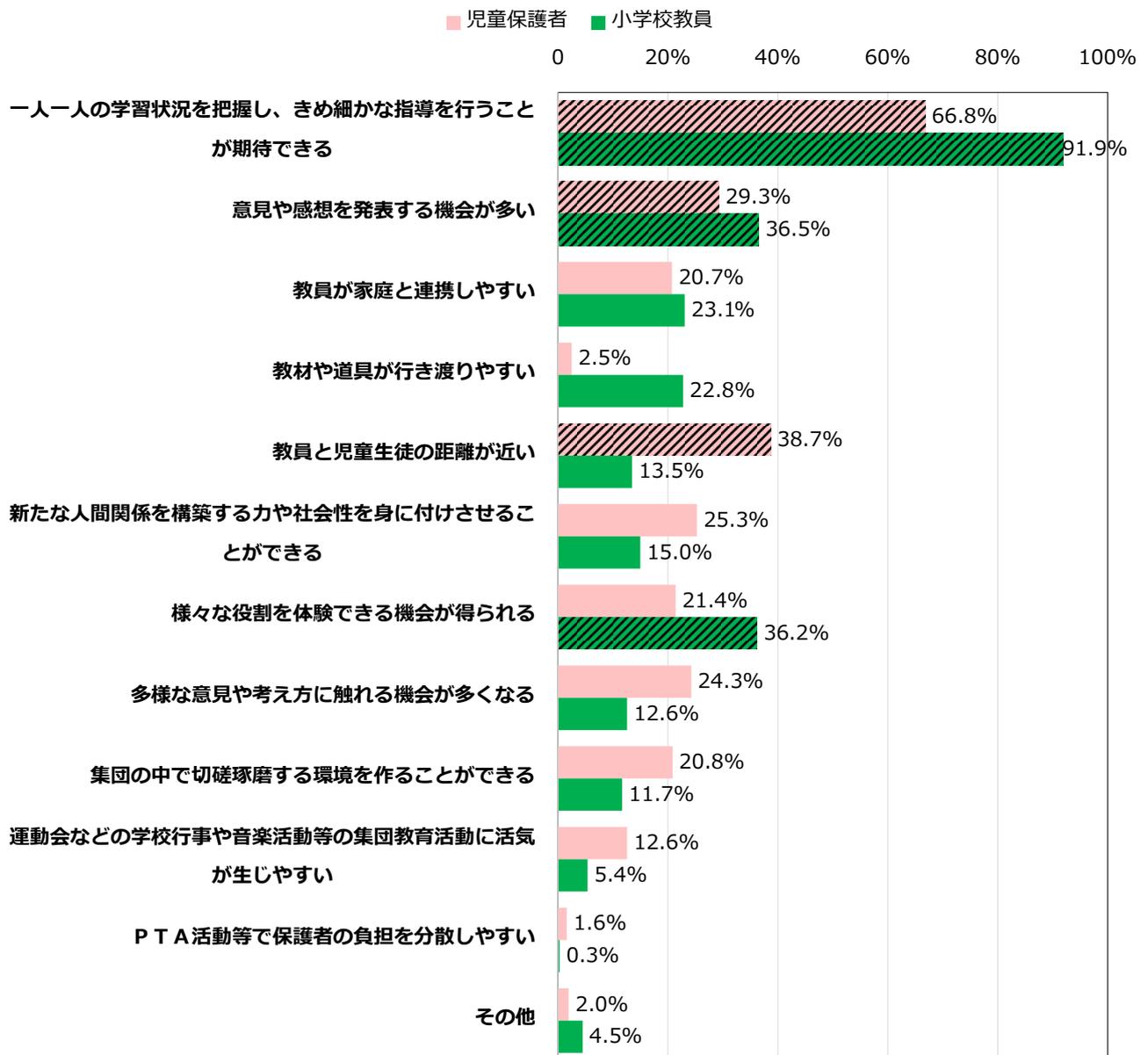
【児童の保護者】

「問 10」でその人数を選択した理由は、「一人一人の学習状況を把握し、きめ細かな指導を行うことが期待できる」(66.8%)、「教員と児童生徒の距離が近い」(38.7%)、「意見や感想を発表する機会が多い」(29.3%)が上位3つとなった。

●教員

【小学校教員】

「問 7」でその人数を選択した理由は、「一人一人の学習状況を把握し、きめ細かな指導を行うことが期待できる」(91.9%)、「意見や感想を発表する機会が多い」(36.5%)、「様々な役割を体験できる機会が得られる」(36.2%)が上位3つとなった。

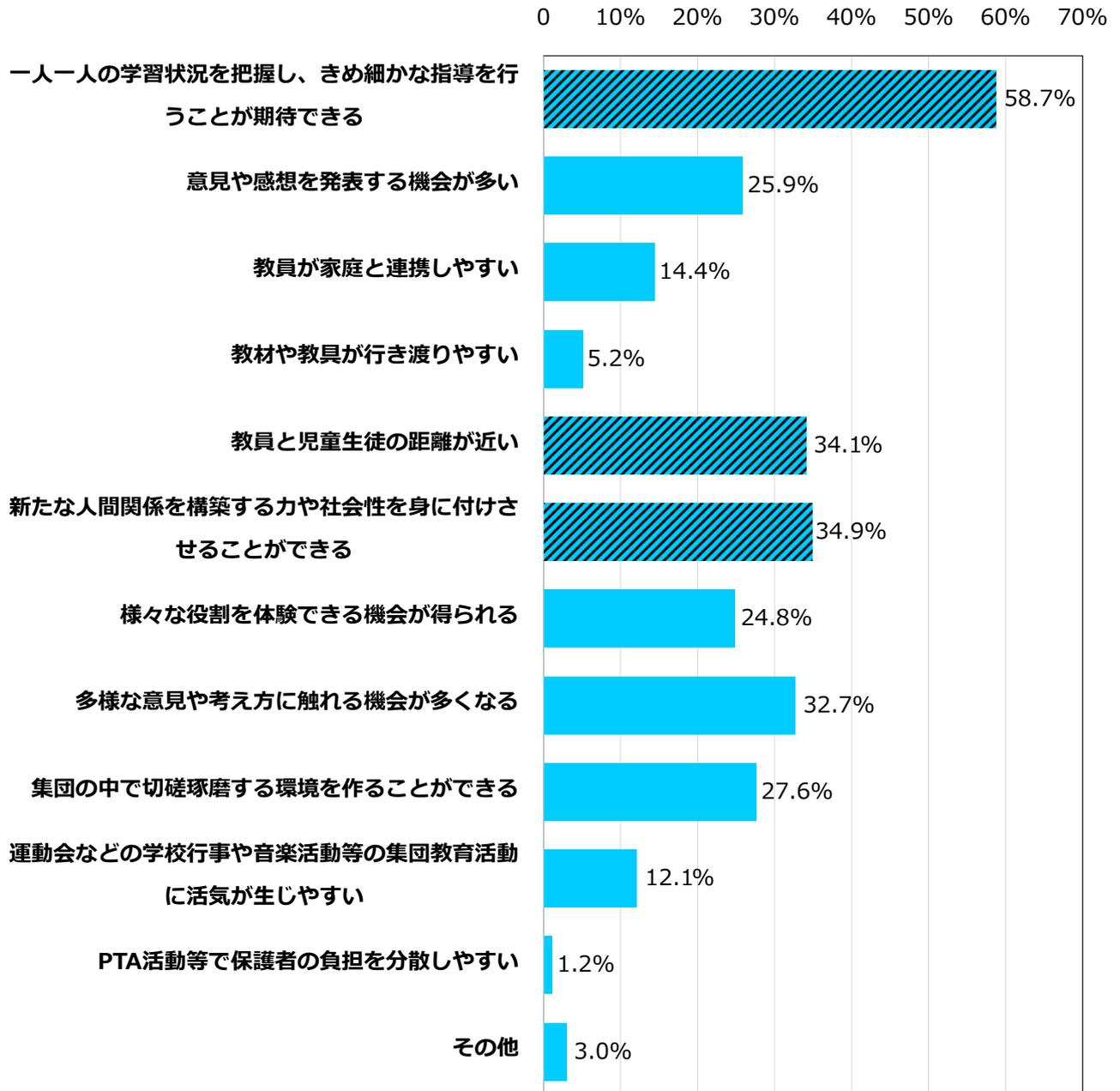


(児童の保護者：n=2,045、小学校教員：n=334)

●市民・未就学児の保護者

【市民】

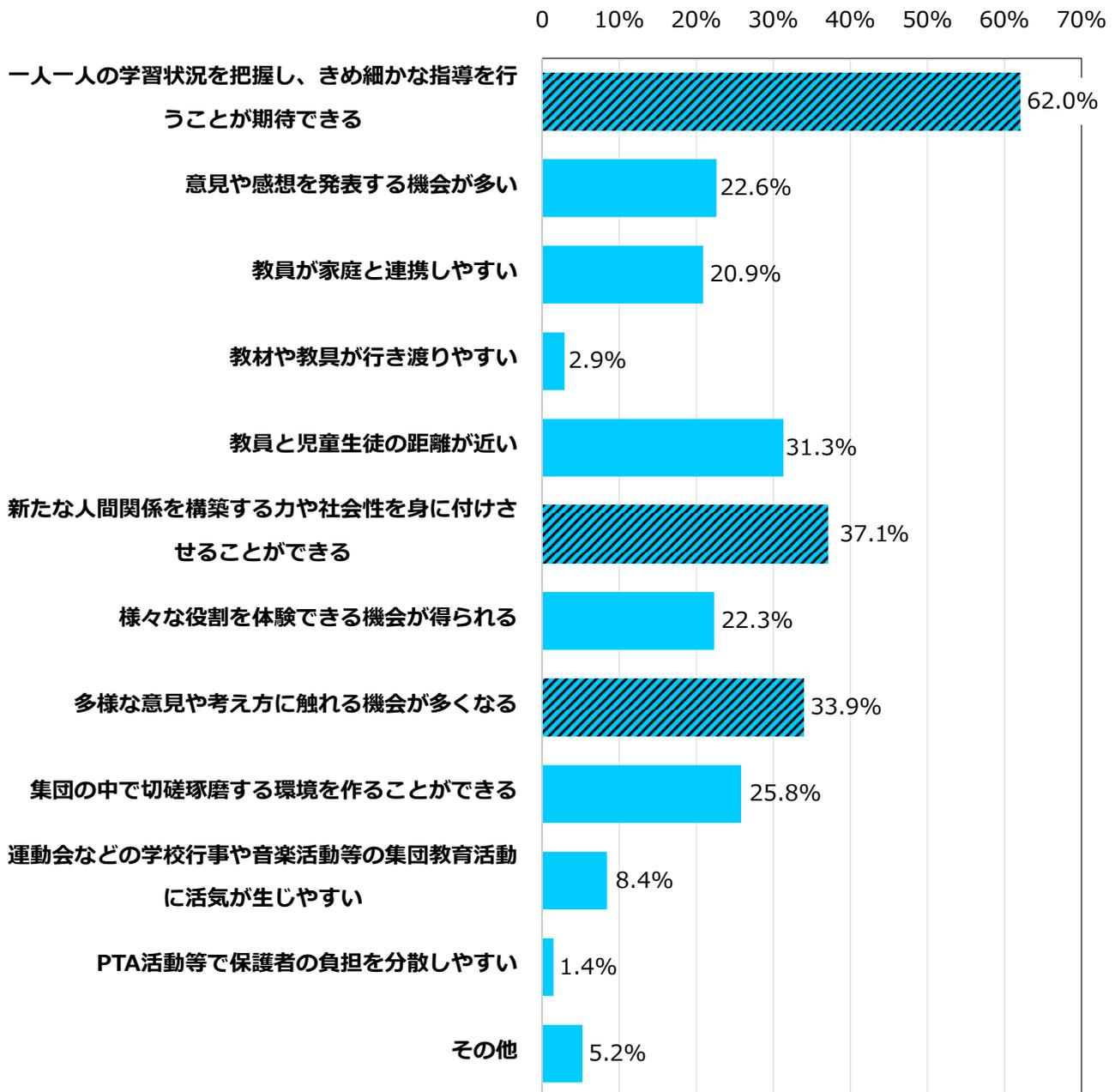
「問5」でその人数を選択した理由は、「一人一人の学習状況を把握し、きめ細かな指導を行うことが期待できる」(58.7%)、「新たな人間関係を構築する力や社会性を身に付けさせることができる」(34.9%)、「教員と児童生徒の距離が近い」(34.1%)が上位3つとなった。



(市民：n=1,116)

【未就学児の保護者】

「問5」でその人数を選択した理由は、「一人一人の学習状況を把握し、きめ細かな指導を行うことが期待できる」(62.0%)、「新たな人間関係を構築する力や社会性を身に付けさせることができる」(37.1%)、「多様な意見や考え方に触れる機会が多くなる」(33.9%)が上位3つとなった。



(未就学児の保護者：n=345)

(22) (中学校) 1クラスあたりの望ましい人数  
[1つ回答]

選択肢	回答者の属性(割合)							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
10人以下		1.0%		0.2%		1.4%	0.7%	0.0%
11~15人		0.9%		0.7%		1.4%	1.9%	0.9%
16~20人		2.1%		4.9%		6.8%	11.5%	9.9%
21~25人		6.8%		20.2%		24.9%	23.4%	23.5%
26~30人		34.6%		47.2%		47.5%	38.5%	47.2%
31~35人		42.7%		24.5%		17.6%	20.3%	15.7%
36人以上		11.9%		2.3%		0.5%	3.7%	2.9%
不明		0.2%		0.0%		0.0%	0.1%	0.0%

●児童・生徒

【生徒】

望ましいと思うクラスの人数は、「31～35人」(42.7%)、「26～30人」(34.6%)、「36人以上」(11.9%)が上位3つとなり、合計で約89%である。

●児童・生徒の保護者

【生徒の保護者】

望ましいと思うクラスの人数は、「26～30人」(47.2%)、「31～35人」(24.5%)、「21～25人」(20.2%)が上位3つとなり、合計で約92%である。

●教員

【中学校教員】

望ましいと思うクラスの人数は、「26～30人」(47.5%)、「21～25人」(24.9%)、「31～35人」(17.6%)が上位3つとなり、合計で約90%である。

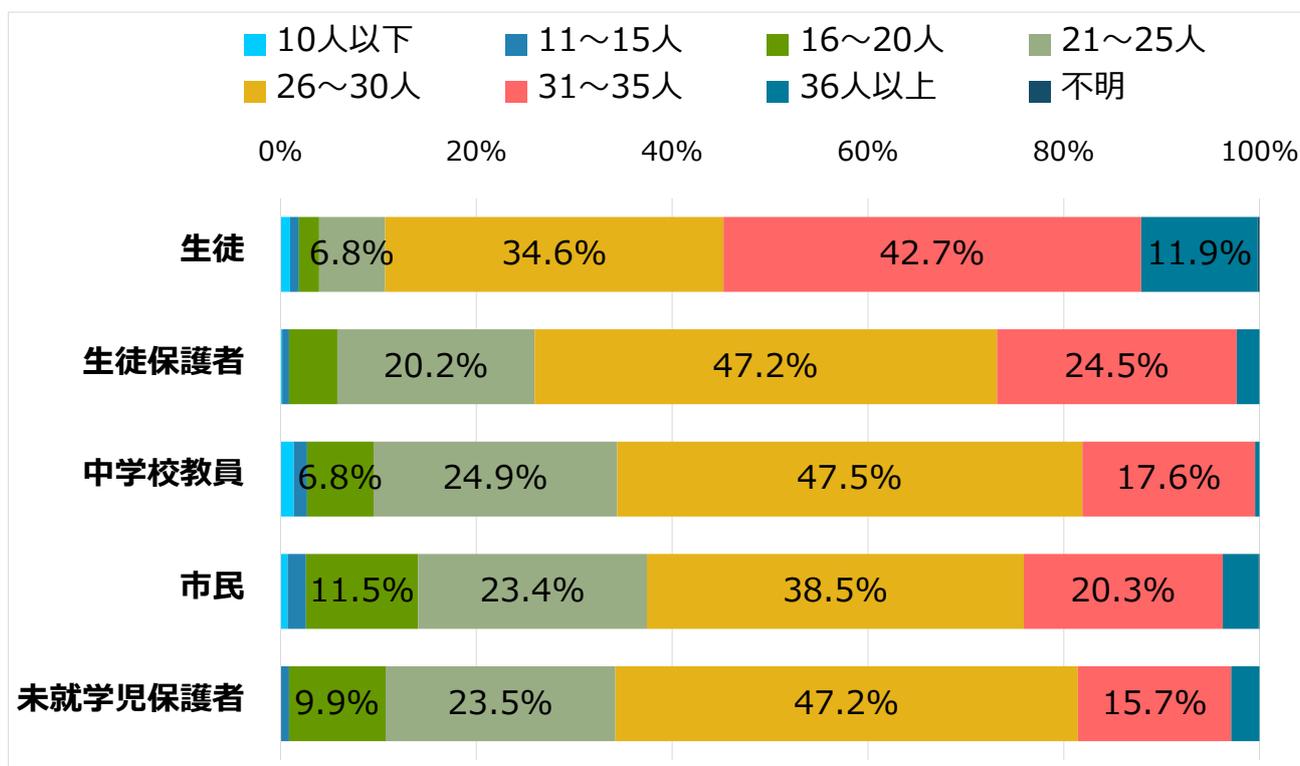
●市民・未就学児の保護者

【市民】

望ましいと思うクラスの人数は、「26～30人」(38.5%)、「21～25人」(23.4%)、「31～35人」(20.3%)が上位3つとなり、合計で約82%である。

【未就学児の保護者】

望ましいと思うクラスの人数は、「26～30人」(47.2%)、「21～25人」(23.5%)、「31～35人」(15.7%)が上位3つとなり、合計で約86%である。



(生徒：n=3,194、生徒の保護者：n=1,156、中学校教員：n=221、市民：n=1,116、未就学児の保護者：n=345)

(23) 「(22) (中学校) 1クラスあたりの望ましい人数」の回答理由  
 [3つまで回答]

選択肢	回答者の属性(割合)							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
一人一人の学習状況を把握し、きめ細かな指導を行うことが期待できる				56.0%		75.6%	50.7%	51.3%
意見や感想を発表する機会が多い				24.0%		26.7%	21.7%	17.7%
教員が家庭と連携しやすい				14.0%		27.1%	13.2%	17.7%
教材や道具が行き渡りやすい				3.3%		15.4%	2.9%	2.9%
教員と児童生徒の距離が近い				29.4%		14.0%	23.8%	21.4%
新たな人間関係を構築する力や社会性を身に付けさせることができる				29.2%		23.5%	44.6%	40.9%
様々な役割を体験できる機会が得られる				21.8%		31.7%	21.9%	23.8%
多様な意見や考え方に触れる機会が多くなる				31.2%		19.0%	42.3%	40.3%
集団の中で切磋琢磨する環境を作ることができる				26.0%		21.7%	34.0%	40.6%
運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に活気が生じやすい				17.6%		17.2%	14.5%	14.5%
P T A活動等で保護者の負担を分散しやすい				1.7%		0.0%	1.3%	0.6%
その他				2.9%		4.1%	2.9%	3.5%

調査対象	その他回答の件数(件)・主な意見	
生徒保護者	30	人数が多いと教室が狭くなる、教員の負担減、生徒同士のコミュニケーションがとりやすい
教員(中学校)	9	教員の負担減、細かい対応ができる
市民	31	教員の負担減、自分が子どもだった頃はこれくらいの人数だった、細かいことに気付きやすい
未就学児保護者	13	教員の負担減、様々な活動のバランスが良い

●児童・生徒の保護者

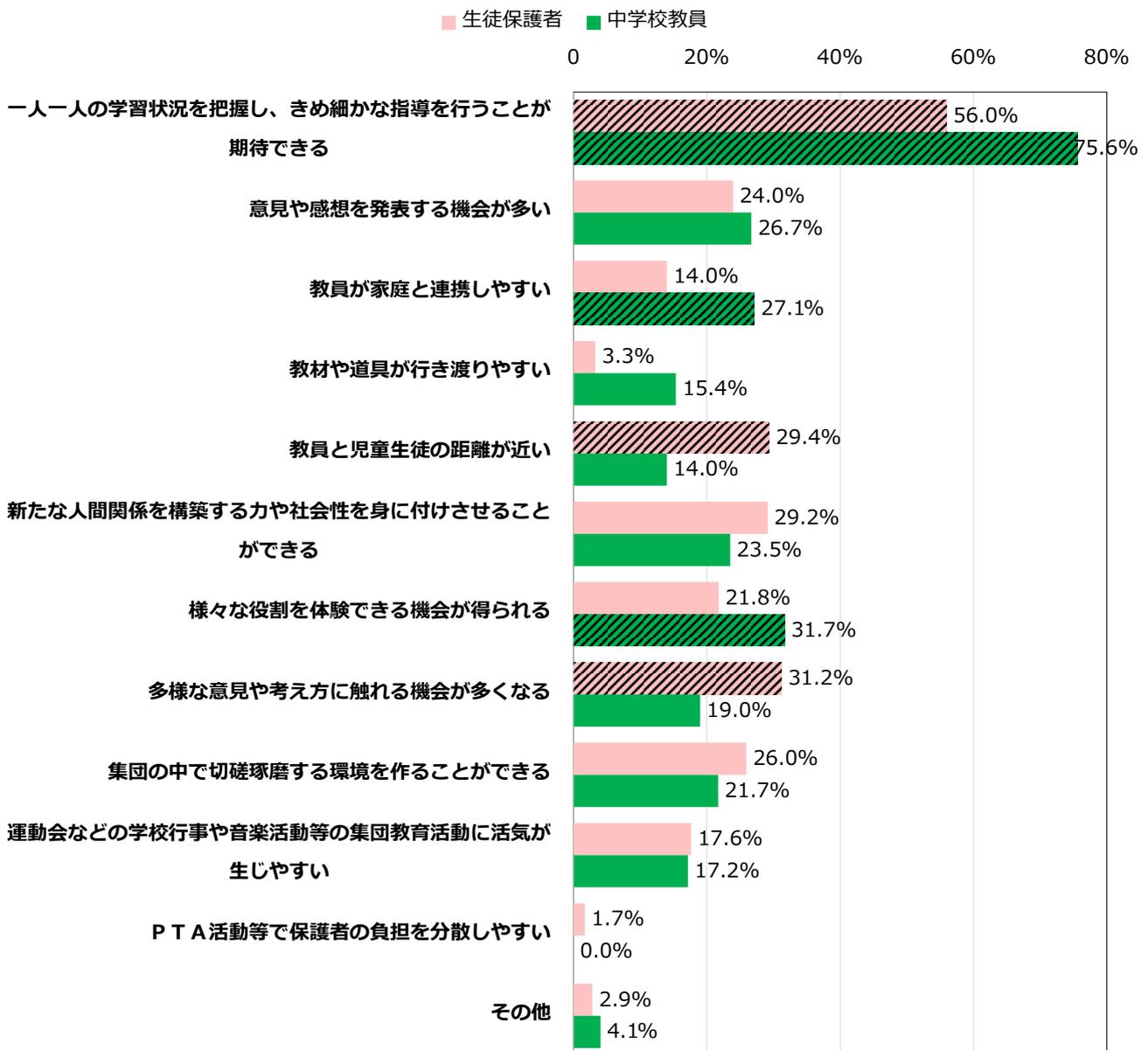
【生徒の保護者】

「問 10」でその人数を選択した理由は、「一人一人の学習状況を把握し、きめ細かな指導を行うことが期待できる」(56.0%)、「多様な意見や考え方に触れる機会が多くなる」(31.2%)、「教員と児童生徒の距離が近い」(29.4%)が上位3つとなった。

●教員

【中学校教員】

「問 7」でその人数を選択した理由は、「一人一人の学習状況を把握し、きめ細かな指導を行うことが期待できる」(75.6%)、「様々な役割を体験できる機会が得られる」(31.7%)、「家庭と連携しやすい」(27.1%)が上位3つとなった。

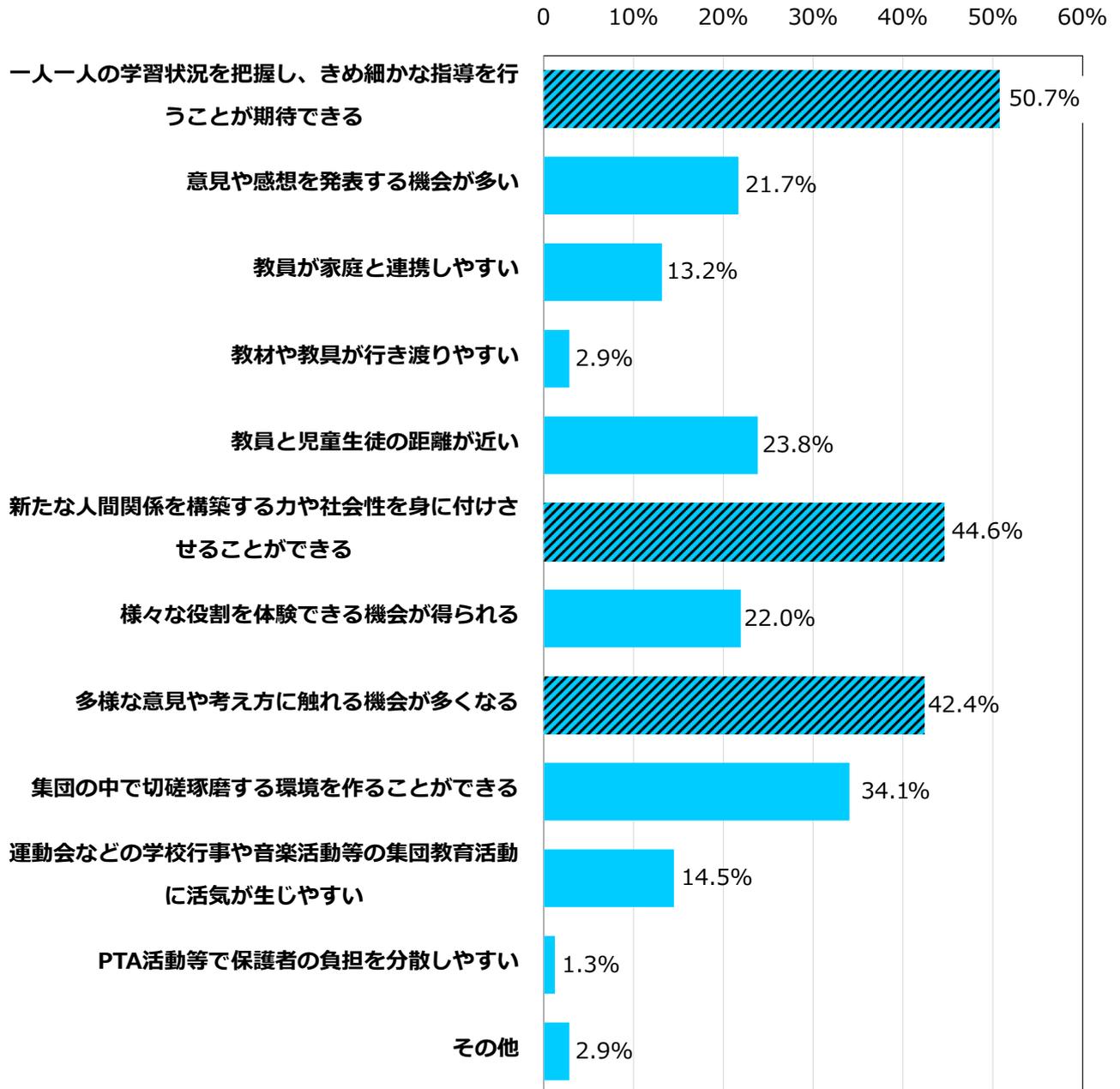


(生徒の保護者：n=1,156、中学校教員：n=221)

●市民・未就学児の保護者

【市民】

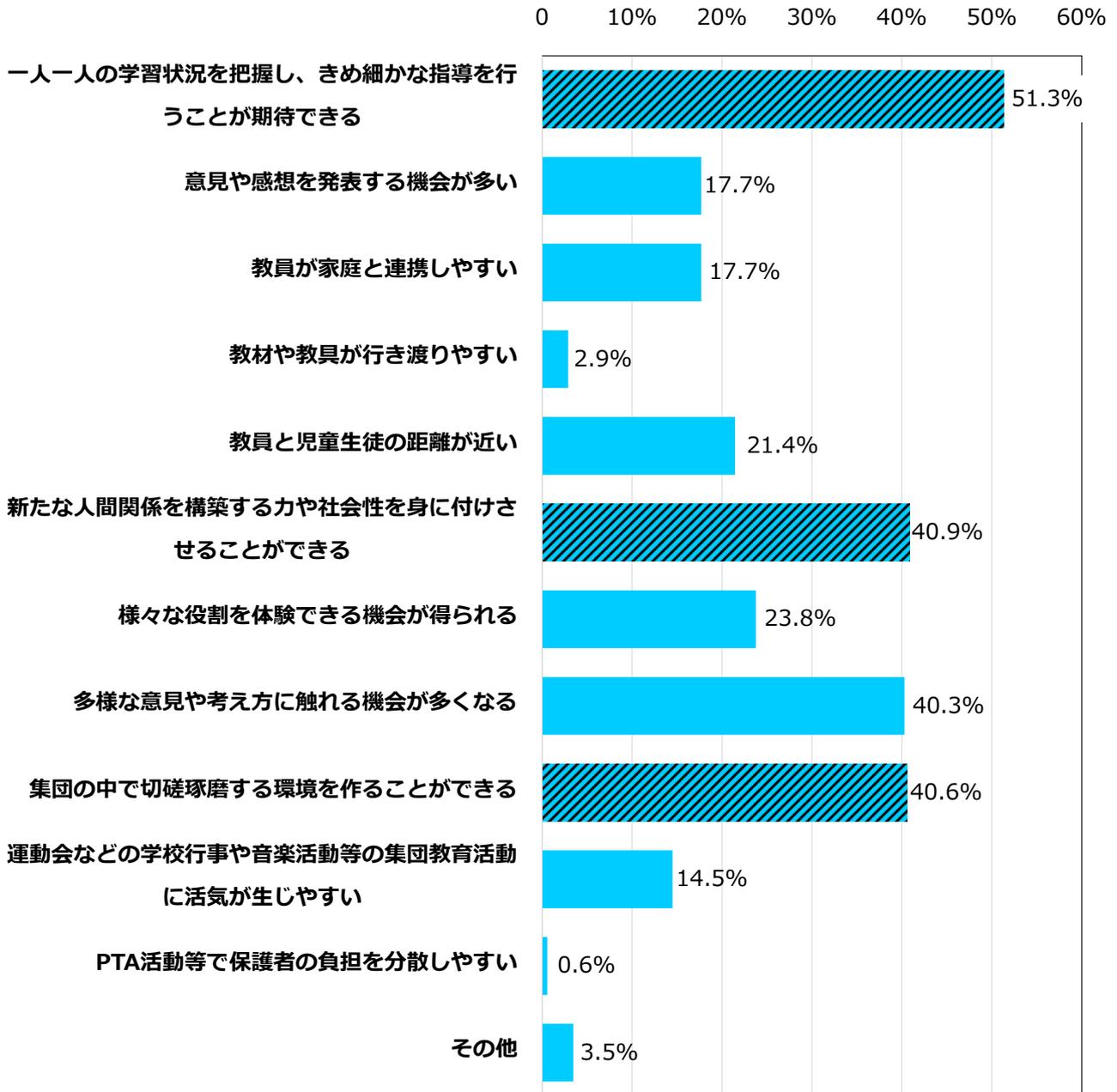
「問7」でその人数を選択した理由は、「一人一人の学習状況を把握し、きめ細かな指導を行うことが期待できる」(50.7%)、「新たな人間関係を構築する力や社会性を身に付けさせることができる」(44.6%)、「多様な意見や考え方に触れる機会が多くなる」(42.4%)が上位3つとなった。



(市民：n=1,116)

【未就学児の保護者】

「問7」でその人数を選択した理由は、「一人一人の学習状況を把握し、きめ細かな指導を行うことが期待できる」(51.3%)、「新たな人間関係を構築する力や社会性を身に付けさせることができる」(40.9%)、「集団の中で切磋琢磨する環境を作ることができる」(40.6%)が上位3つとなった。



(未就学児の保護者：n=345)

(24) 学年のクラス数  
[1つ回答]

選択肢	回答者の属性（割合）							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
1クラス	11.0%	0.1%	14.5%	0.3%	18.6%	0.5%		
2クラス	41.9%	9.3%	42.7%	12.1%	42.2%	12.2%		
3クラス	27.2%	34.2%	26.8%	30.6%	26.0%	35.7%		
4クラス	18.2%	12.5%	15.8%	16.1%	10.8%	11.8%		
5クラス	0.3%	24.8%	0.1%	25.3%	1.8%	23.5%		
6クラス	0.5%	12.0%	0.0%	9.5%	0.3%	10.0%		
7クラス以上	0.4%	7.1%	0.0%	6.1%	0.3%	6.3%		
不明	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

●児童・生徒

【児童】

学年のクラス数は、「2クラス」(41.9%)、「3クラス」(27.2%)、「4クラス」(18.2%)が上位3つとなり、合計で約88%である。

【生徒】

学年のクラス数は、「3クラス」(34.2%)、「5クラス」(24.8%)、「4クラス」(12.5%)が上位3つとなり、合計で約72%である。

●児童・生徒の保護者

【児童の保護者】

回答者の子どもの学年のクラス数は、「2クラス」(42.7%)、「3クラス」(26.8%)、「4クラス」(15.8%)が上位3つとなり、合計で約85%である。

【生徒の保護者】

回答者の子どもの学年のクラス数は、「3クラス」(30.6%)、「5クラス」(25.3%)、「4クラス」(16.1%)が上位3つとなり、合計で約72%である。

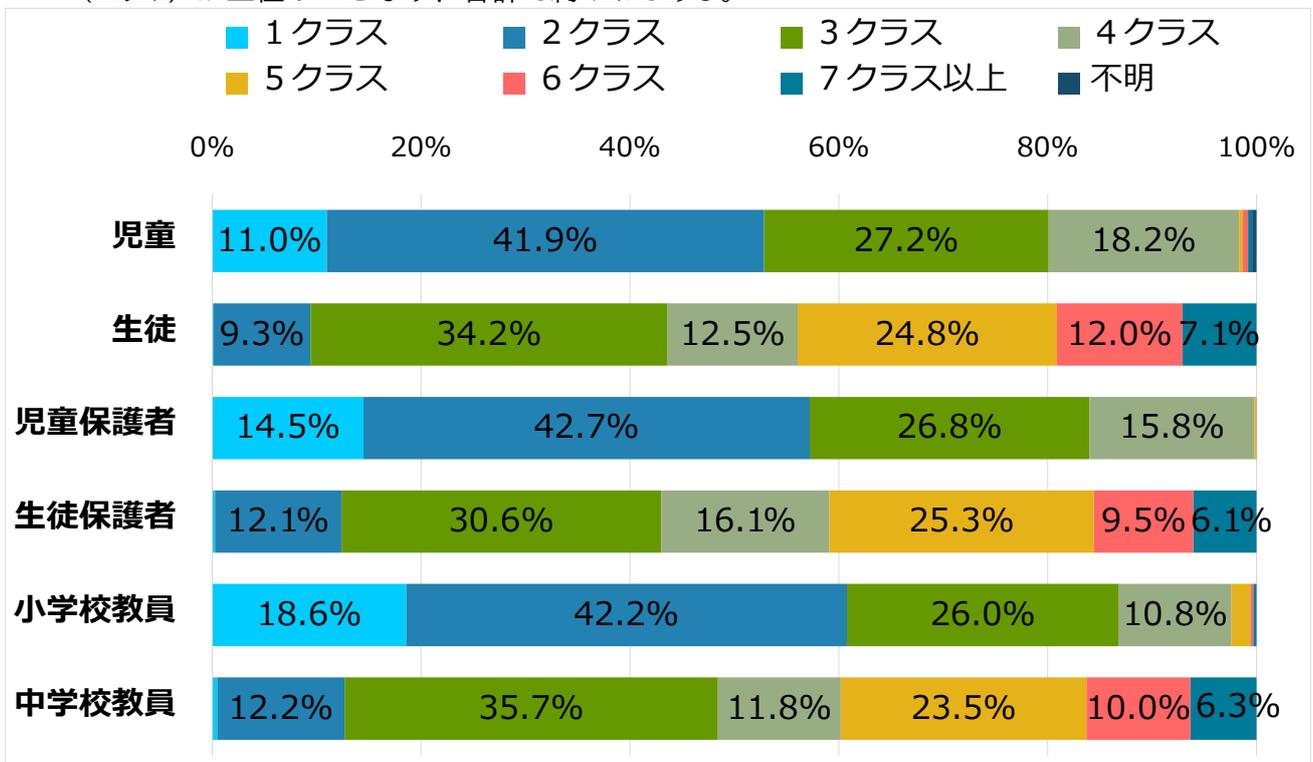
●教員

【小学校教員】

受け持っている学年のクラス数は、「2クラス」(42.2%)、「3クラス」(26.0%)、「1クラス」(18.6%)が上位3つとなり、合計で約87%である。

【中学校教員】

受け持っている学年のクラス数は、「3クラス」(35.7%)、「5クラス」(23.5%)、「2クラス」(12.2%)が上位3つとなり、合計で約71%である。



(児童：n=3,509、生徒：n=3,199、児童の保護者：n=2,045、生徒の保護者：n=1,156、小学校教員：n=334、中学校教員：n=221)

(25) 現在の学年のクラス数の印象  
[1つ回答]

選択肢	回答者の属性（割合）							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
もっと多い方が良い	18.7%	14.8%	37.8%	24.0%	32.0%	18.6%		
ちょうど良い	76.9%	76.1%	59.1%	69.4%	62.0%	57.5%		
もっと少ない方が良い	3.6%	8.8%	3.0%	6.7%	6.0%	24.0%		
不明	0.8%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

●児童・生徒

【児童】

学年のクラス数については、「ちょうど良い」(76.9%)、「もっと多い方が良い」(18.7%)、「もっと少ない方が良い」(3.6%)となった。

【生徒】

学年のクラス数については、「ちょうど良い」(76.1%)、「もっと多い方が良い」(14.8%)、「もっと少ない方が良い」(8.8%)となった。

●児童・生徒の保護者

【児童の保護者】

回答者の子どもの学年のクラス数は、「ちょうど良い」(59.1%)、「もっと多い方が良い」(37.8%)、「もっと少ない方が良い」(3.0%)となった。

【生徒の保護者】

回答者の子どもの学年のクラス数は、「ちょうど良い」(69.4%)、「もっと多い方が良い」(24.0%)、「もっと少ない方が良い」(6.7%)となった。

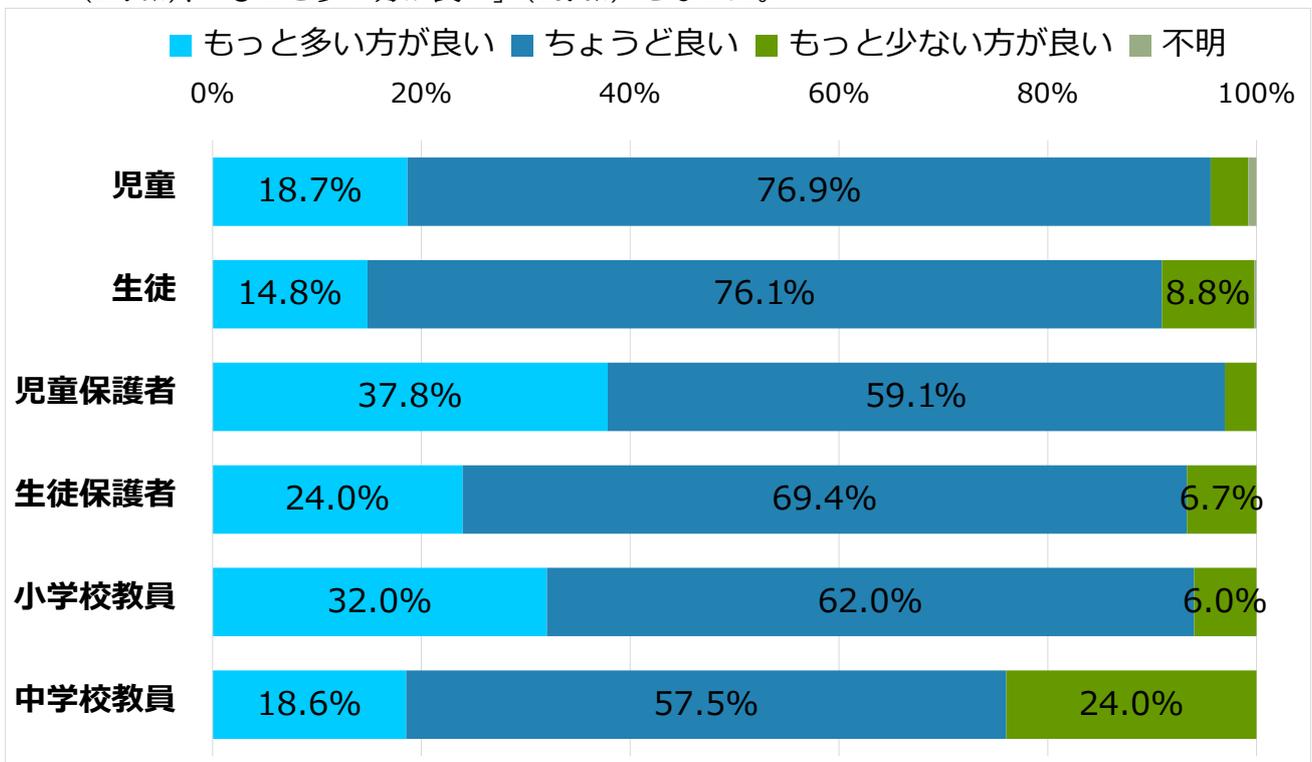
●教員

【小学校教員】

受け持っている学年のクラス数は、「ちょうど良い」(62.0%)、「もっと多い方が良い」(32.0%)、「もっと少ない方が良い」(6.0%)となった。

【中学校教員】

受け持っている学年のクラス数は、「ちょうど良い」(57.5%)、「もっと少ない方が良い」(24.0%)、「もっと多い方が良い」(18.6%)となった。



(児童：n=3,496、生徒：n=3,193、生徒：n=3,193、児童の保護者：n=2,045、生徒の保護者：n=1,156、小学校教員：n=334、中学校教員：n=221)

(26) (小学校) 1学年あたりの望ましいクラス数  
[1つ回答]

選択肢	回答者の属性(割合)							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
1クラス	8.2%		0.8%		1.2%		0.6%	1.4%
2クラス	31.8%		22.0%		30.8%		16.2%	21.2%
3クラス	32.0%		52.6%		59.3%		57.3%	57.4%
4クラス	19.6%		20.2%		7.2%		15.8%	15.7%
5クラス	4.5%		3.5%		0.9%		8.1%	3.2%
6クラス	1.6%		0.4%		0.0%		0.7%	0.6%
7クラス以上	1.8%		0.4%		0.6%		1.1%	0.6%
不明	0.5%		0.0%		0.0%		0.2%	0.0%

●児童・生徒

【児童】

1 学年あたりの望ましいと思うクラス数は、「3クラス」(32.0%)、「2クラス」(31.8%)、「4クラス」(19.6%)が上位3つとなり、合計で約84%である。

●児童・生徒の保護者

【児童の保護者】

1 学年あたりの望ましいと思うクラス数は、「3クラス」(52.6%)、「2クラス」(22.0%)、「4クラス」(20.2%)が上位3つとなり、合計で約95%である。

●教員

【小学校教員】

1 学年あたりの望ましいと思うクラス数は、「3クラス」(59.3%)、「2クラス」(30.8%)、「4クラス」(7.2%)が上位3つとなり、合計で約97%である。

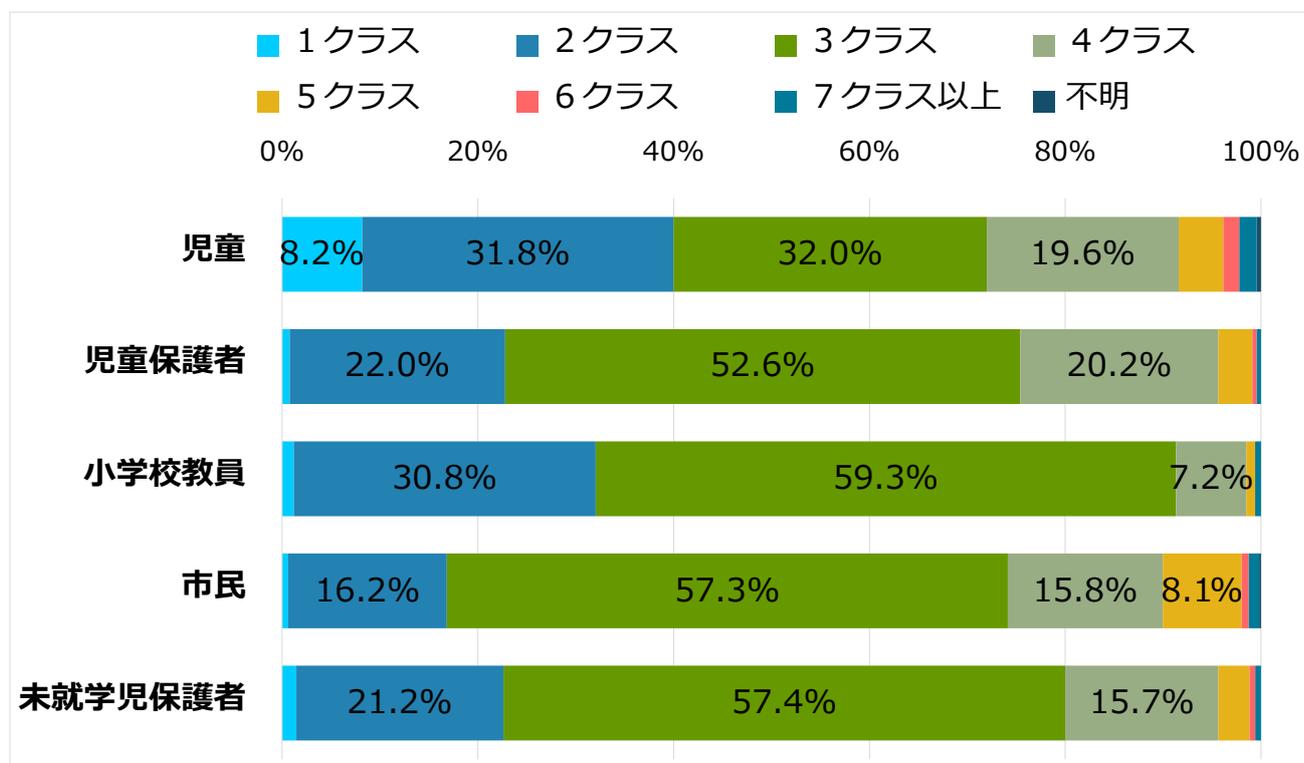
●市民・未就学児の保護者

【市民】

1 学年あたりの望ましいと思うクラス数は、「3クラス」(57.3%)、「2クラス」(16.2%)、「4クラス」(15.8%)が上位3つとなり、合計で約90%である。

【未就学児の保護者】

1 学年あたりの望ましいと思うクラス数は、「3クラス」(57.4%)、「2クラス」(21.2%)、「4クラス」(15.7%)が上位3つとなり、合計で約94%である。



(児童：n=3,508、児童の保護者：n=2,045、小学校教員：n=334、市民：n=1,115、未就学児の保護者：n=345)

(27) 「(26) (小学校) 1学年あたりの望ましいクラス数」の回答理由  
 [3つまで回答]

選択肢	回答者の属性(割合)							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
クラス替えができる			62.2%		70.4%		69.7%	68.4%
運動場や特別教室、教材備品などが余裕をもって使える			12.1%		17.4%		11.0%	13.9%
体験的な学習や校外学習が機動的に行える			12.6%		16.8%		13.5%	13.9%
新たな人間関係を構築する力や社会性を身に付けさせることができる			54.8%		45.8%		47.1%	51.0%
多様な意見や考え方に触れる機会が多くなる			32.5%		21.6%		27.8%	25.8%
集団の中で切磋琢磨する環境を作ることができる			20.8%		17.7%		18.0%	19.1%
習熟度別指導や学年内での教員の役割分担による専科指導等の多様な指導形態をとることができる			9.9%		29.3%		18.2%	13.6%
運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に活気が生じやすい			25.9%		13.2%		26.4%	25.5%
多様なクラブ活動や部活動の設置が可能になる			5.7%		0.6%		8.1%	4.9%
教員が一定数いるため、経験、教科、特性など様々な面でバランスの取れた教職員配置を行いやすい			14.3%		41.6%		23.7%	20.9%
P T A 活動等で役割分担により保護者の負担を分散しやすい			2.8%		0.0%		0.8%	1.2%
その他			2.9%		2.1%		2.3%	3.5%

ここから作業再開

調査対象	その他回答の件数(件)・主な意見	
児童保護者	59	クラス数の考慮というよりはクラスの人数を少なくするため、2クラス以下では逃げ場が限られる
教員(小学校)	7	教員の負担減、様々なニーズへの対応
市民	26	教員の目が届きやすい、人間関係に柔軟性を持たせる、関わりを持たない人が生まれにくい
未就学児保護者	13	自分が子どもだった頃のクラス数で特に不満は無かった、2クラス以上はあるべき

●児童・生徒の保護者

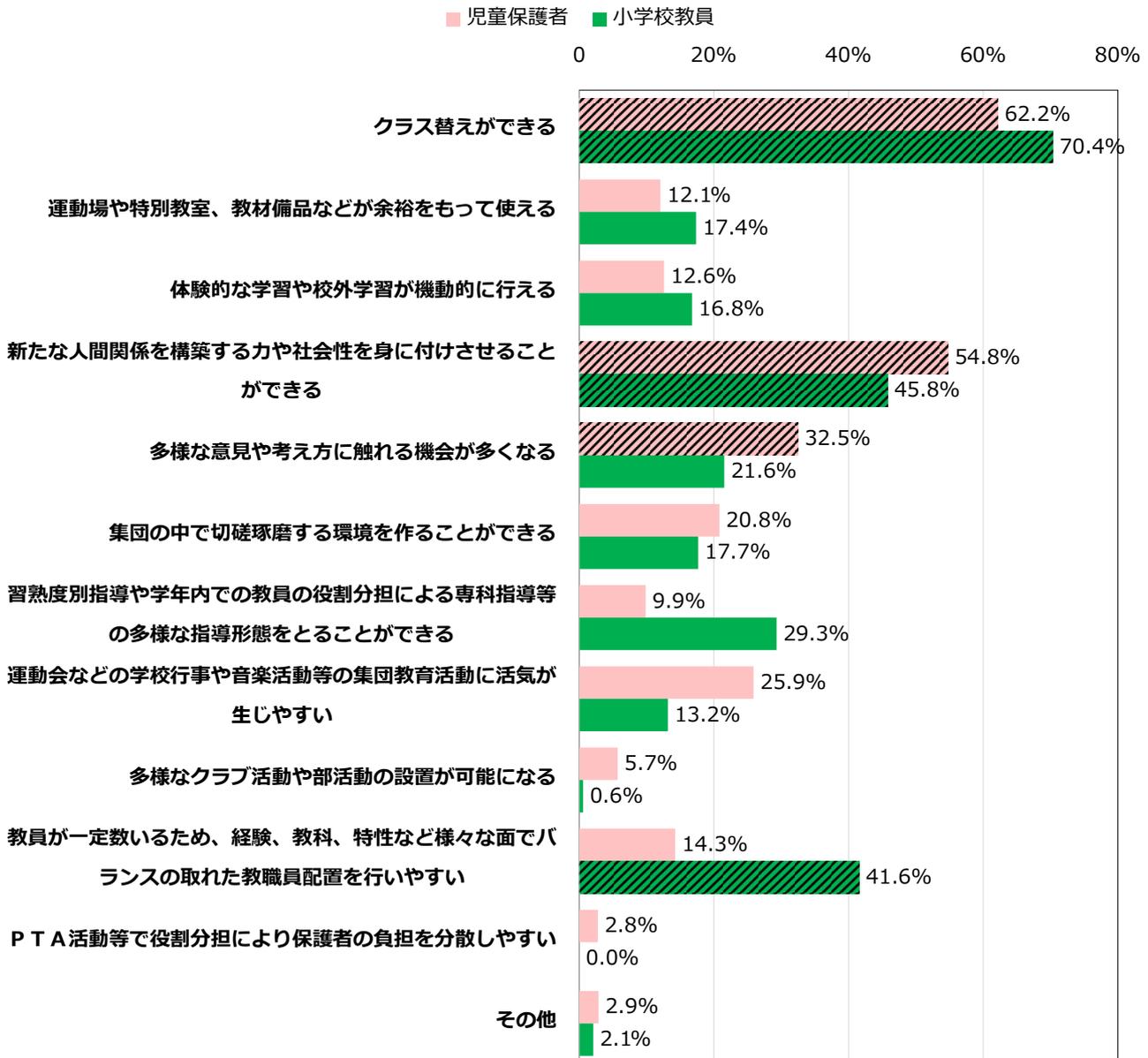
【児童の保護者】

「問 14」でそのクラス数を選択した理由は、「クラス替えができる」(62.2%)、「新たな人間関係を構築する力や社会性を身に付けさせることができる」(54.8%)、「多様な意見や考え方に触れる機会が多くなる」(32.5%)が上位3つとなった。

●教員

【小学校教員】

「問 11」でそのクラス数を選択した理由は、「クラス替えができる」(70.4%)、「新たな人間関係を構築する力や社会性を身に付けさせることができる」(45.8%)、「教員数が一定数いるため、経験、教科、特性など様々な面でバランスの取れた教職員配置を行いやすい」(41.6%)が上位3つとなった。

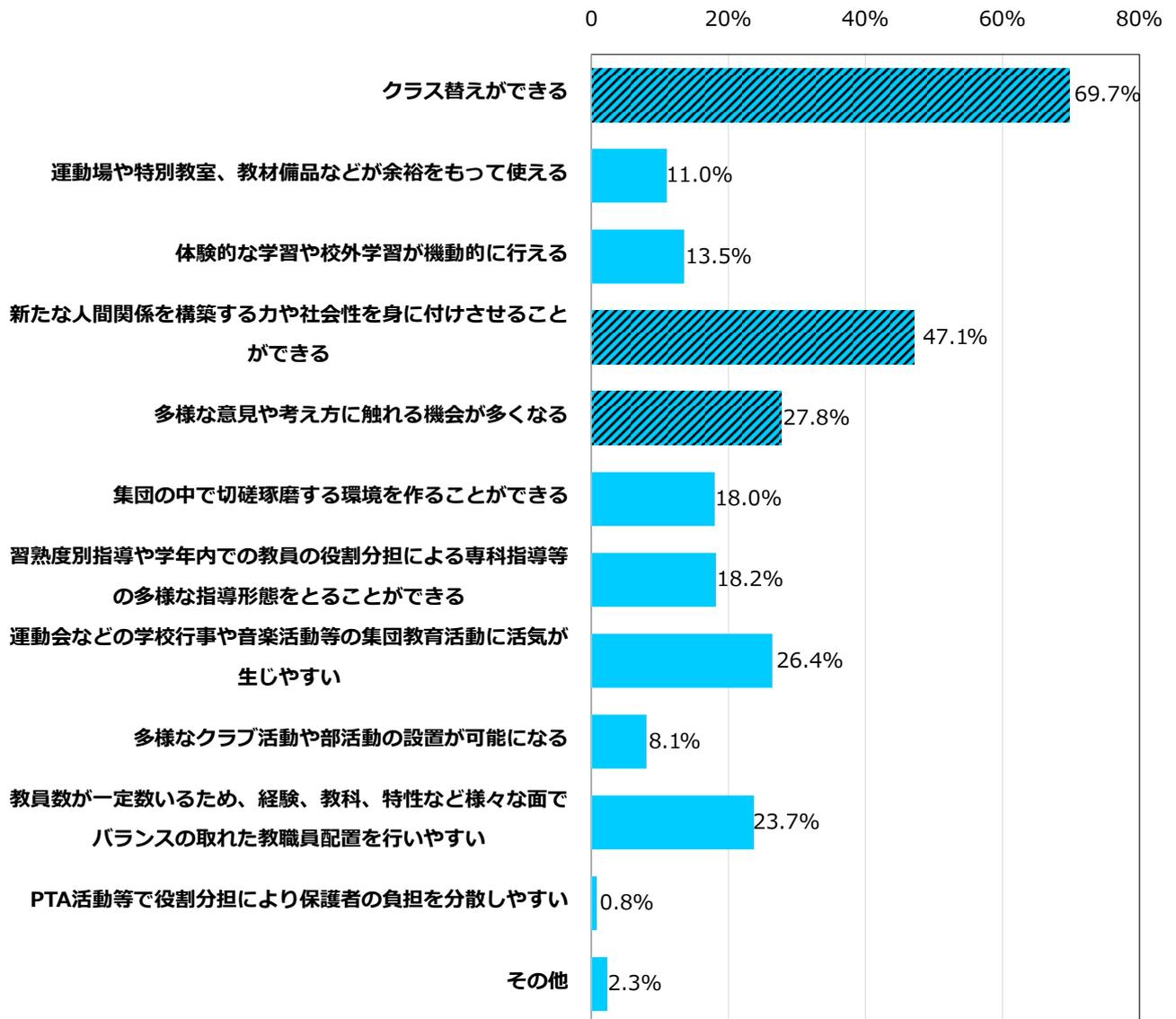


(児童の保護者：n=2,045、小学校教員：n=334)

●市民・未就学児の保護者

【市民】

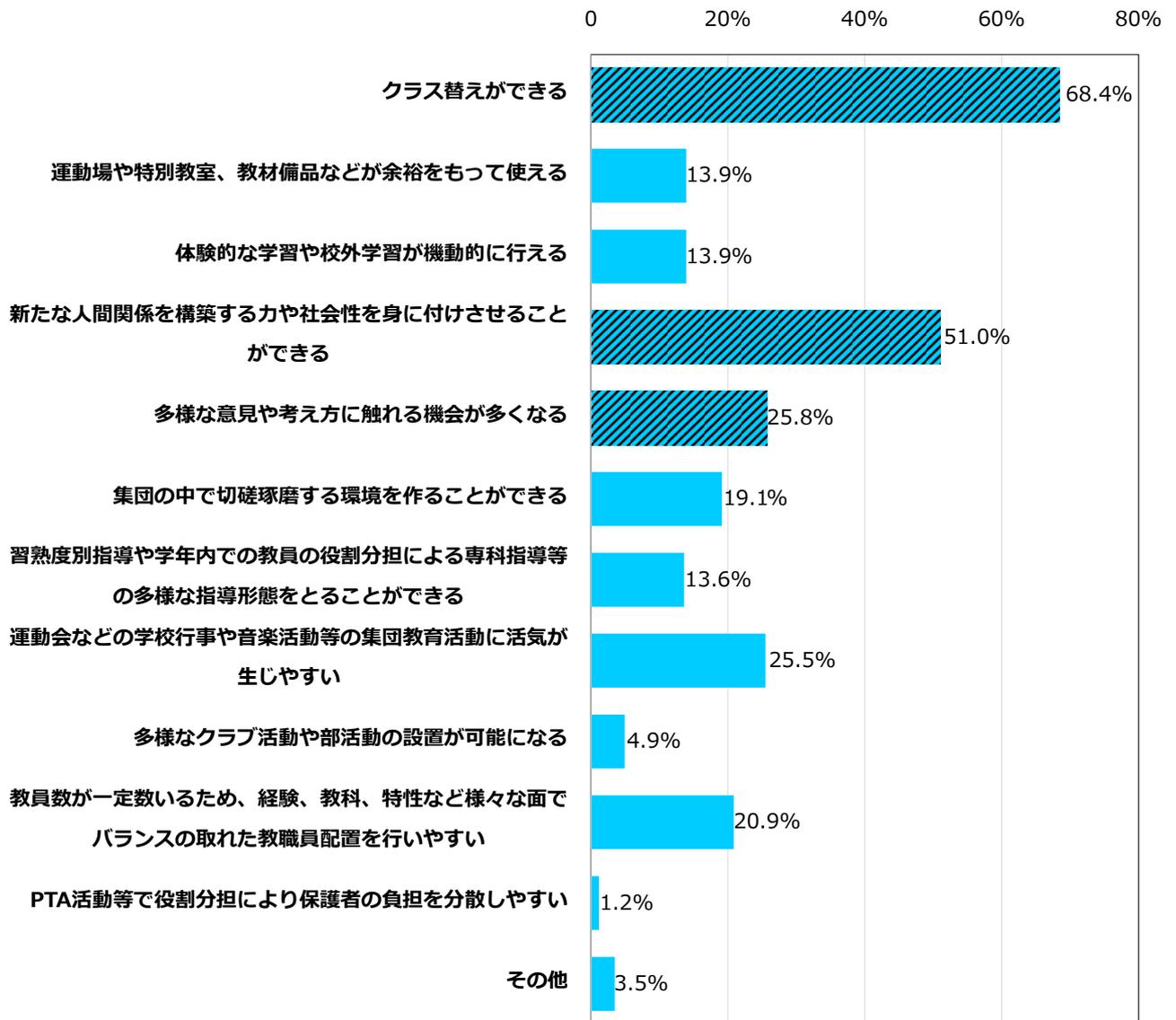
「問 9」でその人数を選択した理由は、「クラス替えができる」(69.7%)、「新たな人間関係を構築する力や社会性を身に付けさせることができる」(47.1%)、「多様な意見や考え方に触れる機会が多くなる」(27.8%)が上位3つとなった。



(市民：n=1,116)

【未就学児の保護者】

「問 9」でそのクラス数を選択した理由は、「クラス替えができる」(68.4%)、「新たな人間関係を構築する力や社会性を身に付けさせることができる」(51.0%)、「多様な意見や考え方に触れる機会が多くなる」(25.8%)が上位3つとなった。



(未就学児の保護者：n=345)

(28) (中学校) 1 学年あたりの望ましいクラス数  
[1つ回答]

選択肢	回答者の属性 (割合)							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
1クラス		0.6%		0.1%		0.5%	0.2%	0.3%
2クラス		6.0%		1.0%		2.7%	3.4%	4.9%
3クラス		30.7%		22.9%		33.5%	28.1%	30.1%
4クラス		19.7%		29.4%		46.2%	30.1%	35.7%
5クラス		24.0%		30.8%		12.2%	25.8%	20.6%
6クラス		12.2%		12.5%		5.0%	9.0%	7.5%
7クラス以上		6.5%		3.2%		0.0%	3.3%	0.9%
不明		0.3%		0.0%		0.0%	0.2%	0.0%

●児童・生徒

【生徒】

1学年あたりの望ましいと思うクラス数は、「3クラス」(30.7%)、「5クラス」(24.0%)、「4クラス」(19.7%)が上位3つとなった。

●児童・生徒の保護者

【生徒の保護者】

1学年あたりの望ましいと思うクラス数は、「5クラス」(30.8%)、「4クラス」(29.4%)、「3クラス」(22.9%)が上位3つとなり、合計で約83%である。

●教員

【中学校教員】

1学年あたりの望ましいと思うクラス数は、「4クラス」(46.2%)、「3クラス」(33.5%)、「5クラス」(12.2%)が上位3つとなり、合計で約92%である。

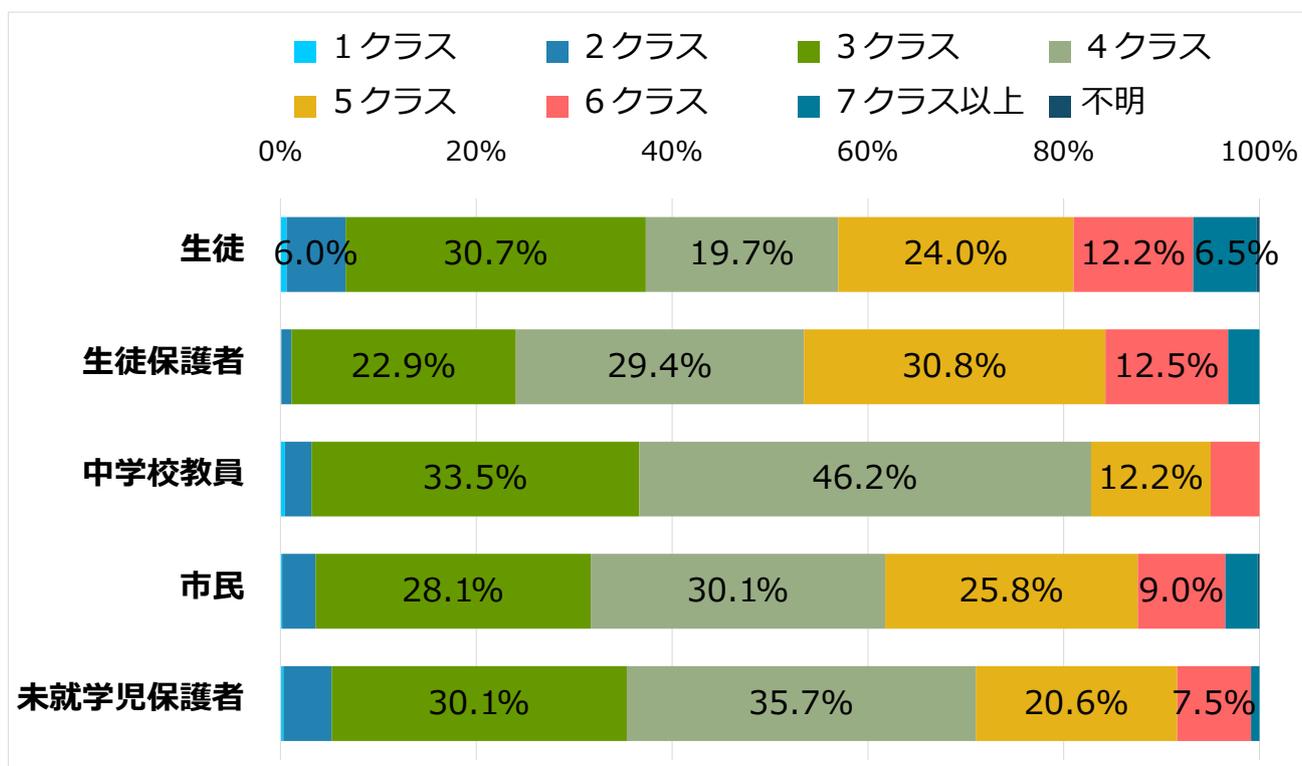
●市民・未就学児の保護者

【市民】

1学年あたりの望ましいと思うクラス数は、「4クラス」(30.1%)、「3クラス」(28.1%)、「5クラス」(25.8%)が上位3つとなり、合計で約84%である。

【未就学児の保護者】

1学年あたりの望ましいと思うクラス数は、「4クラス」(35.7%)、「3クラス」(30.1%)、「5クラス」(20.6%)が上位3つとなり、合計で約86%である。



(生徒：n=3,191、生徒の保護者：n=1,156、中学校教員：n=221、市民：n=1,115、未就学児の保護者：n=345)

(29) 「(28) (中学校) 1学年あたりの望ましいクラス数」の回答理由  
 [3つまで回答]

選択肢	回答者の属性(割合)							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
クラス替えができる				49.9%		33.9%	61.2%	64.9%
運動場や特別教室、教材備品などが余裕をもって使える				13.1%		25.3%	8.4%	10.1%
体験的な学習や校外学習が機動的に行える				10.7%		24.0%	11.8%	11.0%
新たな人間関係を構築する力や社会性を身に付けさせることができる				47.1%		38.0%	52.4%	51.6%
多様な意見や考え方に触れる機会が多くなる				30.5%		18.6%	34.3%	29.6%
集団の中で切磋琢磨する環境を作ることができる				26.8%		27.6%	25.8%	26.1%
習熟度別指導や学年内での教員の役割分担による専科指導等の多様な指導形態をとることができる				10.7%		15.8%	20.9%	17.7%
運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に活気が生じやすい				31.1%		30.3%	22.1%	21.7%
多様なクラブ活動や部活動の設置が可能になる				12.3%		3.6%	13.7%	12.8%
教員が一定数いるため、経験、教科、特性など様々な面でバランスの取れた教職員配置を行いやすい				14.7%		49.8%	22.4%	18.8%
P T A 活動等で役割分担により保護者の負担を分散しやすい				1.0%		0.5%	0.9%	0.9%
その他				3.4%		2.7%	1.8%	2.9%

調査対象	その他回答の件数(件)・主な意見	
生徒保護者	35	現状のクラス数では教室が狭く圧迫感がある、偶数クラスがよい、お互いに知り合う機会を増やせる
教員(中学校)	6	教員一人で学年全クラスの教科担任ができる(複数学年の授業を受け持たずに済む)、いろいろな活動がしやすい
市民	20	ある程度の規模を設けることで学校運営上の自由度を確保出来る、様々な活動を行う上でバランスが良い
未就学児保護者	10	クラスが少なすぎると逃げ場が無くなる、3クラス以上はあった方がよい

●児童・生徒の保護者

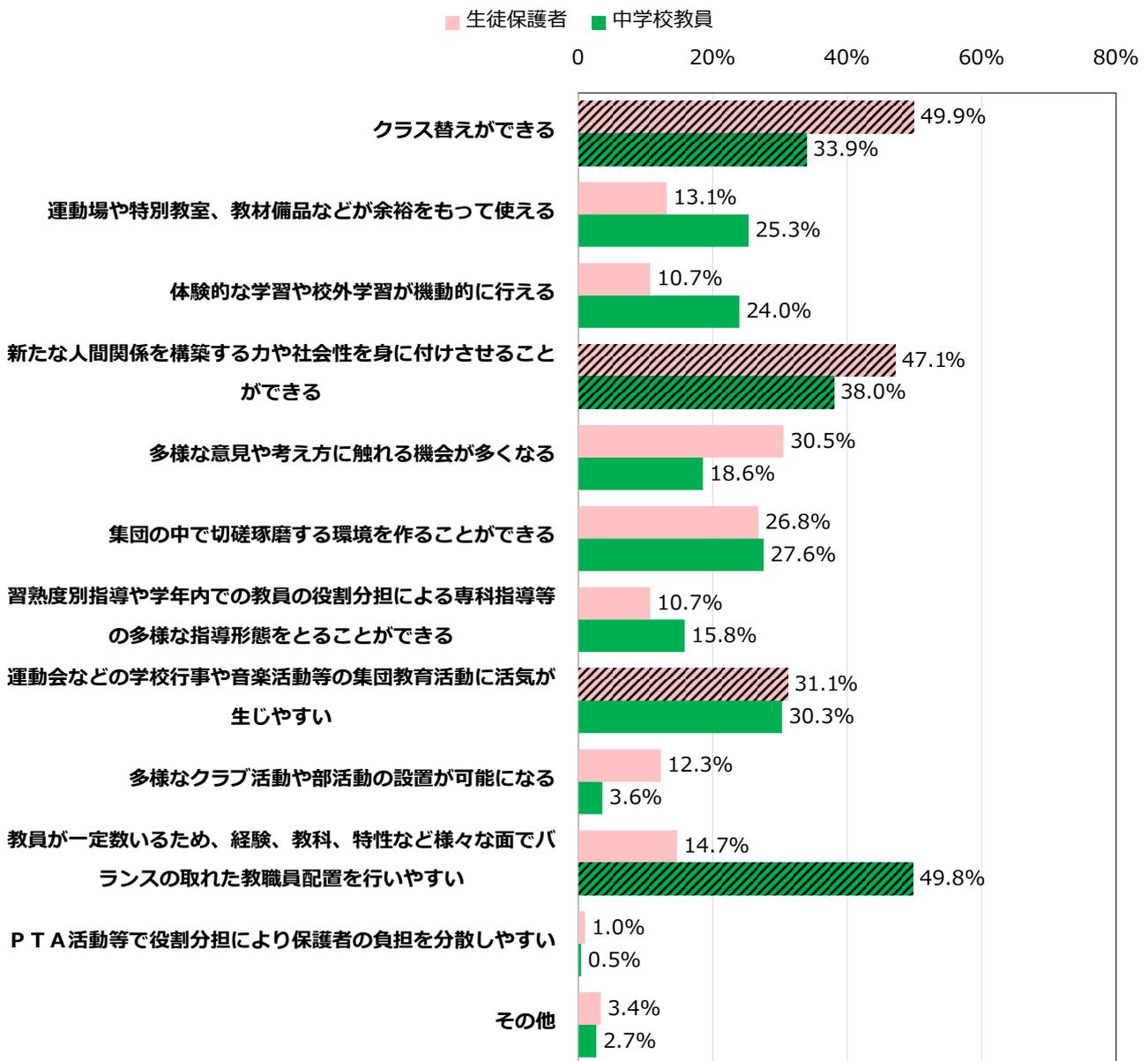
【生徒の保護者】

「問 14」でそのクラス数を選択した理由は、「クラス替えができる」(49.9%)、「新たな人間関係を構築する力や社会性を身に付けさせることができる」(47.1%)、「運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に活気が生じやすい」(31.1%)が上位3つとなった。

●教員

【中学校教員】

「問 11」でそのクラス数を選択した理由は、「教員数が一定数いるため、経験、教科、特性など様々な面でバランスの取れた教職員配置を行いやすい」(49.8%)、「新たな人間関係を構築する力や社会性を身に付けさせることができる」(38.0%)、「クラス替えができる」(33.9%)が上位3つとなった。

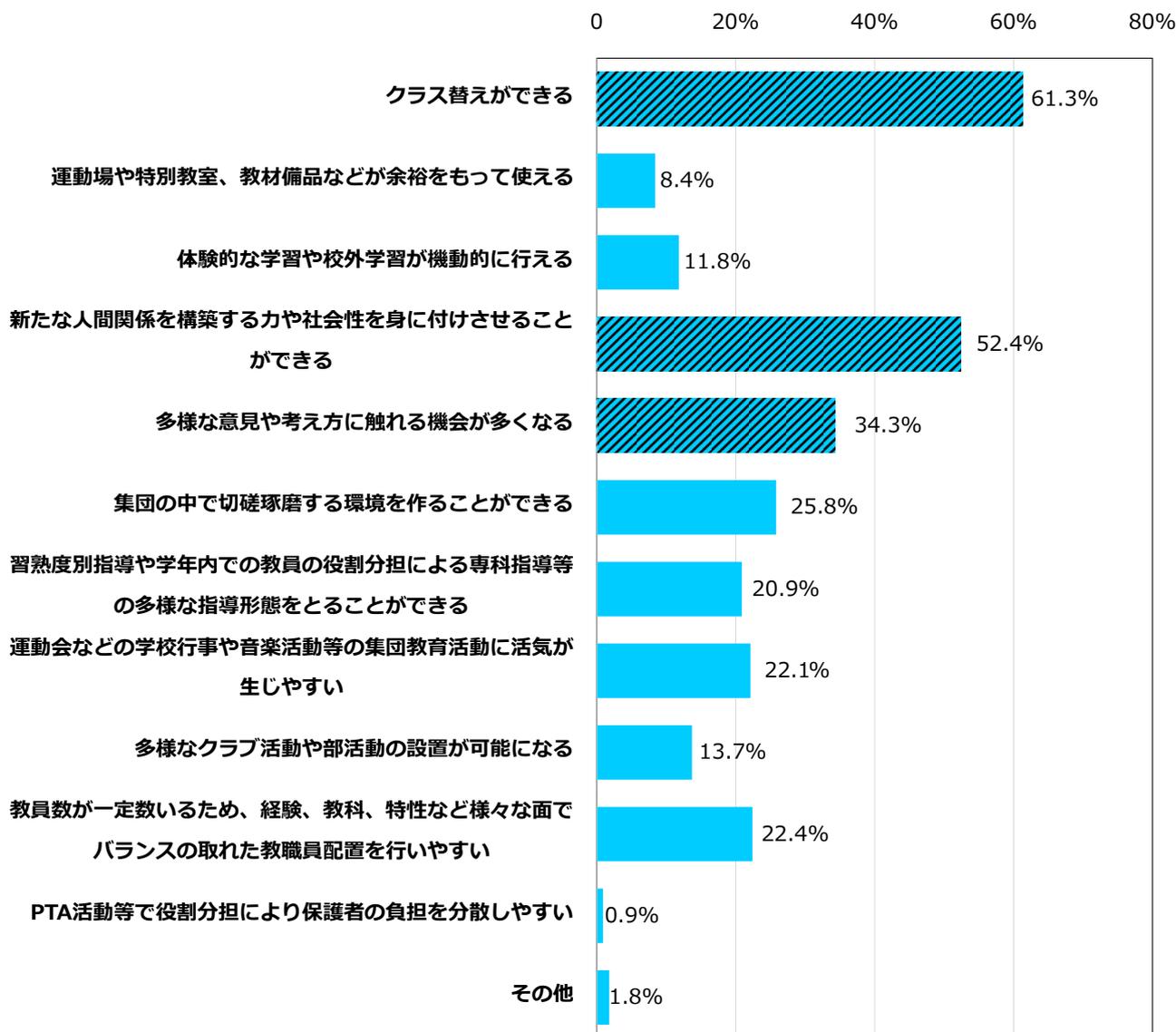


(生徒の保護者：n=1,156、中学校教員：n=221)

●市民・未就学児の保護者

【市民】

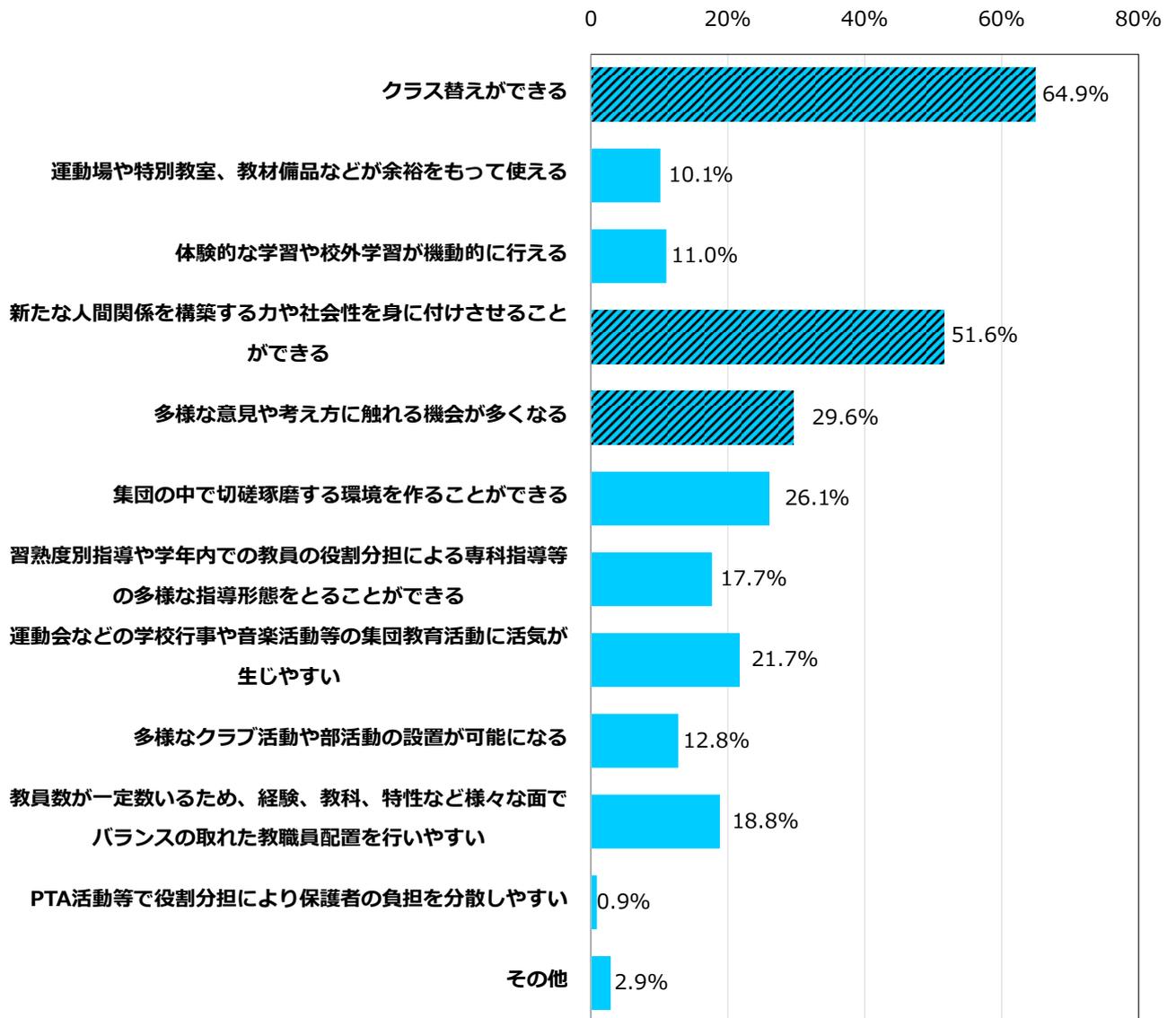
「問 11」でそのクラス数を選択した理由は「クラス替えができる」(61.3%)、「新たな人間関係を構築する力や社会性を身に付けさせることができる」(52.4%)、「多様な意見や考え方に触れる機会が多くなる」(34.3%)が上位3つとなった。



(市民：n=1,116)

【未就学児の保護者】

「問 11」でそのクラス数を選択した理由は「クラス替えができる」(64.9%)、「新たな人間関係を構築する力や社会性を身に付けさせることができる」(51.6%)、「多様な意見や考え方に触れる機会が多くなる」(29.6%)が上位3つとなった。



(未就学児の保護者：n=345)

### (30) 小規模校化によって生じ得る効果

[3つまで回答]

選択肢	回答者の属性（割合）							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
一人一人の学習状況を把握しやすい					87.1%	81.0%		
意見や感想を発表する機会が多い					30.2%	27.6%		
運動場や特別教室などが余裕をもって使える					40.7%	36.7%		
地域の協力が得られやすい					8.7%	2.7%		
家庭や地域との連携がしやすい					20.4%	19.9%		
教材や教具が行き渡りやすい					23.7%	21.3%		
体験的な学習や校外学習が機動的に行える					21.0%	19.9%		
教職員と児童生徒の距離が近い					26.6%	44.3%		
児童生徒の家庭環境を把握しやすい					18.0%	19.9%		
その他					1.8%	0.5%		

調査対象	その他回答の件数(件)・主な意見	
教員（小学校）	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1クラスの人数が問題、</li> <li>・ 児童の実態を把握しやすい</li> <li>・ 学級の人数によって変わると思う。小規模校だから学習状況を把握しやすくなるとは限らない。</li> <li>・ 一人一人が主体的に取り組む機会が増える</li> </ul>
教員（中学校）	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人ひとりにかけてあげられる時間が多い</li> </ul>

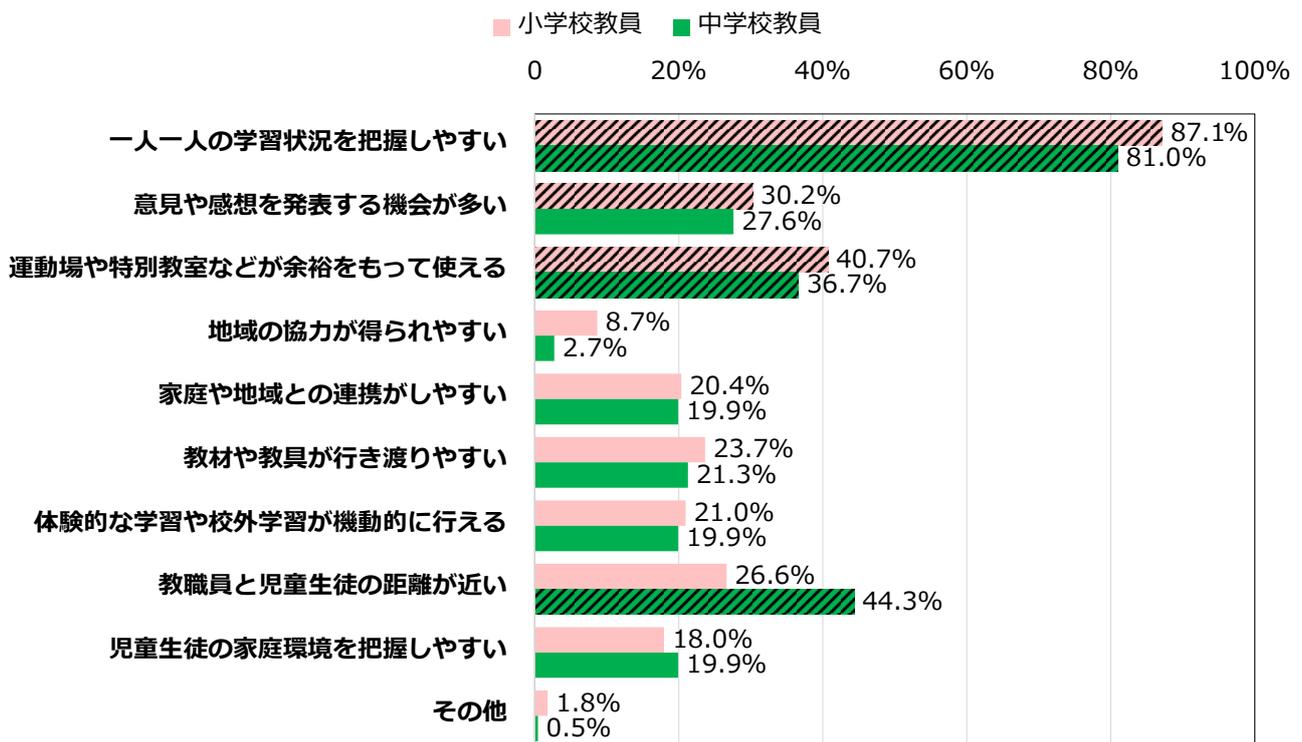
●教員

【小学校教員】

小規模校化で生じ得る効果としては、「一人一人の学習状況を把握しやすい」(87.1%)、「運動場や特別教室などが余裕をもって使える」(40.7%)、「意見や感想を発表する機会が多い」(30.2%)が上位3つとなった。

【中学校教員】

小規模校化で生じ得る効果としては、「一人一人の学習状況を把握しやすい」(81.0%)、「教職員と児童生徒の距離が近い」(44.3%)、「運動場や特別教室などが余裕をもって使える」(36.7%)が上位3つとなった。



(小学校教員：n=334、中学校教員：n=221)

### (31) 小規模校化によって生じ得る課題

[3つまで回答]

選択肢	回答者の属性（割合）							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
クラブ活動や部活動の種類が限定される					22.2%	48.4%		
運動会、文化祭、修学旅行等の集団活動の教育効果が下がる					16.8%	28.1%		
男女比の偏りが生じやすい					19.2%	22.2%		
人間関係が固定化される					88.3%	78.7%		
体育や音楽の集団学習に制約がある					20.1%	14.9%		
進学時に大きな集団への適応が難しい					21.3%	19.0%		
多様な意見に触れる機会が少ない					35.6%	20.8%		
社会性やコミュニケーション能力の育成が難しい					22.8%	22.6%		
問題行動がクラス全体に影響しやすい					17.4%	12.7%		
その他					2.4%	1.8%		

調査対象	その他回答の件数(件)・主な意見
教員（小学校）	8 教職員の数が減って校務負担が大きくなる、 トラブルがあったとき距離を置くことができない
教員（中学校）	4 ・特にデメリットを感じない ・職員の配置数が減り、さまざまな面でのバランスが悪くなる ・教員数が少なく多様な指導がし難い ・免外で指導しなければならない教員が生じる

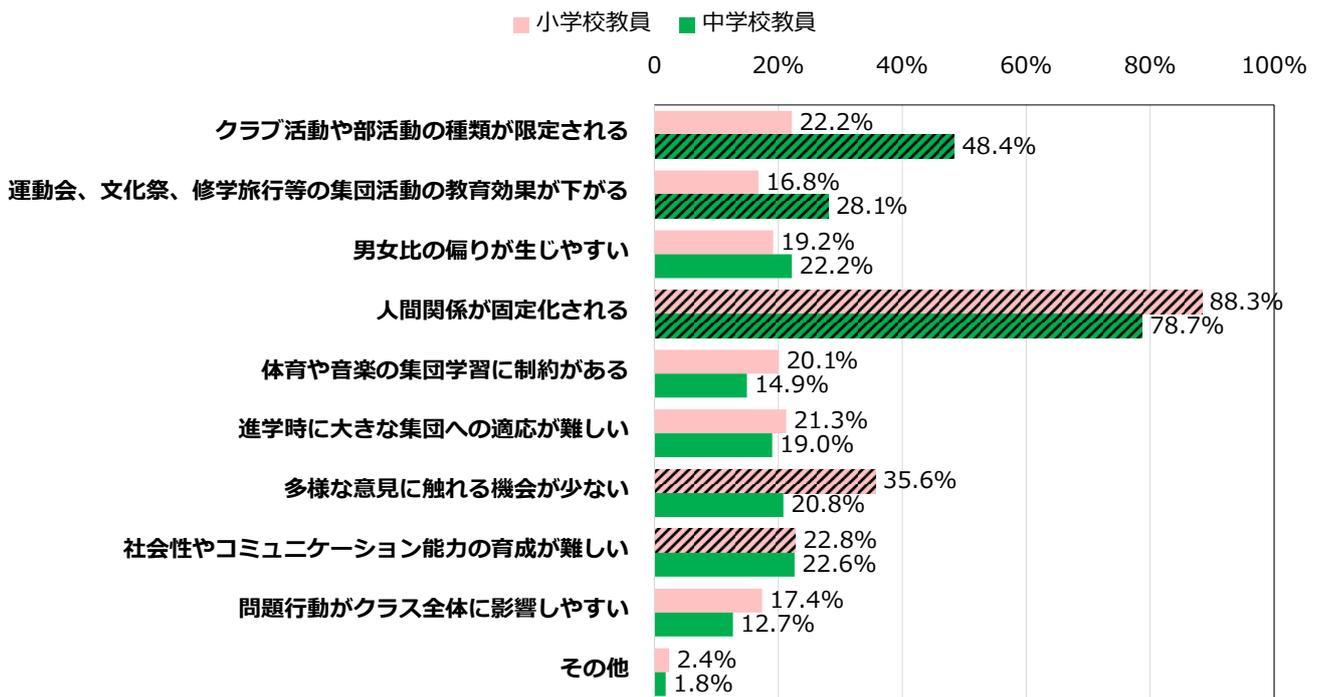
●教員

【小学校教員】

小規模校化で生じ得る課題としては、「人間関係が固定化される」(88.3%)、「多様な意見に触れる機会が少ない」(35.6%)、「社会性やコミュニケーション能力の育成が難しい」(22.8%)が上位3つとなった。

【中学校教員】

小規模校化で生じ得る課題としては、「人間関係が固定化される」(78.7%)、「クラブ活動や部活動の種類が限定される」(48.4%)、「運動会、文化祭、修学旅行等の集団活動の教育効果が下がる」(28.1%)が上位3つとなった。



(小学校教員：n=334、中学校教員：n=221)

### (32) 小中学校の統合に対する考え [2つまで回答]

選択肢	回答者の属性（割合）							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
進学する児童生徒がいなくなるまで学校は残すべきと思う			15.9%	15.1%	13.2%	13.1%	10.9%	10.7%
クラブ活動や部活動、運動会などの学校行事を隣の他の学校と合同で行ったり、授業をオンラインで他の学校の子と合同で行う			28.0%	29.4%	20.7%	24.9%	33.2%	29.0%
学区の見直しなどにより、学校間の児童生徒数の調整ができない場合は、統合もやむなし			63.1%	63.8%	67.7%	70.6%	61.2%	62.0%
小中一貫校化など、新たな学校形態を検討する			33.9%	32.4%	42.2%	40.3%	46.1%	36.5%
課題解決のため、学校統合を進めるべき			10.4%	10.3%	11.7%	12.7%	13.7%	15.9%
その他			2.5%	1.4%	1.2%	0.5%	3.3%	4.1%

調査対象	その他回答の件数(件)・主な意見	
児童保護者	50	学区の見直し、統合する場合スクールバスが必要
生徒保護者	15	スクールバスを導入、人口増に繋がる政策も検討すべき
教員（小学校）	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的に統合は賛成</li> <li>・すぐに統合を進めるべき</li> <li>・地域や在学する方や働く方の意見を尊重する</li> <li>・統合しないほうがいいと思う</li> </ul>
教員（中学校）	1	・職員の数が増えない限り何をしても変わらない
市民	37	通学時間が長くなりすぎないように考慮すべき（スクールバス導入など）、通学経路の安全性の確保、子どもや保護者や地域住民の意向を取り入れるべき
未就学児保護者	14	統合する場合はスクールバスを導入すべき、統合はやむを得ない、学区選択制の導入

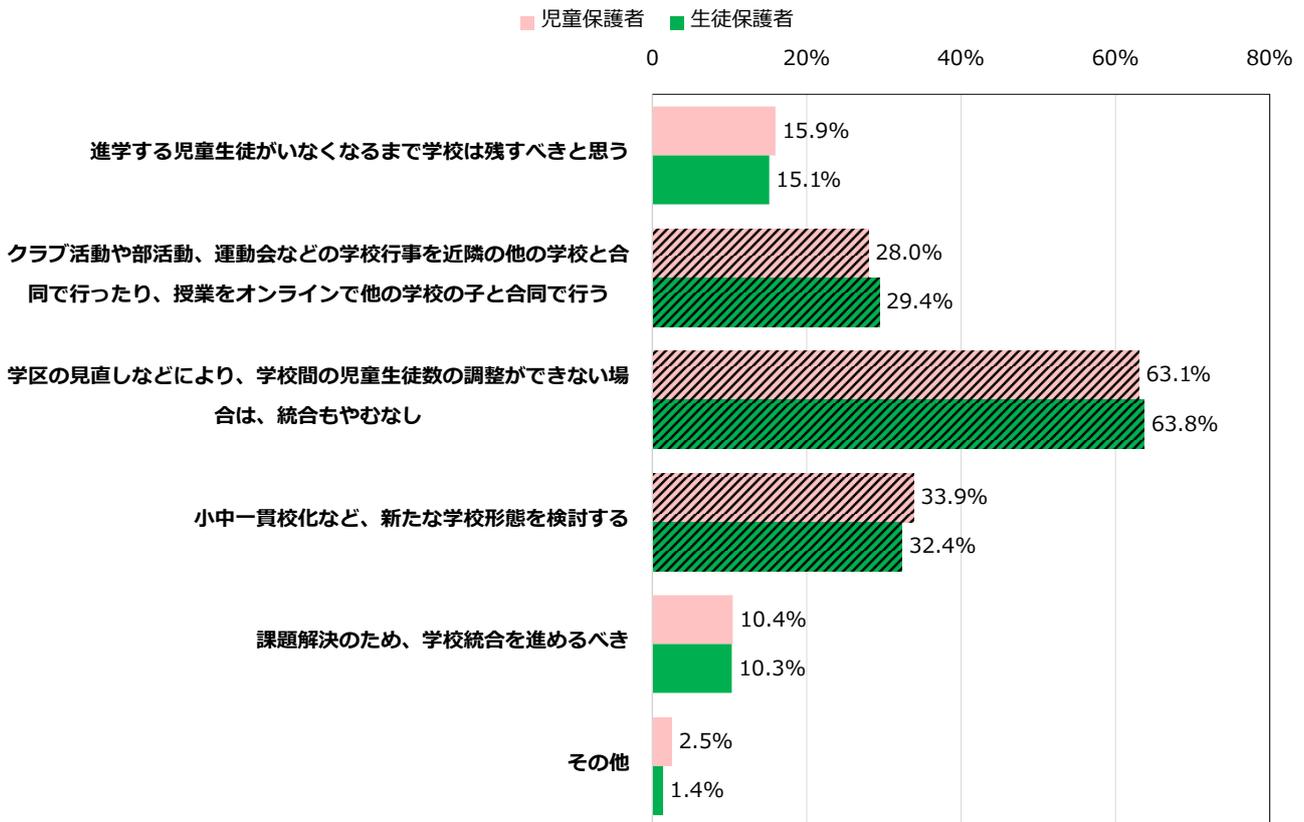
●児童・生徒の保護者

【児童の保護者】

小中学校の統合に対する考えとしては、「学区の見直しなどにより、学校間の児童生徒数の調整ができない場合は、統合もやむなし」(63.1%)、「小中一貫校化など、新たな学校形態を検討する」(33.9%)、「クラブ活動や部活動、運動会などの学校行事を近隣の他の学校と合同で行ったり、授業をオンラインで他の学校の子と合同で行う」(28.0%)が上位3つの回答となった。

【生徒の保護者】

小中学校の統合に対する考えとしては、「学区の見直しなどにより、学校間の児童生徒数の調整ができない場合は、統合もやむなし」(63.8%)、「小中一貫校化など、新たな学校形態を検討する」(32.4%)、「クラブ活動や部活動、運動会などの学校行事を近隣の他の学校と合同で行ったり、授業をオンラインで他の学校の子と合同で行う」(29.4%)が上位3つとなった。



(児童の保護者：n=2,045、生徒の保護者：n=1,156)

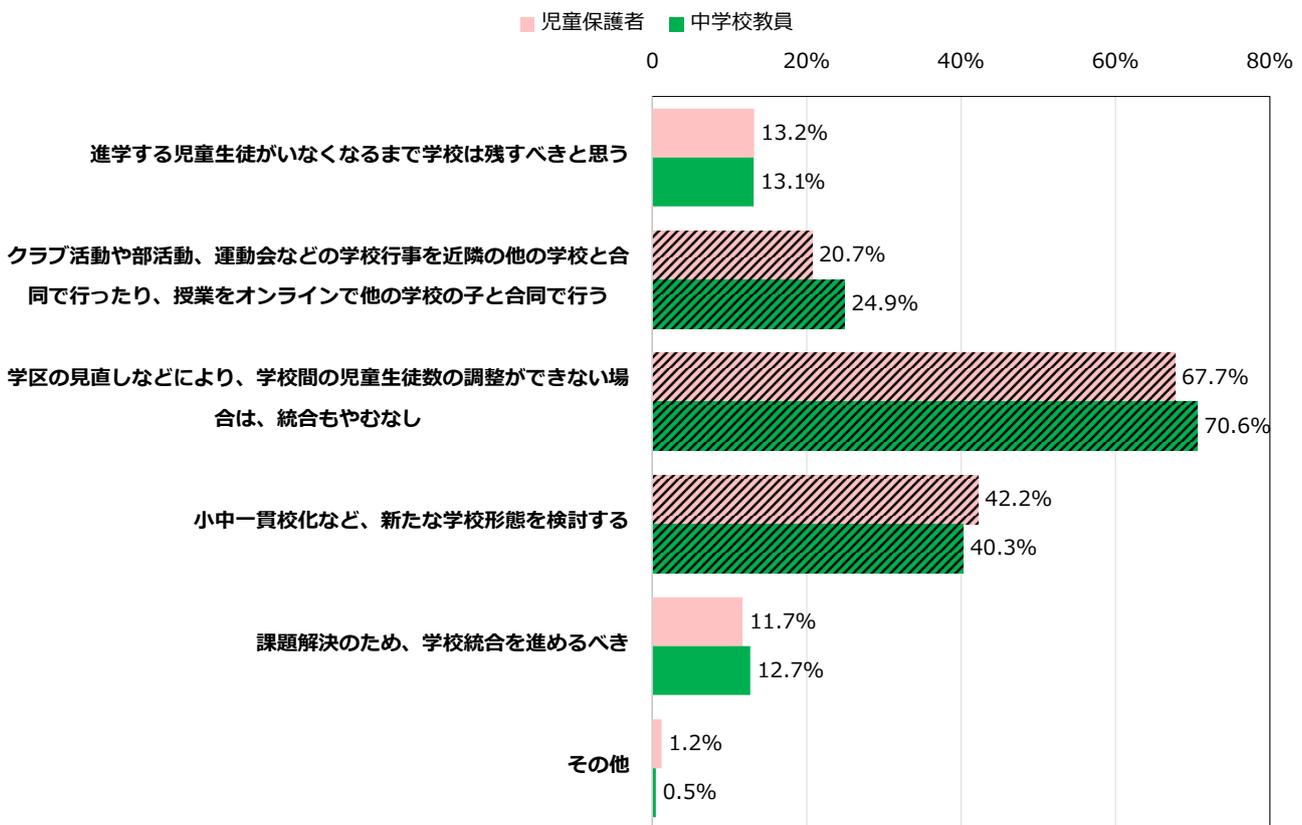
●**教員**

【**小学校教員**】

小中学校の統合に対する考えとしては、「学区の見直しなどにより、学校間の児童生徒数の調整ができない場合は、統合もやむなし」(67.7%)、「小中一貫校化など、新たな学校形態を検討する」(42.2%)、「クラブ活動や部活動、運動会などの学校行事を近隣の他の学校と合同で行ったり、授業をオンラインで他の学校の子と合同で行う」(20.7%)が上位3つの回答となった。

【**中学校教員**】

小中学校の統合に対する考えとしては、「学区の見直しなどにより、学校間の児童生徒数の調整ができない場合は、統合もやむなし」(70.6%)、「小中一貫校化など、新たな学校形態を検討する」(40.3%)、「クラブ活動や部活動、運動会などの学校行事を近隣の他の学校と合同で行ったり、授業をオンラインで他の学校の子と合同で行う」(24.9%)が上位3つの回答となった。

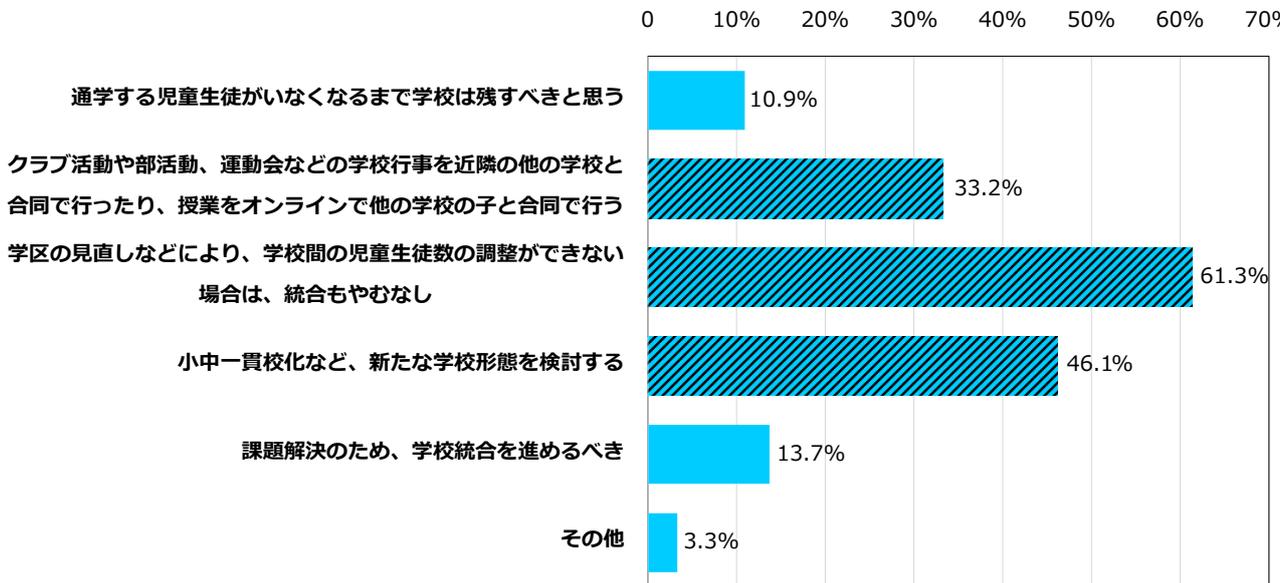


(小学校教員：n=334、中学校教員：n=221)

●市民・未就学児の保護者

【市民】

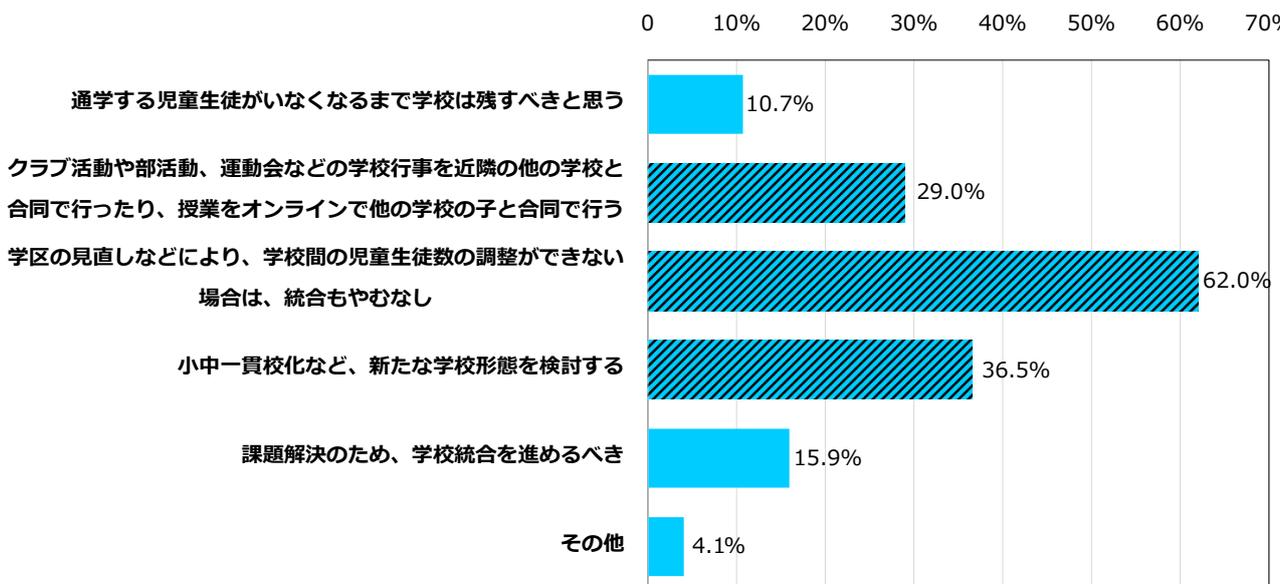
小中学校の統合に対する考えとしては、「学区の見直しなどにより、学校間の児童生徒数の調整ができない場合は、統合もやむなし」(61.3%)、「小中一貫校化など、新たな学校形態を検討する」(46.1%)、「クラブ活動や部活動、運動会などの学校行事を近隣の他の学校と合同で行ったり、授業をオンラインで他の学校の子と合同で行う」(33.2%)が上位3つの回答となった。



(市民：n=1,116)

【未就学児の保護者】

小中学校の統合に対する考えとしては、「学区の見直しなどにより、学校間の児童生徒数の調整ができない場合は、統合もやむなし」(62.0%)、「小中一貫校化など、新たな学校形態を検討する」(36.5%)、「クラブ活動や部活動、運動会などの学校行事を近隣の他の学校と合同で行ったり、授業をオンラインで他の学校の子と合同で行う」(29.0%)が上位3つの回答となった。



(未就学児の保護者：n=345)

(33) 学区の見直しや学校統合の検討を行う場合に考慮すべき事項  
 [3つまで回答]

選択肢	回答者の属性(割合)							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
クラス数や児童生徒数			37.6%	36.2%	50.0%	49.3%	32.9%	35.9%
適正な教員配置			50.5%	46.8%	63.8%	72.9%	45.8%	57.1%
通学距離や時間、方法、通学路の安全性			80.7%	77.2%	65.9%	66.5%	78.2%	76.8%
児童生徒の心身のケア、負担軽減			31.2%	30.7%	23.7%	19.9%	30.1%	33.0%
対象となる学校間の事前交流			13.2%	11.9%	15.3%	14.0%	12.9%	11.3%
学校と地域コミュニティの繋がり			7.1%	8.1%	8.4%	8.1%	14.7%	8.1%
統合先の学校施設の安全性や設備の充実度			15.1%	16.2%	12.0%	15.4%	18.1%	19.4%
子どもたちの意向			23.2%	24.0%	12.0%	13.1%	20.7%	20.9%
保護者の意向			8.2%	8.5%	13.5%	9.5%	8.9%	8.4%
地域住民の意向			1.1%	1.5%	5.4%	4.5%	3.9%	1.4%
廃校となる学校跡地の有効活用の検討			8.0%	9.1%	3.0%	4.5%	13.1%	7.0%
その他			1.0%	1.0%	0.6%	0.9%	0.5%	1.7%

調査対象	その他回答の件数(件)・主な意見	
児童保護者	20	スクールバスの導入、都市計画の視点
生徒保護者	11	スクールバスの導入、統合に伴う生じる廃校跡地の有効活用
教員(小学校)	2	・教員数の問題解決 ・他市町村は上記2つに苦戦していますよ
教員(中学校)	2	・地域や学校の特性 ・子どもや保護者や地域地域の意向(どれか1つではない)
市民	6	・廃校になる際の非常時の避難場所の確保 ・学区の見直しや学校統合ありきで市が考えているのでしょうか? ・統合になっても、クラス人数は少しでも減らすべきかと思えます ・学校を地域の保育所や学童施設、敬老施設と併用してでも、廃校にしてはいけない ・教室数の確保 ・学童の適切な場所への配置
未就学児保護者	6	・仲の良い友達を離れる可能性もあるため、選択できると良い気がする ・ゆとりをもった教職員などの人員配置 ・学校は一つにまとめて、市営でスクールバスで送迎する ・学童の充実 ・山万との連携(ユーカー地区) ・上記11項以外にも懸念される事項への対策・検討・方針を十分に行うこと。 (『重視』ではなく『全てを同様に扱う』必要があると考える)

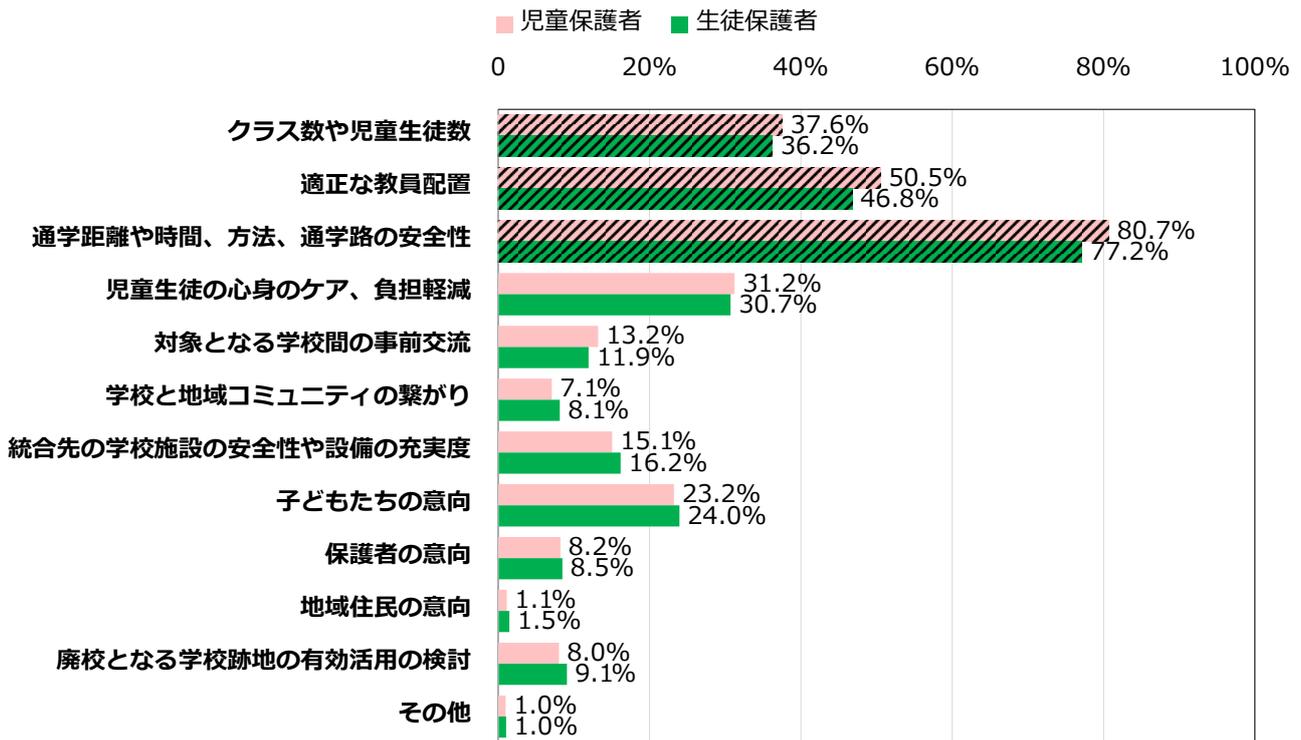
●児童・生徒の保護者

【児童の保護者】

今後、学区の見直しや学校統合の検討を行うとなった場合に重視すべき事項は、「通学距離や時間、方法、通学路の安全性」(80.7%)、「適正な教員配置」(50.5%)、「クラス数や児童生徒数」(37.6%)が上位3つとなった。

【生徒の保護者】

今後、学区の見直しや学校統合の検討を行うとなった場合に重視すべき事項は、「通学距離や時間、方法、通学路の安全性」(77.2%)、「適正な教員配置」(46.8%)、「クラス数や児童生徒数」(36.2%)が上位3つとなった。



(児童の保護者：n=2,045、生徒の保護者：n=1,156)

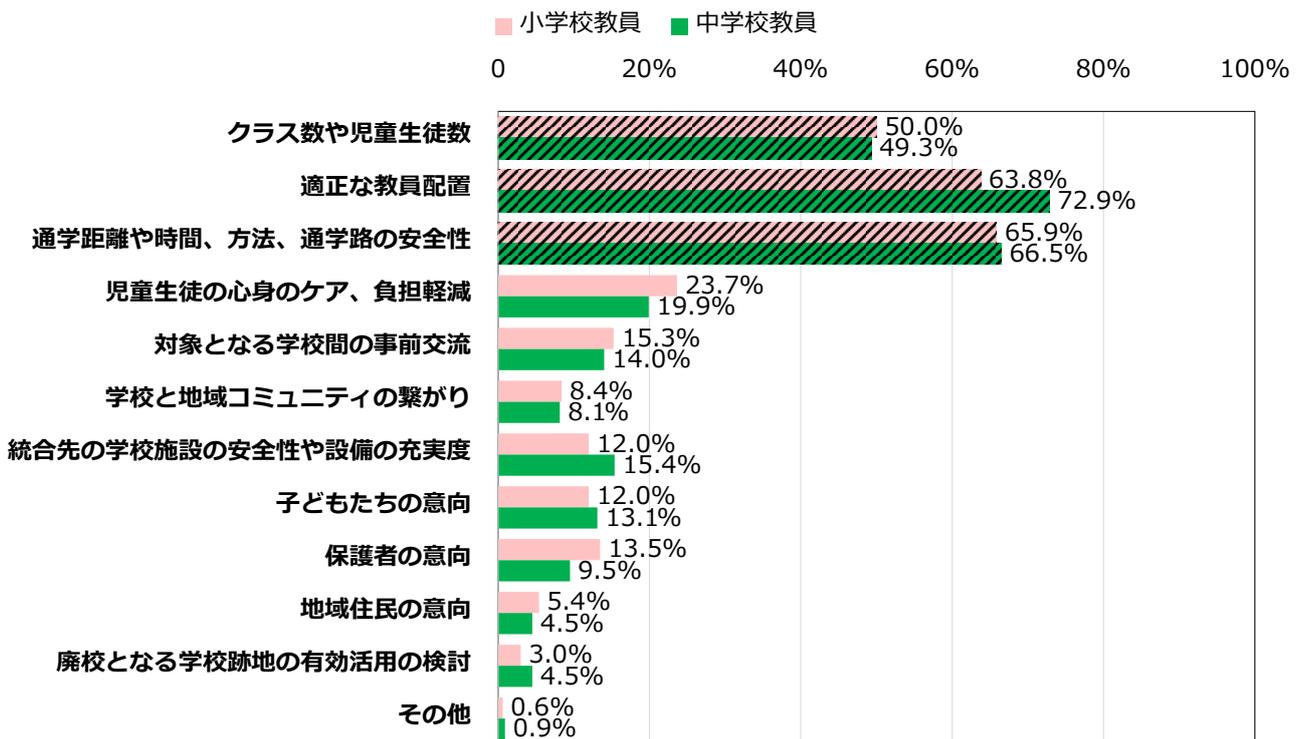
●教員

【小学校教員】

今後、学区の見直しや学校統合の検討を行うとなった場合に重視すべき事項は、「通学距離や時間、方法、通学路の安全性」(65.9%)、「適正な教員配置」(63.8%)、「クラス数や児童生徒数」(50.0%)が上位3つとなった。

【中学校教員】

今後、学区の見直しや学校統合の検討を行うとなった場合に重視すべき事項は、「適正な教員配置」(72.9%)、「通学距離や時間、方法、通学路の安全性」(66.5%)、「クラス数や児童生徒数」(49.3%)が上位3つとなった。

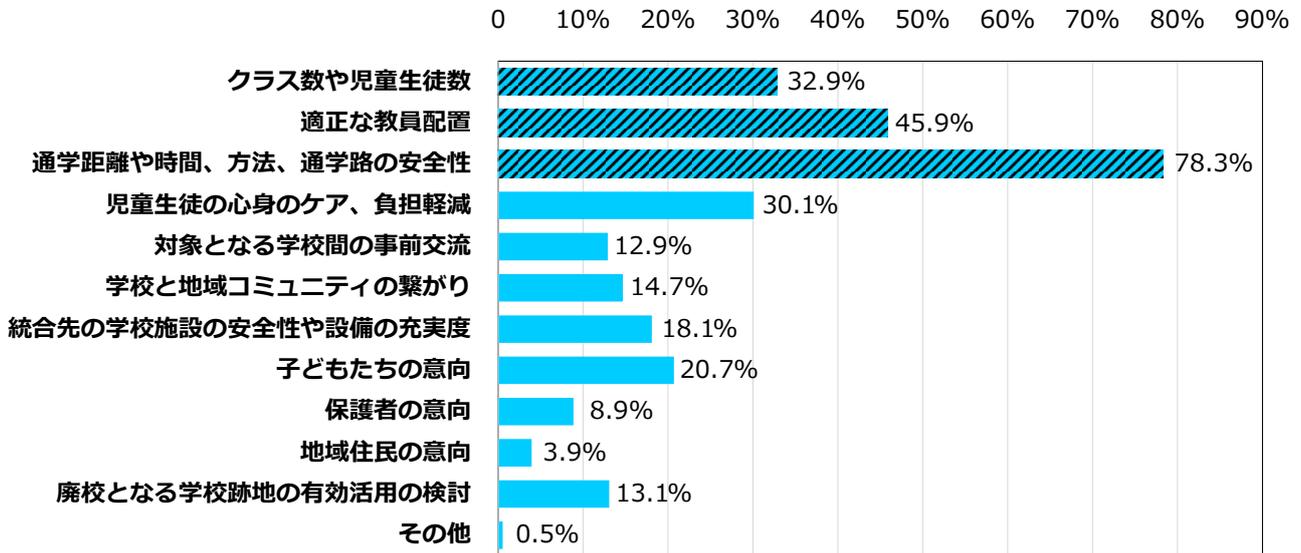


(小学校教員：n=334、中学校教員：n=221)

●市民・未就学児の保護者

【市民】

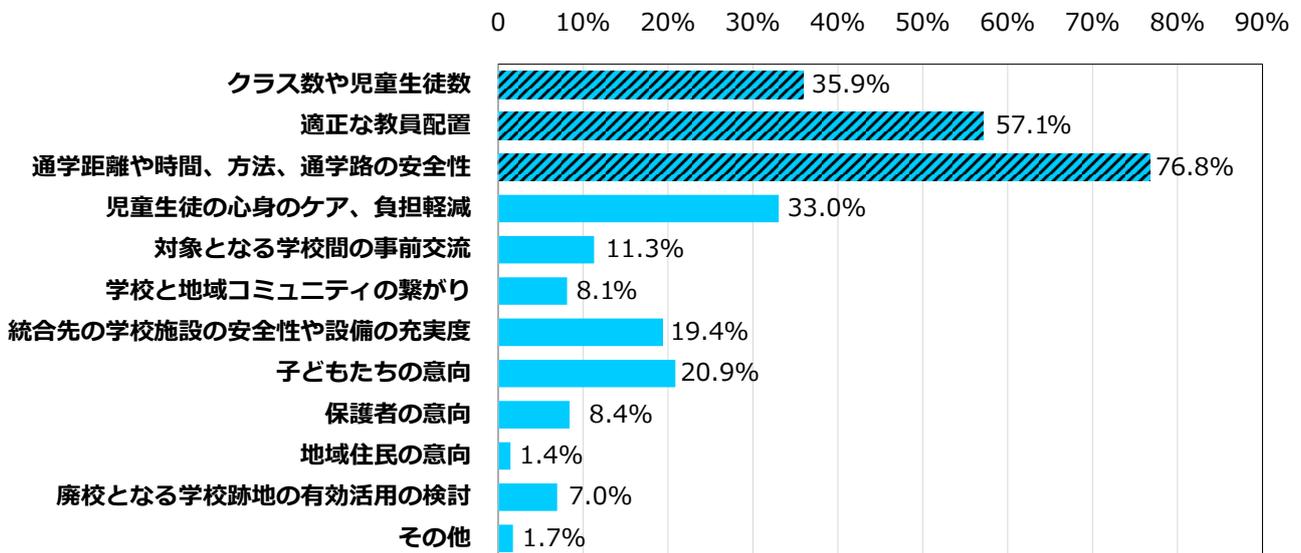
今後、学区の見直しや学校統合の検討を行うとなった場合に重視すべき事項は、「通学距離や時間、方法、通学路の安全性」(78.3%)、「適正な教員配置」(45.9%)、「クラス数や児童生徒数」(32.9%)が上位3つとなった。



(市民：n=1,116)

【未就学児の保護者】

今後、学区の見直しや学校統合の検討を行うとなった場合に重視すべき事項は、「通学距離や時間、方法、通学路の安全性」(76.8%)、「適正な教員配置」(57.1%)、「クラス数や児童生徒数」(35.9%)が上位3つとなった。



(未就学児の保護者：n=345)

## ■通学状況についてお聞きします

### (34) 学校までの通学手段

[1つ回答]

選択肢	回答者の属性（割合）							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
徒歩	91.4%	82.4%	96.0%	82.8%				
自転車	1.8%	14.0%	0.2%	13.8%				
電車やバスなどの公共交通機関	0.9%	1.3%	0.3%	1.0%				
保護者の送りむかえ	5.6%	2.2%	3.5%	2.4%				
無回答	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%				

#### ●児童・生徒

##### 【児童】

学校までの通学方法では「徒歩」(91.4%)、「保護者の送りむかえ」(5.6%)、「自転車」(1.8%)が上位3つとなり、合計で約99%である。

##### 【生徒】

学校までの通学方法では「徒歩」(82.4%)、「自転車」(14.0%)、「保護者の送りむかえ」(2.2%)が上位3つとなり、合計で約99%である。

#### ●児童・生徒の保護者

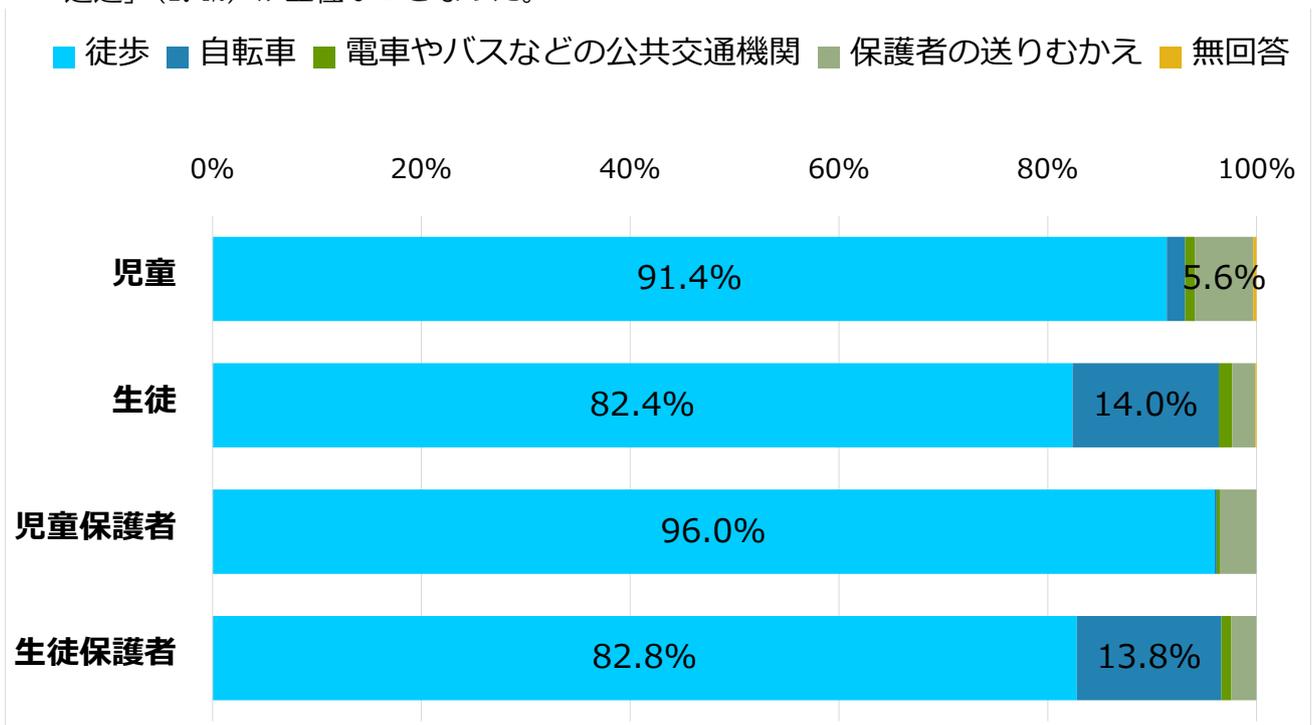
##### 【児童の保護者】

回答者の子どもの学校までの通学方法は、「徒歩」(96.0%)、「保護者の送迎」(3.5%)、「電車やバスなどの公共交通機関」(0.3%)が上位3つとなった。

##### 【生徒の保護者】

回答者の子どもの学校までの通学方法は、「徒歩」(82.8%)、「自転車」(13.8%)、「保護者の送迎」(2.4%)が上位3つとなった。

■ 徒歩 ■ 自転車 ■ 電車やバスなどの公共交通機関 ■ 保護者の送りむかえ ■ 無回答



(児童：n=3,513、生徒：n=3,196、児童の保護者：n=2,045、生徒の保護者：n=1,156)

(35) 自宅から学校までの通学時間  
[1つ回答]

選択肢	回答者の属性（割合）							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
10分未満	29.4%	23.3%	26.1%	25.2%				
10分以上20分未満	36.1%	47.3%	41.7%	52.5%				
20分以上30分未満	22.8%	23.1%	22.0%	18.7%				
30分以上40分未満	8.9%	5.1%	8.6%	3.3%				
40分以上50分未満	0.0%	0.3%	1.5%	0.2%				
50分以上60分未満	0.3%	0.2%	0.0%	0.1%				
60分以上	0.3%	0.3%	0.0%	0.1%				
無回答	2.2%	0.5%	0.0%	0.0%				

●児童・生徒

【児童】

自宅から学校までの通学時間は「10分以上20分未満」(36.1%)、「10分未満」(29.4%)、「20分以上30分未満」(22.8%)が上位3つとなり、合計で約90%である。

【生徒】

自宅から学校までの通学時間は「10分以上20分未満」(47.3%)、「10分未満」(23.3%)、「20分以上30分未満」(23.1%)が上位3つとなり、合計で約94%である。

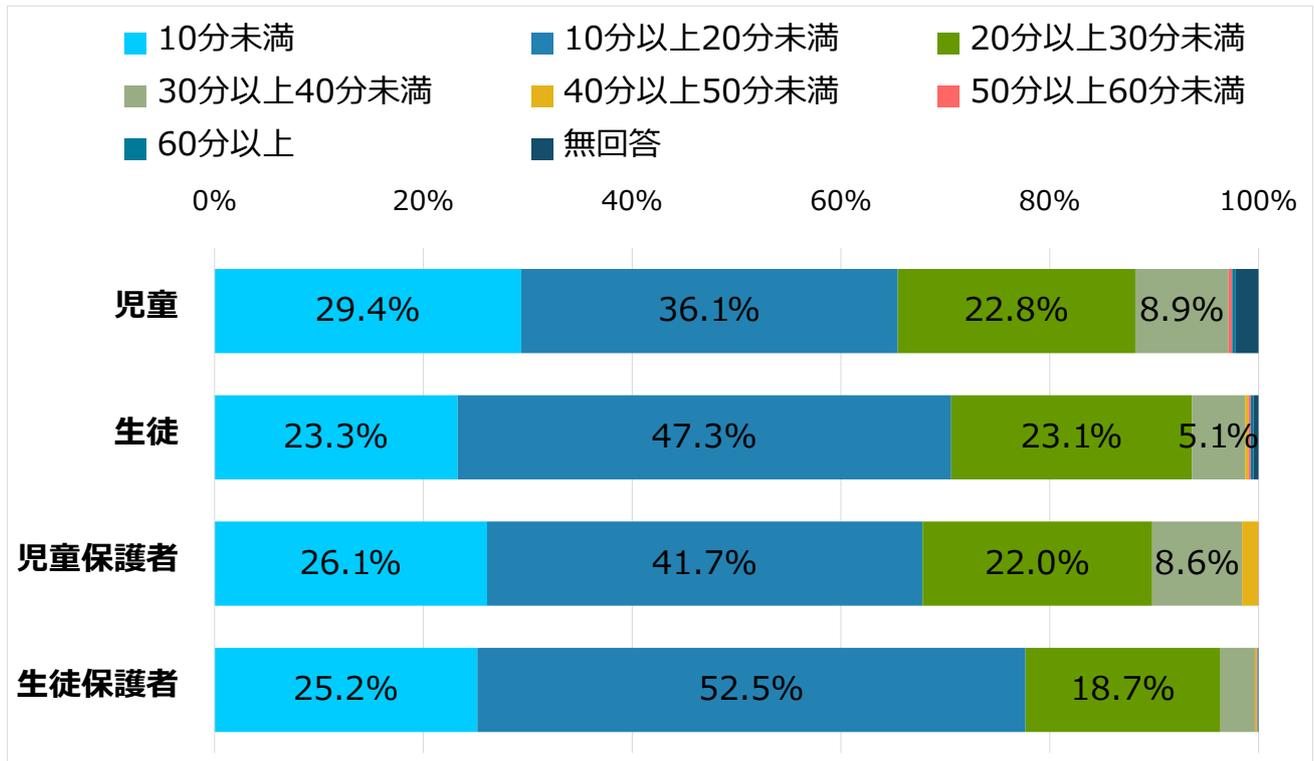
●児童・生徒の保護者

【児童の保護者】

回答者の子どもの自宅から学校までの通学時間は「10分以上20分未満」(41.7%)、「10分未満」(26.1%)、「20分以上30分未満」(22.0%)が上位3つとなり、合計で約90%である。

【生徒の保護者】

回答者の子どもの自宅から学校までの通学時間は「10分以上20分未満」(52.5%)、「10分未満」(25.2%)、「20分以上30分未満」(18.7%)が上位3つとなり、合計で約96%である。



(児童：n=3,447、生徒：n=3,185、児童の保護者：n=2,045、生徒の保護者：n=1,156)

(36) 通学時間に対する印象  
[1つ回答]

選択肢	回答者の属性（割合）							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
長い	16.9%	15.6%	13.2%	7.4%				
どちらかと言えば長い	24.7%	24.7%	21.5%	18.5%				
ちょうど良い	39.5%	40.4%	52.6%	60.6%				
どちらかと言えば短い	7.5%	7.7%	6.1%	6.8%				
短い	11.1%	11.4%	6.7%	6.7%				
無回答	0.3%	0.2%	0.0%	0.0%				

●児童・生徒

【児童】

自宅から学校までの通学時間については「ちょうど良い」は約 40%である。「長い」と「どちらかと言えば長い」の合計で約 42%となり、「どちらかと言えば短い」と「短い」の合計は約 19%となっている。

【生徒】

自宅から学校までの通学時間については「ちょうど良い」は約 40%である。「長い」と「どちらかと言えば長い」の合計で約 40%となり、「どちらかと言えば短い」と「短い」の合計は約 19%となっている。

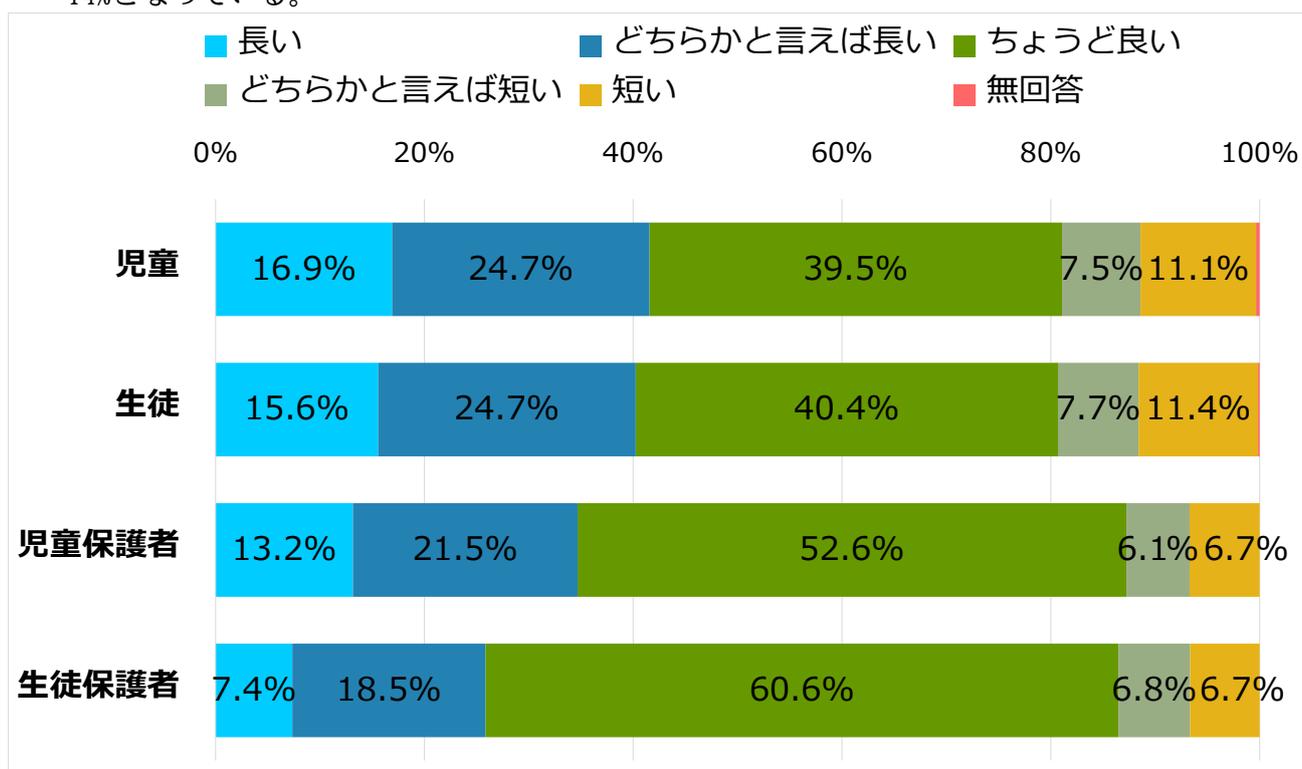
●児童・生徒の保護者

【児童の保護者】

回答者の子どもの通学時間については、「ちょうど良い」は約 53%である。「長い」と「どちらかと言えば長い」の合計で約 35%となり、「どちらかと言えば短い」と「短い」の合計は約 13%となっている。

【生徒の保護者】

回答者の子どもの通学時間については、「ちょうど良い」は約 61%である。「長い」と「どちらかと言えば長い」の合計で約 26%となり、「どちらかと言えば短い」と「短い」の合計は約 14%となっている。



(児童：n=3,512、生徒：n=3,195、児童の保護者：n=2,045、生徒の保護者：n=1,156)

■学校と地域との関わり方について、あなたのお考えをお聞きします

(37) 学校について、児童・生徒の学びの場以外に担っている、または担うべき役割  
[3つまで回答]

選択肢	回答者の属性（割合）							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
児童・生徒の放課後の居場所・活動場所としての役割			65.7%	60.0%	44.6%	45.7%	62.0%	65.2%
地域の防災の拠点としての役割			55.0%	55.0%	51.2%	61.1%	54.4%	49.9%
地域コミュニティや地域のつながりに関わる活動・交流の拠点としての役割			35.0%	29.3%	42.8%	28.5%	41.0%	33.6%
スポーツ・文化・生涯学習の拠点としての役割			23.2%	29.8%	21.6%	31.2%	29.5%	30.7%
地域の歴史や文化の中核的な存在としての役割			4.4%	4.3%	6.3%	5.9%	8.1%	6.4%
地域づくり・人づくりを進めるための地域の核としての役割			15.7%	16.4%	31.4%	29.9%	26.7%	20.9%
子育て世帯等の移住や定住を促進する役割			13.2%	10.1%	10.2%	6.3%	17.7%	23.5%
特にない（児童・生徒の学びの場以外の役割があると思わない）			7.9%	7.5%	6.3%	7.2%	5.0%	5.5%
その他			0.8%	1.0%	2.1%	1.4%	1.7%	1.7%

調査対象	その他回答の件数(件)・主な意見	
児童保護者	16	社会性、対人関係の育成、 教職員の負担増を伴う役割を持たせる必要はない
生徒保護者	10	学びの場だけでよい、放課後の居場所
教員（小学校）	7	業務負担が多くなる、社会性を育む場
教員（中学校）	3	・こういったことをやめない限り、教員離れは改善されない。学校は授業をやる場所です。 ・人間関係作り ・勤務時間内で担える内容のみに限定されるべき
市民	19	・学びの場を優先することを前提としてその支障が生じない範疇で防災拠点や地域活動拠点とすべき、多様な人との交流
未就学児保護者	6	教員の負担が増えない形が望ましい、 子どもの学習の場であることが最優先、地域の活性化

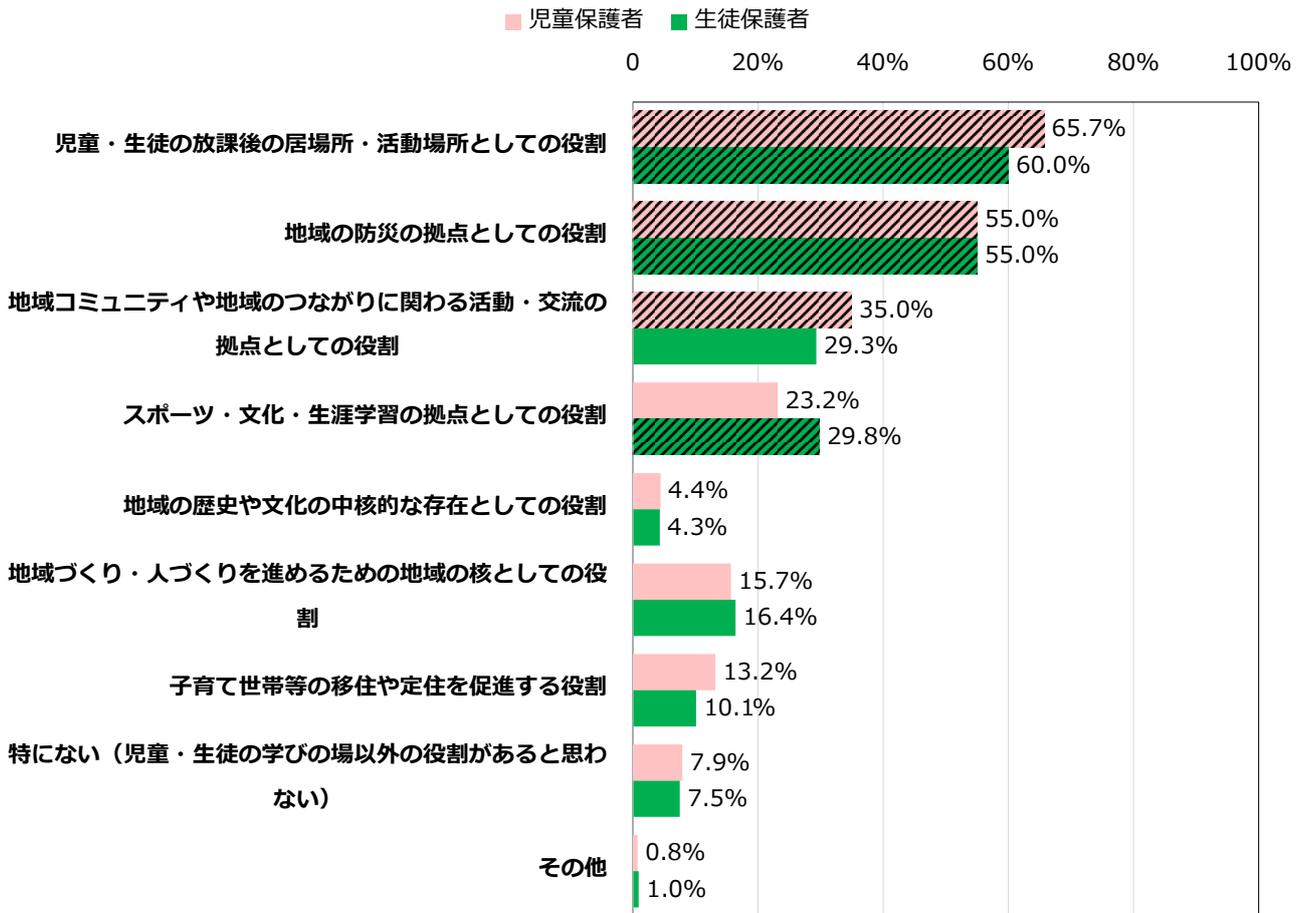
●児童・生徒の保護者

【児童の保護者】

学びの場以外の学校としての役割については、「児童・生徒の放課後の居場所・活動場所としての役割」(65.7%)、「地域の防災の拠点としての役割」(55.0%)、「地域コミュニティや地域のつながりに関わる活動・交流の拠点としての役割」(35.0%)が上位3つとなった。

【生徒の保護者】

学びの場以外の学校としての役割については、「児童・生徒の放課後の居場所・活動場所としての役割」(60.0%)、「地域の防災の拠点としての役割」(55.0%)、「スポーツ・文化・生涯学習の拠点としての役割」(29.8%)が上位3つとなった。



(児童の保護者：n=2,045、生徒の保護者：n=1,156)

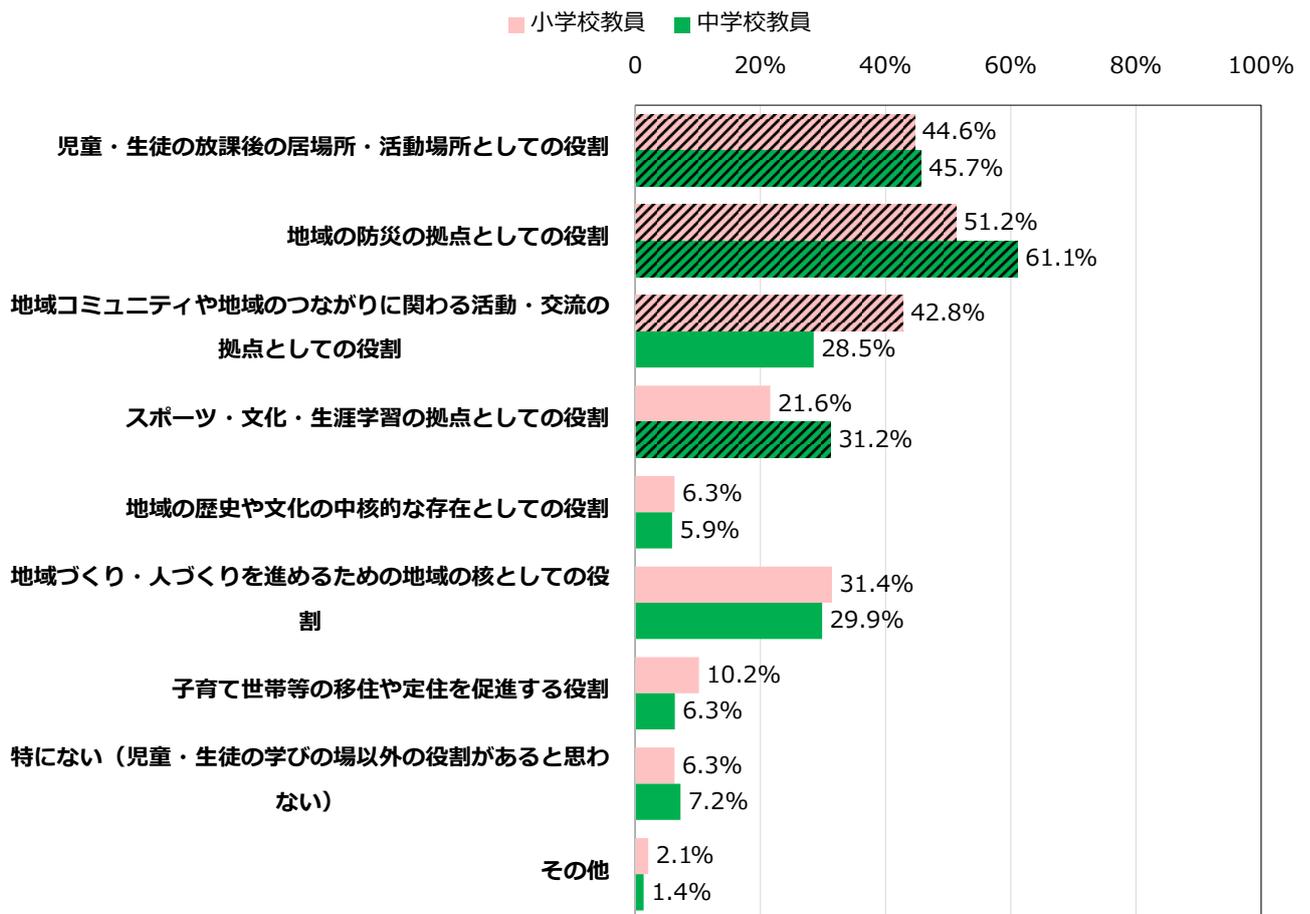
●教員

【小学校教員】

学びの場以外の学校としての役割については、「地域の防災の拠点としての役割」(51.2%)、「児童・生徒の放課後の居場所・活動場所としての役割」(44.6%)、「地域コミュニティや地域のつながりに関わる活動・交流の拠点としての役割」(42.8%)が上位3つとなった。

【中学校教員】

学びの場以外の学校としての役割については、「地域の防災の拠点としての役割」(61.1%)、「児童・生徒の放課後の居場所・活動場所としての役割」(45.7%)、「スポーツ・文化・生涯学習の拠点としての役割」(31.2%)が上位3つとなった。

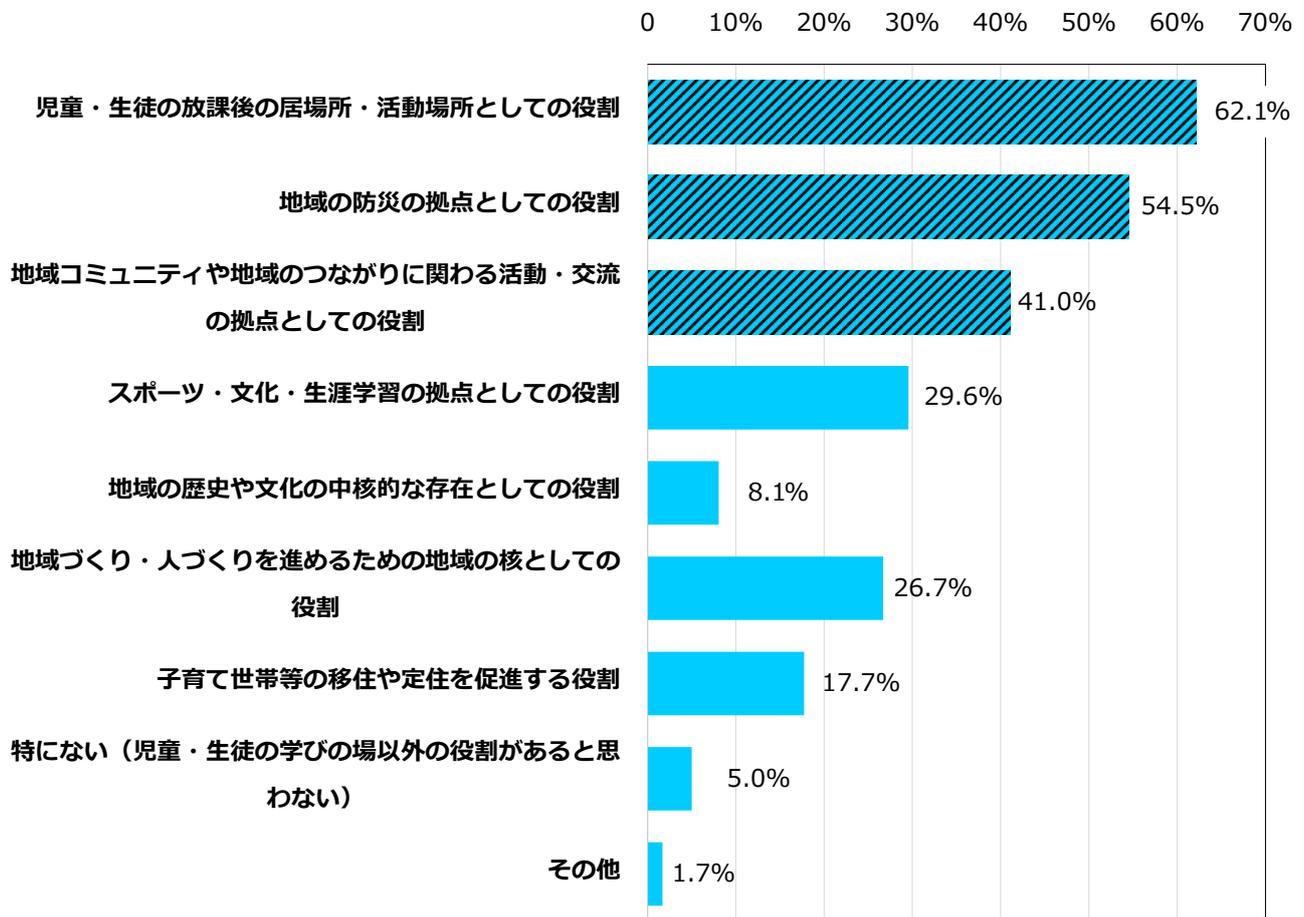


(小学校教員：n=334、中学校教員：n=221)

●市民・未就学児の保護者

【市民】

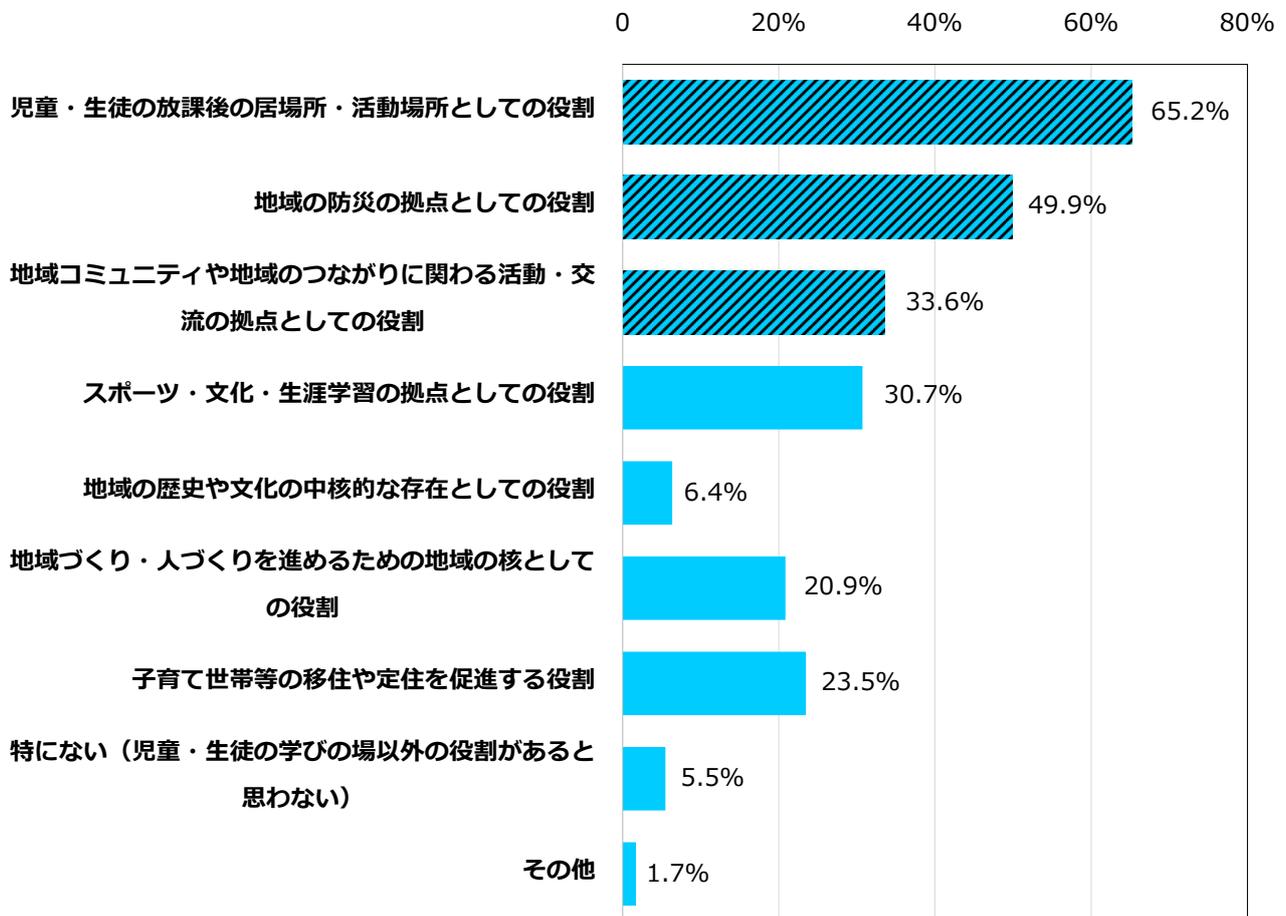
学びの場以外の学校としての役割については、「児童・生徒の放課後の居場所・活動場所としての役割」(62.1%)、「地域の防災の拠点としての役割」(54.5%)、「地域コミュニティや地域のつながりに関わる活動・交流の拠点としての役割」(41.0%)が上位3つとなった。



(市民：n=1,116)

### 【未就学児の保護者】

学びの場以外の学校としての役割については、「児童・生徒の放課後の居場所・活動場所としての役割」(65.2%)、「地域の防災の拠点としての役割」(49.9%)、「地域コミュニティや地域のつながりに関わる活動・交流の拠点としての役割」(33.6%)が上位3つとなった。



(未就学児の保護者：n=345)

(38) 一定条件下での開放が望ましい施設  
[3つまで回答]

選択肢	回答者の属性（割合）							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
図書室			33.5%	34.0%	13.2%	8.1%	39.3%	41.7%
音楽室			13.3%	12.5%	6.9%	3.6%	19.7%	16.5%
理科室			1.4%	0.6%	1.2%	0.0%	1.3%	1.4%
図工室・美術室			5.3%	6.1%	3.9%	1.4%	9.2%	9.6%
家庭科室			8.0%	8.2%	5.7%	2.3%	11.8%	10.7%
木工・金工室			4.3%	5.9%	0.9%	0.9%	11.5%	7.8%
被服室			1.4%	2.0%	0.0%	0.5%	2.5%	4.6%
現状のままでよい			60.1%	58.9%	81.4%	86.4%	47.3%	43.5%
その他			2.5%	2.8%	2.4%	3.6%	6.3%	7.8%

調査対象	その他回答の件数(件)・主な意見	
児童保護者	50	防犯上開放しないほうがいい、開放するのであればその時間帯や場所を明確にすべき、プール
生徒保護者	30	防犯上開放しないほうがいい、プール、テニスコート
教員（小学校）	8	開放した場合の安全管理や備品管理が課題、開放時の管理を教員以外（常駐管理者や市職員など）で実施すべき
教員（中学校）	8	防犯面やプライバシー保護の観点から開放すべきでない、屋内スポーツ以外の部活動の活動場所
市民	39	開放すべきではない、プール、自習室
未就学児保護者	19	防犯上開放すべきではない、空き教室や多目的室

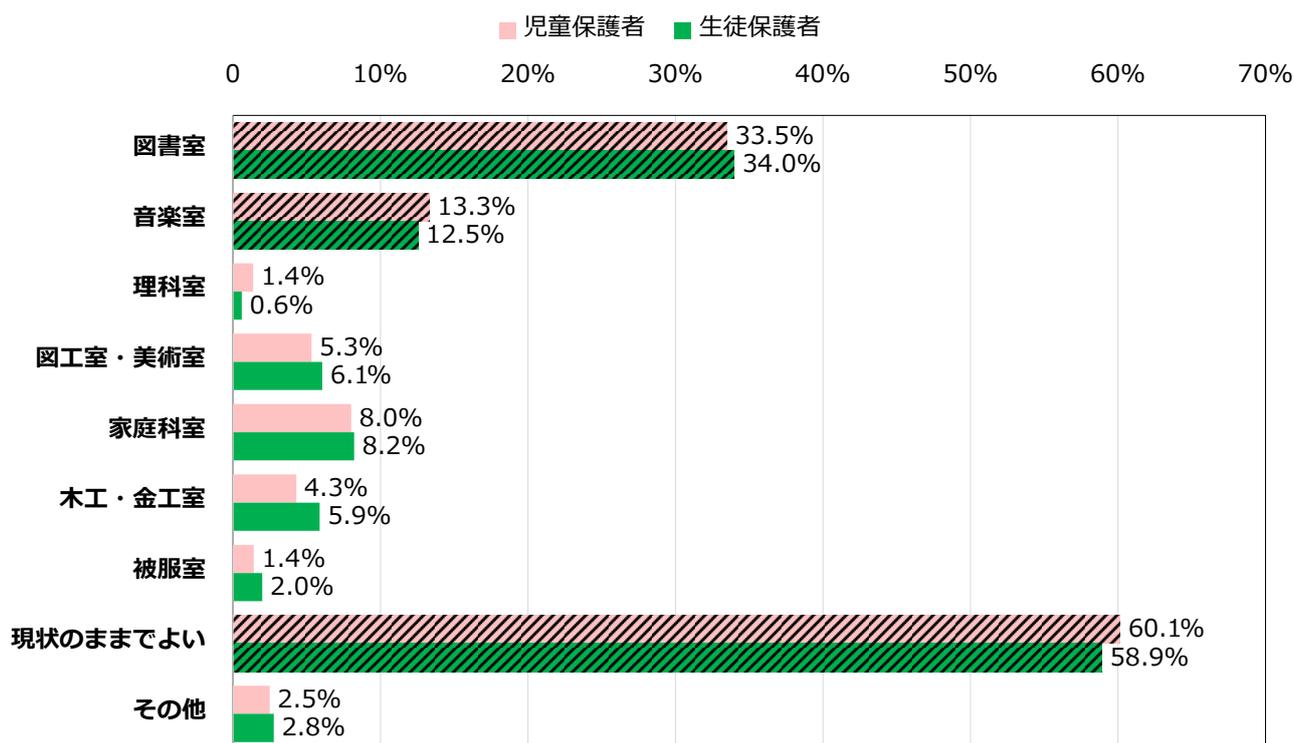
●児童・生徒の保護者

【児童の保護者】

一定の条件の下で地域の人や一般の人が利用できるよう開放が望ましい施設については、「現状のままでよい」が60.1%となった。続いて、「図書室」(33.5%)、「音楽室」(13.3%)となった。

【生徒の保護者】

一定の条件の下で地域の人や一般の人が利用できるよう開放が望ましい施設については、「現状のままでよい」が58.9%となった。続いて、「図書室」(34.0%)、「音楽室」(12.5%)となった。



(児童の保護者：n=2,045、生徒の保護者：n=1,156)

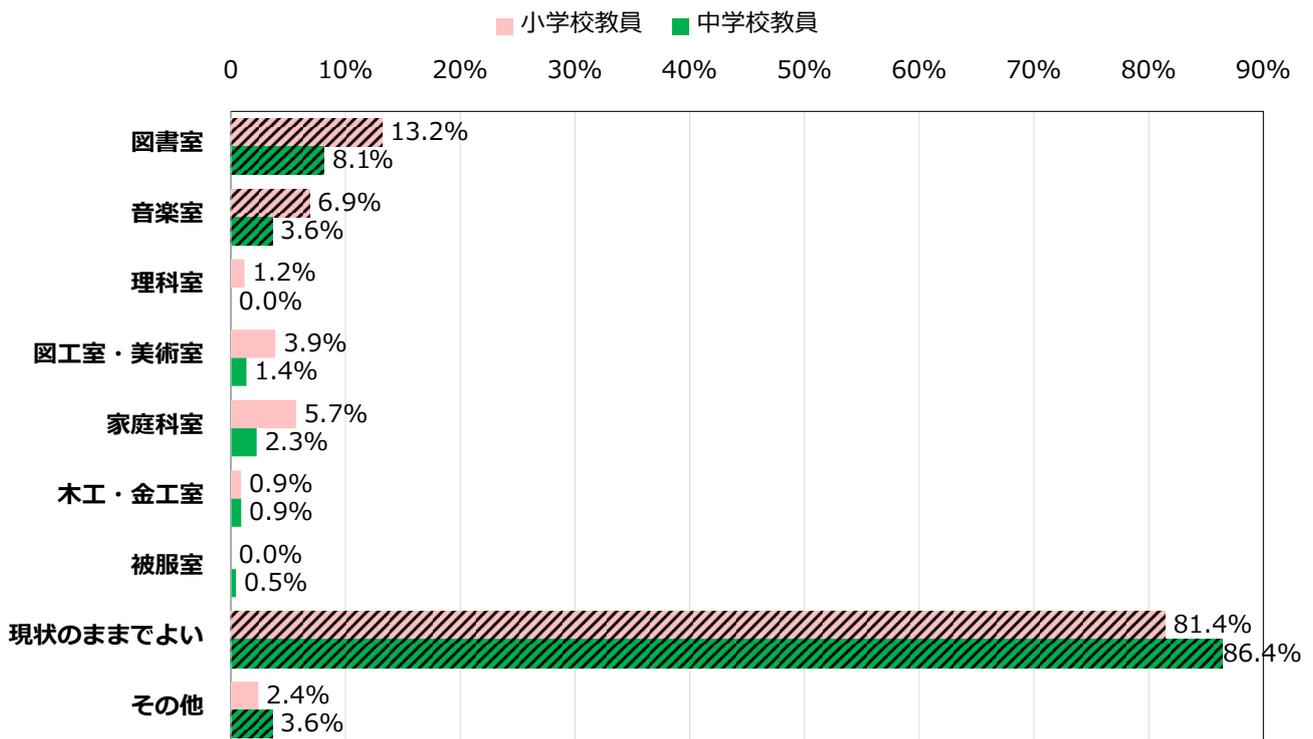
●教員

【小学校教員】

一定の条件の下で地域の人や一般の人が利用できるよう開放が望ましい施設については、「現状のままで良い」が 81.4%となった。続いて、「図書室」(13.2%)、「音楽室」(6.9%)となった。

【中学校教員】

一定の条件の下で地域の人や一般の人が利用できるよう開放が望ましい施設については、「現状のままで良い」が 86.4%となった。続いて、「図書室」(8.1%)、「音楽室」(3.6%)となった。

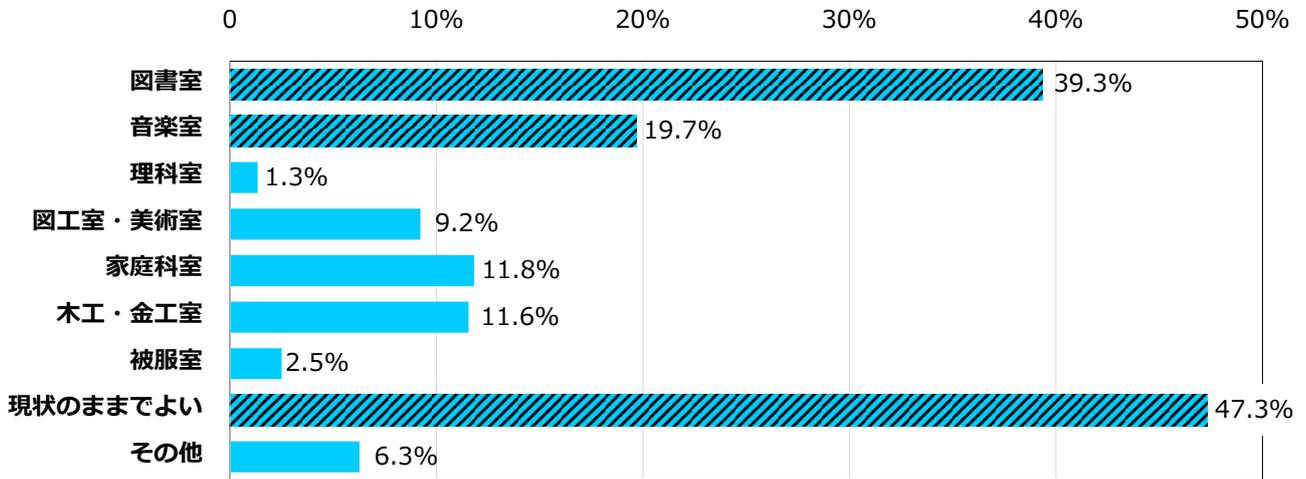


(小学校教員：n=334、中学校教員：n=221)

●市民・未就学児の保護者

【市民】

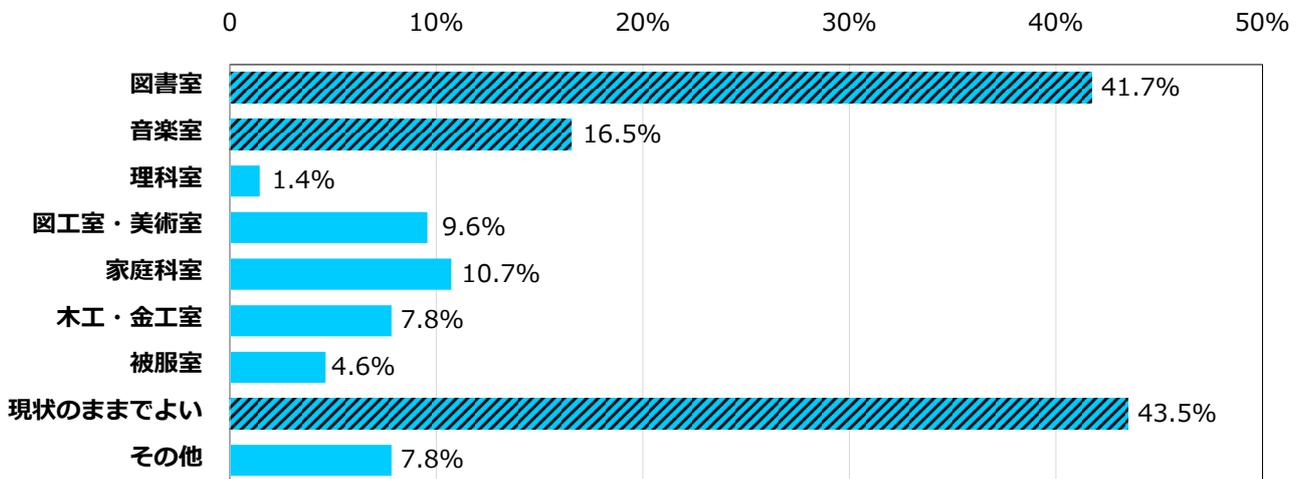
一定の条件の下で地域の人や一般の人が利用できるよう開放が望ましい施設については、「現状のままでよい」が47.3%となった。続いて、「図書室」(39.3%)、「音楽室」(19.7%)となった。



(市民：n=1,116)

【未就学児の保護者】

一定の条件の下で地域の人や一般の人が利用できるよう開放が望ましい施設については、「現状のままでよい」が43.5%となった。続いて、「図書室」(41.7%)、「音楽室」(16.5%)となった。



(未就学児の保護者：n=345)

(39) 学校敷地内や校舎内に併設されることが望ましい公共施設  
[3つまで回答]

選択肢	回答者の属性（割合）							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
公民館やコミュニティセンター等の市民文化系施設			30.2%	32.4%	35.3%	31.2%	36.8%	29.9%
保育園や学童保育所等の子育て支援施設			55.1%	43.2%	56.0%	40.7%	61.5%	72.2%
地域包括支援センターや保健センター等の保健福祉・医療施設			20.7%	20.8%	15.3%	14.5%	25.8%	20.6%
出張所などの行政系施設			9.7%	11.0%	7.8%	8.6%	12.4%	9.6%
民間デイサービス等の高齢者福祉施設			11.8%	13.4%	12.6%	12.7%	19.1%	9.6%
民間幼稚園や保育園、認定こども園			21.6%	16.3%	18.3%	20.8%	29.1%	37.4%
保護者や地域住民がテレワークを行うスペース			7.2%	6.1%	3.6%	3.2%	8.4%	8.1%
他の施設の整備は望ましくない			21.1%	25.8%	24.0%	33.5%	12.2%	14.2%
その他			4.3%	3.0%	3.0%	2.7%	3.4%	5.8%

調査対象	その他回答の件数(件)・主な意見	
児童保護者	85	図書館、放課後デイサービス、部外者を入れるのは防犯面で不安
生徒保護者	31	図書館、交番、スポーツ施設
教員（小学校）	9	交番、放課後等デイサービス
教員（中学校）	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の施設が整備されることで教員の負担が増えるのであれば望ましくありません</li> <li>・図書館</li> <li>・本校の現状から言うと駐車場の充実ができて、はじめて公共施設ができると思います</li> <li>・生徒・職員にどんなメリット・デメリットがあるか想像できないため回答できない</li> <li>・テニスコート</li> <li>・望ましい施設ではなく、該当校が可能なのかで考えるべき。可能な時、近隣地区で何のニーズがあるかで決めるべき、だと考える</li> </ul>
市民	38	図書館、部外者を入れるべきではない、スポーツ施設
未就学児保護者	20	部外者を入れるべきではない、図書館

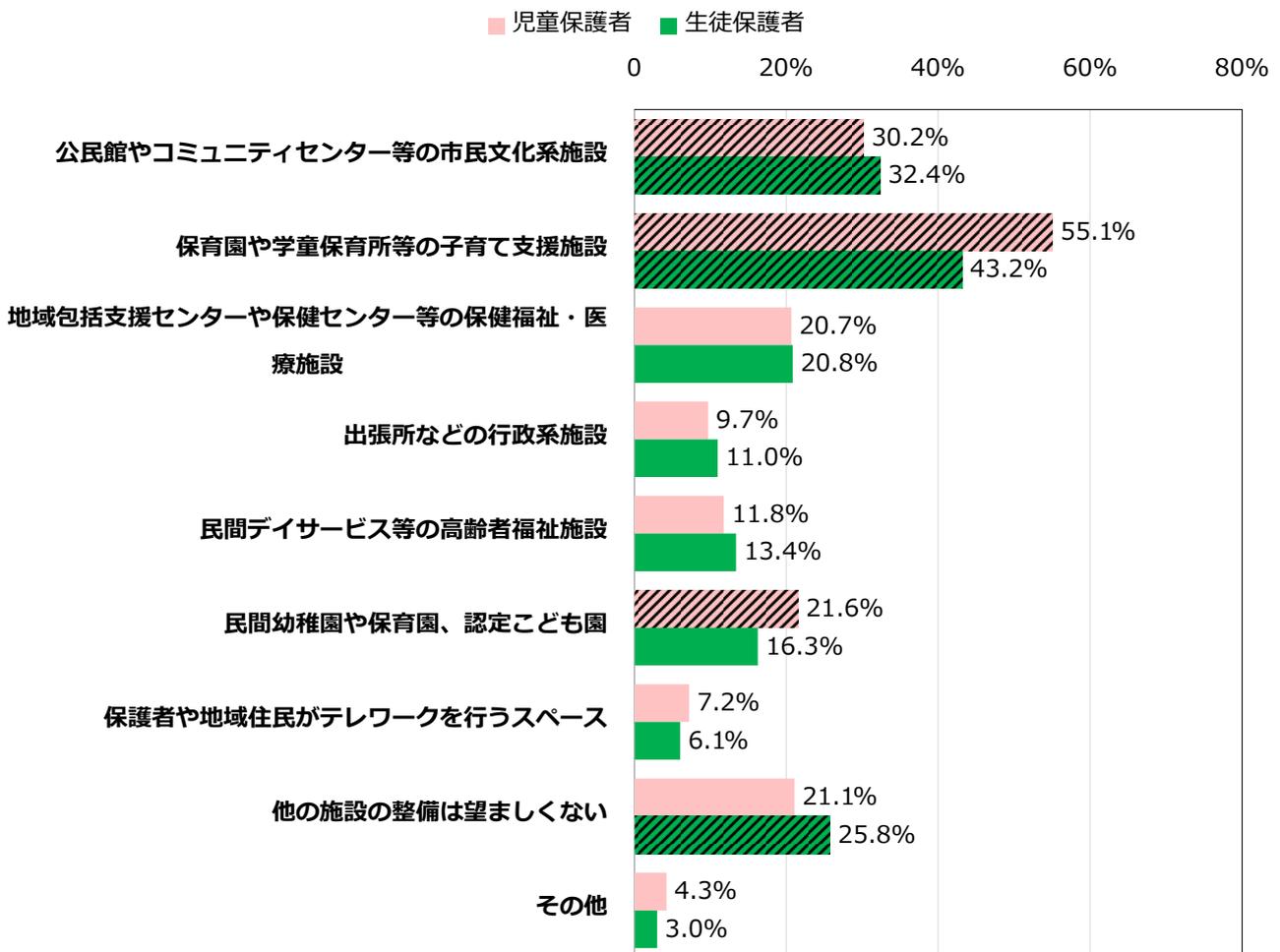
●児童・生徒の保護者

【児童の保護者】

学校敷地内や校舎内に学校以外の公共施設等が整備される場合に望ましい施設は、「保育園や学童保育所等の子育て支援施設」(55.1%)、「公民館やコミュニティセンター等の市民文化系施設」(30.2%)、「民間幼稚園や保育園、認定こども園」(21.6%)が上位3つとなった。

【生徒の保護者】

学校敷地内や校舎内に学校以外の公共施設等が整備される場合に望ましい施設は、「保育園や学童保育所等の子育て支援施設」(43.2%)、「公民館やコミュニティセンター等の市民文化系施設」(32.4%)、「他の施設の整備は望ましくない」(25.8%)が上位3つとなった。



(児童の保護者：n=2,045、生徒の保護者：n=1,156)

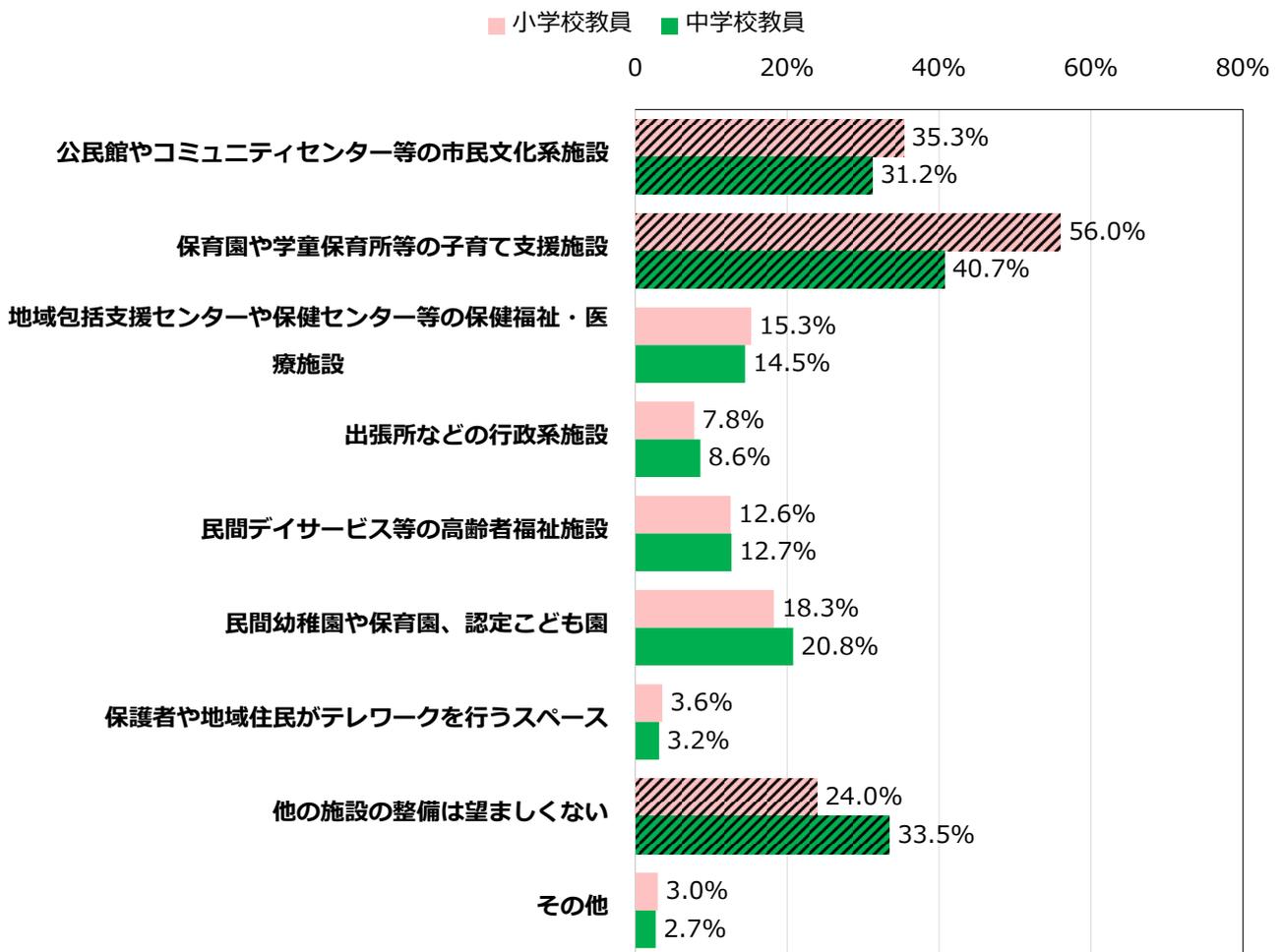
●教員

【小学校教員】

学校敷地内や校舎内に学校以外の公共施設等が整備される場合に望ましい施設は、「保育園や学童保育所等の子育て支援施設」(56.0%)、「公民館やコミュニティセンター等の市民文化系施設」(35.3%)、「他の施設の整備は望ましくない」(24.0%)が上位3つとなった。

【中学校教員】

学校敷地内や校舎内に学校以外の公共施設等が整備される場合に望ましい施設は、「保育園や学童保育所等の子育て支援施設」(40.7%)、「他の施設の整備は望ましくない」(33.5%)、「公民館やコミュニティセンター等の市民文化系施設」(31.2%)が上位3つとなった。

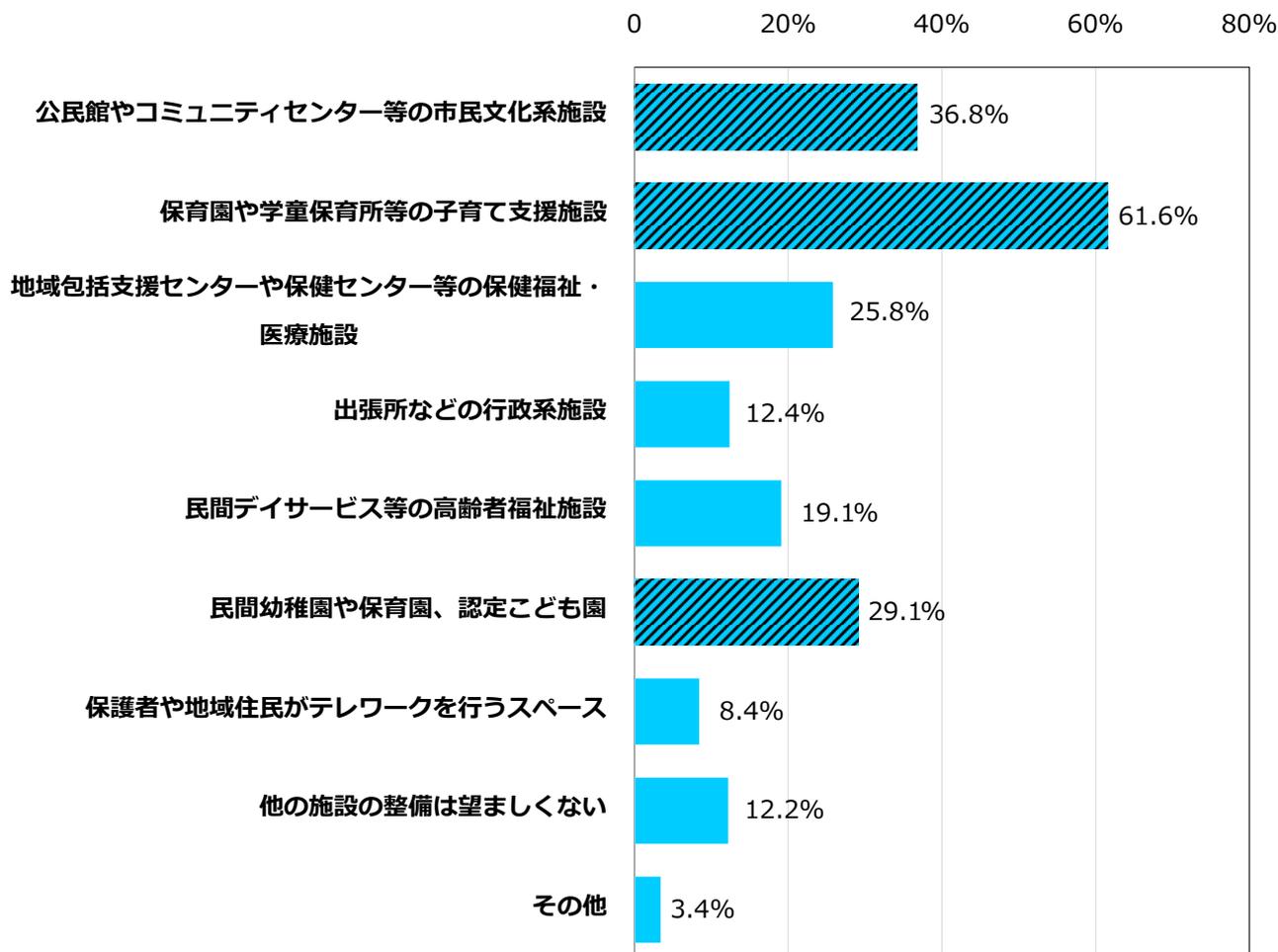


(小学校教員：n=334、中学校教員：n=221)

●市民・未就学児の保護者

【市民】

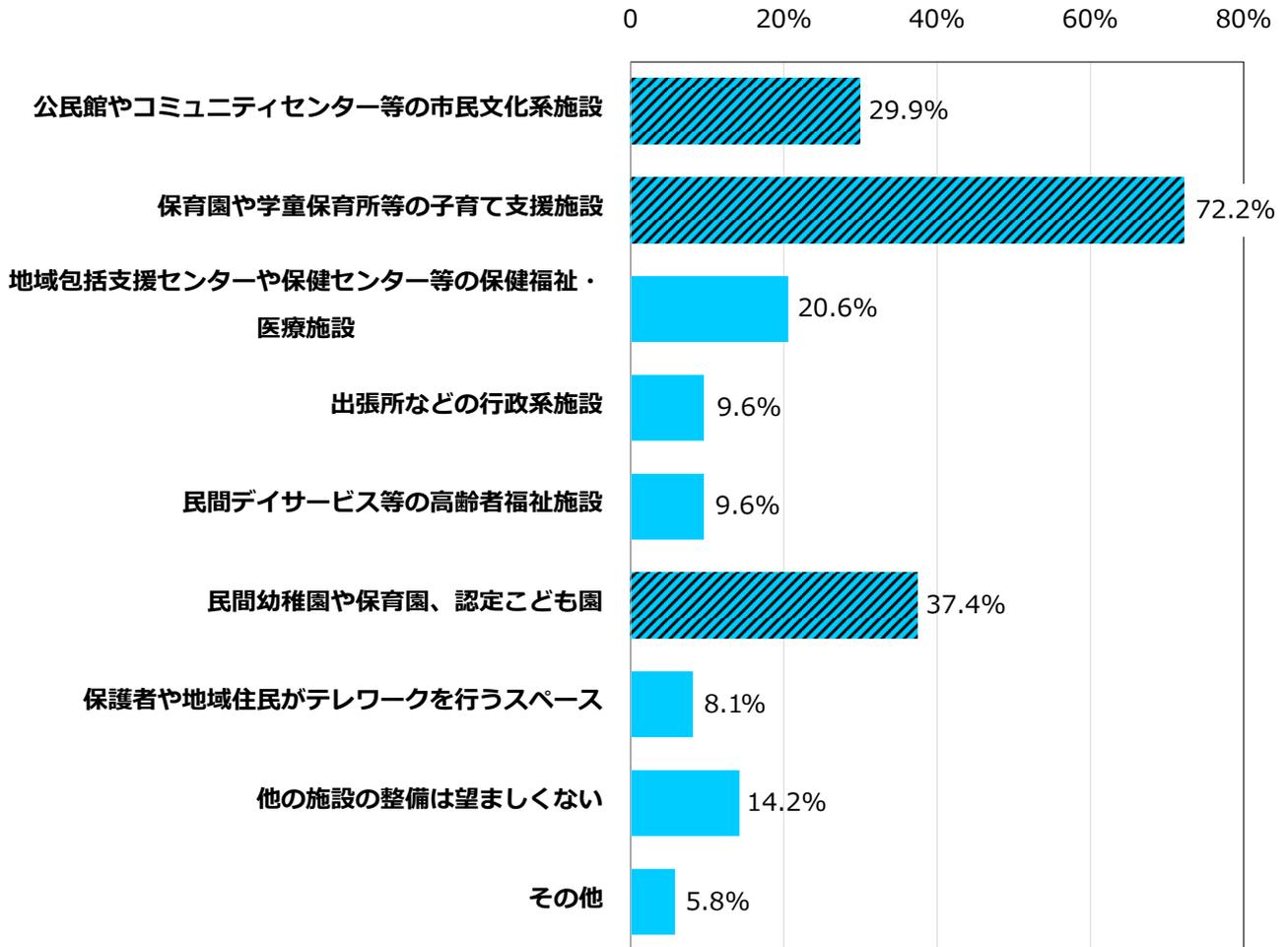
学校敷地内や校舎内に学校以外の公共施設等が整備される場合に望ましい施設は、「保育園や学童保育所等の子育て支援施設」(61.6%)、「公民館やコミュニティセンター等の市民文化系施設」(36.8%)、「民間幼稚園や保育園、認定こども園」(29.1%)が上位3つとなった。



(市民：n=1,116)

【未就学児の保護者】

学校敷地内や校舎内に学校以外の公共施設等が整備される場合に望ましい施設は、「保育園や学童保育所等の子育て支援施設」(72.2%)、「民間幼稚園や保育園、認定こども園」(37.4%)、「公民館やコミュニティセンター等の市民文化系施設」(29.9%)が上位3つとなった。



(未就学児の保護者：n=345)

(40) 地域社会総がかりでの教育を実現する上で参加したい・協力したい取組  
[3つまで回答]

選択肢	回答者の属性(割合)							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
授業補助(家庭科実習の補助、読み聞かせ、ゲストティーチャーなど)			25.6%	20.8%			24.0%	31.9%
学習支援(放課後等の学習支援など)			19.7%	18.3%			24.0%	23.2%
学校の環境整備(草刈りや剪定、落ち葉掃き、花壇整備など)			26.3%	24.9%			26.6%	21.2%
安全指導(登下校等の見守り活動など)			31.9%	20.3%			30.6%	33.3%
学校行事支援(運動会等の行事運営支援)			18.6%	15.1%			16.3%	19.7%
部活動支援(活動運営、引率等)			12.1%	18.2%			16.5%	16.8%
特に参加したい取組はない			30.1%	36.5%			32.1%	27.8%
その他			2.3%	1.3%			2.4%	4.3%

調査対象	その他回答の件数(件)・主な意見	
児童保護者	47	仕事をしているので参加は難しい、あくまでも行政主体で行われるべき
生徒保護者	15	仕事をしているので参加は難しい
市民	27	仕事をしているので参加は難しい
未就学児保護者	15	仕事をしているので参加は難しい

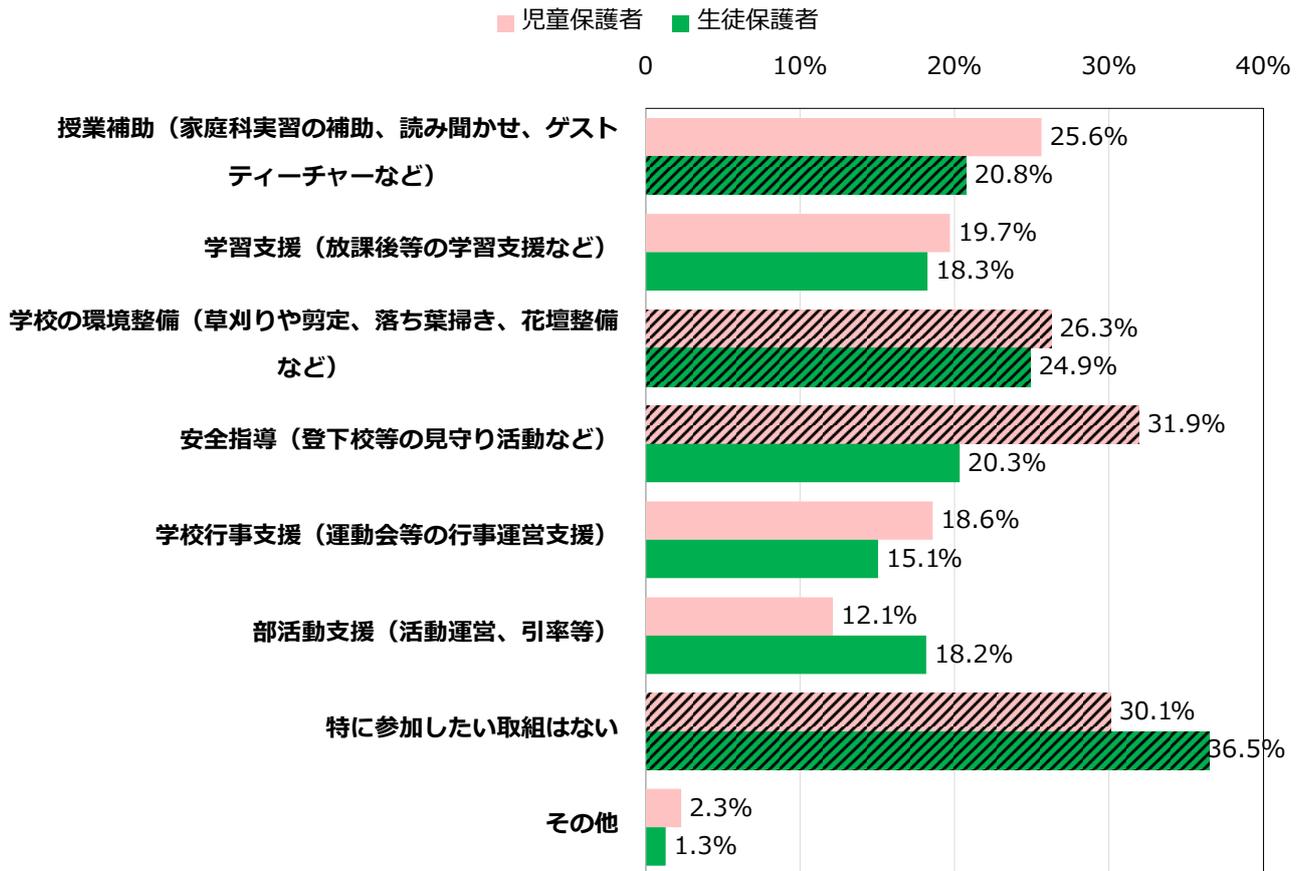
●児童・生徒の保護者

【児童の保護者】

社会総がかりでの教育を実現していく上で参加したい取組については、「安全指導（登下校等の見守り活動など）」（31.9%）、「特に参加したい取組はない」（30.1%）、「学校の環境整備（草刈りや剪定、落ち葉掃き、花壇整備など）」（26.3%）が上位3つとなった。

【生徒の保護者】

社会総がかりでの教育を実現していく上で参加したい取組については、「特に参加したい取組はない」（36.5%）、「学校の環境整備（草刈りや剪定、落ち葉掃き、花壇整備など）」（24.9%）、「授業補助（家庭科実習の補助、読み聞かせ、ゲストティーチャーなど）」（20.8%）が上位3つとなった。

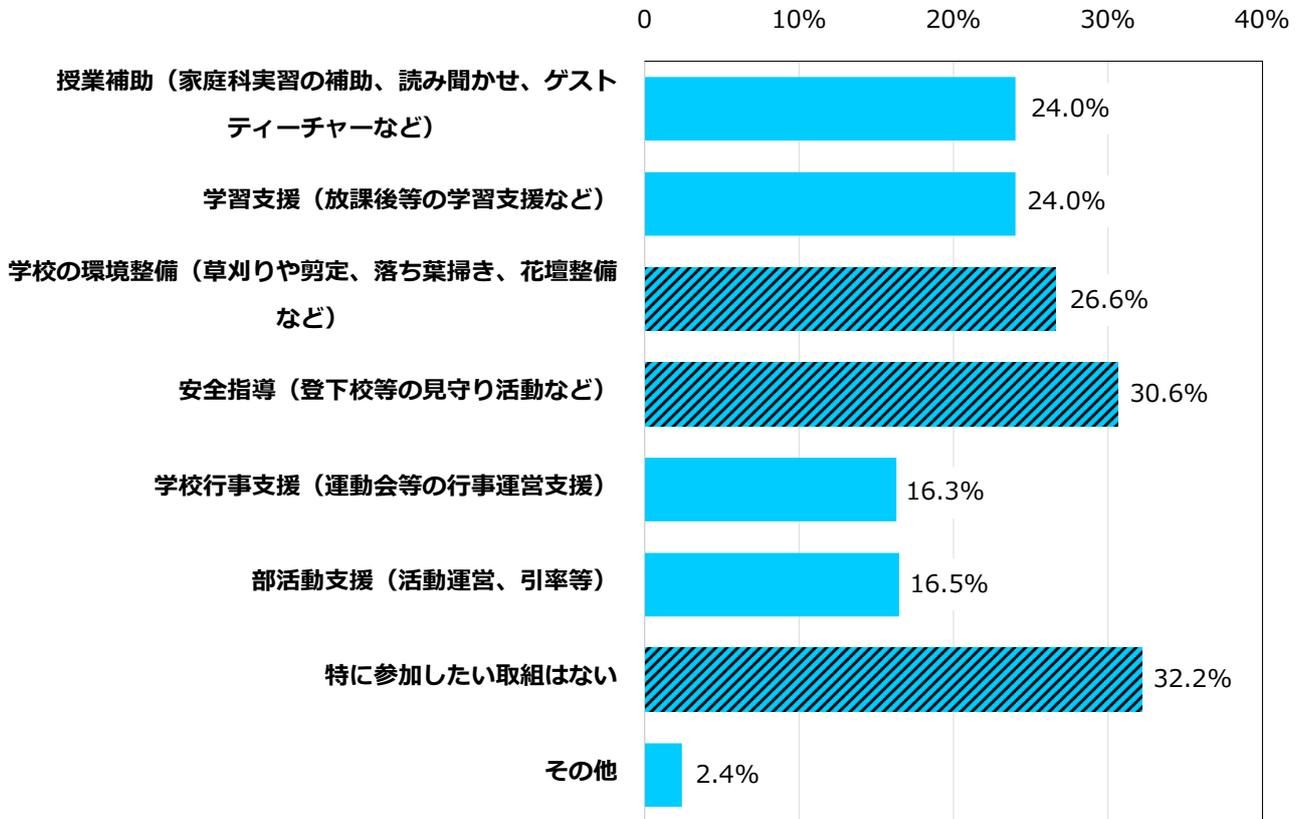


（児童の保護者：n=2,045、生徒の保護者：n=1,156）

●市民・未就学児の保護者

【市民】

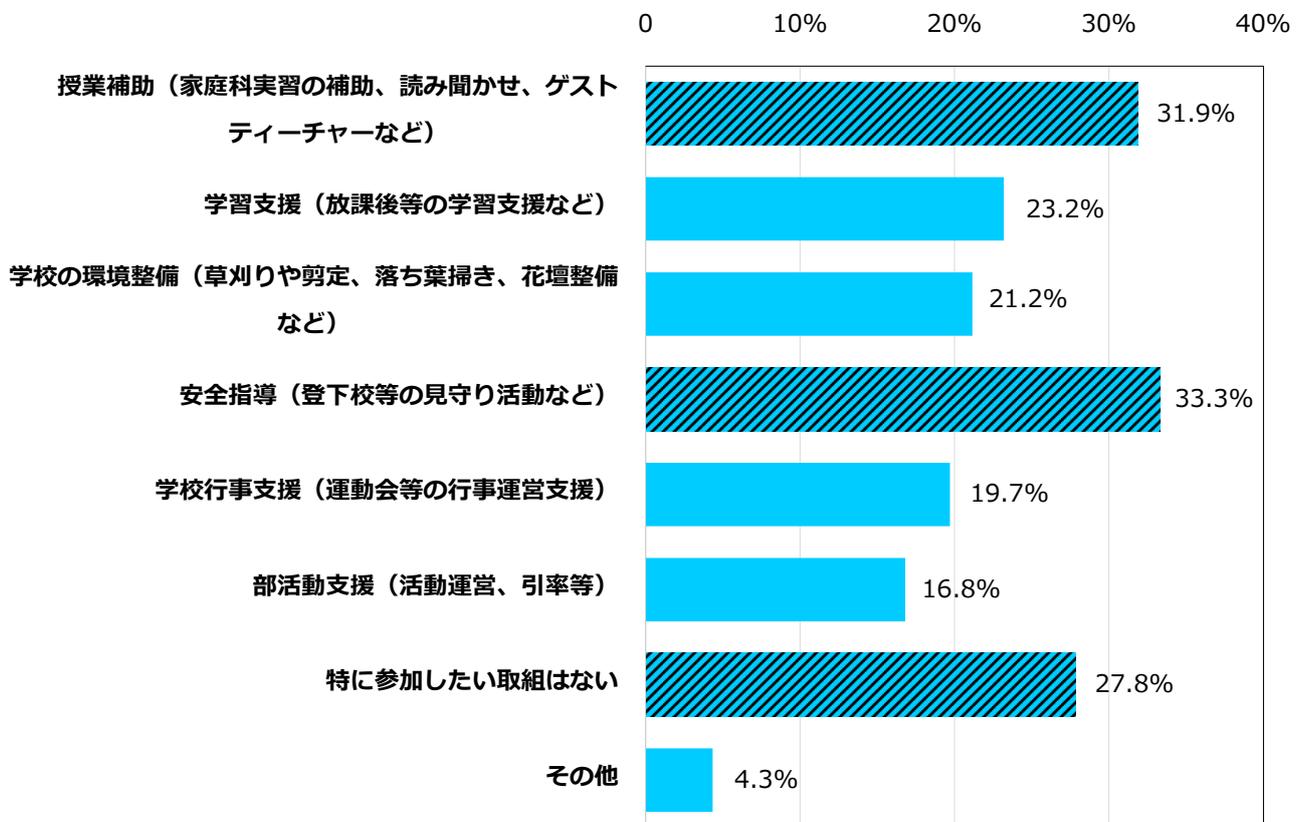
社会総がかりでの教育を実現していく上で参加したい取組については、「特に参加したい取組はない」(32.2%)、「安全指導(登下校等の見守り活動など)」(30.6%)、「学校の環境整備(草刈りや剪定、落ち葉掃き、花壇整備など)」(26.6%)が上位3つとなった。



(市民：n=1,116)

### 【未就学児の保護者】

社会総がかりでの教育を実現していく上で参加したい取組については、「安全指導（登下校等の見守り活動など）」（33.3%）、「授業補助（家庭科実習の補助、読み聞かせ、ゲストティーチャーなど）」（31.9%）、「特に参加したい取組はない」（27.8%）が上位3つとなった。



（未就学児の保護者：n=345）

(41) 地域社会総がかりでの教育を実現する上で支援を受けたい・支援が必要な取組  
[3つまで回答]

選択肢	回答者の属性(割合)							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
授業補助(家庭科実習の補助、読み聞かせ、ゲストティーチャーなど)					73.1%	43.0%		
学習支援(放課後等の学習支援など)					51.8%	47.5%		
学校の環境整備(草刈りや剪定、落ち葉掃き、花壇整備など)					77.5%	67.4%		
安全指導(登下校等の見守り活動など)					66.2%	65.2%		
学校行事支援(運動会等の行事運営支援)					27.8%	15.4%		
部活動支援(活動運営、引率等)					33.8%	61.1%		
特に支援を必要とするものはない					1.2%	2.3%		
その他					1.5%	2.7%		

調査対象	その他回答の件数(件)・主な意見	
教員(小学校)	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な世代、職種の方との交流支援としての場作り</li> <li>・不登校児童の居場所づくりの支援</li> <li>・水泳指導、外国籍児童への日本語指導</li> <li>・教材制作、コンピュータ研修</li> </ul>
教員(中学校)	6	理科や技術科の補助、正規職員の増員、会計や事務の手伝い

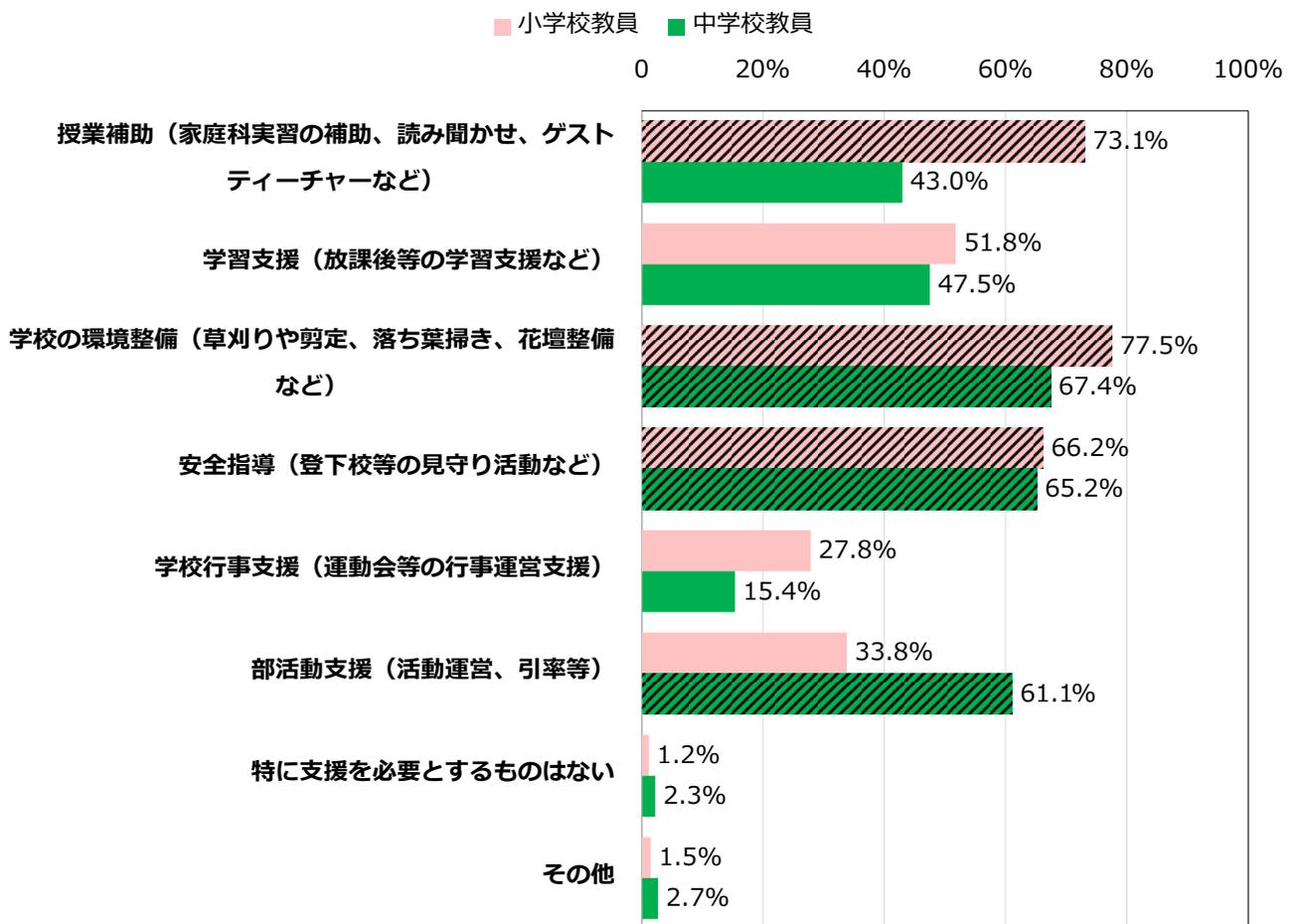
●教員

【小学校教員】

社会総がかりでの教育を実現していく上で支援を受けたい、または支援が必要な取組については、「学校の環境整備（草刈りや剪定、落ち葉掃き、花壇整備など）」(77.5%)、「授業補助（家庭科実習の補助、読み聞かせ、ゲストティーチャーなど）」(73.1%)、「安全指導（登下校等の見守り活動など）」(66.2%)が上位3つとなった。

【中学校教員】

社会総がかりでの教育を実現していく上で支援を受けたい、または支援が必要な取組については、「学校の環境整備（草刈りや剪定、落ち葉掃き、花壇整備など）」(67.4%)、「安全指導（登下校等の見守り活動など）」(65.2%)、「部活動支援（活動運営、引率等）」(61.1%)が上位3つとなった。



(小学校教員：n=334、中学校教員：n=221)

■学校運営の現状や働き方改革について、あなたのお考えをお聞きます

(42) 現在負担に感じる業務

[5つまで回答]

選択肢	回答者の属性（割合）							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
学習評価や成績処理					31.1%	23.5%		
登下校に関する対応					19.5%	14.5%		
学校行事の準備・運営					33.5%	19.0%		
学校徴収金の集金や管理、支払等の業務					60.2%	60.6%		
進路指導					0.6%	7.7%		
地域や保護者対応					43.7%	40.7%		
支援が必要な児童生徒・家庭への対応					33.5%	32.1%		
調査・統計等への回答					39.2%	47.1%		
いじめや不登校への対応					32.6%	35.3%		
児童生徒の休み時間における対応					4.2%	1.8%		
いじめや不登校以外の児童生徒指導					11.4%	6.3%		
校内清掃					11.4%	9.5%		
会議や打合せ					18.0%	14.9%		
クラブ活動や部活動の運営、引率					12.0%	32.1%		
タブレット端末の管理					22.5%	27.6%		
給食時の対応					5.4%	5.9%		
授業準備					7.8%	5.4%		
特にない					0.3%	1.4%		
その他					5.7%	4.5%		

調査対象	その他回答の件数(件)・主な意見	
教員（小学校）	19	授業研究や指導案づくり、就学援助費関係業務、校務分掌に関する業務
教員（中学校）	10	部活動

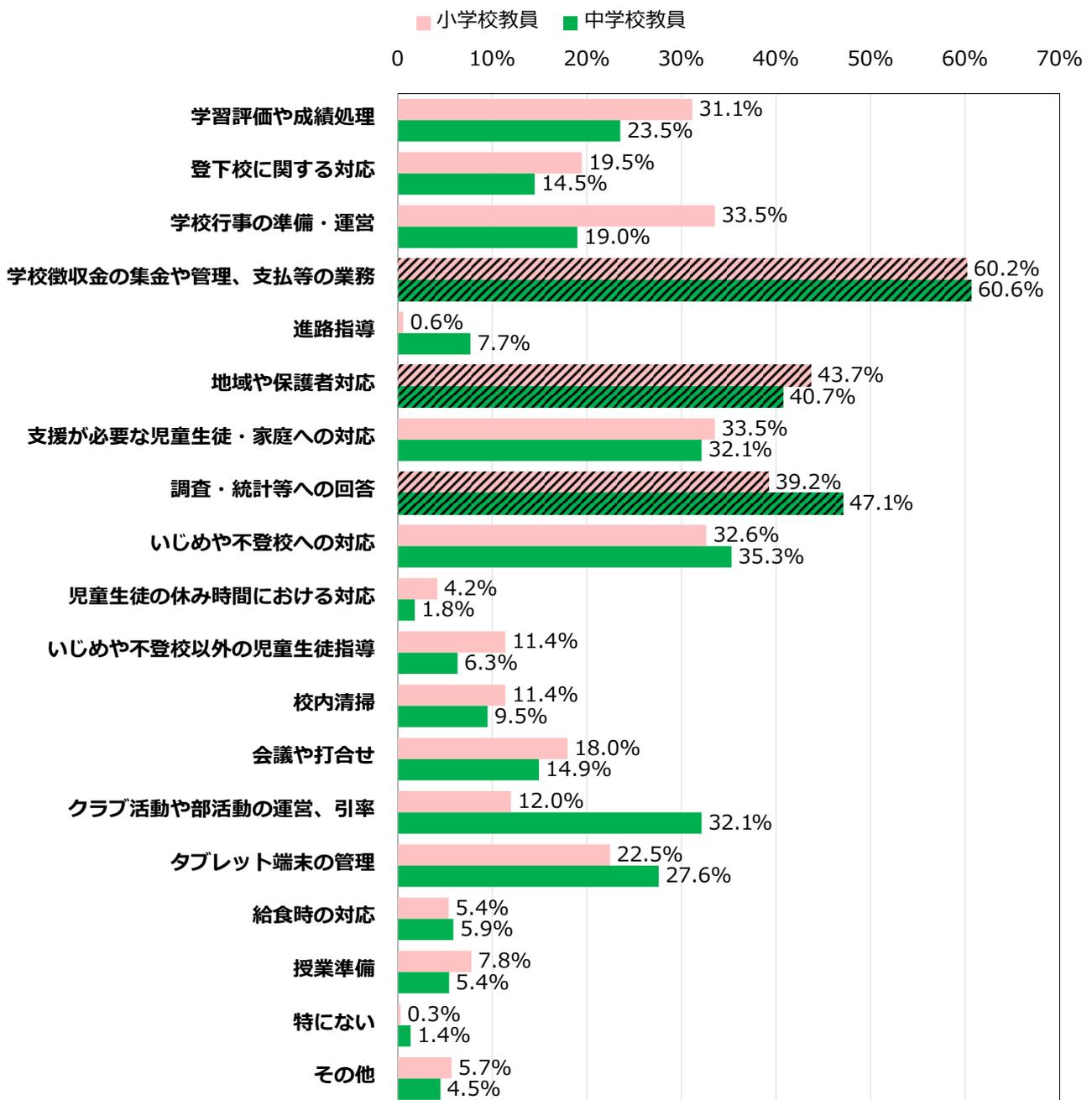
●教員

【小学校教員】

現在担っている業務の中で、負担に感じる業務は、「学校徴収金の集金や管理、支払等の業務」(60.2%)、「地域や保護者対応」(43.7%)、「調査・統計等への回答」(39.2%)が上位3つとなった。

【中学校教員】

現在担っている業務の中で、負担に感じる業務は、「学校徴収金の集金や管理、支払等の業務」(60.6%)、「調査・統計等への回答」(47.1%)、「地域や保護者対応」(40.7%)が上位3つとなった。



(小学校教員：n=334、中学校教員：n=221)

(43) 上記業務の負担が軽減された場合の時間の使い道  
[5つまで回答]

選択肢	回答者の属性（割合）							
	児童	生徒	児童	生徒	教員	教員	市民	未就学児 保護者
			保護者	保護者	小学校	中学校		
プライベートな時間					58.4%	64.3%		
児童生徒と向き合う時間					65.3%	61.1%		
学習評価や成績処理					29.6%	21.3%		
登下校に関する対応					1.2%	0.9%		
学校行事の準備・運営					14.7%	13.6%		
学校徴収金の集金や管理、支払等の業務					0.3%	0.5%		
進路指導					0.0%	5.9%		
地域や保護者対応					3.6%	1.8%		
支援が必要な児童生徒・家庭への対応					16.5%	15.4%		
調査・統計等への回答					1.2%	0.5%		
いじめや不登校への対応					8.4%	7.2%		
児童生徒の休み時間における対応					12.3%	6.3%		
いじめや不登校以外の児童生徒指導					2.4%	6.8%		
校内清掃					0.9%	1.4%		
会議や打合せ					2.1%	2.3%		
クラブ活動や部活動の運営、引率					0.6%	10.4%		
タブレット端末の管理					1.8%	0.5%		
給食時の対応					0.9%	0.5%		
授業準備					67.1%	62.0%		
特になし					0.6%	1.8%		
その他					2.4%	1.8%		

調査対象	その他回答の件数(件)・主な意見	
教員（小学校）	8	教材研究、事務作業
教員（中学校）	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の PDCA サイクルの計画に時間をかけたい、7.進路指導</li> <li>・事務的な仕事</li> <li>・自分自身の学習時間</li> <li>・定時帰宅</li> </ul>

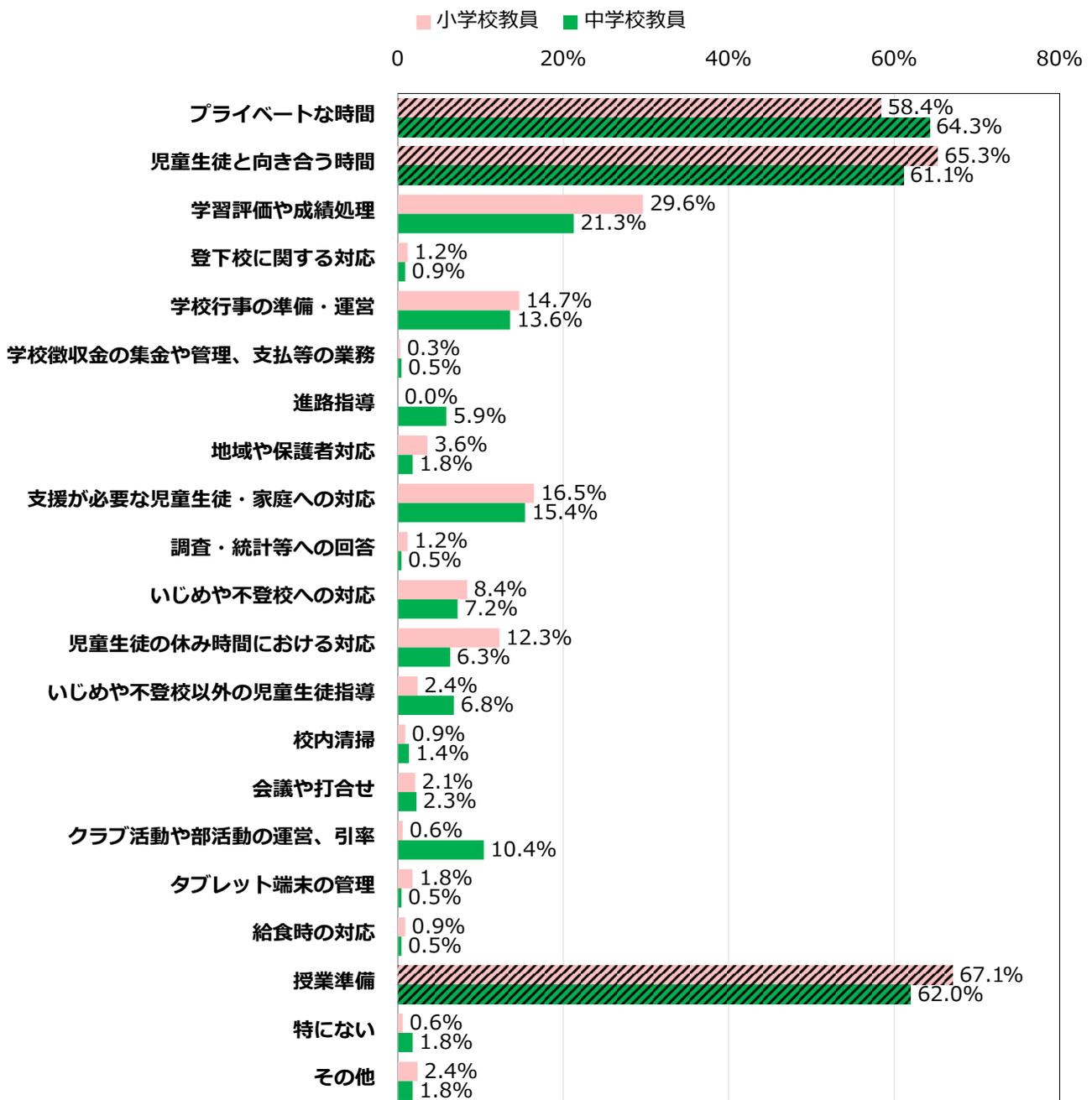
●教員

【小学校教員】

「問 21」で回答した業務の負担が軽減された場合に増えた時間の使い方としては、「授業準備」(67.1%)、「児童生徒と向き合う時間」(65.3%)、「プライベートな時間」(58.4%)が上位3つとなった。

【中学校教員】

「問 21」で回答した業務の負担が軽減された場合に増えた時間の使い方としては、「プライベートな時間」(64.3%)、「授業準備」(62.0%)、「児童生徒と向き合う時間」(61.1%)が上位3つとなった。



(小学校教員：n=334、中学校教員：n=221)

## ■自由意見

本アンケートでは、各調査対象者共通で、完全自由回答方式の設問を最終問として設けた。その結果得られた有効な回答の数と、主な意見を以下のとおり示す。なお、「特になし」という旨の回答や、ランダムな文字列を入力した回答などは、有効回答数から除いている。

調査対象	その他回答の件数(件)・主な意見	
児童	742	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校設備について（空調の改善、スポーツ設備の設置など）</li> <li>・インターネット環境や、ICT 機器（パソコン、タブレット）の不具合の改善に関する要望</li> <li>・人間関係に関する不安や悩み</li> <li>・教員の言葉遣いや行動に対する不満</li> <li>・給食の味の美味しさや量の少なさについて</li> <li>・休み時間の拡大に関する要望</li> <li>・いじめ対策の拡充</li> <li>・通学距離や通学手段（自転車、スクールバスなど）について</li> </ul>
生徒	581	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校設備について（特別教室の空調整備、トイレの洋式化など）</li> <li>・給食の食事時間の短さや量の少なさについて</li> <li>・部活動の活動時間や活動日数の拡充</li> <li>・教員の言葉遣いや一部生徒への言動の差に対する不満</li> <li>・休み時間の拡大に関する要望</li> <li>・自転車通学の容認や登校時間の後ろ倒しに関する要望</li> <li>・校則に関すること</li> </ul>
児童保護者	604	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校設備や老朽化対策に関する要望（特別教室の空調整備など）</li> <li>・タブレットの活用の仕方、重さ、バッテリー性能などについて</li> <li>・教員の増員や負担軽減に関する要望</li> <li>・PTA の負担軽減や廃止、外部委託化に関する要望</li> <li>・学童の受け入れ人数や対象学年、利用可能な場面の拡大に関する要望</li> <li>・給食の味や栄養バランスの現状維持を望む意見</li> <li>・通学路の安全性、通学距離の長さ、通学手段（スクールバス等）について</li> <li>・統廃合に関する意見</li> <li>・最寄り校に通えるような学区適正化に関する要望</li> </ul>
生徒保護者	296	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校設備や老朽化対策に関する要望</li> <li>・教員の増員や負担軽減に関する要望</li> <li>・部活動の活動時間や活動日数の拡充</li> <li>・不登校、いじめ対策の拡充</li> <li>・通学路の安全性、通学距離の長さ、通学手段（自転車、スクールバスなど）に関する意見</li> <li>・統廃合に関する意見</li> <li>・最寄り校に通えるような学区適正化に関する要望</li> </ul>

教員（小学校）	92	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校設備や老朽化対策に関する要望</li> <li>・インターネット環境や、ICT 機器（パソコン、タブレット）の不具合の改善に関する要望</li> <li>・教員の増員や働き方改革、負担軽減に関する要望</li> <li>・特別支援学級への支援の拡充</li> <li>・統廃合に関する意見</li> </ul>
教員（中学校）	80	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校設備や老朽化対策に関する要望（特別教室や体育館の空調整備など）</li> <li>・インターネット環境や、ICT 機器（パソコン、タブレット）の不具合の改善に関する要望</li> <li>・教員の増員や働き方改革、負担軽減に関する要望</li> <li>・教員免許が必須ではない事務作業（集金など）の整理や市役所職員などへの外部委託化に関する要望</li> <li>・部活動の地域移行のさらなる推進</li> </ul>
市民	420	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化に対する課題意識</li> <li>・学校設備や老朽化対策に関する要望</li> <li>・教員の業務負担軽減に関する要望</li> <li>・教員の資質向上</li> <li>・特別支援学級への支援の拡充</li> <li>・不登校、いじめ対策の拡充</li> <li>・通学路の安全性、通学距離の長さの改善</li> <li>・統廃合に関する意見</li> </ul>
未就学児保護者	117	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校設備や老朽化対策に関する要望</li> <li>・PTA 活動の負担軽減</li> <li>・特別支援学級への支援の拡充</li> <li>・いじめ対策の拡充</li> <li>・通学路の安全性、通学距離の長さの改善</li> <li>・統廃合に関する意見</li> </ul>

## 第4章 アンケート調査案内文・調査票

次ページ以降に、実際に各調査対象者に配布したアンケート調査案内文・調査票を掲載する。

ページ	内容
P128～	児童・生徒用 案内文
P130～	児童・生徒用 調査票
P138～	児童保護者・生徒保護者用 案内文
P142～	児童保護者・生徒保護者用 調査票
P152～	教員用 案内文
P156～	教員用 調査票
P166～	市民・未就学児保護者用 案内文
P170～	市民・未就学児保護者用 調査票

## 佐倉市立小中学校のこれからの学校のあり方に関するアンケート調査

【回答にはおよそ 20 分くらいかかります 全 23 問】

### はじめに

皆さん、こんにちは！

佐倉市教育委員会では、これから先の将来、学校の主役である小学生・中学生の皆さんが明るく、楽しく、元気で学校で過ごすことができるためには、どんな学校であれば良いのだろうかと考えているところです。そこで今回、ぜひ皆さんの意見をきかせてもらいたいと思い、このアンケートを作りました。調査へのご協力をよろしくお願いします。

令和 6 年 1 0 月 吉 日

佐倉市教育委員会 教育長 圓城寺 一雄

### アンケートの回答方法

専用 Web サイトから、以下の手順でご回答ください。

- ① 下の URL または右の二次元コードをタブレットのカメラで読み取ってください。

回答用 Web サイトの URL を記載

回答用  
QR コードを  
掲載

- ② 表示された画面に下の回答用 ID を入力して、アンケートにお答えください。

回答用 ID: ランダムに割り振られた ID を記載

**令和 6 年 1 1 月 1 5 日（金）まで**にご回答ください。

### 【回答するときのお願い】

- ① 回答用 ID に、アルファベットの l(エル)、o(オー)、q(キュー)は使用していません。
- ② アンケートは、あなた自身が入力してください。友達とは相談しないようにしましょう。
- ③ 名前は入力しないでください。
- ④ 読めない漢字や意味がわからないところがあれば、先生に聞いてみてください。
- ⑤ だれが何を答えたのか、ほかの人に知られることはないのです、正直にお答えください。

【担当】佐倉市教育委員会 教育総務課

電話：043-484-6183 Eメール：kyoikusomu@city.sakura.lg.jp



## あなたご自身のことについてお聞きします

### 児童用の設問・選択肢

問1. 学年を教えてください。

【1つ回答】

1	小学4年生	2	小学5年生	3	小学6年生
---	-------	---	-------	---	-------

問2. 通っている学校を教えてください。

【1つ回答】

1	佐倉小学校	2	内郷小学校	3	志津小学校	4	上志津小学校
5	臼井小学校	6	印南小学校	7	根郷小学校	8	和田小学校
9	弥富小学校	10	千代田小学校	11	下志津小学校	12	井野小学校
13	南志津小学校	14	佐倉東小学校	15	西志津小学校	16	小竹小学校
17	間野台小学校	18	王子台小学校	19	青菅小学校	20	寺崎小学校
21	山王小学校	22	染井野小学校	23	白銀小学校		

### 生徒用の設問・選択肢

問1. 学年を教えてください。

【1つ回答】

1	中学1年生	2	中学2年生	3	中学3年生
---	-------	---	-------	---	-------

問2. 通っている学校を教えてください。

【1つ回答】

1	佐倉中学校	2	志津中学校	3	上志津中学校	4	南部中学校
5	臼井中学校	6	井野中学校	7	佐倉東中学校	8	臼井西中学校
9	西志津中学校	10	臼井南中学校	11	根郷中学校		

## 今の学校生活の満足度などについて、あなたのお考えをお聞きます

問3. 学校で過ごす時間をどのように感じていますか？

【1つ回答】

- |            |           |
|------------|-----------|
| 1 楽しい      | 2 まあまあ楽しい |
| 3 あまり楽しくない | 4 楽しくない   |

問4. 「問3」で「楽しい」「まあまあ楽しい」と答えた方にお聞きます。

なぜ、そのように思いますか？下の選択肢から理由を教えてください。

【3つまで回答】

- |                |
|----------------|
| 1 楽しい授業がある     |
| 2 休み時間がある      |
| 3 読書の時間がある     |
| 4 楽しい友達がいる     |
| 5 楽しい先生がいる     |
| 6 楽しい学校行事がある   |
| 7 給食の時間がある     |
| 8 委員会や係の活動がある  |
| 9 クラブ活動/部活動がある |
| 10 その他 ( )     |

問4. 「問3」で「あまり楽しくない」「楽しくない」と答えた方にお聞きます。

なぜ、そのように思いますか？下の選択肢から理由を教えてください。

【3つまで回答】

- |                      |
|----------------------|
| 1 授業が面白くない           |
| 2 授業についていけない         |
| 3 勉強がしたくない           |
| 4 友達とうまくいかないことが多くある  |
| 5 先生に不満がある           |
| 6 学校生活でやりたくないことが多くある |
| 7 給食の時間がある           |
| 8 委員会や係の活動がある        |
| 9 クラブ活動/部活動がある       |
| 10 その他 ( )           |

問5. 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で調べたり、自分なりに考えたりするなどの活動を行うことができますか？

【1つ回答】

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1 できている          | 2 どちらかと言えばできている |
| 3 どちらかと言えばできていない | 4 できていない        |

問6. クラスの友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか？

【1つ回答】

- |   |                |   |               |
|---|----------------|---|---------------|
| 1 | できている          | 2 | どちらかと言えばできている |
| 3 | どちらかと言えばできていない | 4 | できていない        |

問7. 授業中、わからないことや困ったことがあったとき、先生が気付いてあなたに分かるように教えてくれますか？

【1つ回答】

- |   |            |   |            |
|---|------------|---|------------|
| 1 | 教えてくれる     | 2 | ときどき教えてくれる |
| 3 | あまり教えてくれない | 4 | 教えてくれない    |
| 5 | その他 ( )    |   |            |

問8. 学校生活のことで心配事や不安に思うことがあったとき、誰に相談したいと思いますか？

【3つまで回答】

- |    |            |
|----|------------|
| 1  | 家族         |
| 2  | 友達         |
| 3  | 担任の先生      |
| 4  | 別のクラスの先生   |
| 5  | 兄弟姉妹の担任の先生 |
| 6  | クラブや部活動の先生 |
| 7  | 保健室の先生     |
| 8  | 相談室の先生     |
| 9  | 教頭先生       |
| 10 | 校長先生       |
| 11 | その他 ( )    |

問9. 将来どんな大人になることが大切だと思いますか？

【3つまで回答】

- |    |                             |
|----|-----------------------------|
| 1  | 佐倉のよさがわかり、佐倉のまちを大切にできる人     |
| 2  | 積極的に学び行動する人                 |
| 3  | 他人に対する思いやりのある人              |
| 4  | 良いことと悪いことの区別をきちんと判断し、行動できる人 |
| 5  | 豊かな知識を持つ人                   |
| 6  | 社会の役に立つことを進んでできる人           |
| 7  | 新しいものに挑戦し、何事にも一生懸命に取り組める人   |
| 8  | 国際的に活躍できる人                  |
| 9  | 自己を表現し、個性を発揮できる人            |
| 10 | 多様な考えがあることを認識し、協力して行動できる人   |
| 11 | その他 ( )                     |

## 問10. 学校でどんなことを学び、身につけたいですか？

【3つまで回答】

- 1 確かな学力を身につけること
- 2 夢や希望をもって歩む力を身につけること
- 3 コミュニケーション能力を身につけること
- 4 社会の中で役に立つ力を身につけること
- 5 伝統・文化を受け継いでいくこと
- 6 健康な生活を送り、体力の向上に努めること
- 7 人として正しい行動ができるようになること
- 8 世の中のさまざまなことを知り、物事の見方・考え方を身につけること
- 9 ICTの活用能力を身につけること
- 10 英語を身につけ、国際的にも活躍できる力を身につけること
- 11 その他 ( )

## 問11. 今後、中学校へ進学するにあたって、何か戸惑うことや不安に思うことはありますか？

(児童用の設問)

中学校へ入学した際、何か戸惑ったことや不安に思ったことはありましたか？

(生徒用の設問)

【3つまで回答】

- 1 授業についていけるかどうか
- 2 定期テストで良い点を取れるかどうか
- 3 他の小学校出身の子たちと友達になれるかどうか
- 4 小学校の友達と離れ離れになってしまう
- 5 小学校よりクラスの人数やクラス数が多くなり、馴染めるかどうか
- 6 中学校の先生に親しみを持てるかどうか
- 7 先輩との関係
- 8 部活動についていけるかどうか
- 9 通学時間が長くなるなど、しっかり登下校ができるかどうか
- 10 今は特にない (児童用の選択肢) / 戸惑うことや不安に思うことはなかった (生徒用の選択肢)
- 11 その他 ( )

## 問12. 給食は好きですか？

【1つ回答】

- |   |                |   |            |
|---|----------------|---|------------|
| 1 | 好き             | 2 | どちらかと言えば好き |
| 3 | どちらかと言えば好きではない | 4 | 好きではない     |

## 問13. 「問12」で「好き」「どちらかと言えば好き」と答えた方にお聞きします。

なぜそのように思いますか？

【あてはまるものすべて回答】

- |   |                  |
|---|------------------|
| 1 | 味がおいしい           |
| 2 | 毎日様々なものを食べられる    |
| 3 | 栄養バランスが良い        |
| 4 | 給食でしか食べられないものが出る |
| 5 | 友達と楽しく食べられる      |
| 6 | 量がちょうど良い         |
| 7 | その他 ( )          |

## 問13. 「問12」で「どちらかと言えば好きではない」「好きではない」と答えた方にお聞きします。

なぜそのように思いますか？

【あてはまるものすべて回答】

- |   |                 |
|---|-----------------|
| 1 | おいしくない          |
| 2 | 量が多い            |
| 3 | 量が少ない           |
| 4 | 味が濃い            |
| 5 | 味が薄い            |
| 6 | 苦手なものが出る        |
| 7 | 家で食べたことがないものが出る |
| 8 | お皿などを運ぶのが大変     |
| 9 | その他 ( )         |

## あなたのクラスや学年に関してのお考えなどをお聞きます

問14. クラスの人数はどのくらいですか？

【1つ回答】

1 10人以下	2 11～15人	3 16～20人
4 21～25人	5 26～30人	6 31～35人
7 36人以上		

問15. 「問14」でお答えいただいたクラスの数について、どのように感じますか？

【1つ回答】

1 もっと多い方が良い	2 ちょうど良い	3 もっと少ない方が良い
-------------	----------	--------------

問16. クラスの人数はどのくらいの人数であればちょうど良いと思いますか？

【1つ回答】

1 10人以下	2 11～15人	3 16～20人
4 21～25人	5 26～30人	6 31～35人
7 36人以上		

問17. 学年のクラス数はどのくらいですか？

【1つ回答】

1 1クラス	2 2クラス	3 3クラス
4 4クラス	5 5クラス	6 6クラス
7 7クラス以上		

問18. 「問17」でお答えいただいた学年のクラス数について、どのように感じますか？

【1つ回答】

1 もっと多い方が良い	2 ちょうど良い	3 もっと少ない方が良い
-------------	----------	--------------

問19. 学年のクラス数はどのくらいの数があればちょうど良いと思いますか？

【1つ回答】

1 1クラス	2 2クラス	3 3クラス
4 4クラス	5 5クラス	6 6クラス
7 7クラス以上		

## あなたの通学状況についてお聞きします

問20. 学校までどの方法で通学することが多いですか？

※いくつかの方法を組み合わせている場合（例：徒歩と電車）は、最も距離が長い方法を選択して下さい。

【1つ回答】

1	徒歩	2	自転車
3	電車やバスなどの公共交通機関	4	保護者の送りむかえ

問21. 「問20」の方法で通学する場合、自宅から学校までどのくらい時間がかかりますか？

【1つ回答】

1	10分未満	2	10分以上 20分未満
3	20分以上 30分未満	4	30分以上 40分未満
5	40分以上 50分未満	6	50分以上 60分未満
7	60分以上		

問22. 「問21」の時間については、どのように感じていますか？

【1つ回答】

1	長い	2	どちらかと言えば長い
3	ちょうど良い	4	どちらかと言えば短い
5	短い		



## 佐倉市立小中学校のこれからの学校のあり方に関するアンケート調査

【回答時間の目安：約 20 分 全 25 問】

## はじめに

日頃より、佐倉市の教育行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

佐倉市では、少子高齢化の更なる進展に伴い、児童生徒数は今後も減少していくことが見込まれています。児童生徒数の減少に伴って学校規模<sup>※1</sup>が小さくなることで、きめ細かな指導が期待できる一方、クラス替えができない、集団活動が制限されるなどの学習環境への影響が懸念されることや、施設の老朽化対応など財政上の課題への取組も必要となってきました。

そこで、佐倉市教育委員会では、佐倉市の学校で育っていく子どもたちがどのような教育環境で学校生活を送ることが望ましいかについて、保護者の皆様と一緒に考えていく基礎資料とするため、アンケート調査を実施させて頂くことといたしましたので、ご協力をお願いいたします。

令和 6 年 1 0 月 吉 日

佐倉市教育委員会 教育長 圓城寺 一雄

※1…学校規模とは、児童生徒数や学級数で表わされるもので、小中学校では 12～18 学級（小学校では 1 学年 2～3 学級、中学校では 4～6 学級）が標準規模とされています。

## アンケートの回答方法

専用 Web サイトから、以下の手順でご回答ください。

- ③ 専用 Web サイトにアクセスする。(下記 URL または二次元コードから)

回答用 Web サイトの URL を記載

スマートフォン、タブレット、パソコンから回答できます。

回答用  
QR コードを  
掲載

- ④ 回答用 ID を入力して、アンケートにお答えいただく。

回答用 ID: ランダムに割り振られた ID を記載

令和 6 年 1 1 月 1 5 日 (金) までにご回答ください。

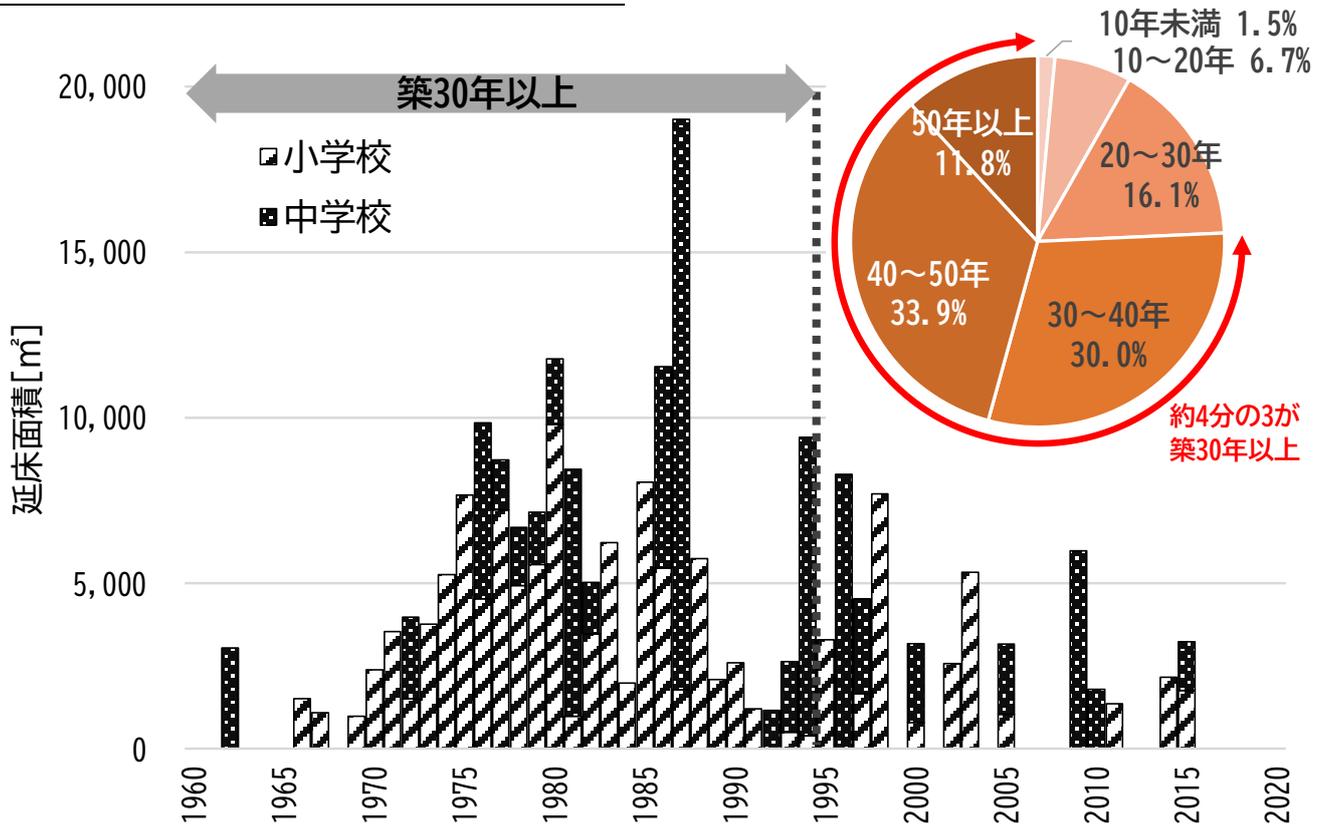
## 【留意事項】

- ※ 回答用 ID に、アルファベットの l(エル)、o(オー)、q(キュー)は使用していません。
- ※ アンケートの目的や取扱いに関する詳細は、4 ページをご覧ください。
- ※ ご不明な点がありましたら、下記までお問合せください。

【問い合わせ先】佐倉市教育委員会 教育総務課

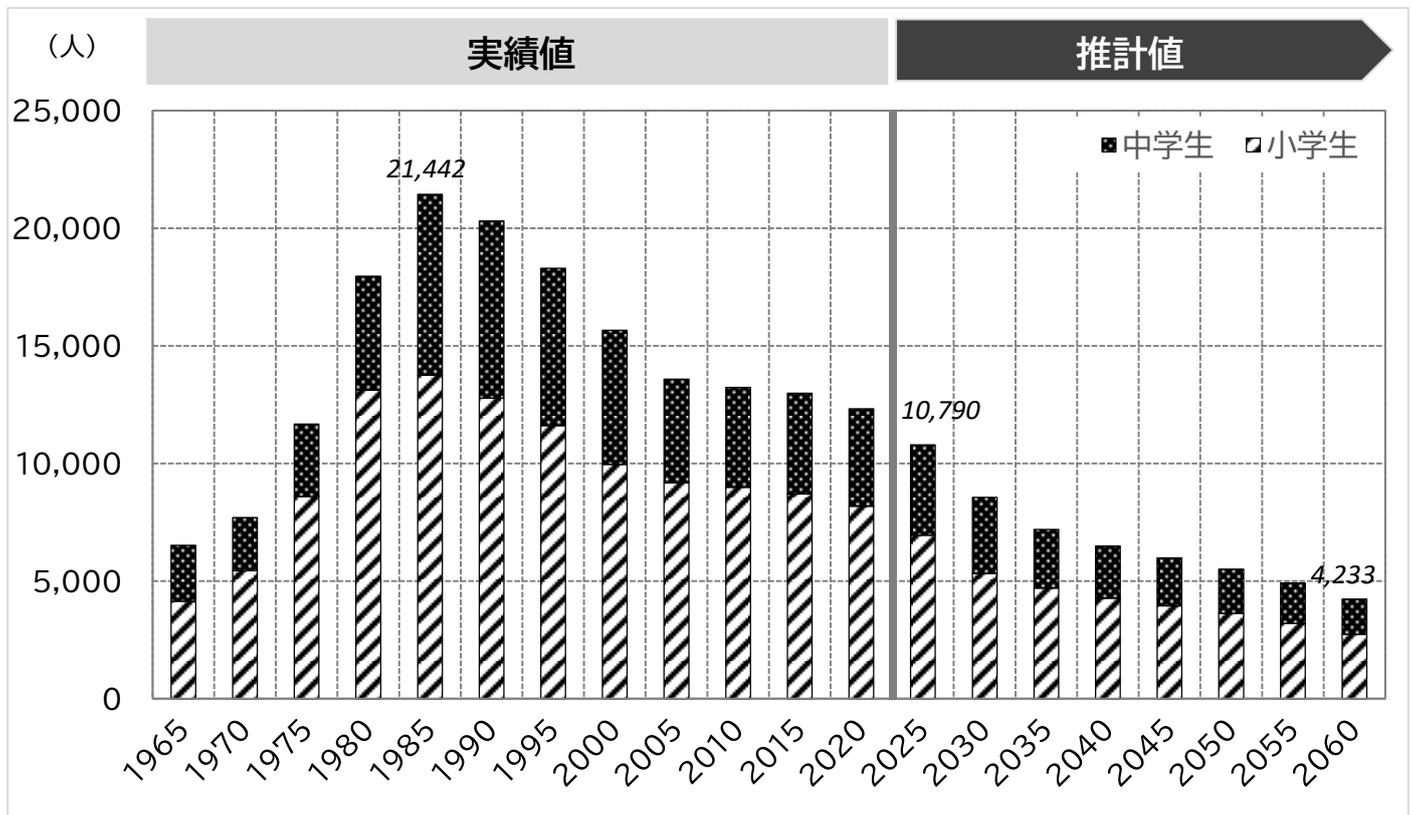
電話：043-484-6183 Eメール：kyoikusomu@city.sakura.lg.jp

参考資料① 学校施設の年度別整備状況と築年数



参考資料② 児童生徒数のこれまでの推移と将来推計

【児童生徒数（小中学生全体）】



参考資料③ 学校別の代表築年数※1 と児童生徒数の将来推計

No	名称	建築年度	築年数	総延床面積 (㎡)	上段：児童数、下段：学級数（括弧は特別支援学級数の内数）				
					実績値		推計値		
					2024	2030	2040	2050	2060
1	佐倉小学校	1971	53	7,782	530 20(3)	369 15(2)	353 14(2)	322 14(2)	246 14(2)
2	内郷小学校	1978	46	3,962	161 9(3)	115 8(2)	88 8(2)	65 8(2)	51 8(2)
3	志津小学校	1966	58	4,958	365 15(3)	295 13(2)	275 14(2)	267 14(2)	220 11(2)
4	上志津小学校	1969	55	4,969	356 17(5)	291 15(3)	269 15(3)	202 8(2)	145 8(2)
5	臼井小学校	1975	49	5,485	236 14(4)	172 8(2)	145 8(2)	107 8(2)	72 8(2)
6	印南小学校	1975	49	4,794	158 8(2)	132 8(2)	83 8(2)	58 8(2)	39 8(2)
7	根郷小学校	1976	48	7,064	443 19(4)	273 14(2)	216 10(2)	153 8(2)	96 8(2)
8	和田小学校	1967	57	2,810	38 7(2)	29 8(2)	22 8(2)	14 8(2)	9 8(2)
9	弥富小学校	1982	42	3,015	49 8(2)	35 8(2)	32 8(2)	26 8(2)	17 8(2)
10	千代田小学校	1977	47	4,946	281 13(3)	206 11(2)	176 8(2)	170 8(2)	141 8(2)
11	下志津小学校	1966	58	4,376	242 14(3)	149 8(2)	121 8(2)	91 8(2)	60 8(2)
12	井野小学校	1970	54	5,546	723 27(5)	464 19(2)	388 14(2)	327 14(2)	240 13(2)
13	南志津小学校	1974	50	5,681	315 16(4)	211 11(2)	180 8(2)	191 8(2)	159 8(2)
14	佐倉東小学校	1975	49	6,093	210 10(3)	208 10(2)	192 8(2)	177 8(2)	142 8(2)
15	西志津小学校	1977	47	7,189	727 30(6)	545 21(3)	368 14(2)	268 14(2)	169 8(2)
16	小竹小学校	1980	44	6,413	320 16(4)	210 11(2)	135 8(2)	116 8(2)	93 8(2)
17	間野台小学校	1980	44	9,489	457 19(5)	342 15(3)	311 15(3)	282 14(2)	227 12(2)
18	王子台小学校	1983	41	6,131	306 15(3)	295 13(2)	237 13(2)	198 8(2)	147 8(2)
19	青菅小学校	1985	39	6,170	528 21(4)	255 12(2)	178 8(2)	188 8(2)	157 8(2)
20	寺崎小学校	1986	38	6,252	489 23(6)	361 15(3)	188 8(2)	181 8(2)	133 8(2)
21	山王小学校	1988	36	6,951	145 8(2)	114 8(2)	81 8(2)	62 8(2)	45 8(2)
22	染井野小学校	1998	26	6,394	223 11(2)	130 8(2)	133 8(2)	96 8(2)	66 8(2)
23	白銀小学校	2003	21	5,118	206 12(4)	116 8(2)	97 8(2)	62 8(2)	43 8(2)
合計					7,508 352(82)	5,317 267(50)	4,268 229(48)	3,623 214(46)	2,717 202(46)

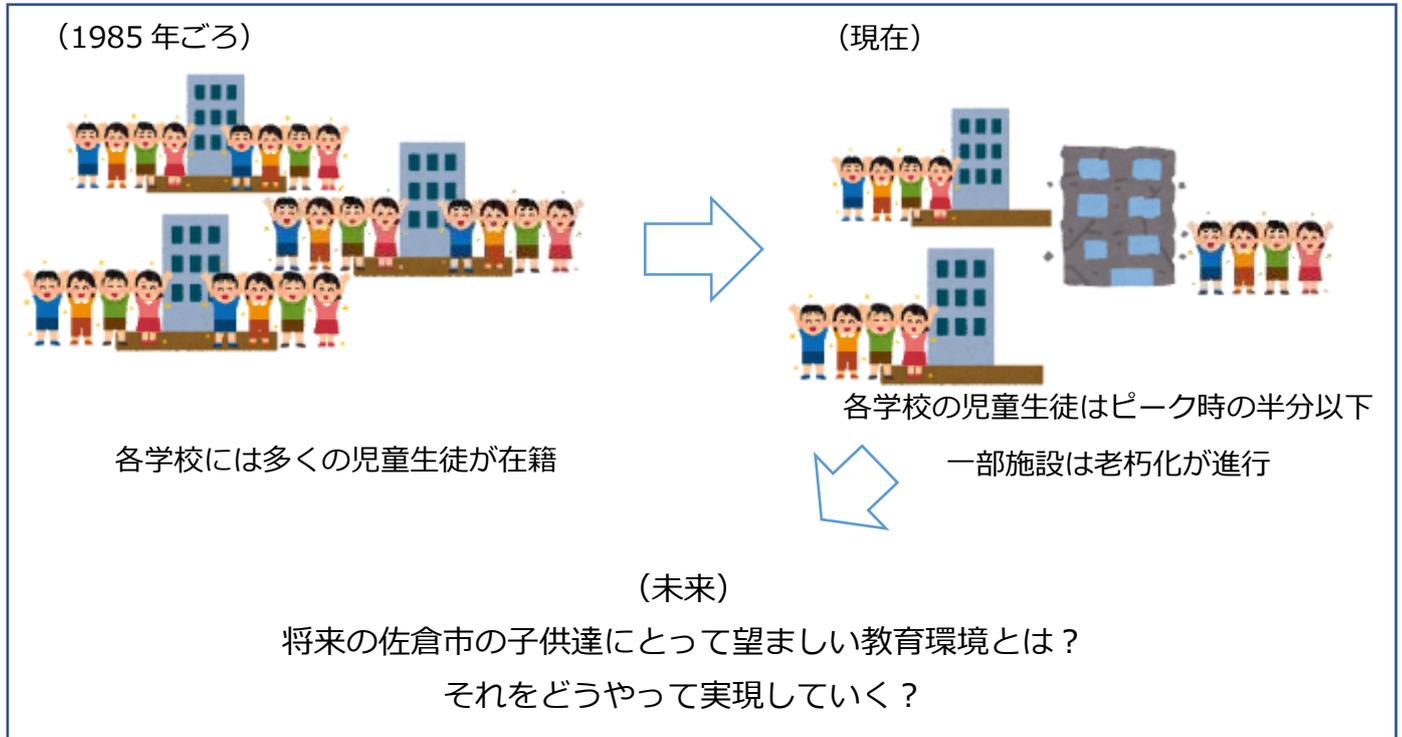
No	名称	建築年度	築年数	総延床面積 (㎡)	上段：児童数、下段：学級数（括弧は特別支援学級数の内数）				
					実績値		推計値		
					2024	2030	2040	2050	2060
1	佐倉中学校	1994	30	9,241	444 17(3)	345 13(2)	286 11(2)	261 11(2)	213 8(2)
2	志津中学校	1962	62	8,273	686 25(6)	533 19(4)	401 15(3)	362 15(3)	286 11(2)
3	上志津中学校	1972	52	6,694	300 12(3)	237 10(2)	154 8(2)	141 8(2)	118 7(2)
4	南部中学校	1981	43	6,470	166 8(2)	141 8(2)	87 5(2)	58 5(2)	36 5(2)
5	臼井中学校	1976	48	7,844	323 13(3)	296 11(2)	202 8(2)	169 8(2)	140 8(2)
6	井野中学校	1981	43	7,921	504 18(3)	422 14(2)	219 8(2)	196 8(2)	183 8(2)
7	佐倉東中学校	1986	38	8,115	242 10(2)	215 9(2)	160 8(2)	126 8(2)	102 5(2)
8	臼井西中学校	1987	37	8,058	259 11(2)	204 9(2)	161 8(2)	125 8(2)	92 5(2)
9	西志津中学校	1987	37	7,674	445 16(3)	336 12(2)	204 8(2)	154 8(2)	104 5(2)
10	臼井南中学校	1994	30	8,611	333 12(2)	245 10(2)	216 8(2)	188 8(2)	150 8(2)
11	根郷中学校	1996	28	8,289	222 9(2)	269 11(2)	132 8(2)	106 5(2)	92 5(2)
合計					3,924 151(31)	3,243 126(24)	2,222 95(23)	1,886 92(23)	1,516 75(22)

※1…代表築年数とは、学校にいくつかの建物がある場合に、最も築年数が古い建物の築年数を表しています。  
 ※2…佐倉市では建物の使用目標年数を「75年」としています。そのため、75年を超える前に、その建物の方針を検討する必要があります。  
 ※3…2024年の実績値は5月1日時点です。  
 ※4…学級数のうち、塗りつぶし箇所は単学級を表しています。

## 本アンケートについて

### 1 調査の目的

- 「(仮称) 佐倉市におけるこれからの学校のあり方基本方針」の策定や「佐倉市教育施設長寿命化計画」の改定にあたり、子どもたちの教育水準の維持・向上に向けて、学校の適正規模・適正配置やこれからの時代に必要となる学校教育のあり方について検討する基礎資料とするために実施します。



### 2 調査の対象者

- 佐倉市立小中学校に通学する児童生徒の保護者
  - ※複数学年にお子様が在籍している場合は、学年の高いお子様に配布しています。
  - ※小学校と中学校にお子様が在籍している場合は、それぞれお答えください。

### 3 回答の取扱い

- ご回答は無記名です。
- 回答の重複や調査対象外の方の回答を防ぐため、調査票ごとに ID を付与していますが、回答者個人を特定することができないよう、ランダムに設定しています。
- 回答していただいた内容は統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。

### 4 回答にあたってのお願い

- 多くの方々からご意見を伺うために、本紙とは別に、「15 歳以上の市民の方」「未就学児の保護者」を無作為抽出したアンケート調査も行っています。もし、本紙以外にもこれらの調査票をお受け取りされた場合は、それぞれのお立場でご回答いただきますようお願いいたします。

## あなたご自身のことについてお聞きします

問1. 年齢を教えてください。

【1つ回答】

1	20 歳代	2	30 歳代	3	40 歳代
4	50 歳代	5	60 歳代	6	70 歳代

### 児童保護者用の設問・選択肢

問2. 本アンケートの案内文を持ち帰ったお子様の学年を教えてください。

【1つ回答】

1	1 年生	2	2 年生	3	3 年生
4	4 年生	5	5 年生	6	6 年生

問3. お子様の通学先を教えてください。

【1つ回答】

1	佐倉小学校	2	内郷小学校	3	志津小学校	4	上志津小学校
5	臼井小学校	6	印南小学校	7	根郷小学校	8	和田小学校
9	弥富小学校	10	千代田小学校	11	下志津小学校	12	井野小学校
13	南志津小学校	14	佐倉東小学校	15	西志津小学校	16	小竹小学校
17	間野台小学校	18	王子台小学校	19	青菅小学校	20	寺崎小学校
21	山王小学校	22	染井野小学校	23	白銀小学校		

### 生徒保護者用の設問・選択肢

問2. 本アンケートの案内文を持ち帰ったお子様の学年を教えてください。

【1つ回答】

1	1 年生	2	2 年生	3	3 年生
---	------	---	------	---	------

問3. お子様の通学先を教えてください。

【1つ回答】

1	佐倉中学校	2	志津中学校	3	上志津中学校	4	南部中学校
5	臼井中学校	6	井野中学校	7	佐倉東中学校	8	臼井西中学校
9	西志津中学校	10	臼井南中学校	11	根郷中学校		

**今後、学校教育に求めること・期待することに関して、あなたのお考えをお伺いします****問4. お子様にとどのような大人に育ってみたいと考えますか？****【3つまで回答】**

- 1 佐倉のよさがわかり、佐倉のまちを大切にできる人
- 2 積極的に学び行動する人
- 3 他人に対する思いやりのある人
- 4 良いことと悪いことの区別をきちんと判断し、行動できる人
- 5 豊かな知識を持つ人
- 6 社会の役に立つことを進んでできる人
- 7 新しいものに挑戦し、何事にも一生懸命に取り組める人
- 8 国際的に活躍できる人
- 9 自己を表現し、個性を発揮できる人
- 10 多様な考えがあることを認識し、協力して行動できる人
- 11 その他 ( )

**問5. 佐倉市の学校教育でこれからどんなことに力を入れていくのが望ましいと思いますか？****【3つまで回答】**

- 1 タブレット端末を活用した授業
- 2 英語教育
- 3 勤労観や職業観を育むための教育（キャリア教育）
- 4 幼稚園・保育園と小学校の連携
- 5 小学校と中学校の連携（義務教育9年間を見渡した教育）
- 6 学校図書館（図書室）の充実（蔵書や司書の配置）
- 7 道徳教育
- 8 健康増進と体力の向上を図ること
- 9 障害がある子たちへの支援体制の充実
- 10 いじめや不登校への支援体制の充実
- 11 教員の資質や指導力の向上
- 12 学校の施設整備
- 13 放課後活動の充実（学習、部活動など）
- 14 その他 ( )

**問6. 学校給食の満足度について教えてください。****【1つ回答】**

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 満足         | 2 どちらかと言えば満足 |
| 3 どちらかと言えば不満 | 4 不満         |
| 5 わからない      |              |

問7. 「問6」で「満足」「どちらかと言えば満足」を選択した方にお尋ねします。

その選択をした理由を教えてください。

【3つまで回答】

- |    |           |   |
|----|-----------|---|
| 1  | 献立の栄養バランス |   |
| 2  | 献立の豊富さ    |   |
| 3  | おいしさ      |   |
| 4  | 適温での配食    |   |
| 5  | 地産地消の促進   |   |
| 6  | 食育の指導     |   |
| 7  | 適切な衛生管理   |   |
| 8  | アレルギー対応   |   |
| 9  | 給食費の安さ    |   |
| 10 | その他（      | ） |

問7. 「問6」で「どちらかと言えば不満」「不満」を選択した方にお尋ねします。

その選択をした理由を教えてください。

【3つまで回答】

- |    |           |   |
|----|-----------|---|
| 1  | 献立の栄養バランス |   |
| 2  | 献立の豊富さ    |   |
| 3  | おいしさ      |   |
| 4  | 適温での配食    |   |
| 5  | 地産地消の促進   |   |
| 6  | 食育の指導     |   |
| 7  | 適切な衛生管理   |   |
| 8  | アレルギー対応   |   |
| 9  | 給食費が高い    |   |
| 10 | その他（      | ） |

**クラスの規模などに関して、あなたのお考えをお聞きます**

**問 8. 本アンケートの案内文をお持ちになられたお子様のクラスの人数に一番近い人数をお答えください。**  
 ※お子様が特別支援学級に在籍している場合は、交流している通常学級の人数をイメージしてください。

【 1つ回答 】

1	10人以下	2	11～15人	3	16～20人
4	21～25人	5	26～30人	6	31～35人
7	36人以上				

**問 9. 「問 8」でお答えいただいた人数について、どのように感じていますか？**

【 1つ回答 】

1	もっと多い方が良い	2	ちょうど良い	3	もっと少ない方が良い
---	-----------	---	--------	---	------------

**問 10. 1クラスあたりの人数は、どのくらいの方が望ましいと思いますか？**

※法律上、小学校は令和7年度から1クラスあたりの人数の上限は35人までとなります。

【 1つ回答 】

1	10人以下	2	11～15人	3	16～20人
4	21～25人	5	26～30人	6	31～35人
7	36人以上				

**問 11. 「問 10」でその人数を選択した理由を教えてください。**

【 3つまで回答 】

1	一人一人の学習状況を把握し、きめ細かな指導を行うことが期待できる
2	意見や感想を発表する機会が多い
3	教員が家庭と連携しやすい
4	教材や教具が行き渡りやすい
5	教員と児童生徒の距離が近い
6	新たな人間関係を構築する力や社会性を身に付けさせることができる
7	様々な役割を体験できる機会が得られる
8	多様な意見や考え方に触れる機会が多くなる
9	集団の中で切磋琢磨する環境を作ることができる
10	運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に活気が生じやすい
11	PTA活動等で保護者の負担を分散しやすい
12	その他 ( )

問 12. 本アンケートの案内文をお持ちになられたお子様の学年のクラス数をお答えください。

※お子様が特別支援学級に在籍している場合は、交流している通常学級の学年のクラス数をイメージしてください。

【 1つ回答 】

1	1 クラス	2	2 クラス	3	3 クラス
4	4 クラス	5	5 クラス	6	6 クラス
7	7 クラス以上				

問 13. 「問 12」でお答えいただいたクラス数について、どのように感じていますか？

【 1つ回答 】

1	もっと多い方が良い	2	ちょうど良い	3	もっと少ない方が良い
---	-----------	---	--------	---	------------

問 14. 1 学年あたりのクラス数は、どのくらいの数が望ましいと思いますか？

※法律上、小学校の1 学年あたりのクラス数は、2～3 クラスが標準（ただし、地域の実態その他により特別の事情のある時はこの限りではない）とされています。

【 1つ回答 】

1	1 クラス	2	2 クラス	3	3 クラス
4	4 クラス	5	5 クラス	6	6 クラス
7	7 クラス以上				

問 15. 「問 14」でそのクラス数を選択した理由を教えてください。

【 3つまで回答 】

1	クラス替えができる
2	運動場や特別教室、教材備品などが余裕をもって使える
3	体験的な学習や校外学習が機動的に行える
4	新たな人間関係を構築する力や社会性を身に付けさせることができる
5	多様な意見や考え方に触れる機会が多くなる
6	集団の中で切磋琢磨する環境を作ることができる
7	習熟度別指導や学年内での教員の役割分担による専科指導等の多様な指導形態をとることができる
8	運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に活気が生じやすい
9	多様なクラブ活動や部活動の設置が可能になる
10	教員数が一定数いるため、経験、教科、特性など様々な面でバランスの取れた教職員配置を行いやすい
11	PTA 活動等で役割分担により保護者の負担を分散しやすい
12	その他 ( )

問16. 小中学校の小規模化への対応についてお伺いします。小規模校では個別指導が行いやすいなどの利点がある一方、集団活動に制約が生じたり、人間関係の固定化やゆとりある教職員配置が困難となるなど、子どもたちの学習環境への影響といった課題もあります。

このような課題の解決策として、小中学校の統合を進めている自治体もありますが、あなたのお考えをお聞かせください。

【2つまで回答】

- |   |  |
|---|--|
| 1 | 通学する児童生徒がいなくなるまで学校は残すべきと思う                                 |
| 2 | クラブ活動や部活動、運動会などの学校行事を近隣の他の学校と合同で行ったり、授業をオンラインで他の学校の子と合同で行う |
| 3 | 学区の見直しなどにより、学校間の児童生徒数の調整ができない場合は、統合もやむなし                   |
| 4 | 小中一貫校化など、新たな学校形態を検討する                                      |
| 5 | 課題解決のため、学校統合を進めるべき   |
| 6 | その他 ( )  |

問17. 今後、学区の見直しや学校統合の検討を行うとなった場合、どの事項を重視すべきと思いますか？

【3つまで回答】

- |    |                     |
|----|---------------------|
| 1  | クラス数や児童生徒数          |
| 2  | 適正な教員配置             |
| 3  | 通学距離や時間、方法、通学路の安全性  |
| 4  | 児童生徒の心身のケア、負担軽減     |
| 5  | 対象となる学校間の事前交流       |
| 6  | 学校と地域コミュニティの繋がり     |
| 7  | 統合先の学校施設の安全性や設備の充実度 |
| 8  | 子どもたちの意向            |
| 9  | 保護者の意向              |
| 10 | 地域住民の意向             |
| 11 | 廃校となる学校跡地の有効活用の検討   |
| 12 | その他 ( )             |

## お子様の通学状況についてお聞きします

問18. お子様は、学校までどの方法で通学することが多いですか？

※本問から問20までは、小学校に兄弟姉妹がいる場合は、一番下のお子様について、お答えください。(児童保護者向けの注記)

※本問から問20までは、中学校に兄弟姉妹がいる場合は、一番下のお子様について、お答えください。(生徒保護者向けの注記)

※いくつかの方法を組み合わせている場合(例：徒歩と電車)は、最も距離が長い方法を選択して下さい。

【1つ回答】

1	徒歩	2	自転車
3	電車やバスなどの公共交通機関	4	保護者の送迎

問19. 「問18」の方法で通学する場合、自宅から学校までどのくらい時間がかかりますか？

【1つ回答】

1	10分未満	2	10分以上20分未満
3	20分以上30分未満	4	30分以上40分未満
5	40分以上50分未満	6	50分以上60分未満
7	60分以上		

問20. 「問19」でお答えいただいた通学時間について、あなたはどのようにお考えですか？

【1つ回答】

1	長い	2	どちらかと言えば長い
3	ちょうど良い	4	どちらかと言えば短い
5	短い		

**学校と地域との関わり方について、あなたのお考えをお聞きます**

**問 2 1. 学校について、児童・生徒の学びの場としての役割以外に、どのような役割を担うべきと考えますか？**

【 3つまで回答 】

- |   |                                    |
|---|------------------------------------|
| 1 | 児童・生徒の放課後の居場所・活動場所としての役割           |
| 2 | 地域の防災の拠点としての役割                     |
| 3 | 地域コミュニティや地域のつながりに関わる活動・交流の拠点としての役割 |
| 4 | スポーツ・文化・生涯学習の拠点としての役割              |
| 5 | 地域の歴史や文化の中核的な存在としての役割              |
| 6 | 地域づくり・人づくりを進めるための地域の核としての役割        |
| 7 | 子育て世帯等の移住や定住を促進する役割                |
| 8 | 特になし（児童・生徒の学びの場以外の役割があると思わない）      |
| 9 | その他（ )                             |

**問 2 2. 現在、学校教育に支障のない範囲で体育館や校庭を開放していますが、その他の学校施設で、一定の条件の下で、地域の方や一般の方が利用できるよう開放してほしい施設はありますか？**

【 3つまで回答 】

- |   |        |   |          |
|---|--------|---|----------|
| 1 | 図書室    | 2 | 音楽室      |
| 3 | 理科室    | 4 | 図工室・美術室  |
| 5 | 家庭科室   | 6 | 木工・金工室   |
| 7 | 被服室    | 8 | 現状のままでよい |
| 9 | その他（ ) |   |          |

**問 2 3. 仮に学校敷地内や校舎内に学校以外の公共施設等が整備されとした場合、望ましいと思われる施設を選択してください。**

【 3つまで回答 】

- |   |                              |
|---|------------------------------|
| 1 | 公民館やコミュニティセンター等の市民文化系施設      |
| 2 | 保育園や学童保育所等の子育て支援施設           |
| 3 | 地域包括支援センターや保健センター等の保健福祉・医療施設 |
| 4 | 出張所などの行政系施設                  |
| 5 | 民間デイサービス等の高齢者福祉施設            |
| 6 | 民間幼稚園や保育園、認定こども園             |
| 7 | 保護者や地域住民がテレワークを行うスペース        |
| 8 | 他の施設の整備は望ましくない               |
| 9 | その他（ )                       |





## 佐倉市立小中学校のこれからの学校のあり方に関するアンケート調査

【回答時間の目安：約 20 分 全 23 問】

## はじめに

日頃より、佐倉市の教育行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

佐倉市では、少子高齢化の更なる進展に伴い、児童生徒数は今後も減少していくことが見込まれています。児童生徒数の減少に伴って学校規模<sup>※1</sup>が小さくなることで、きめ細かな指導が期待できる一方、クラス替えができない、集団活動が制限されるなどの学習環境への影響が懸念されることや、施設の老朽化対応など財政上の課題への取組も必要となってきました。

そこで、佐倉市教育委員会では、佐倉市の学校で育っていく子どもたちがどのような教育環境で学校生活を送ることが望ましいかについて、保護者の皆様と一緒に考えていく基礎資料とするため、アンケート調査を実施させて頂くことといたしましたので、ご協力をお願いいたします。

令和6年10月吉日

佐倉市教育委員会 教育長 圓城寺 一雄

※1…学校規模とは、児童生徒数や学級数で表わされるもので、小中学校では12～18学級（小学校では1学年2～3学級、中学校では4～6学級）が標準規模とされています。

## アンケートの回答方法

専用 Web サイトから、以下の手順でご回答ください。

- ⑤ 専用 Web サイトにアクセスする。(下記 URL または二次元コードから)

回答用 Web サイトの URL を記載

スマートフォン、タブレット、パソコンから回答できます。

回答用  
QR コードを  
掲載

- ⑥ 回答用 ID を入力して、アンケートにお答えいただく。

回答用 ID: ランダムに割り振られた ID を記載

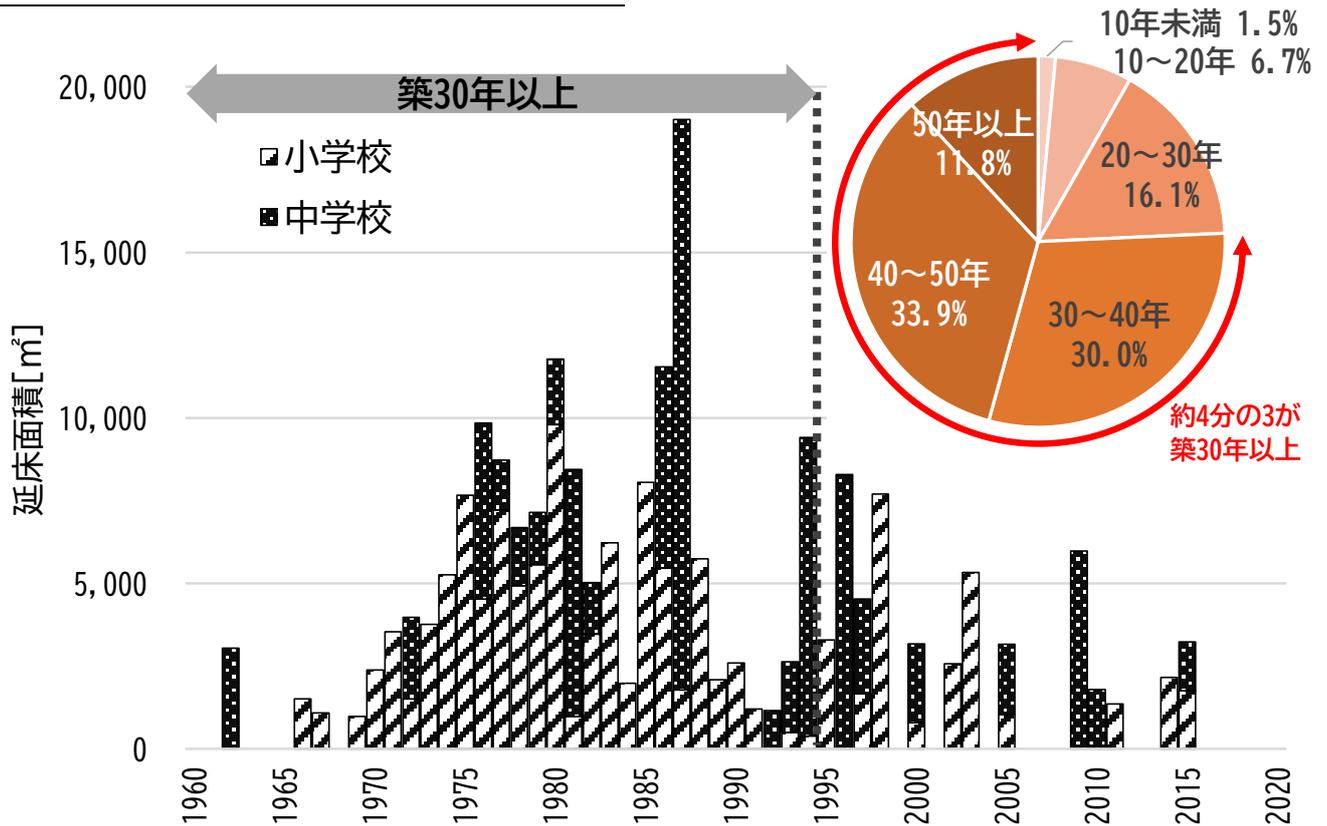
令和6年11月15日(金)までにご回答ください。

## 【留意事項】

- ※ 回答用 ID に、アルファベットの l(エル)、o(オー)、q(キュー)は使用していません。
- ※ アンケートの目的や取扱いに関する詳細は、4ページをご覧ください。
- ※ ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

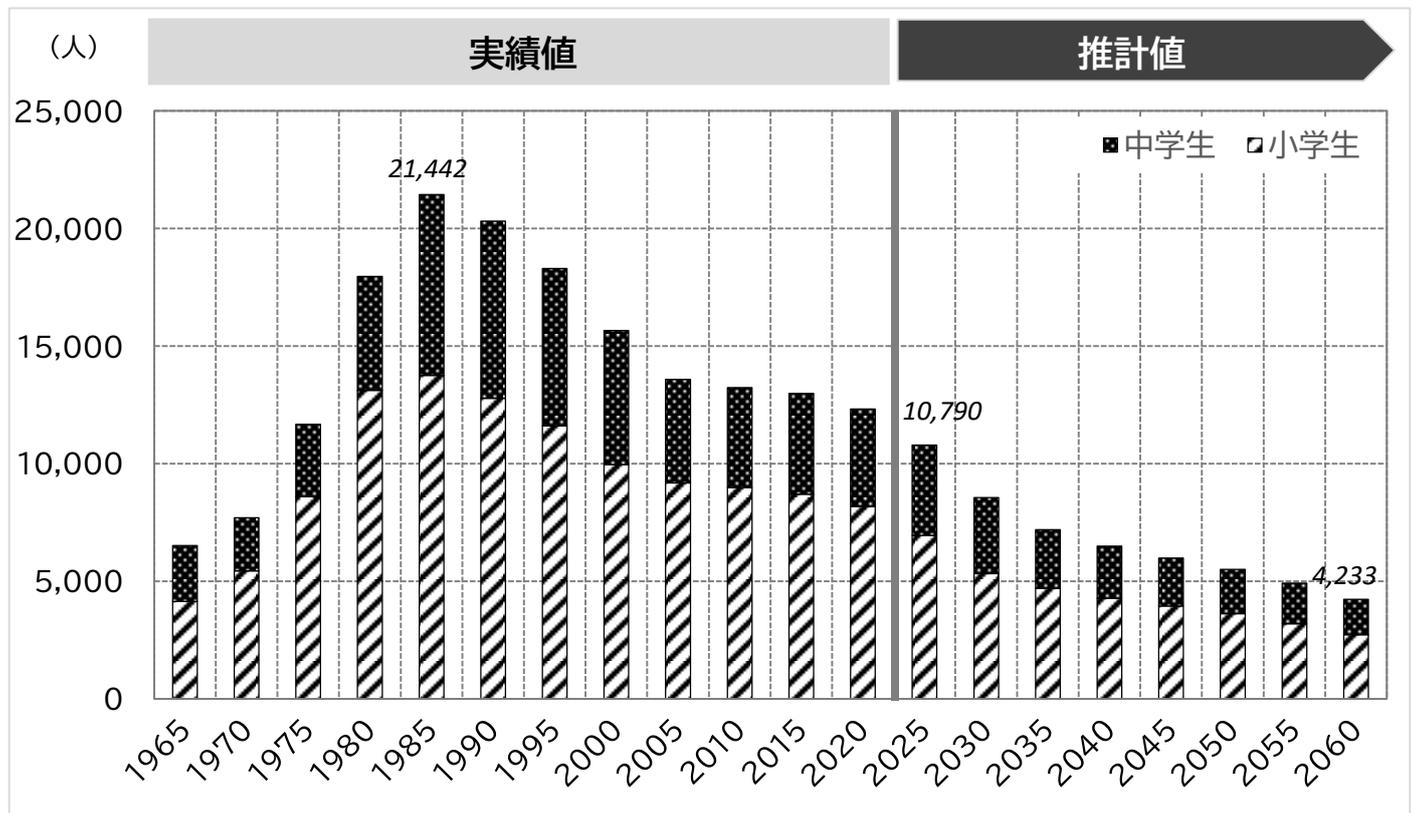
【問い合わせ先】佐倉市教育委員会 教育総務課

参考資料① 学校施設の年度別整備状況と築年数



参考資料② 児童生徒数のこれまでの推移と将来推計

【児童生徒数（小中学生全体）】



参考資料③ 学校別の代表築年数※1 と児童生徒数の将来推計

No	名称	建築年度	築年数	総延床面積 (㎡)	上段：児童数、下段：学級数（括弧は特別支援学級数の内数）				
					実績値	推計値			
					2024	2030	2040	2050	2060
1	佐倉小学校	1971	53	7,782	530 20(3)	369 15(2)	353 14(2)	322 14(2)	246 14(2)
2	内郷小学校	1978	46	3,962	161 9(3)	115 8(2)	88 8(2)	65 8(2)	51 8(2)
3	志津小学校	1966	58	4,958	365 15(3)	295 13(2)	275 14(2)	267 14(2)	220 11(2)
4	上志津小学校	1969	55	4,969	356 17(5)	291 15(3)	269 15(3)	202 8(2)	145 8(2)
5	臼井小学校	1975	49	5,485	236 14(4)	172 8(2)	145 8(2)	107 8(2)	72 8(2)
6	印南小学校	1975	49	4,794	158 8(2)	132 8(2)	83 8(2)	58 8(2)	39 8(2)
7	根郷小学校	1976	48	7,064	443 19(4)	273 14(2)	216 10(2)	153 8(2)	96 8(2)
8	和田小学校	1967	57	2,810	38 7(2)	29 8(2)	22 8(2)	14 8(2)	9 8(2)
9	弥富小学校	1982	42	3,015	49 8(2)	35 8(2)	32 8(2)	26 8(2)	17 8(2)
10	千代田小学校	1977	47	4,946	281 13(3)	206 11(2)	176 8(2)	170 8(2)	141 8(2)
11	下志津小学校	1966	58	4,376	242 14(3)	149 8(2)	121 8(2)	91 8(2)	60 8(2)
12	井野小学校	1970	54	5,546	723 27(5)	464 19(2)	388 14(2)	327 14(2)	240 13(2)
13	南志津小学校	1974	50	5,681	315 16(4)	211 11(2)	180 8(2)	191 8(2)	159 8(2)
14	佐倉東小学校	1975	49	6,093	210 10(3)	208 10(2)	192 8(2)	177 8(2)	142 8(2)
15	西志津小学校	1977	47	7,189	727 30(6)	545 21(3)	368 14(2)	268 14(2)	169 8(2)
16	小竹小学校	1980	44	6,413	320 16(4)	210 11(2)	135 8(2)	116 8(2)	93 8(2)
17	間野台小学校	1980	44	9,489	457 19(5)	342 15(3)	311 15(3)	282 14(2)	227 12(2)
18	王子台小学校	1983	41	6,131	306 15(3)	295 13(2)	237 13(2)	198 8(2)	147 8(2)
19	青菅小学校	1985	39	6,170	528 21(4)	255 12(2)	178 8(2)	188 8(2)	157 8(2)
20	寺崎小学校	1986	38	6,252	489 23(6)	361 15(3)	188 8(2)	181 8(2)	133 8(2)
21	山王小学校	1988	36	6,951	145 8(2)	114 8(2)	81 8(2)	62 8(2)	45 8(2)
22	染井野小学校	1998	26	6,394	223 11(2)	130 8(2)	133 8(2)	96 8(2)	66 8(2)
23	白銀小学校	2003	21	5,118	206 12(4)	116 8(2)	97 8(2)	62 8(2)	43 8(2)
合計					7,508 352(82)	5,317 267(50)	4,268 229(48)	3,623 214(46)	2,717 202(46)

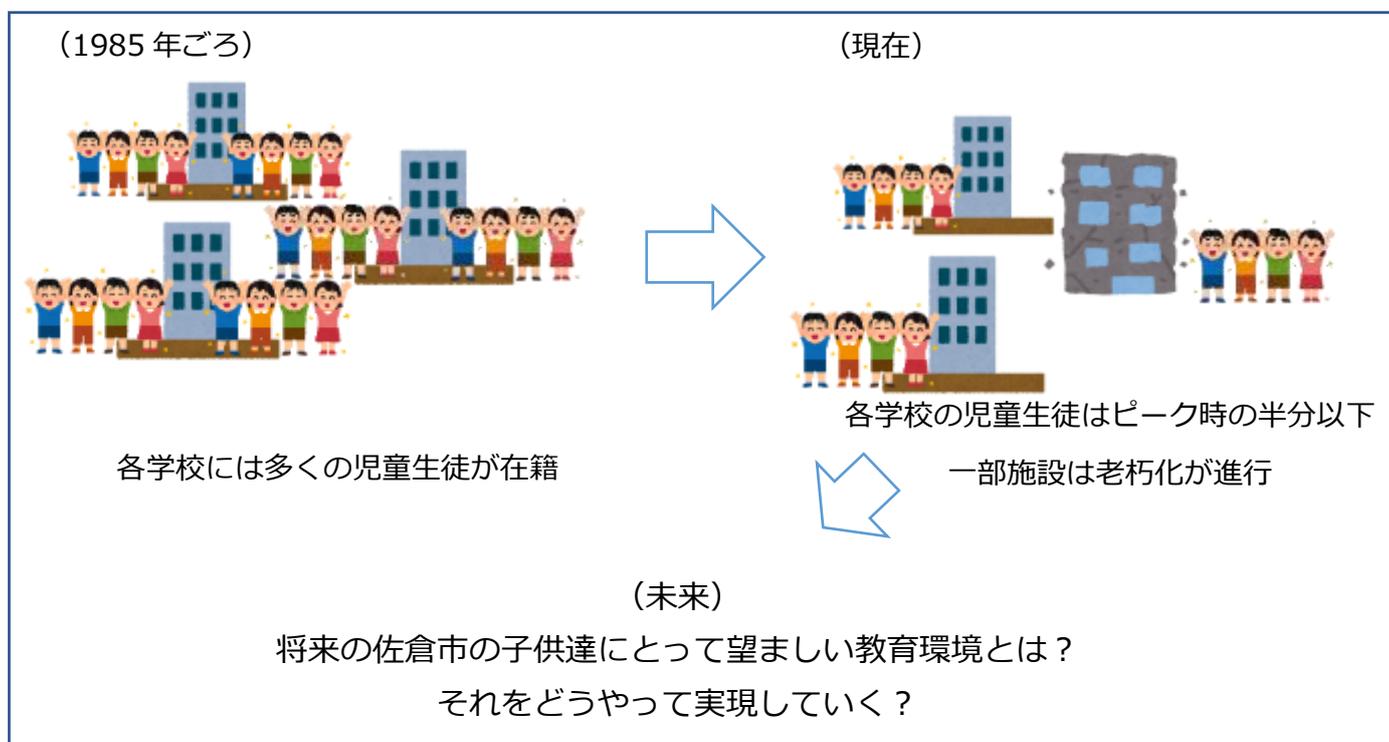
No	名称	建築年度	築年数	総延床面積 (㎡)	上段：児童数、下段：学級数（括弧は特別支援学級数の内数）				
					実績値	推計値			
					2024	2030	2040	2050	2060
1	佐倉中学校	1994	30	9,241	444 17(3)	345 13(2)	286 11(2)	261 11(2)	213 8(2)
2	志津中学校	1962	62	8,273	686 25(6)	533 19(4)	401 15(3)	362 15(3)	286 11(2)
3	上志津中学校	1972	52	6,694	300 12(3)	237 10(2)	154 8(2)	141 8(2)	118 7(2)
4	南部中学校	1981	43	6,470	166 8(2)	141 8(2)	87 5(2)	58 5(2)	36 5(2)
5	臼井中学校	1976	48	7,844	323 13(3)	296 11(2)	202 8(2)	169 8(2)	140 8(2)
6	井野中学校	1981	43	7,921	504 18(3)	422 14(2)	219 8(2)	196 8(2)	183 8(2)
7	佐倉東中学校	1986	38	8,115	242 10(2)	215 9(2)	160 8(2)	126 8(2)	102 5(2)
8	臼井西中学校	1987	37	8,058	259 11(2)	204 9(2)	161 8(2)	125 8(2)	92 5(2)
9	西志津中学校	1987	37	7,674	445 16(3)	336 12(2)	204 8(2)	154 8(2)	104 5(2)
10	臼井南中学校	1994	30	8,611	333 12(2)	245 10(2)	216 8(2)	188 8(2)	150 8(2)
11	根郷中学校	1996	28	8,289	222 9(2)	269 11(2)	132 8(2)	106 5(2)	92 5(2)
合計					3,924 151(31)	3,243 126(24)	2,222 95(23)	1,886 92(23)	1,516 75(22)

※1…代表築年数とは、学校にいくつかの建物がある場合に、最も築年数が古い建物の築年数を表しています。  
 ※2…佐倉市では建物の使用目標年数を「75年」としています。そのため、75年を超える前に、その建物の方針を検討する必要があります。  
 ※3…2024年の実績値は5月1日時点です。  
 ※4…学級数のうち、塗りつぶし箇所は単学級を表しています。

## 本アンケートについて

### 1 調査の目的

- 「(仮称) 佐倉市におけるこれからの学校のあり方基本方針」の策定や「佐倉市教育施設長寿命化計画」の改定にあたり、子どもたちの教育水準の維持・向上に向けて、学校の適正規模・適正配置やこれからの時代に必要となる学校教育のあり方について検討する基礎資料とするために実施します。



### 2 調査の対象者

- 佐倉市立小中学校に勤務する教員の皆様  
※令和6年5月1日時点の「学校職員一覧」に記載されている教諭の皆様へ配付させていただきます。

### 3 回答の取扱い

- ご回答は無記名です。
- 回答の重複や調査対象外の方の回答を防ぐため、調査票ごとにIDを付与していますが、回答者個人を特定することができないよう、ランダムに設定しています。
- 回答していただいた内容は統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。

### 4 回答にあたってのお願い

- 多くの方々からご意見を伺うために、本紙とは別に、「15歳以上の市民の方」「未就学児の保護者」を無作為抽出、及び「児童生徒保護者」を対象としたアンケート調査も行っています。もし、本紙以外にもこれらの調査票をお受け取りされた場合は、それぞれのお立場でご回答いただきますようお願いいたします。

## あなたご自身のことについてお聞きします

### 問 1. 年齢を教えてください。

【 1つ回答 】

- |   |       |   |       |   |       |
|---|-------|---|-------|---|-------|
| 1 | 20 歳代 | 2 | 30 歳代 | 3 | 40 歳代 |
| 4 | 50 歳代 | 5 | 60 歳代 |   |       |

### 問 2. 勤務校を教えてください。

【 1つ回答 】

#### <小学校>

- |    |        |    |        |    |        |    |        |
|----|--------|----|--------|----|--------|----|--------|
| 1  | 佐倉小学校  | 2  | 内郷小学校  | 3  | 志津小学校  | 4  | 上志津小学校 |
| 5  | 臼井小学校  | 6  | 印南小学校  | 7  | 根郷小学校  | 8  | 和田小学校  |
| 9  | 弥富小学校  | 10 | 千代田小学校 | 11 | 下志津小学校 | 12 | 井野小学校  |
| 13 | 南志津小学校 | 14 | 佐倉東小学校 | 15 | 西志津小学校 | 16 | 小竹小学校  |
| 17 | 間野台小学校 | 18 | 王子台小学校 | 19 | 青菅小学校  | 20 | 寺崎小学校  |
| 21 | 山王小学校  | 22 | 染井野小学校 | 23 | 白銀小学校  |    |        |

#### <中学校>

- |   |        |    |        |    |        |   |        |
|---|--------|----|--------|----|--------|---|--------|
| 1 | 佐倉中学校  | 2  | 志津中学校  | 3  | 上志津中学校 | 4 | 南部中学校  |
| 5 | 臼井中学校  | 6  | 井野中学校  | 7  | 佐倉東中学校 | 8 | 臼井西中学校 |
| 9 | 西志津中学校 | 10 | 臼井南中学校 | 11 | 根郷中学校  |   |        |

## 今後、学校教育に求めること・期待することに関して、あなたのお考えをお伺いします

問3. 子どもたちにどのような大人に育ってほしいと考えますか？

【3つまで回答】

- 1 佐倉のよさがわかり、佐倉のまちを大切にできる人
- 2 積極的に学び行動する人
- 3 他人に対する思いやりのある人
- 4 良いことと悪いことの区別をきちんと判断し、行動できる人
- 5 豊かな知識を持つ人
- 6 社会の役に立つことを進んでできる人
- 7 新しいものに挑戦し、何事にも一生懸命に取り組める人
- 8 国際的に活躍できる人
- 9 自己を表現し、個性を發揮できる人
- 10 多様な考えがあることを認識し、協力して行動できる人
- 11 その他 ( )

問4. 佐倉市の学校教育でこれからどんなことに力を入れていくのが望ましいと思いますか？

【3つまで回答】

- 1 タブレット端末を活用した授業
- 2 英語教育
- 3 勤労観や職業観を育むための教育（キャリア教育）
- 4 幼稚園・保育園と小学校の連携
- 5 小学校と中学校の連携（義務教育9年間を見渡した教育）
- 6 学校図書館（図書室）の充実（蔵書や司書の配置）
- 7 道徳教育
- 8 健康増進と体力の向上を図ること
- 9 障害がある子たちへの支援体制の充実
- 10 いじめや不登校への支援体制の充実
- 11 教員の資質や指導力の向上
- 12 学校の施設整備
- 13 放課後活動の充実（学習、部活動など）
- 14 その他 ( )

## クラスの規模などに関して、あなたのお考えをお聞きします

問5. 受け持っているクラスの人数について、一番近い人数をお答えください。

学級担任の方はクラスの人数を、そうでない方は、お勤めの学校でより多く接する機会のあるクラスをイメージしてお答えください。

【1つ回答】

1	10人以下	2	11～15人	3	16～20人
4	21～25人	5	26～30人	6	31～35人
7	36人以上				

問6. 「問5」でお答えいただいた人数について、どのように感じていますか？

【1つ回答】

1	もっと多い方が良い
2	ちょうど良い
3	もっと少ない方が良い

問7. 1クラスあたりの人数は、どのくらいの人数が望ましいと思いますか？

※法律上、令和7年度から小学校は35人、中学校は40人が1クラスあたりの人数の上限です。

【1つ回答】

1	10人以下	2	11～15人	3	16～20人
4	21～25人	5	26～30人	6	31～35人
7	36人以上				

問8. 「問7」でその人数を選択した理由を教えてください。

【3つまで回答】

1	一人一人の学習状況を把握し、きめ細かな指導を行うことが期待できる
2	意見や感想を発表する機会が多い
3	家庭と連携がしやすい
4	教材や教具が行き渡りやすい
5	児童生徒の距離が近い
6	新たな人間関係を構築する力や社会性を身に付けさせることができる
7	様々な役割を体験できる機会が得られる
8	多様な意見や考え方に触れる機会が多くなる
9	集団の中で切磋琢磨する環境を作ることができる
10	運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に活気が生じやすい
11	PTA活動等で保護者の負担を分散しやすい
12	その他 ( )

問9. 受け持っている学年のクラス数について、お答えください。

学級担任の方は学年のクラス数を、そうでない方は、お勤めの学校でより多く接する機会のある学年をイメージしてお答えください。

【1つ回答】

1	1クラス	2	2クラス	3	3クラス
4	4クラス	5	5クラス	6	6クラス
7	7クラス以上				

問10. 「問9」でお答えいただいたクラス数について、どのように感じていますか？

【1つ回答】

1	もっと多い方が良い	2	ちょうど良い	3	もっと少ない方が良い
---	-----------	---	--------	---	------------

問11. 1学年あたりのクラス数は、どのくらいの数が望ましいと思いますか？

※法律上、小学校及び中学校の学級数は、12～18 学級が標準（ただし、地域の実態その他により特別の事情のある時はこの限りではない）とされています。

【1つ回答】

1	1クラス	2	2クラス	3	3クラス
4	4クラス	5	5クラス	6	6クラス
7	7クラス以上				

問12. 「問11」でそのクラス数を選択した理由を教えてください。

【3つまで回答】

1	クラス替えができる
2	運動場や特別教室、教材備品などが余裕をもって使える
3	体験的な学習や校外学習が機動的に行える
4	新たな人間関係を構築する力や社会性を身に付けさせることができる
5	多様な意見や考え方に触れる機会が多くなる
6	集団の中で切磋琢磨する環境を作ることができる
7	習熟度別指導や学年内での教員の役割分担による専科指導等の多様な指導形態をとることができる
8	運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に活気が生じやすい
9	多様なクラブ活動や部活動の設置が可能になる
10	教員数が一定数いるため、経験、教科、特性など様々な面でバランスの取れた教職員配置を行いやすい
11	PTA 活動等で役割分担により保護者の負担を分散しやすい
12	その他 ( )

問 13. 小規模校化によって、生じ得る効果と思われるものを選択してください。

※「小規模校」とは、学校の学級数（通常学級のみ）が 11 学級以下のことを指します。

【 3つまで回答 】

- |    |   |
|----|---|
| 1  | 一人一人の学習状況を把握しやすい                          |
| 2  | 意見や感想を発表する機会が多い                           |
| 3  | 運動場や特別教室などが余裕をもって使える                      |
| 4  | 地域の協力が得られやすい                              |
| 5  | 家庭や地域との連携がしやすい                            |
| 6  | 教材や教具が行き渡りやすい                             |
| 7  | 体験的な学習や校外学習が機動的に行える                       |
| 8  | 教職員と児童生徒の距離が近い                            |
| 9  | 児童生徒の家庭環境を把握しやすい                          |
| 10 | その他（ <span style="float: right;">）</span> |

問 14. 小規模校化によって、生じ得る課題と思われるものを選択してください。

※「小規模校」とは、学校の学級数（通常学級のみ）が 11 学級以下のことを指します。

【 3つまで回答 】

- |    |   |
|----|---|
| 1  | クラブ活動や部活動の種類が限定される                        |
| 2  | 運動会、文化祭、修学旅行等の集団活動の教育効果が下がる               |
| 3  | 男女比の偏りが生じやすい                              |
| 4  | 人間関係が固定化される                               |
| 5  | 体育や音楽の集団学習に制約がある                          |
| 6  | 進学時に大きな集団への適応が難しい                         |
| 7  | 多様な意見に触れる機会が少ない                           |
| 8  | 社会性やコミュニケーション能力の育成が難しい                    |
| 9  | 問題行動がクラス全体に影響しやすい                         |
| 10 | その他（ <span style="float: right;">）</span> |

問 15. 小中学校の小規模化への対応についてお伺いします。小規模校では個別指導が行いやすいなどの利点がある一方、集団活動に制約が生じたり、人間関係の固定化やゆとりある教職員配置が困難となるなど、子どもたちの学習環境への影響といった課題もあります。  
このような課題の解決策として、小中学校の統合を進めている自治体もありますが、お考えをお聞かせください。

【 2つまで回答 】

- |   |  |
|---|--|
| 1 | 通学する児童生徒がいなくなるまで学校は残すべきと思う                                 |
| 2 | クラブ活動や部活動、運動会などの学校行事を近隣の他の学校と合同で行ったり、授業をオンラインで他の学校の子と合同で行う |
| 3 | 学区の見直しなどにより、学校間の児童生徒数の調整ができない場合は、統合もやむなし                   |
| 4 | 小中一貫校化など、新たな学校形態を検討する                                      |
| 5 | 課題解決のため、学校統合を進めるべき   |
| 6 | その他 ( )  |

問 16. 今後、学区の見直しや学校統合の検討を行うとなった場合、どの事項を重視すべきと思いますか？

【 3つまで回答 】

- |    |                     |
|----|---------------------|
| 1  | クラス数や児童生徒数          |
| 2  | 適正な教員配置             |
| 3  | 通学距離や時間、方法、通学路の安全性  |
| 4  | 児童生徒の心身のケア、負担軽減     |
| 5  | 対象となる学校間の事前交流       |
| 6  | 学校と地域コミュニティの繋がり     |
| 7  | 統合先の学校施設の安全性や設備の充実度 |
| 8  | 子どもたちの意向            |
| 9  | 保護者の意向              |
| 10 | 地域住民の意向             |
| 11 | 廃校となる学校跡地の有効活用の検討   |
| 12 | その他 ( )             |

## 学校と地域との関わり方について、あなたのお考えをお聞きます

問 17. 学校について、児童・生徒の学びの場としての役割以外に、どのような役割を担っている、または担うべきと考えますか？

【 3つまで回答 】

- |   |                                    |
|---|------------------------------------|
| 1 | 児童・生徒の放課後の居場所・活動場所としての役割           |
| 2 | 地域の防災の拠点としての役割                     |
| 3 | 地域コミュニティや地域のつながりに関わる活動・交流の拠点としての役割 |
| 4 | スポーツ・文化・生涯学習の拠点としての役割              |
| 5 | 地域の歴史や文化の中核的な存在としての役割              |
| 6 | 地域づくり・人づくりを進めるための地域の核としての役割        |
| 7 | 子育て世帯等の移住や定住を促進する役割                |
| 8 | 特にない（児童・生徒の学びの場以外の役割があると思わない）      |
| 9 | その他（ ）                             |

問 18. 現在、学校教育に支障のない範囲で体育館や校庭を開放していますが、その他の学校施設で、一定の条件の下で、地域の方や一般の方が利用できるよう開放してほしい施設はありますか？

【 3つまで回答 】

- |   |        |   |          |
|---|--------|---|----------|
| 1 | 図書室    | 2 | 音楽室      |
| 3 | 理科室    | 4 | 図工室・美術室  |
| 5 | 家庭科室   | 6 | 木工・金工室   |
| 7 | 被服室    | 8 | 現状のままで良い |
| 9 | その他（ ） |   |          |

問 19. 仮に学校敷地内や校舎内に学校以外の公共施設等が整備されるとした場合、望ましいと思われる施設を選択してください。

【 3つまで回答 】

- |   |                              |
|---|------------------------------|
| 1 | 公民館やコミュニティセンター等の市民文化系施設      |
| 2 | 保育園や学童保育所等の子育て支援施設           |
| 3 | 地域包括支援センターや保健センター等の保健福祉・医療施設 |
| 4 | 出張所などの行政系施設                  |
| 5 | 民間デイサービス等の高齢者福祉施設            |
| 6 | 民間幼稚園や保育園、認定こども園             |
| 7 | 保護者や地域住民がテレワークを行うスペース        |
| 8 | 他の施設の整備は望ましくない               |
| 9 | その他（ ）                       |

問 20. 現在、子どもたちの資質・能力の育成のため、幅広い地域住民の参画を得ながら、社会総がかりでの教育を実現していこうとする取組が全国的に進められています。そこで、こういった取組事例の中で、支援を受けたい、支援が必要と思うものがあれば、選択してください。

【あてはまるものすべて回答】

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1 授業補助（家庭科実習の補助、読み聞かせ、ゲストティーチャーなど） |
| 2 学習支援（放課後等の学習支援など）                |
| 3 学校の環境整備（草刈りや剪定、落ち葉掃き、花壇整備など）     |
| 4 安全指導（登下校等の見守り活動など）               |
| 5 学校行事支援（運動会等の行事運営支援）              |
| 6 部活動支援（活動運営、引率等）                  |
| 7 特に支援を必要とするものはない                  |
| 8 その他（ )                           |

### 学校運営の現状や働き方改革について、あなたのお考えをお聞きます

問 21. 現在皆様が担っている業務の中で、負担に感じる業務は何ですか？

【5つまで回答】

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1 学習評価や成績処理         | 2 登下校に関する対応          |
| 3 学校行事の準備・運営        | 4 学校徴収金の集金や管理、支払等の業務 |
| 5 進路指導              | 6 地域や保護者対応           |
| 7 支援が必要な児童生徒・家庭への対応 | 8 調査・統計等への回答         |
| 9 いじめや不登校への対応       | 10 児童生徒の休み時間における対応   |
| 11 いじめや不登校以外の児童生徒指導 | 12 校内清掃              |
| 13 会議や打合せ           | 14 クラブ活動や部活動の運営、引率   |
| 15 タブレット端末の管理       | 16 給食時の対応            |
| 17 授業準備             | 18 特にない              |
| 19 その他（ )           |                      |

問 22. 上記業務の負担が軽減された場合、その時間をどのように使いたいですか？

【5つまで回答】

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1 プライベートな時間         | 2 児童生徒と向き合う時間        |
| 3 学習評価や成績処理         | 4 登下校に関する対応          |
| 5 学校行事の準備・運営        | 6 学校徴収金の集金や管理、支払等の業務 |
| 7 進路指導              | 8 地域や保護者対応           |
| 9 支援が必要な児童生徒・家庭への対応 | 10 調査・統計等への回答        |
| 11 いじめや不登校への対応      | 12 児童生徒の休み時間における対応   |
| 13 いじめや不登校以外の児童生徒指導 | 14 校内清掃              |
| 15 会議や打合せ           | 16 クラブ活動や部活動の運営、引率   |
| 17 タブレット端末の管理       | 18 給食時の対応            |
| 19 授業準備             | 20 特にない              |
| 21 その他（ )           |                      |

**自由意見**

問 23. 学校に関することで、ご意見がございましたらお聞かせください。

---

---

---

---

---

---

---

---

～ アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。 ～



## 佐倉市立小中学校のこれからの学校のあり方に関するアンケート調査

【回答時間の目安：約 20 分 全 19 問】

## はじめに

日頃より、佐倉市の教育行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

佐倉市では、少子高齢化の更なる進展に伴い、児童生徒数は今後も減少していくことが見込まれています。児童生徒数の減少に伴って学校規模<sup>※1</sup>が小さくなることで、きめ細かな指導が期待できる一方、クラス替えができない、集団活動が制限されるなどの学習環境への影響が懸念されることや、施設の老朽化対応など財政上の課題への取組も必要となってきました。

そこで、佐倉市教育委員会では、佐倉市の学校で育っていく子どもたちがどのような教育環境で学校生活を送ることが望ましいかについて、保護者の皆様と一緒に考えていく基礎資料とするため、アンケート調査を実施させて頂くことといたしましたので、ご協力をお願いいたします。

令和6年10月吉日

佐倉市教育委員会 教育長 圓城寺 一雄

※1…学校規模とは、児童生徒数や学級数で表わされるもので、小中学校では12～18学級（小学校では1学年2～3学級、中学校では4～6学級）が標準規模とされています。

## アンケートの回答方法

専用 Web サイトから、以下の手順でご回答ください。

- ⑦ 専用 Web サイトにアクセスする。(下記 URL または二次元コードから)

回答用 Web サイトの URL を記載

スマートフォン、タブレット、パソコンから回答できます。

回答用

QR コードを

掲載

- ⑧ 回答用 ID を入力して、アンケートにお答えいただく。

回答用 ID: ランダムに割り振られた ID を記載

令和6年11月15日(金)までにご回答ください。

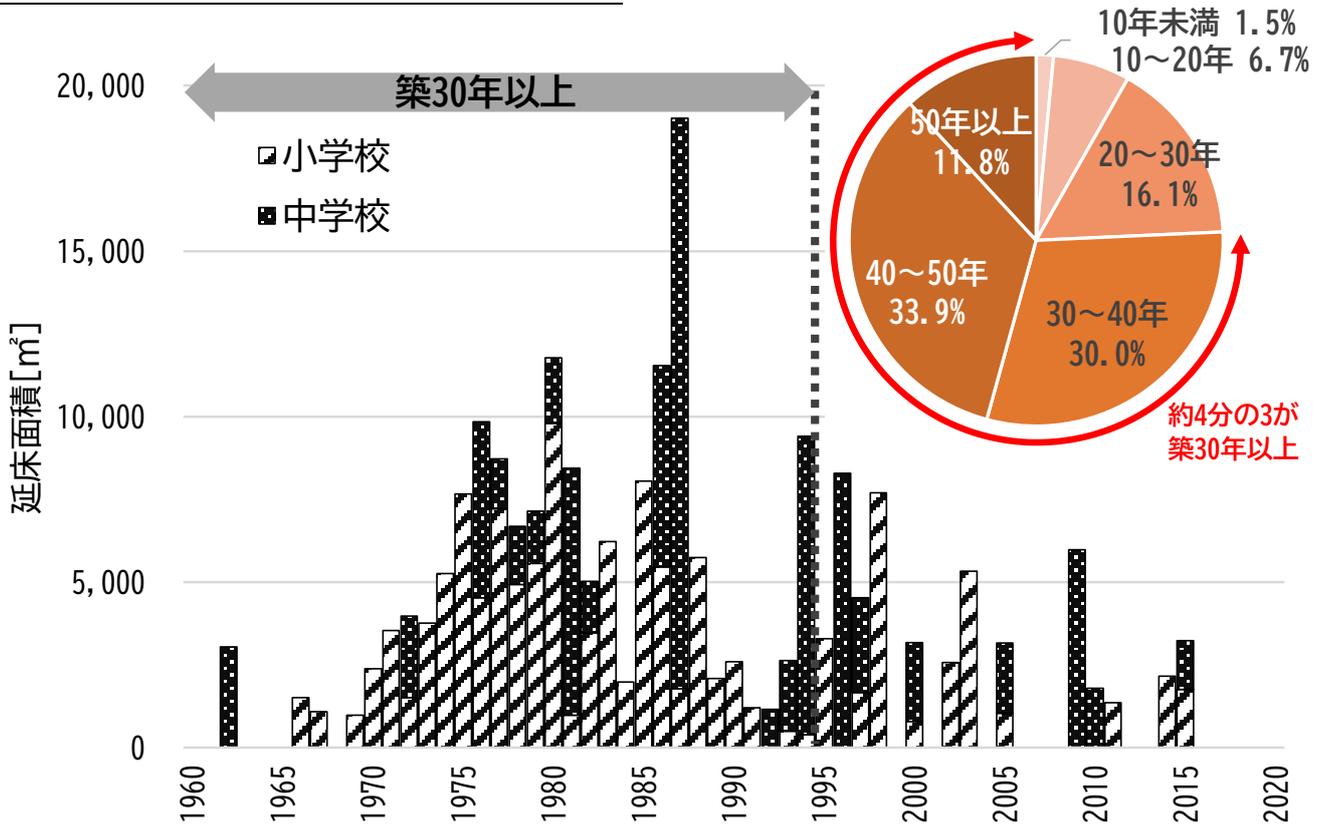
## 【留意事項】

- ※ 回答用 ID に、アルファベットの l(エル)、o(オー)、q(キュー)は使用していません。
- ※ アンケートの目的や取扱いに関する詳細は、4 ページをご覧ください。
- ※ ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

【問い合わせ先】 佐倉市教育委員会 教育総務課

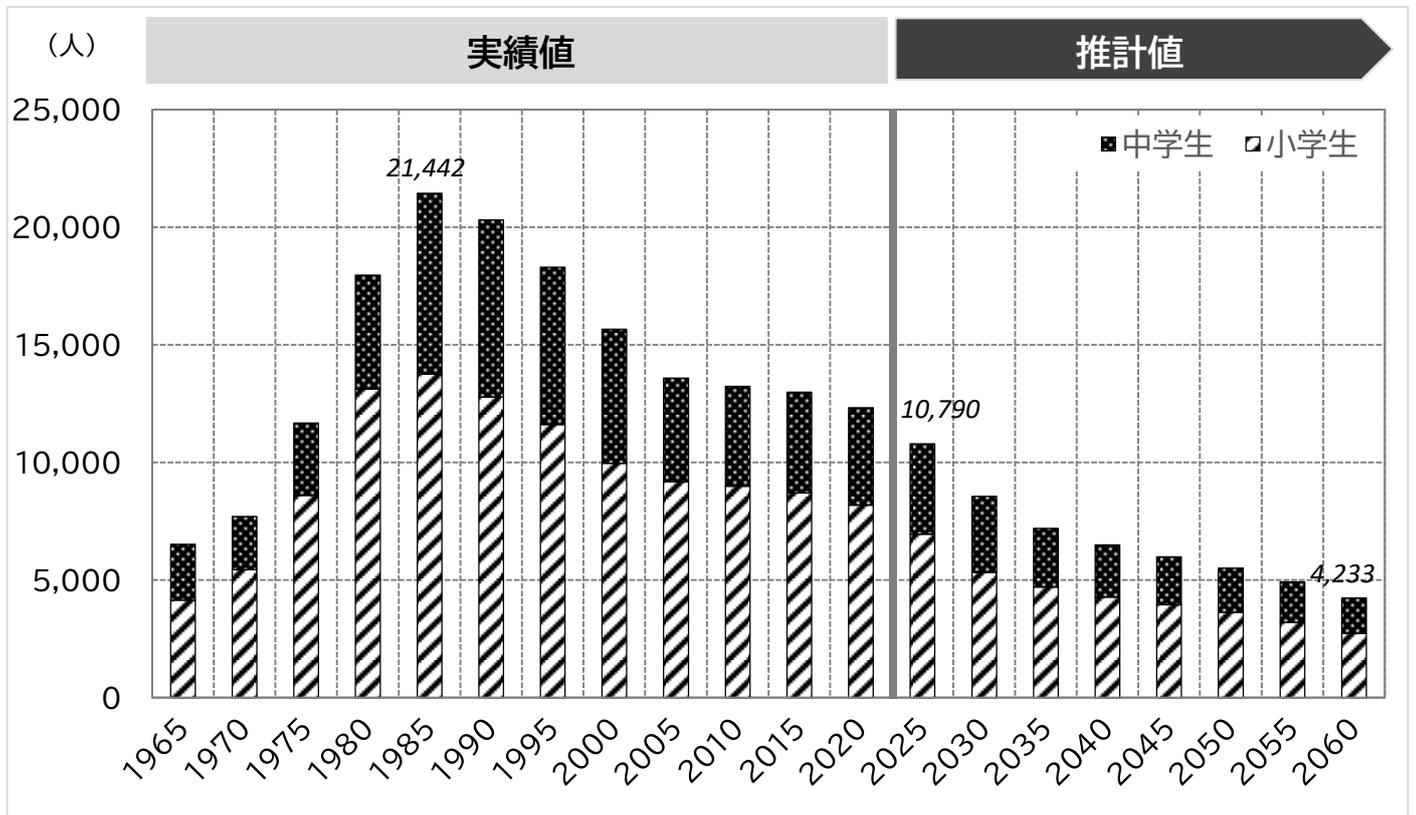
電話：043-484-6183 Eメール：kyoikusomu@city.sakura.lg.jp

参考資料① 学校施設の年度別整備状況と築年数



参考資料② 児童生徒数のこれまでの推移と将来推計

【児童生徒数（小中学生全体）】



参考資料③ 学校別の代表築年数※1 と児童生徒数の将来推計

No	名称	建築年度	築年数	総延床面積 (㎡)	上段：児童数、下段：学級数（括弧は特別支援学級数の内数）				
					実績値	推計値			
					2024	2030	2040	2050	2060
1	佐倉小学校	1971	53	7,782	530 20(3)	369 15(2)	353 14(2)	322 14(2)	246 14(2)
2	内郷小学校	1978	46	3,962	161 9(3)	115 8(2)	88 8(2)	65 8(2)	51 8(2)
3	志津小学校	1966	58	4,958	365 15(3)	295 13(2)	275 14(2)	267 14(2)	220 11(2)
4	上志津小学校	1969	55	4,969	356 17(5)	291 15(3)	269 15(3)	202 8(2)	145 8(2)
5	臼井小学校	1975	49	5,485	236 14(4)	172 8(2)	145 8(2)	107 8(2)	72 8(2)
6	印南小学校	1975	49	4,794	158 8(2)	132 8(2)	83 8(2)	58 8(2)	39 8(2)
7	根郷小学校	1976	48	7,064	443 19(4)	273 14(2)	216 10(2)	153 8(2)	96 8(2)
8	和田小学校	1967	57	2,810	38 7(2)	29 8(2)	22 8(2)	14 8(2)	9 8(2)
9	弥富小学校	1982	42	3,015	49 8(2)	35 8(2)	32 8(2)	26 8(2)	17 8(2)
10	千代田小学校	1977	47	4,946	281 13(3)	206 11(2)	176 8(2)	170 8(2)	141 8(2)
11	下志津小学校	1966	58	4,376	242 14(3)	149 8(2)	121 8(2)	91 8(2)	60 8(2)
12	井野小学校	1970	54	5,546	723 27(5)	464 19(2)	388 14(2)	327 14(2)	240 13(2)
13	南志津小学校	1974	50	5,681	315 16(4)	211 11(2)	180 8(2)	191 8(2)	159 8(2)
14	佐倉東小学校	1975	49	6,093	210 10(3)	208 10(2)	192 8(2)	177 8(2)	142 8(2)
15	西志津小学校	1977	47	7,189	727 30(6)	545 21(3)	368 14(2)	268 14(2)	169 8(2)
16	小竹小学校	1980	44	6,413	320 16(4)	210 11(2)	135 8(2)	116 8(2)	93 8(2)
17	間野台小学校	1980	44	9,489	457 19(5)	342 15(3)	311 15(3)	282 14(2)	227 12(2)
18	王子台小学校	1983	41	6,131	306 15(3)	295 13(2)	237 13(2)	198 8(2)	147 8(2)
19	青菅小学校	1985	39	6,170	528 21(4)	255 12(2)	178 8(2)	188 8(2)	157 8(2)
20	寺崎小学校	1986	38	6,252	489 23(6)	361 15(3)	188 8(2)	181 8(2)	133 8(2)
21	山王小学校	1988	36	6,951	145 8(2)	114 8(2)	81 8(2)	62 8(2)	45 8(2)
22	染井野小学校	1998	26	6,394	223 11(2)	130 8(2)	133 8(2)	96 8(2)	66 8(2)
23	白銀小学校	2003	21	5,118	206 12(4)	116 8(2)	97 8(2)	62 8(2)	43 8(2)
合計					7,508 352(82)	5,317 267(50)	4,268 229(48)	3,623 214(46)	2,717 202(46)

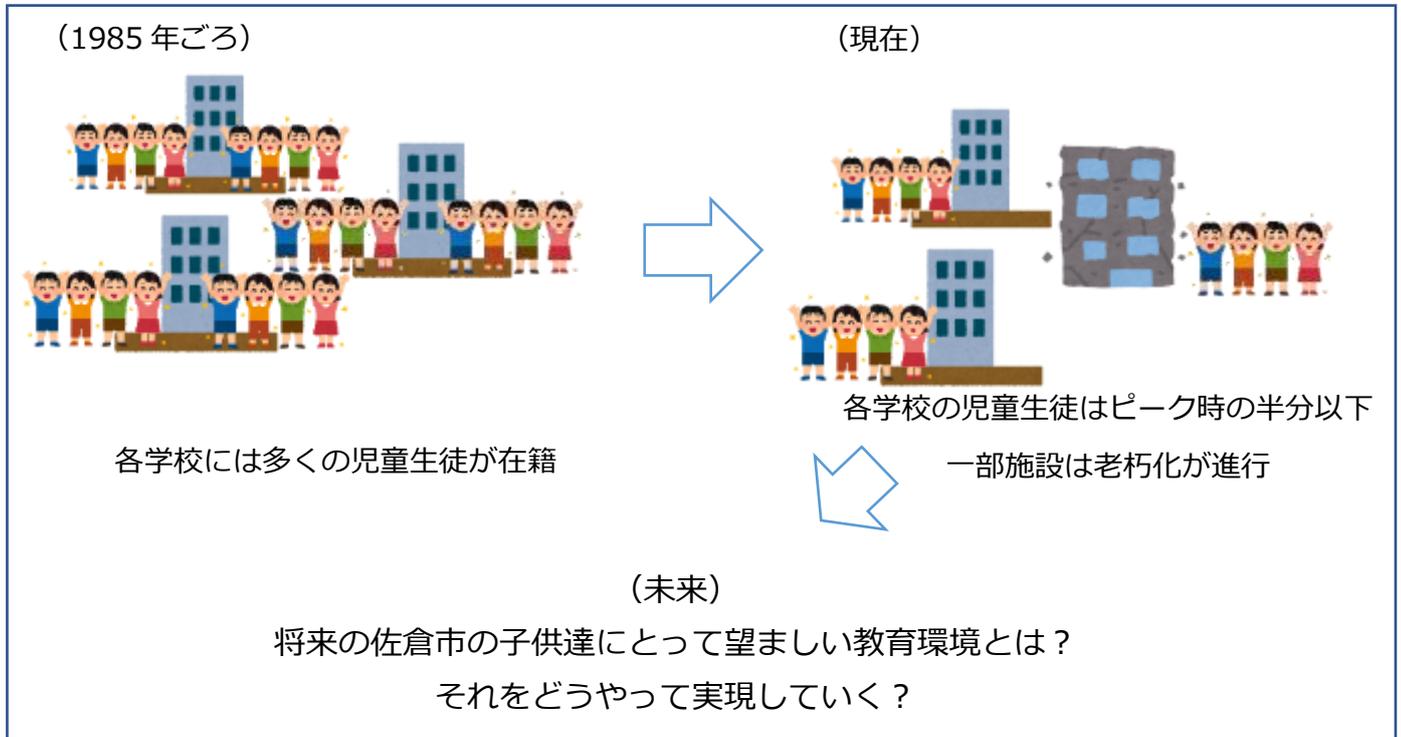
No	名称	建築年度	築年数	総延床面積 (㎡)	上段：児童数、下段：学級数（括弧は特別支援学級数の内数）				
					実績値	推計値			
					2024	2030	2040	2050	2060
1	佐倉中学校	1994	30	9,241	444 17(3)	345 13(2)	286 11(2)	261 11(2)	213 8(2)
2	志津中学校	1962	62	8,273	686 25(6)	533 19(4)	401 15(3)	362 15(3)	286 11(2)
3	上志津中学校	1972	52	6,694	300 12(3)	237 10(2)	154 8(2)	141 8(2)	118 7(2)
4	南部中学校	1981	43	6,470	166 8(2)	141 8(2)	87 5(2)	58 5(2)	36 5(2)
5	臼井中学校	1976	48	7,844	323 13(3)	296 11(2)	202 8(2)	169 8(2)	140 8(2)
6	井野中学校	1981	43	7,921	504 18(3)	422 14(2)	219 8(2)	196 8(2)	183 8(2)
7	佐倉東中学校	1986	38	8,115	242 10(2)	215 9(2)	160 8(2)	126 8(2)	102 5(2)
8	臼井西中学校	1987	37	8,058	259 11(2)	204 9(2)	161 8(2)	125 8(2)	92 5(2)
9	西志津中学校	1987	37	7,674	445 16(3)	336 12(2)	204 8(2)	154 8(2)	104 5(2)
10	臼井南中学校	1994	30	8,611	333 12(2)	245 10(2)	216 8(2)	188 8(2)	150 8(2)
11	根郷中学校	1996	28	8,289	222 9(2)	269 11(2)	132 8(2)	106 5(2)	92 5(2)
合計					3,924 151(31)	3,243 126(24)	2,222 95(23)	1,886 92(23)	1,516 75(22)

※1…代表築年数とは、学校にいくつかの建物がある場合に、最も築年数が古い建物の築年数を表しています。  
 ※2…佐倉市では建物の使用目標年数を「75年」としています。そのため、75年を超える前に、その建物の方針を検討する必要があります。  
 ※3…2024年の実績値は5月1日時点です。  
 ※4…学級数のうち、塗りつぶし箇所は単学級を表しています。

## 本アンケートについて

### 1 調査の目的

- 「(仮称) 佐倉市におけるこれからの学校のあり方基本方針」の策定や「佐倉市教育施設長寿命化計画」の改定にあたり、子どもたちの教育水準の維持・向上に向けて、学校の適正規模・適正配置やこれからの時代に必要となる学校教育のあり方について検討する基礎資料とするために実施します。



### 2 調査の対象者

- 佐倉市（令和6年10月1日時点）在住で、以下の方を対象に、住民基本台帳からそれぞれ無作為抽出して、本紙をお送りしています。
  - ① 満15歳以上80歳未満の方
  - ② 未就学児の保護者の方

### 3 回答の取扱い

- ご回答は無記名です。
- 回答の重複や調査対象外の方の回答を防ぐため、調査票ごとにIDを付与していますが、回答者個人を特定することができないよう、ランダムに設定しています。
- 回答していただいた内容は統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。

## あなたご自身のことについてお聞きします

問1. 年齢を教えてください。

【1つ回答】

1	10 歳代	2	20 歳代	3	30 歳代	4	40 歳代
5	50 歳代	6	60 歳代	7	70 歳代		

問2. お住まいの小学校区を教えてください。

小学校区がわからない場合は、大字（町丁目）（例：海隣寺町、王子台一丁目、井野など）を入力してください。

【1つ回答】

1	佐倉小学校	2	内郷小学校	3	志津小学校	4	上志津小学校
5	臼井小学校	6	印南小学校	7	根郷小学校	8	和田小学校
9	弥富小学校	10	千代田小学校	11	下志津小学校	12	井野小学校
13	南志津小学校	14	佐倉東小学校	15	西志津小学校	16	小竹小学校
17	間野台小学校	18	王子台小学校	19	青菅小学校	20	寺崎小学校
21	山王小学校	22	染井野小学校	23	白銀小学校	24	大字（ ）

**今後、学校教育に求めること・期待することに関して、あなたのお考えをお伺いします**

**問3. 子どもたちにどのような大人に育ってもらいたいと考えますか？**

【3つまで回答】

- 1 佐倉のよさがわかり、佐倉のまちを大切にできる人
- 2 積極的に学び行動する人
- 3 他人に対する思いやりのある人
- 4 良いことと悪いことの区別をきちんと判断し、行動できる人
- 5 豊かな知識を持つ人
- 6 社会の役に立つことを進んでできる人
- 7 新しいものに挑戦し、何事にも一生懸命に取り組める人
- 8 国際的に活躍できる人
- 9 自己を表現し、個性を発揮できる人
- 10 多様な考えがあることを認識し、協力して行動できる人
- 11 その他 ( )

**問4. 佐倉市の学校教育でこれからどんなことに力を入れていくのが望ましいと思いますか？**

【3つまで回答】

- 1 タブレット端末を活用した授業
- 2 英語教育
- 3 勤労観や職業観を育むための教育（キャリア教育）
- 4 幼稚園・保育園と小学校の連携
- 5 小学校と中学校の連携（義務教育9年間を見渡した教育）
- 6 学校図書館（図書室）の充実（蔵書や司書の配置）
- 7 道徳教育
- 8 健康増進と体力の向上を図ること
- 9 障害がある子たちへの支援体制の充実
- 10 いじめや不登校への支援体制の充実
- 11 教員の資質や指導力の向上
- 12 学校の施設整備
- 13 放課後活動の充実（学習、部活動など）
- 14 その他 ( )

**クラスの規模などに関して、あなたのお考えをお聞きします**

問5. 小学校の1クラスあたりの人数は、どのくらいの方が望ましいと思いますか？

※法律上、小学校は令和7年度から1クラスあたりの人数の上限は35人までとなります。

【1つ回答】

1	10人以下	2	11～15人	3	16～20人
4	21～25人	5	26～30人	6	31～35人
7	36人以上				

問6. 「問5」でその人数を選択した理由を教えてください。

【3つまで回答】

1	一人一人の学習状況を把握し、きめ細かな指導を行うことが期待できる
2	意見や感想を発表する機会が多い
3	教員が家庭と連携しやすい
4	教材や教具が行き渡りやすい
5	教員と児童生徒の距離が近い
6	新たな人間関係を構築する力や社会性を身に付けさせることができる
7	様々な役割を体験できる機会が得られる
8	多様な意見や考え方に触れる機会が多くなる
9	集団の中で切磋琢磨する環境を作ることができる
10	運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に活気が生じやすい
11	PTA活動等で保護者の負担を分散しやすい
12	その他（ ）

問7. 中学校の1クラスあたりの人数は、どのくらいの方が望ましいと思いますか？

※法律上、中学校は1クラスあたりの人数の上限は40人までとなっております。

【1つ回答】

1	10人以下	2	11～15人	3	16～20人
4	21～25人	5	26～30人	6	31～35人
7	36人以上				

問8. 「問7」でその人数を選択した理由を教えてください。

【3つまで回答】

1	一人一人の学習状況を把握し、きめ細かな指導を行うことが期待できる
2	意見や感想を発表する機会が多い
3	教員が家庭と連携しやすい
4	教材や教具が行き渡りやすい
5	教員と児童生徒の距離が近い
6	新たな人間関係を構築する力や社会性を身に付けさせることができる
7	様々な役割を体験できる機会が得られる
8	多様な意見や考え方に触れる機会が多くなる
9	集団の中で切磋琢磨する環境を作ることができる
10	運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に活気が生じやすい
11	PTA活動等で保護者の負担を分散しやすい
12	その他（ ）

問9. 小学校の1学年あたりのクラス数は、どのくらいの数が望ましいと思いますか？

※法律上、小学校の1学年あたりのクラス数は、2～3クラスが標準（ただし、地域の実態その他により特別の事情のある時はこの限りではない）とされています。 【1つ回答】

1	1クラス	2	2クラス	3	3クラス
4	4クラス	5	5クラス	6	6クラス
7	7クラス以上				

問10. 「問9」でそのクラス数を選択した理由を教えてください。

【3つまで回答】

1	クラス替えができる
2	運動場や特別教室、教材備品などが余裕をもって使える
3	体験的な学習や校外学習が機動的に行える
4	新たな人間関係を構築する力や社会性を身に付けさせることができる
5	多様な意見や考え方に触れる機会が多くなる
6	集団の中で切磋琢磨する環境を作ることができる
7	習熟度別指導や学年内での教員の役割分担による専科指導等の多様な指導形態をとることができる
8	運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に活気が生じやすい
9	多様なクラブ活動や部活動の設置が可能になる
10	教員数が一定数いるため、経験、教科、特性など様々な面でバランスの取れた教職員配置を行いやすい
11	PTA活動等で役割分担により保護者の負担を分散しやすい
12	その他（ )

問11. 中学校の1学年あたりのクラス数は、どのくらいの数が望ましいと思いますか？

※法律上、中学校の1学年あたりのクラス数は、4～6クラスが標準（ただし、地域の実態その他により特別の事情のある時はこの限りではない）とされています。 【1つ回答】

1	1クラス	2	2クラス	3	3クラス
4	4クラス	5	5クラス	6	6クラス
7	7クラス以上				

問12. 「問11」でそのクラス数を選択した理由を教えてください。

【3つまで回答】

1	クラス替えができる
2	運動場や特別教室、教材備品などが余裕をもって使える
3	体験的な学習や校外学習が機動的に行える
4	新たな人間関係を構築する力や社会性を身に付けさせることができる
5	多様な意見や考え方に触れる機会が多くなる
6	集団の中で切磋琢磨する環境を作ることができる
7	習熟度別指導や学年内での教員の役割分担による専科指導等の多様な指導形態をとることができる
8	運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に活気が生じやすい
9	多様なクラブ活動や部活動の設置が可能になる
10	教員数が一定数いるため、経験、教科、特性など様々な面でバランスの取れた教職員配置を行いやすい
11	PTA活動等で役割分担により保護者の負担を分散しやすい
12	その他（ )

**問 1 3. 小中学校の小規模化への対応についてお伺いします。小規模校では個別指導が行いやすいなどの利点がある一方、集団活動に制約が生じたり、人間関係の固定化やゆとりある教職員配置が困難となるなど、子どもたちの学習環境への影響といった課題もあります。**

**このような課題の解決策として、小中学校の統合を進めている自治体もありますが、お考えをお聞かせください。**

【 2つまで回答 】

- |   |  |
|---|--|
| 1 | 通学する児童生徒がいなくなるまで学校は残すべきと思う                                 |
| 2 | クラブ活動や部活動、運動会などの学校行事を近隣の他の学校と合同で行ったり、授業をオンラインで他の学校の子と合同で行う |
| 3 | 学区の見直しなどにより、学校間の児童生徒数の調整ができない場合は、統合もやむなし                   |
| 4 | 小中一貫校化など、新たな学校形態を検討する                                      |
| 5 | 課題解決のため、学校統合を進めるべき   |
| 6 | その他 ( )  |

**問 1 4. 今後、学区の見直しや学校統合の検討を行うとなった場合、どの事項を重視すべきと思いますか？**

【 3つまで回答 】

- |    |                     |
|----|---------------------|
| 1  | クラス数や児童生徒数          |
| 2  | 適正な教員配置             |
| 3  | 通学距離や時間、方法、通学路の安全性  |
| 4  | 児童生徒の心身のケア、負担軽減     |
| 5  | 対象となる学校間の事前交流       |
| 6  | 学校と地域コミュニティの繋がり     |
| 7  | 統合先の学校施設の安全性や設備の充実度 |
| 8  | 子どもたちの意向            |
| 9  | 保護者の意向              |
| 10 | 地域住民の意向             |
| 11 | 廃校となる学校跡地の有効活用の検討   |
| 12 | その他 ( )             |

## 学校と地域との関わり方について、あなたのお考えをお聞きします

問15. 学校について、児童・生徒の学びの場としての役割以外に、どのような役割を担っている、または担うべきと考えますか？

【3つまで回答】

- |   |                                    |
|---|------------------------------------|
| 1 | 児童・生徒の放課後の居場所・活動場所としての役割           |
| 2 | 地域の防災の拠点としての役割                     |
| 3 | 地域コミュニティや地域のつながりに関わる活動・交流の拠点としての役割 |
| 4 | スポーツ・文化・生涯学習の拠点としての役割              |
| 5 | 地域の歴史や文化の中核的な存在としての役割              |
| 6 | 地域づくり・人づくりを進めるための地域の核としての役割        |
| 7 | 子育て世帯等の移住や定住を促進する役割                |
| 8 | 特にない（児童・生徒の学びの場以外の役割があると思わない）      |
| 9 | その他（ )                             |

問16. 現在、学校教育に支障のない範囲で体育館や校庭を開放していますが、その他の学校施設で、一定の条件の下で、地域の方や一般の方が利用できるよう開放してほしい施設はありますか？

【3つまで回答】

- |   |        |   |          |
|---|--------|---|----------|
| 1 | 図書室    | 2 | 音楽室      |
| 3 | 理科室    | 4 | 図工室・美術室  |
| 5 | 家庭科室   | 6 | 木工・金工室   |
| 7 | 被服室    | 8 | 現状のままでよい |
| 9 | その他（ ) |   |          |

問17. 仮に学校敷地内や校舎内に学校以外の公共施設等が整備されるとした場合、望ましいと思われる施設を選択してください。

【3つまで回答】

- |   |                              |
|---|------------------------------|
| 1 | 公民館やコミュニティセンター等の市民文化系施設      |
| 2 | 保育園や学童保育所等の子育て支援施設           |
| 3 | 地域包括支援センターや保健センター等の保健福祉・医療施設 |
| 4 | 出張所などの行政系施設                  |
| 5 | 民間デイサービス等の高齢者福祉施設            |
| 6 | 民間幼稚園や保育園、認定こども園             |
| 7 | 保護者や地域住民がテレワークを行うスペース        |
| 8 | 他の施設の整備は望ましくない               |
| 9 | その他（ )                       |

問18. 現在、子どもたちの資質・能力の育成のため、幅広い地域住民の参画を得ながら、社会総がかりでの教育を実現していこうとする取組が全国的に進められています。そこで、こういった取組事例の中で、参加したい・協力したい取組があれば、選択してください。

【あてはまるものすべて回答】

- |   |
|---|
| 1 授業補助（家庭科実習の補助、読み聞かせ、ゲストティーチャーなど）          |
| 2 学習支援（放課後等の学習支援など）                         |
| 3 学校の環境整備（草刈りや剪定、落ち葉掃き、花壇整備など）              |
| 4 安全指導（登下校等の見守り活動など）                        |
| 5 学校行事支援（運動会等の行事運営支援）                       |
| 6 部活動支援（活動運営、引率等）                           |
| 7 特に参加したい取組はない                              |
| 8 その他（ <span style="float: right;">）</span> |

**自由意見**

問19. 学校に関することで、ご意見がございましたらお聞かせください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

～ アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。 ～